資料２

各種アンケート調査結果について

米沢市介護保険運営協議会

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査
－調査結果報告書－

令和８年７月

米沢市　健康福祉部　高齢福祉課

目次

第１章　調査の概要 1
１　調査の概要 2
（１）調査の目的 2
（２）調査設計 2
（３）回収結果 3
（４）調査結果の見方 3
２　調査結果からみる課題 4
（１）日常生活圏域ニーズ調査 4
（２）在宅介護実態調査 8
３　圏域別にみる特徴 12
（１）第一中学校圏域 12
（２）第二中学校圏域 13
（３）第三中学校圏域 14
（４）第四中学校圏域 15
（５）（旧）第五中学校圏域 16
（６）第六中学校圏域 17
（７）第七中学校圏域 18
（８）（旧）南原中学校圏域 19
第２章　介護予防・日常生活圏域 21
ニーズ調査結果の分析 21
調査票の記入者やあて名のご本人の情報について 22
（１）調査票の記入者 22
（２）性別 23
（３）年齢 24
（４）要介護度 25
１　あなたのご家族や生活状況等について 26
（１）家族構成 26
（２）日中（昼間）家族の状況 27
（３）介護・介助が必要か 28
（４）現在の暮らしの経済的状況 29
（５）住居形態 30
２　体力について 31
（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているか 31
（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか 32
（３）15 分程度の歩行について 33
（４）過去１年間の転倒経験 34
（５）転倒に対する不安は大きいか 35
（６）週当たりの外出状況 36
（７）昨年と比較した外出状況 37

（８）外出する際の移動手段 38
（９）運動習慣のためにあると良いと思うもの 40
３　食べることについて 42
（１）身長・体重 42
（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなったか 43
（３）お茶や汁物等でむせることがあるか 44
（４）口の渇きが気になるか 45
（５）歯の数と入れ歯の利用状況 46
（６）６か月間で２～３kg 以上の体重減少があったか 47
（７）どなたかと食事をともにする機会があったか 48
（８）歯磨きをいつ行っているか 49
４　毎日の生活について 51
（１）物忘れが多いと感じるか 51
（２）電話番号を調べて、電話をかけることをしているか 52
（３）今日が何月何日かわからない時があるか 53
（４）バスや電車を使って１人で外出しているか 54
（５）食品・日用品の買物をしているか 55
（６）食事の用意をしているか 56
（７）請求書の支払いをしているか 57
（８）預貯金の出し入れをしているか 58
（９）友人の家を訪ねているか 59
（１０）家族や友人の相談にのっているか 60
（１１）趣味はあるか 61
（１２）耳の聞こえについて 62
（１３）補聴器を使用しているか 64
（１４）補聴器を使用しない理由 65
（１５）普段の生活でどのような支援を必要と感じるか 67
（１６）冬の除雪は誰がするか 69
（１７）携帯電話またはスマートフォンの所持状況 71
（１８）情報を得るために使用しているもの 72
５　地域での活動等について 74
（１）地域活動等への参加状況 74
（２）市が実施・推進する事業の認知度 82
（３）地域活動への参加者としての参加意向 86
（４）地域活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向 87
（５）やってみたい仕事や地域活動 88
６　たすけあいについて 90
（１）心配事や愚痴を聞いてくれる人 90
（２）心配事や愚痴を聞いてあげる人 92
（３）看病や世話をしてくれる人 94
（４）看病や世話をしてあげる人 96
（５）隣近所の人にしてあげられる手助け 98

（６）災害時、助けてくれる人がいるか 100
７　健康について 101
（１）現在の健康状態 101
（２）現在の幸福度 102
（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること 103
（４）この１か月間、興味がわかない、心から楽しめないと感じたりすること 104
（５）飲酒状況 105
（６）喫煙状況 106
（７）治療中、後遺症のある病気 107
８　認知症および成年後見制度等について 109
（１）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人の有無 109
（２）認知症のイメージ 110
（３）認知症になったら、どのように暮らしたいか 111
（４）認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思うか 112
（５）認知症に関する相談窓口の認知度 114
（６）成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度 115
（７）将来の備えとして取り組んでいること 116
（８）人生の最終段階における医療・ケアに関して、家族などや医療・ケアチームとどの程度話し合ったことがあるか 118
９　自由意見 119
（９）介護保険事業や高齢者の保健福祉に関するご意見やご要望等 119
１０　高齢者リスク判定分析 123
（１）運動器機能リスク 123
（２）転倒リスク 124
（３）閉じこもりリスク 125
（４）低栄養リスク 126
（５）口腔機能リスク 127
（６）認知機能リスク 128
（７）うつリスク 129
（８）ＩＡＤＬ（手段的自立度） 130
第３章　在宅介護実態調査の分析 131
１　対象者について 132
（１）調査票の聞き取りを行った相手 132
（２）性別 133
（３）年齢 134
（４）居住地区 135
（５）要介護度 136
（６）世帯類型 137
２　介護者について 138
（１）介護の頻度 138
（２）主な介護者 139
（３）主な介護者の性別 140

（４）主な介護者の年齢 141
（５）主な介護者が行っている介護等 142
（６）家族や親族の過去１年間の離職状況 144
３　サービスや支援の利用状況 146
（１）現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス 146
（２）在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 148
４　現在の状況や今後の希望について 150
（１）施設等への入所・入居の検討状況 150
（２）現在抱えている傷病 151
（３）訪問診療の利用状況 153
（４）介護保険サービスの利用状況 154
①　介護保険サービス利用していない理由 155
（５）口腔ケアの状況 157
（６）外出の希望 159
（７）外出の条件 160
（８）本人のやりたいこと 162
（９）十分な見守り等があればご本人が行ってもいいと思う仕事 164
（１０）隣近所の方に頼みたい生活の手伝い 165
５　主な介護者の勤務状況 167
（１）主な介護者の現在の勤務形態 167
（２）働き方の調整ついて 168
（３）仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援 170
（４）今後も働きながら介護を続けていけるか 172
（５）主な介護者の方が不安に感じる介護等 173
資料編 175
資料編 176
（１）　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査　調査票 176
（２）　在宅介護実態調査　調査票 184

第１章　調査の概要

1　調査の概要

（１）　調査の目的

本調査は、「米沢市高齢者福祉計画・第 10 期介護保険事業計画」を策定するにあたり、地域の高齢者の生活実態を分析し、高齢者の自立生活を阻む課題（地域課題を含む）や介護ニーズをより的確に把握し、ニーズに合わせた事業展開を行うことを目的として実施した。

（２）　調査設計

①　調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	調査対象	65 歳以上で要介護認定を受けていない方（要支援を含む）
	調査対象者	上記の調査対象者から圏域別に抽出を行った
在宅介護実態調査	調査対象	在宅の要支援・要介護認定者
	調査対象者	上記の調査対象者のうち、「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」を行い、令和８年１月 19 日～令和８年２月 13 日までの間に認定調査を受けた方

②　調査方法

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	郵送配布－郵送回収　一部は Web 回答
在宅介護実態調査	米沢市介護認定調査員による訪問配布－訪問回収 （聞取り調査）

③　調査期間

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：令和８年１月 21 日～２月６日
在宅介護実態調査　　：令和８年１月 19 日～２月 13 日
※遅れ票として、令和８年３月９日までの回答を集計に含めた

（３）　回収結果

	配布数（件）	有効回収数（件）	有効回答率（%）
日常生活圏域ニーズ調査	1,100	734	66.7
第一中学校圏域	180	118	65.6
第二中学校圏域	180	120	66.7
第三中学校圏域	160	102	63.8
第四中学校圏域	160	102	63.8
（旧）第五中学校圏域	120	77	64.2
第六中学校圏域	100	67	67.0
第七中学校圏域	100	56	56.0
（旧）南原中学校圏域	100	58	58.0
不明	－	34	－
在宅介護実態調査	118	118	100.0

（４）　調査結果の見方

① グラフの「ｎ（number of cases)」はアンケートの有効回収数を示している。
② 割合はすべて百分率(%)で表し、小数点第２位を四捨五入して算出している。従って、合計が 100.0%にならない場合もある。
③ 複数回答の場合、回答の合計割合が 100.0%を超える場合がある。
④ 設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
⑤ 調査結果において表記されている【　】は、類似した複数の選択肢を合算した場合に使用している。

2　調査結果からみる課題

（１）日常生活圏域ニーズ調査

①　健康長寿

【各種リスク分析】

- 各種リスク分析では、「認知機能リスク」の該当者が全体では 46.2%と最も高く、次いで「うつリスク」が 38.3%、「転倒リスク」が 33.7%となっている。
- 前回調査と比べると、「閉じこもりリスク」が前回から 7.2 ポイント、「IADL 低下」が 7.0 ポイント低下している。
- 性別では、女性は男性よりもリスク該当者割合がやや高いものが多くなっている。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて該当者割合は増加傾向にあり、中でも「運動器機能リスク」「転倒リスク」「閉じこもりリスク」「IADL 低下」は顕著となっている。年齢の上昇に伴い転倒リスクや閉じこもりリスクの増加がみられることから、運動機能の維持・向上や外出機会の確保など、フレイル予防や社会参加の促進に向けた取り組みを進めていくことが重要である。
- 圏域別では、【第二中学校圏域】は「低栄養リスク」が、【第三中学校圏域】は「閉じこもりリスク」「口腔機能リスク」「認知機能リスク」が、【第六中学校圏域】は「IADL 低下」が、【(旧）南原中学校圏域】は「運動器機能リスク」「転倒リスク」「うつリスク」が他の圏域よりも高い割合となっている。
- 要介護度別では、「低栄養リスク」以外の半数以上が【要支援１・２】の割合が高くなっており、中でも「閉じこもりリスク」は差が大きくなっている。

高齢者リスク分析【性別、年齢別、圏域別、状態像別】

（%）

		n=	運動器機能リスク	転倒リスク	閉じこもりリスク	低栄養リスク	口腔機能リスク	認知機能リスク	うつリスク	IADL低下
全体		734	12.7	33.7	17.3	1.1	22.3	46.2	38.3	11.0
前回調査		867	17.2	34.5	24.5	1.5	24.1	44.9	40.9	18.0
性別	男性	368	11.1	34.5	16.8	0.8	23.1	44.8	37.2	13.6
	女性	356	14.3	32.6	18.3	1.4	21.6	47.8	39.9	8.4
年齢別	65～69歳	116	6.9	25.0	10.3	-	11.2	42.2	40.5	4.3
	70～74歳	176	6.3	29.0	12.5	1.1	22.2	40.9	37.5	6.3
	75～79歳	213	8.9	31.0	14.1	1.4	19.2	46.0	34.7	8.0
	80～84歳	117	18.8	37.6	24.8	0.9	31.6	44.4	41.9	14.5
	75歳以上	104	31.7	51.0	32.7	1.9	28.8	59.6	39.4	27.8
圏域別	第一中学校圏域	118	10.2	34.7	15.3	1.7	15.3	45.8	43.2	11.8
	第二中学校圏域	120	10.0	32.5	15.8	2.5	22.5	44.2	30.8	10.0
	第三中学校圏域	102	15.7	38.2	26.5	1.0	30.4	53.9	46.1	10.8
	第四中学校圏域	102	14.7	33.3	17.6	1.0	22.5	41.2	42.2	12.7
	(旧）第五中学校圏域	77	16.9	35.1	19.5	-	22.1	50.6	29.9	11.7
	第六中学校圏域	67	11.9	32.8	11.9	-	28.4	50.7	34.3	19.4
	第七中学校圏域	56	8.9	23.2	14.3	1.8	10.7	44.6	37.5	5.4
	(旧）南原中学校圏域	58	17.2	43.1	19.0	-	24.1	46.6	48.3	6.8
要介護度別	一般高齢者	710	12.3	32.8	16.1	1.1	21.5	45.8	38.0	10.4
	要支援１・２	12	33.3	58.3	83.3	-	66.7	66.7	75.0	41.7

【各種リスク分析の関連項目】

- 体力については、『運動器機能リスク』や『転倒リスク』、『閉じこもりリスク』などに関連する日常生活に必要な動きに関する項目は、性別では大きな差はなかった。一方、年齢別では年齢階層が高くなるにつれて割合が上昇している。中でも、「過去１年間の転倒経験」「転倒に対する不安」「週あたりの外出状況」などは顕著となっている。
- 外出状況は「転倒に対する不安」「週あたりの外出状況」「昨年と比較した外出状況」など、前回調査から減少傾向がみられる。一方、「友人の家を訪ねること」は前回調査から 5.3 ポイント増加している。外出全体は減少しているものの、転倒への不安の高まりにより外出行動が限られ、安全で安心感のある外出（友人宅訪問）へと変化していると考えられる。社会的孤立を防ぐため、交流の場の充実や外出支援が必要である。
- 外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 74.3%と最も高くなっているが、【女性】の割合は男性よりも低くなっている。また、年齢差もみられ、年齢階層が高くなるにつれて割合が低下している。
- 運動する習慣をつけるためにあると良いものについては、「自宅でできるメニュー」が 48.9%と最も高く、次いで、「友人、仲間」が 37.2%、「散歩コース・公園」が 36.2%となっている。また、今回調査では、携帯電話やスマートフォンの所持率が 86.6%と前回調査から 6.2 ポイント上昇しており、前回調査に引き続き、低い年齢階層ほど所持率が高い傾向がみられる。これらを踏まえ、自宅で取り組めるメニューの検討などオンラインを活用した取り組みを検討していく必要がある。
- 食べることについては、『口腔機能リスク』に関連する項目において、「咀嚼機能（半年前と比べた固いものの食べにくさ）」「口の渇きが気になること」の割合は２～３割台となっており、口腔機能の低下がみられる。口腔機能の低下は、食事量の減少や栄養状態の悪化を招き、フレイルの進行や要介護状態となるリスクを高めるおそれがあるため、オーラルフレイル予防の取り組みが重要となる。
- 毎日の生活については、『IADL（手段的日常生活動作）低下』などに関連する項目は年齢階層が高くなるにつれて割合が上昇しているものが多くあり、中でも、「バスや電車を使って１人で外出すること」「食品・日用品の買物をしていること」は顕著となっている。加齢に伴い IADL の低下がみられることから、高齢者が自立した生活を継続できるよう、外出支援や買い物・調理などの日常生活動作の維持・向上に向けた介護予防の取り組みを推進していくことが重要である。
- 現在の健康状態は、『よい』（「とてもよい」「まあよい」の合計）が 80.7%、『よくない』（「あまりよくない」「よくない」の合計）が 17.5%となっている。
- 現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が 54.1%と最も高く、次いで「目の病気」が 21.9%、「高脂血症（脂質異常）」が 18.8%となっているが、【男性】は女性より「高血圧」「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」などが、【女性】は男性よりも「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」などの割合が高くなっている。

- 『うつリスク』に関連する項目では、「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある」「興味がわかない、心から楽しめないと感じたりすることがある」の割合は２～３割台となっている。加齢や生活習慣に起因する健康課題に加え、うつリスクも一定程度みられることから、身体的健康の維持だけでなく、精神的健康や社会参加の維持を含めた総合的な健康づくりの取り組みを進めていくことが重要である。
- 認知症については、「認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいる」は 9.9%だが、【65～69 歳】【80～84 歳】【85 歳以上】の割合は１割台と高くなっている。また、認知症に関する相談窓口の認知度は 33.8%と前回調査から 6.8 ポイント上昇しており、改善がみられるものの、引き続き周知を図っていく必要がある。（ニーズ調査問８（１））

② 社会参加

- 地域活動等への『１年以内の参加率』は「町内会・自治会」が 38.9%と最も高く、次いで「収入のある仕事」が 27.5%、「趣味関係のグループ」が 23.7%となっている。
- 前回調査と比べると、「学習・教養サークル」以外は、今回調査の割合が高くなっており、中でも「町内会・自治会」は差が大きくなっている。
- 性別では、「町内会・自治会」「収入のある仕事」は男性の参加率が高く、男女差が 10 ポイント以上と大きくなっている。年齢別では、「町内会・自治会」「収入のある仕事」は年齢階層が高くなるにつれて参加率は低下している。

地域活動等への『１年以内の参加率』【性別、年齢別、圏域別、状態像別】　（%）

		n=	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	通いの場	老人クラブ（サロン）	町内会・自治会	収入のある仕事
全体		734	11.1	20.3	23.7	6.2	8.3	3.7	38.9	27.5
前回調査		867	8.7	17.1	20.6	7.1	7.0	2.4	27.6	24.8
性別	男性	368	13.0	18.4	24.0	5.9	4.7	3.5	52.4	33.0
	女性	356	8.4	22.1	23.6	6.8	11.8	4.3	24.8	21.9
年齢別	65～69歳	116	13.8	16.4	21.5	5.2	5.2	1.7	50.0	57.8
	70～74歳	176	14.2	22.7	24.4	3.9	9.6	2.9	45.5	37.6
	75～79歳	213	12.3	23.9	26.8	8.5	7.9	3.3	40.8	23.4
	80～84歳	117	4.4	19.8	24.8	7.7	8.6	5.2	29.1	9.4
	75歳以上	104	6.7	12.5	17.2	5.8	9.6	7.8	23.1	5.8
圏域別	第一中学校圏域	118	14.4	26.2	30.4	8.4	8.4	5.1	44.9	17.6
	第二中学校圏域	120	11.7	22.5	27.5	9.2	10.9	3.3	45.9	29.1
	第三中学校圏域	102	9.8	18.5	19.6	3.9	5.0	2.9	33.3	28.4
	第四中学校圏域	102	6.9	19.6	23.5	7.9	6.8	2.9	37.3	26.4
	（旧）第五中学校圏域	77	6.5	23.4	28.6	3.9	11.7	7.8	22.1	19.5
	第六中学校圏域	67	19.4	16.5	16.5	-	10.5	1.5	29.9	34.4
	第七中学校圏域	56	7.2	10.8	16.1	1.8	3.6	-	30.4	23.2
	（旧）南原中学校圏域	58	6.8	15.5	15.4	8.6	8.5	3.4	49.9	37.8
要介護度別	一般高齢者	710	11.1	20.3	24.2	6.3	8.0	3.5	39.6	28.0
	要支援１・２	12	8.3	8.3	-	-	25.0	8.3	8.3	8.3

③　いきがい

- やってみたい仕事や地域活動は、「農作業」「調理」が１割台と高くなっているが、【男性】は女性よりも「農作業」「技術指導」などが、【女性】は男性よりも「調理」「保育」などが高い割合となり、男女差がみられる。

④　支え合い・助け合い

- 普段の生活で必要な支援は、「何でも話せる相手、相談相手」「通える交流の場」「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）」が約１割と高くなっている。また、「特にない」という割合が全体では 60.6%となっており、年齢階層が高くなるにつれて割合は低下している。一方、「室内・外の掃除」や「買物」などの割合はやや上昇している。（ニーズ調査問４（１５））
- 冬の除雪については、「自分または家族」が行う割合が 93.1%と最も高くなっているが、年齢階層が高くなるにつれて割合は低下し、「事業者へ依頼している」「知り合いや近所の人に頼んでいる」「親戚に頼んでいる」割合が高くなる傾向がみられる。（ニーズ調査問４（１６））
- 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人は「配偶者」が 55.3%と最も高く、次いで「友人」が 36.2%、「別居の子ども」が 32.6%となっている。【男性】は「配偶者」の割合が特に高く、【女性】は「配偶者」以外は男性よりも高い割合となっている。（ニーズ調査問６（１））
- 看病や世話をしてくれる人、してあげる人も「配偶者」が 60.5%と最も高く、次いで「同居の子ども」が 32.0%「別居の子ども」が 26.6%となっている。（ニーズ調査問６（３））
- 隣近所の人に手助けをしてあげられることは、全体では、「話し相手」が 47.3%と最も高く、次いで「おすそ分け」「見守り」「災害時の手助け・声掛け」となっているが、男女差が大きく、【男性】は女性よりも「災害時の手助け・声掛け」「雪かき」が、【女性】は男性よりも「話し相手」「おすそ分け」の割合が特に高くなっている。年齢別では、大きな差はみられず概ね同じ傾向となっている。（ニーズ調査問６（５））
- 成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度は 46.0%と前回調査と概ね同じ傾向となっている。性別では、【女性】は男性よりも認知度が低く、年齢別では【85 歳以上】の認知度が低くなっている。（ニーズ調査問８（６））
- 預貯金の出し入れは年齢階層が高くなるにつれて「できない」割合が上昇しており、高齢になるほど成年後見制度の必要性も高まるため、さらに周知を図っていく必要がある。
（ニーズ調査問４（８））

⑤　住まい

- 住居形態は、「持家（一戸建て）」が 92.5%と多数を占めており、前回調査と大きな差はみられない。今後も高齢化の進行に伴い、買物や移動などの生活支援の必要性が高まることが想定されることから、引き続き住環境の整備や生活支援体制の充実を図っていく必要がある。
（ニーズ調査問１（５））

（２）在宅介護実態調査

①　主な介護者について

- 主な介護者は「子」が 52.6%と最も高く、次いで「配偶者」「子の配偶者」となっている。主な介護者の性別では女性が 74.2%と多数を占め、主な介護者の年齢は「60 代」が 34.0%と最も高く、次いで「70 代」が 18.6%、「50 代」が 17.5%と１割台となっている。家族や親族からの介護は「ほぼ毎日ある」が 65.3%となっているが、要支援１・２は約３割、要介護１・２及び要介護３以上は７割台となっている。
- 主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の 80.4%をはじめとする生活援助の割合が高くなっている。（Ａ票問６）
- 一方、主な介護者の方が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が 31.4%と最も高く、次いで「夜間の排泄」「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」などが２割台となり、身体介護が上位を占めている。
- また、【施設へ入所・入居を検討している方】は「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は「認知症状への対応」に不安を感じている割合がいずれも約５割と特に高くなっており、日常生活動作の支援体制の充実や認知症への対応力の強化に取り組む必要がある。
- なお、【単身世帯】では「入浴・洗身」「認知症状への対応」が４割と、不安に感じている介護等が多く、【夫婦のみ世帯】では「夜間の排泄」「外出の付き添い、送迎等」といった生活援助が多く、世帯状況による違いもみられるため、生活状況に応じた支援・サービスにつなげていくことが在宅生活の継続には重要であると考えられる。（Ｂ票問５）

行っている介護等及び不安に感じる介護等

（%）

		行っている介護等	不安に感じる介護等
身体介護	日中の排泄	21.6	21.2
	夜間の排泄	14.4	23.7
	食事の介助（食べる時）	8.2	5.9
	入浴・洗身	19.6	22.9
	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	21.6	7.6
	衣服の着脱	30.9	12.7
	屋内の移乗・移動	18.6	20.3
	外出の付き添い、送迎等	60.8	22.0
	服薬	55.7	11.9
	認知症状への対応	20.6	31.4
	医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）	4.1	5.9
生活援助	食事の準備（調理等）	79.4	21.2
	その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）	80.4	16.9
	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	56.7	10.2

※「その他」「わからない」等を除く

② 利用しているサービス・支援、必要なサービス・支援等について

- 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用は少なく、最も利用率が高い「配食」でも 5.1%となっている。（A票問８）
- 一方、必要と感じる支援・サービスは「配食」「外出同行（通院、買い物など)」「移送サービス（介護・福祉タクシー等)」「見守り、声かけ」が１割台となり、潜在的なニーズがある状況がうかがえる。
- また、【単身世帯】では「配食」「見守り・声かけ」、【夫婦のみ世帯】では「移送サービス（介護・福祉タクシー等)」を必要と感じている割合が２割台と高くなっている。（A票問９）

利用している支援・サービス及び必要と感じる支援・サービス

（%）

	利用している支援・サービス	必要と感じる支援・サービス
配食	5.1	13.6
調理	0.8	9.3
掃除・洗濯	0.8	5.9
ゴミ出し	2.5	4.2
買い物（宅配は含まない）	0.8	5.9
外出同行（通院、買い物など）	0.8	16.9
移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）	3.4	16.1
見守り、声かけ	4.2	11.0
サロンなどの定期的な通いの場	3.4	7.6

- 外出についての本人の希望は全体では 50.8%と過半数を占めており、【要支援１・２】【要介護３以上】においては約６割と特に高い割合となっている。（A票問 16）
- 外出を可能にするための条件は、全体では「移送手段がある」ことが 47.5%と最も高く、次いで「見守りがある」が 32.2%、「外出したい気持ちがある」が 26.3%となっている。世帯別では、【単身世帯】は「外出したい気持ちがある」、【夫婦のみ世帯】は「移動手段がある」が５割台と特に高くなっている。（A票問 17）
- 隣近所の方に頼みたい生活の手伝いは、全体では、「災害時の手助け・声掛け」「話し相手」が約３割と高くなっている。世帯別では、【単身世帯】で希望する割合が全体的に高くなっており、生活支援コーディネーターによる住民同士の助け合いの仕組みづくり活動なども重要性が増している。また、【単身世帯】では「話し相手」、【夫婦のみ世帯】では「災害時の手助け・声掛け」がそれぞれ高く、特に後者については防災分野と連携した災害時支援体制の充実が重要となっている。（A票問 20）

③　施設等への入所・入居について

- 施設等への入所・入居の検討状況は、全体では、「入所・入居は検討していない」が 80.5%と多数を占めており、要介護度が重くなるにつれて割合が低下している。（A票問 10）
- 施設入所検討状況別に現在抱えている傷病をみると、【入所・入居を検討している方】は「心疾患（心臓病）」「認知症」、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高くなっている。（A票問 11）
- また、【訪問診療を利用している方】も利用していない方よりも「すでに入所・入居申し込みをしている」割合が高くなっている。（A票問 12）
- 主な介護者が不安に感じている介護等において、認知症は心疾患と同程度にみられ、施設入所との関連がうかがえることから、在宅介護の継続において課題の一つとなっている。

④　訪問診療の利用について

- 訪問診療の利用状況は、全体では、「利用している」が 11.9%、「利用していない」が 87.3%と多数を占めているが、【要介護３以上】は「利用している」が 42.9%と高くなっている。また、件数は少ないものの【すでに入所・入居申し込みをしている方】も「利用している」が 50.0%と半数を占めている。これらは、在宅医療の必要性も在宅生活の継続に影響を及ぼす重要な要素の一つになっていると考えられるため、在宅介護・医療の充実が重要となっている。（A票問 12）

⑤　介護保険サービスの利用について

- 介護保険サービスを「利用している」割合は、【要支援１・２】は 25.0%、【要介護１・２】は 67.2%、【要介護３以上】は 92.9%となり、要介護度が重くなるにつれて利用率が上昇している。（A票問 13）
- 介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 47.9%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 20.8%、「家族が介護をするため必要ない」が 14.6%となっている。【要支援１・２】及び【要介護１・２】は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が約５割と高くなっている。（A票問 14）

⑥　本人のやりたいこと

- 本人のやりたいことは、全体では「テレビ等の鑑賞」「友人との交流」、「お出かけ」が約２割と高くなっている。世帯別では、【単身世帯】の割合が全体的に高くなっている。こうした状況から、単身世帯では孤立感を抱えている方も一定程度いると考えられるため、交流の場の充実が求められる。（A票問 18）

⑦　仕事と介護の両立について

- 主な介護者の方の現在の勤務形態は全体では、「フルタイムで働いている」が 37.3%、「パートタイムで働いている」が 17.8%となり、合計すると『働いている』割合は 55.1%となっている。（Ｂ票問１）
- 働き方の調整等は、全体では「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」が 30.8%と最も高くなっている。（Ｂ票問２）
- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が２割台と高くなっている。（Ｂ票問３）
- 今後も働きながら介護を続けていけるかは、全体では『続けていける』（「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の合計）は 73.9%となっている。『続けていくのは難しい』（「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」の合計）は 3.1%となっている。また、【パートタイムで働いている方】は件数は少ないものの、フルタイムよりも「問題はあるが、何とか続けていける」割合がやや高くなっている。これは、【フルタイムで働いている方】は要支援１・２の介護者が多いことが影響していると考えられる。前回調査に引き続き、今後、要介護度が重くなった場合は仕事と介護の両立が難しくなることが考えられる。（Ｂ票問４）

3　圏域別にみる特徴

※以下に記載する「全体値」とは、全体集計の数値
※統計データは令和８年２月１日現在

（１）第一中学校圏域

概要	市の中心部からやや外れるものの、米沢駅や市立病院があり、交通の便は悪くない圏域		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	11,495 人（３位）	4,009 人（３位）	34.9%（３位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について
●『低栄養リスク』は 1.7%、『うつリスク』は 43.2%、『IADL 低下』は 11.8%と圏域別では３番目に高くなっている。その他に全体値よりも高い項目は『転倒リスク』、低い項目は『運動器機能リスク』『閉じこもりリスク』『口腔機能リスク』『認知機能リスク』となっている。 ● 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 29.7%と圏域の中で３番目に高くなっている。
移動手段
●「自動車（自分で運転）」が 73.7%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「徒歩」が 50.8%で圏域別では最も高くなっている。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの
●「自宅でできるメニュー」が 47.5%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「友人、仲間」は圏域別でも２番目、「散歩コース・公園」は圏域別でも３番目に高くいずれも 39.8%となっている。
普段の生活で必要な支援
●「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）」が 14.4%と最も高く圏域別でも最も高くなっている。次いで「何でも話せる相手、相談相手」「室内・外の掃除」ともに 7.6%で全体値を下回っている。
地域の活動等への参加状況
●地域の活動等への『１年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が 44.9%と最も高く、全体値を上回っている。その他に全体値より高い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」「老人クラブ（サロン）」、低い項目「収入のある仕事」となっている。
やってみたい仕事や地域活動
●「農作業」が 12.7%と最も高く、次いで「調理」が 11.0%となり、いずれも全体値を下回っている。
隣近所の人に手助けをしてあげられること
●「話し相手」が 50.0%と最も高く全体値を上回り、次いで「おすそ分け」が 33.9%で圏域別では３番目に高くなっている。
認知症に関する相談窓口の認知度
●認知度は 34.7%で圏域別では３番目に高くなっている。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度
●認知度は 47.5%で全体値を上回っている。

（２）第二中学校圏域

概要	市の中心部に近い地域と山間部があり、圏域内でも人口や交通等の格差がみられる圏域		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	13,571 人（１位）	4,171 人（１位）	30.7%（８位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について
●『低栄養リスク』は 2.5%と圏域別では最も高くなっている。その他に全体値よりも高い項目は『口腔機能リスク』、低い項目は『運動器機能リスク』『転倒リスク』『閉じこもりリスク』『認知機能リスク』『うつリスク』『IADL 低下』となっている。 ● 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 24.1%と全体値を下回っている。
移動手段
●「自動車（自分で運転)」が 69.2%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「徒歩」が 47.5%で圏域別では２番目に高くなっている。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの
●「自宅でできるメニュー」が 52.5%と最も高く、次いで「友人、仲間」が 39.2%となり、いずれも圏域別では３番目に高くなっている。
普段の生活で必要な支援
●「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等)」が 13.3%と最も高く、次いで「外出時の移送支援」が 12.5%となり、いずれも圏域別では２番目に高くなっている。
地域の活動等への参加状況
●地域の活動等への『１年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が 45.9%と最も高く、圏域別では２番目に高くなっている。その他に全体値より高い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」「収入のある仕事」、低い項目は「老人クラブ（サロン)」となっている。
やってみたい仕事や地域活動
●「調理」が 14.2%と最も高く圏域別でも最も高く、次いで「農作業」が 10.8%で全体値を下回っている。
隣近所の人に手助けをしてあげられること
●「話し相手」が 45.0%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「おすそ分け」が 31.7%で全体値を上回っている。
認知症に関する相談窓口の認知度
●認知度は 39.2%で圏域別では最も高くなっている。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度
●認知度は 57.5%で圏域別では最も高くなっている。

（３）第三中学校圏域

概要	市の中心部に近い地域と山間部があり、圏域内でも人口や交通等の格差がみられる圏域		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	10,155 人（４位）	3,518 人（４位）	34.6%（５位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について
●『閉じこもりリスク』は 26.5%、『口腔機能リスク』は 30.4%、『認知機能リスク』は 53.9%と圏域別では最も高く、『転倒リスク』は 38.2%、『うつリスク』は 46.1%で２番目に高く、『運動器機能リスク』は 15.7%で３番目に高くなっている。その他に全体値よりも低い項目は『低栄養リスク』『IADL 低下』となっている。 ● 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 38.2%と圏域の中で最も高くなっている。
移動手段
●「自動車（自分で運転）」が 66.7%と最も高いものの圏域別では最も低く、次いで「徒歩」が 37.3%で全体値を下回っている。また、「自動車（人に乗せてもらう）」が 33.3%と圏域別では最も高くなっている。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの
●「自宅でできるメニュー」が 50.0%と最も高く全体値を上回り、次いで「散歩コース・公園」が 40.2%で圏域別では２番目に高くなっている。
普段の生活で必要な支援
●「何でも話せる相手、相談相手」が 18.6%と最も高く圏域別では２番目に高くなっている。次いで「通える交流の場」が 13.7%で圏域別では最も高くなっている。
地域の活動等への参加状況
●地域の活動等への『１年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が 33.3%と最も高いものの全体値を下回っている。その他に全体値より高い項目は「収入のある仕事」、低い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「学習・教養サークル」「通いの場」「老人クラブ（サロン）」となっている。
やってみたい仕事や地域活動
●「農作業」が 23.5%と最も高く圏域別では３番目に高く、次いで「調理」が 12.7%で全体値を上回っている。
隣近所の人に手助けをしてあげられること
●「話し相手」が 44.1%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「おすそ分け」が 31.4%で全体値を上回っている。
認知症に関する相談窓口の認知度
●認知度は 33.3%で全体値を下回っている。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度
●認知度は 45.1%で全体値を下回っている。

（４）第四中学校圏域

概要	市の中心部で市役所があり、交通量も多い圏域		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	13,260 人（２位）	4,100 人（２位）	30.9%（７位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について
●『認知機能リスク』は 41.2%と圏域別では最も低いものの、『IADL 低下』は 12.7%で２番目に高くなっている。その他に全体値よりも高い項目は『運動器機能リスク』『閉じこもりリスク』『口腔機能リスク』『うつリスク』、低い項目は『転倒リスク』『低栄養リスク』となっている。 ● 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 32.3%と圏域の中で２番目に高くなっている。
移動手段
●「自動車（自分で運転）」が 70.6%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「徒歩」が 40.2%で圏域別では３番目に高くなっている。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの
●「自宅でできるメニュー」が 47.1%と最も高く全体値を上回り、次いで「散歩コース・公園」が 45.1%で圏域別では最も高くなっている。
普段の生活で必要な支援
●「外出時の移送支援」が 12.7%と最も高く圏域別でも最も高くなっている。次いで「何でも話せる相手、相談相手」「通える交流の場」「往診・健康管理」ともに 9.8%となっている。また、「往診・健康管理」は圏域別でも最も高くなっている。
地域の活動等への参加状況
●地域の活動等への『１年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が 37.3%と最も高いものの全体値を下回っている。その他に全体値より高い項目は「趣味関係のグループ」、低い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「学習・教養サークル」「通いの場」「老人クラブ（サロン）」「収入のある仕事」となっている。
やってみたい仕事や地域活動
●「農作業」「調理」ともに 13.7%と最も高く、「調理」は圏域別では３番目に高くなっている。次いで「事務」は圏域別では３番目、「技術指導」は２番目に高く、いずれも 3.9%となっている。
隣近所の人に手助けをしてあげられること
●「話し相手」が 41.2%と最も高く、次いで「おすそ分け」が 25.5%となり、いずれも全体値を下回っている。
認知症に関する相談窓口の認知度
●認知度は 29.4%で全体値を下回っている。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度
●認知度は 33.3%で全体値を下回っている。

（５）（旧）第五中学校圏域

概要	広範囲に広がっており、山間部も多く含まれる圏域		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	8,250 人（５位）	2,876 人（５位）	34.9%（３位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について
●『低栄養リスク』は 0.0%、『うつリスク』は 29.9%と圏域別では最も低いものの、『運動器機能リスク』は 16.9%、『閉じこもりリスク』は 19.5%で２番目に高く、『転倒リスク』は 35.1%、『認知機能リスク』は 50.6%で３番目に高くなっている。その他に全体値よりも高い項目は『IADL 低下』、低い項目は『口腔機能リスク』となっている。 ● 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 27.3%と全体値を下回っている。
移動手段
●「自動車（自分で運転）」が 75.3%と最も高く全体値を上回り、次いで「徒歩」が 27.3%で全体値を下回っている。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの
●「自宅でできるメニュー」が 48.1%と最も高く、次いで「友人、仲間」が 36.4%となり、いずれも全体値を下回っている。
普段の生活で必要な支援
●「何でも話せる相手、相談相手」が 19.5%と最も高く圏域別でも最も高くなっている。次いで「通える交流の場」が 11.7%で圏域別では２番目に高くなっている。
地域の活動等への参加状況
●地域の活動等への『１年以内の参加率』は、「趣味関係のグループ」が 28.6%と最も高く、圏域別では２番目に高くなっている。その他に全体値より高い項目は「スポーツ関係のグループやクラブ」「通いの場」「老人クラブ（サロン）」、低い項目は「ボランティアのグループ」「学習・教養サークル」「町内会・自治会」「収入のある仕事」となっている。
やってみたい仕事や地域活動
●「農作業」が 13.0%と最も高く、次いで「調理」が 10.4%となり、いずれも全体値を下回っている。
隣近所の人に手助けをしてあげられること
●「話し相手」が 45.5%と最も高く、次いで「おすそ分け」が 28.6%となり、いずれも全体値を下回っている。
認知症に関する相談窓口の認知度
●認知度は 33.8%で全体値と同率となっている。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度
●認知度は 36.4%で全体値を下回っている。

（６）第六中学校圏域

概要	市北部に位置し、市の中心地に近い地域と隣町の川西町に近い地域に分かれる圏域		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	5,109 人（７位）	1,926 人（７位）	37.7%（２位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について
●『閉じこもりリスク』は 11.9%、『低栄養リスク』は 0.0%と圏域別では最も最も低いものの、『IADL 低下』は 19.4%と最も高く、『口腔機能リスク』は 28.4%、『認知機能リスク』は 50.7%と２番目に高くなっている。その他に全体値よりも低い項目は『運動器機能リスク』『転倒リスク』『うつリスク』となっている。 ● 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 23.9%と全体値を下回っている。
移動手段
●「自動車（自分で運転）」が 80.6%と最も高く圏域別では２番目に高く、次いで「徒歩」が 29.9%で全体値を下回っている。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの
●「自宅でできるメニュー」が 41.8%と最も高く、次いで「友人、仲間」「散歩コース・公園」ともに 31.3%となり、いずれも全体値を下回っている。
普段の生活で必要な支援
●「何でも話せる相手、相談相手」が 11.9%と最も高く、次いで「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）」が 10.4%となり、いずれも圏域別では３番目に高くなっている。
地域の活動等への参加状況
●地域の活動等への『１年以内の参加率』は、「収入のある仕事」が 34.4%と最も高く、圏域別では２番目に高くなっている。その他に全体値より高い項目は「ボランティアのグループ」「通いの場」、低い項目は「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」「老人クラブ（サロン）」「町内会・自治会」となっている。
やってみたい仕事や地域活動
●「農作業」が 26.9%と最も高く圏域別でも最も高く、次いで「調理」が 11.9%で全体値と同率となっている。
隣近所の人に手助けをしてあげられること
●「話し相手」が 56.7%と最も高く圏域別では２番目に高く、次いで「おすそ分け」が 37.3%で圏域別では最も高くなっている。
認知症に関する相談窓口の認知度
●認知度は 37.3%で圏域別では２番目に高くなっている。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度
●認知度は 52.2%で圏域別では２番目に高くなっている。

（７）第七中学校圏域

概要	市の北東に位置し、米沢オフィス・アルカディアや米沢八幡原中核工業団地などの工業団地がある圏域で市の中心地から外れるものの、東北中央自動車道のＩＣが２か所整備され県内外からのアクセスが増加している		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	8,018 人（６位）	2,670 人（６位）	33.3%（６位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について
●『運動器機能リスク』は 8.9%、『転倒リスク』は 23.2%、『口腔機能リスク』は 10.7%、『IADL 低下』は 5.4%と圏域別では最も低いものの、『低栄養リスク』は 1.8%で２番目に高くなっている。その他に全体値よりも低い項目は『閉じこもりリスク』『認知機能リスク』『うつリスク』となっている。 ● 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 16.1%と圏域の中で最も低くなっている。
移動手段
●「自動車（自分で運転)」が 85.7%と最も高く圏域別でも最も高く、次いで「自動車（人に乗せてもらう)」が 25.0%で全体値を下回っている。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの
●「自宅でできるメニュー」が 57.1%と最も高く圏域別でも最も高くなっている。次いで「友人、仲間」「参加自由のグループ」ともに 30.4%で全体値を下回っている。
普段の生活で必要な支援
●「通える交流の場」と最も高く圏域別では３番目に高くなっている。次いで「何でも話せる相手、相談相手」が 8.9%で全体値を下回っている。
地域の活動等への参加状況
●地域の活動等への『１年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が 30.4%と最も高いものの全体値を下回っている。その他に全体値より低い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」「老人クラブ（サロン)」「収入のある仕事」となっている。
やってみたい仕事や地域活動
●「農作業」が 26.8%と最も高く、次いで「品出し等」が 7.1%となり、いずれも圏域別では２番目に高くなっている。
隣近所の人に手助けをしてあげられること
●「話し相手」が 51.8%と最も高く圏域別では３番目に高く、次いで「おすそ分け」が 30.4%で全体値を下回っている。
認知症に関する相談窓口の認知度
●認知度は 21.4%で圏域別では最も低くなっている。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度
●認知度は 32.1%で圏域別では最も低くなっている。

（８）（旧）南原中学校圏域

概要	山間部が多く含まれる圏域で交通の便が悪く、人口が減少している		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	3,399 人（８位）	1,527 人（８位）	44.9%（１位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について
●『低栄養リスク』は 0.0%と圏域別では最も低いものの、『運動器機能リスク』は 17.2%、『転倒リスク』は 43.1%、『うつリスク』は 48.3%と最も高く、『閉じこもりリスク』は 19.0%、『口腔機能リスク』も 24.1%で３番目に高くなっている。その他に全体値よりも高い項目は『認知機能リスク』、低い項目は『IADL 低下』となっている。 ● 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 27.6%と全体値を下回っている。
移動手段
●「自動車（自分で運転）」が 75.9%と最も高く圏域別では３番目に高く、次いで「徒歩」が 25.9%で全体値を下回っている。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの
●「自宅でできるメニュー」が 53.4%と最も高く圏域別では２番目に高く、次いで「友人、仲間」が 34.5%で全体値を下回っている。
普段の生活で必要な支援
●「外出時の移送支援」が 10.3%と最も高く圏域別では３番目に高くなっている。次いで「定期的な安否確認の声かけ」「往診・健康管理」は圏域別では２番目、「ゴミ出し」では最も高く、いずれも 8.6%となっている。
地域の活動等への参加状況
●地域の活動等への『１年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が 49.9%と最も高く、圏域別でも最も高くなっている。その他に全体値より高い項目は「趣味関係のグループ」「通いの場」「収入のある仕事」、低い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「学習・教養サークル」「老人クラブ（サロン）」となっている。
やってみたい仕事や地域活動
●「農作業」が 17.2%と最も高く全体値を上回り、次いで「調理」が 13.8%で圏域別では２番目に高くなっている。
隣近所の人に手助けをしてあげられること
●「話し相手」が 56.9%と最も高く圏域別でも最も高く、次いで「おすそ分け」が 36.2%で圏域別では２番目に高くなっている。
認知症に関する相談窓口の認知度
●認知度は 32.8%で全体値を下回っている。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度
●認知度は 51.7%で圏域別では３番目に高くなっている。

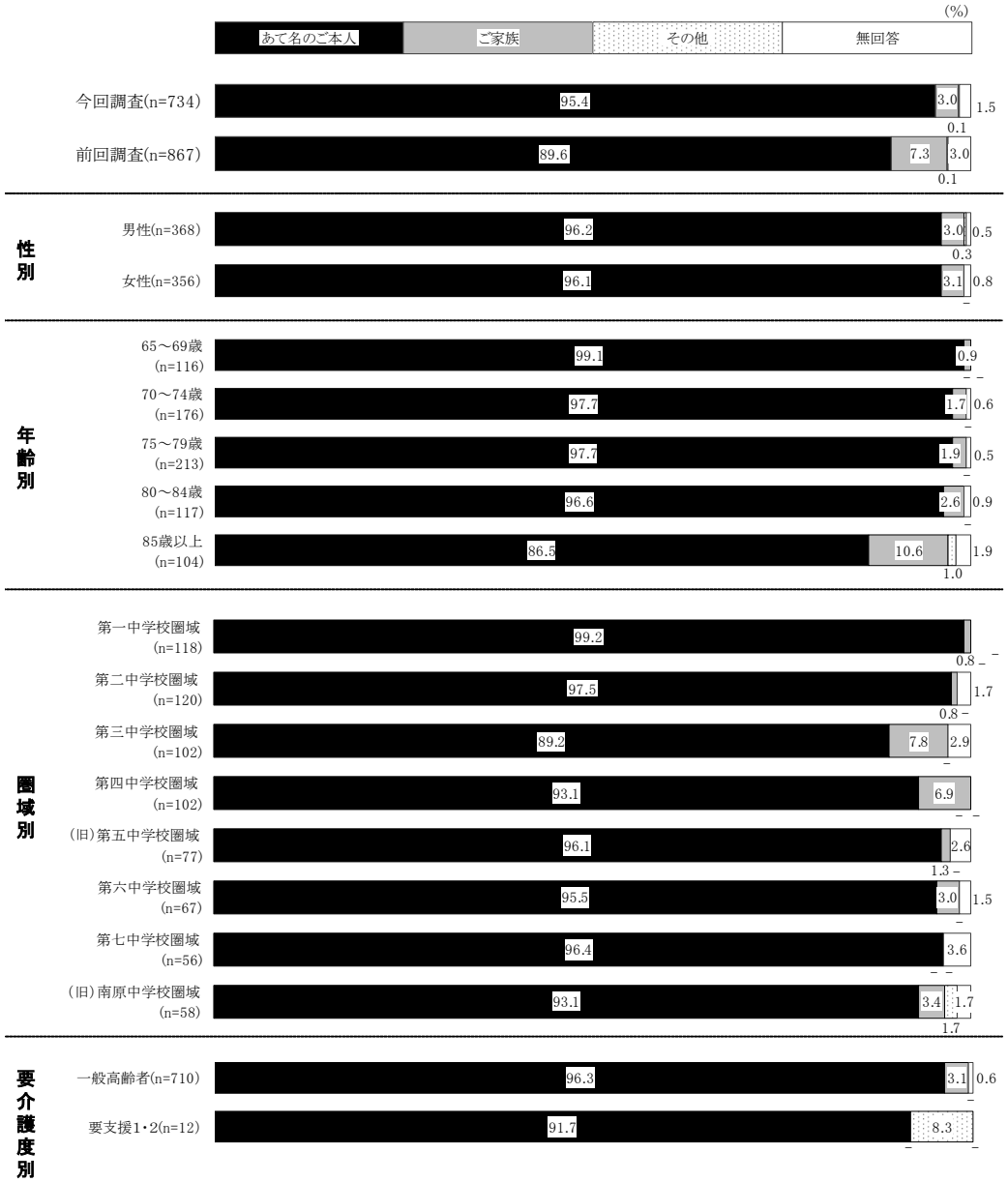
第２章　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の分析

調査票の記入者やあて名のご本人の情報について

（１）調査票の記入者

（１）この調査票を記入されるのはどなたですか。（○は１つ）

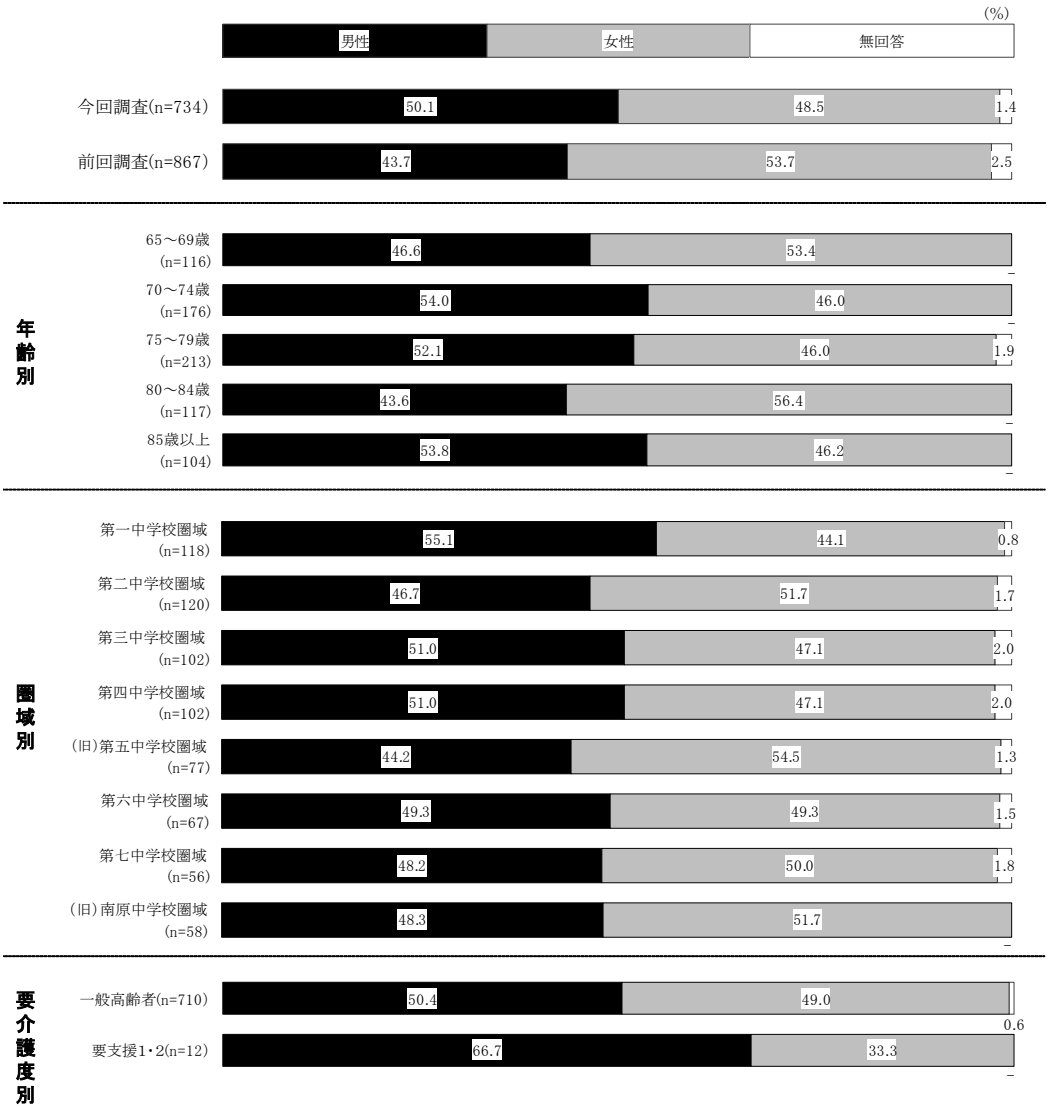
▶調査票の記入者は、「あて名のご本人」が 95.4%と最も高く、次いで、「ご家族」が 3.0%、「その他」が 0.1%となっている。
▶前回調査と比べると、「あて名のご本人」の割合が 5.8 ポイント上昇している。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて、「ご家族」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第一中学校圏域』は「あて名のご本人」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「あて名のご本人」の割合が高くなっている。



（２）性別

（２）あなた（あて名のご本人）の性別はどちらですか。（○は１つ）

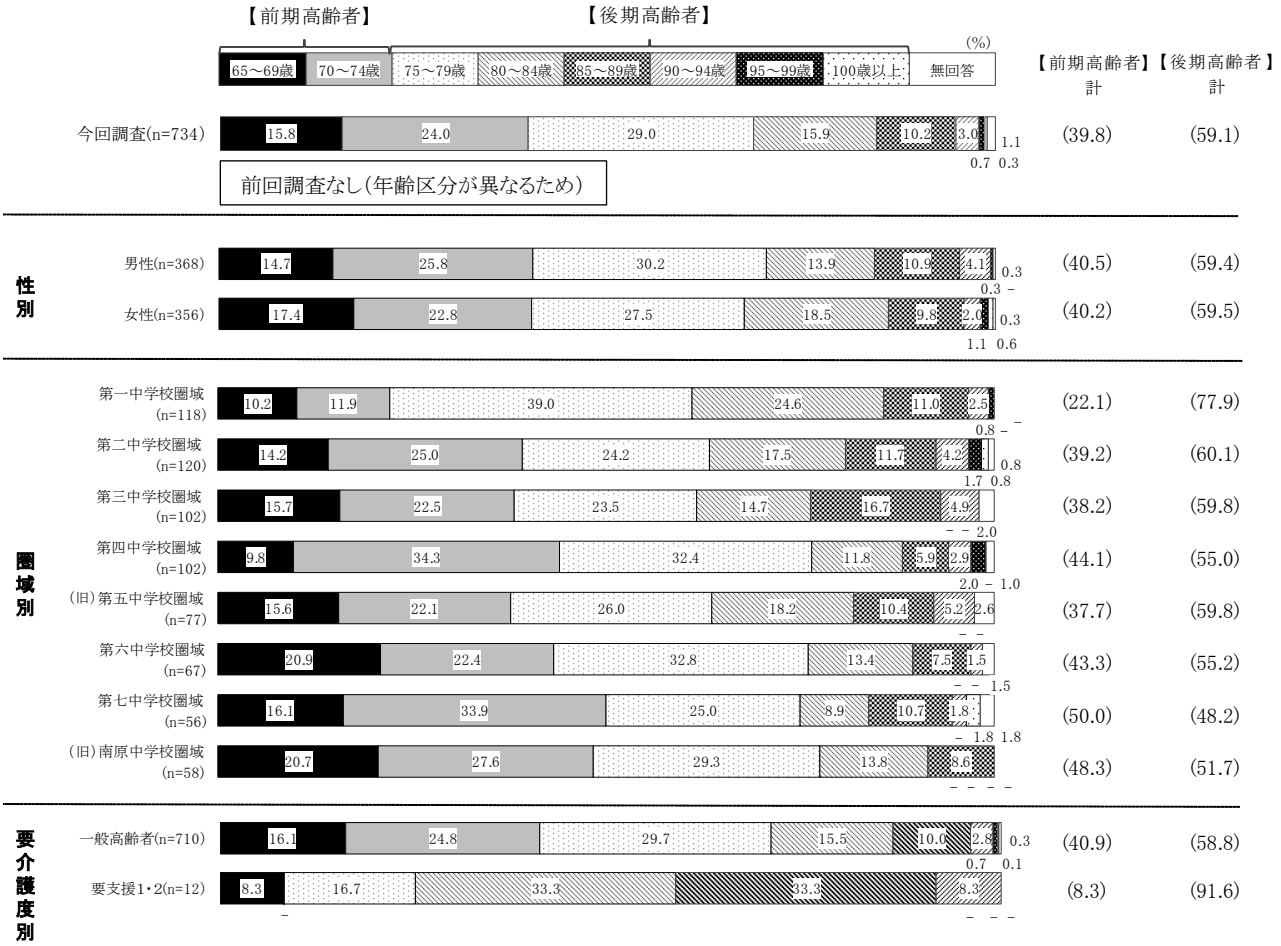
▶性別は、「男性」が 50.1%、「女性」が 48.5%となっている。
▶前回調査と比べると、「男性」の割合が前回から 6.4 ポイント上昇し、「女性」が 5.2 ポイント低下している。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「女性」の割合が 56.4%と最も高くなっている。
▶圏域別でみると、『第一中学校圏域』は「男性」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「男性」の割合が高くなっている。



（３）年齢

（３）あなた（あて名のご本人）の年齢（満年齢）は次のどれにあたりますか。（○は１つ）

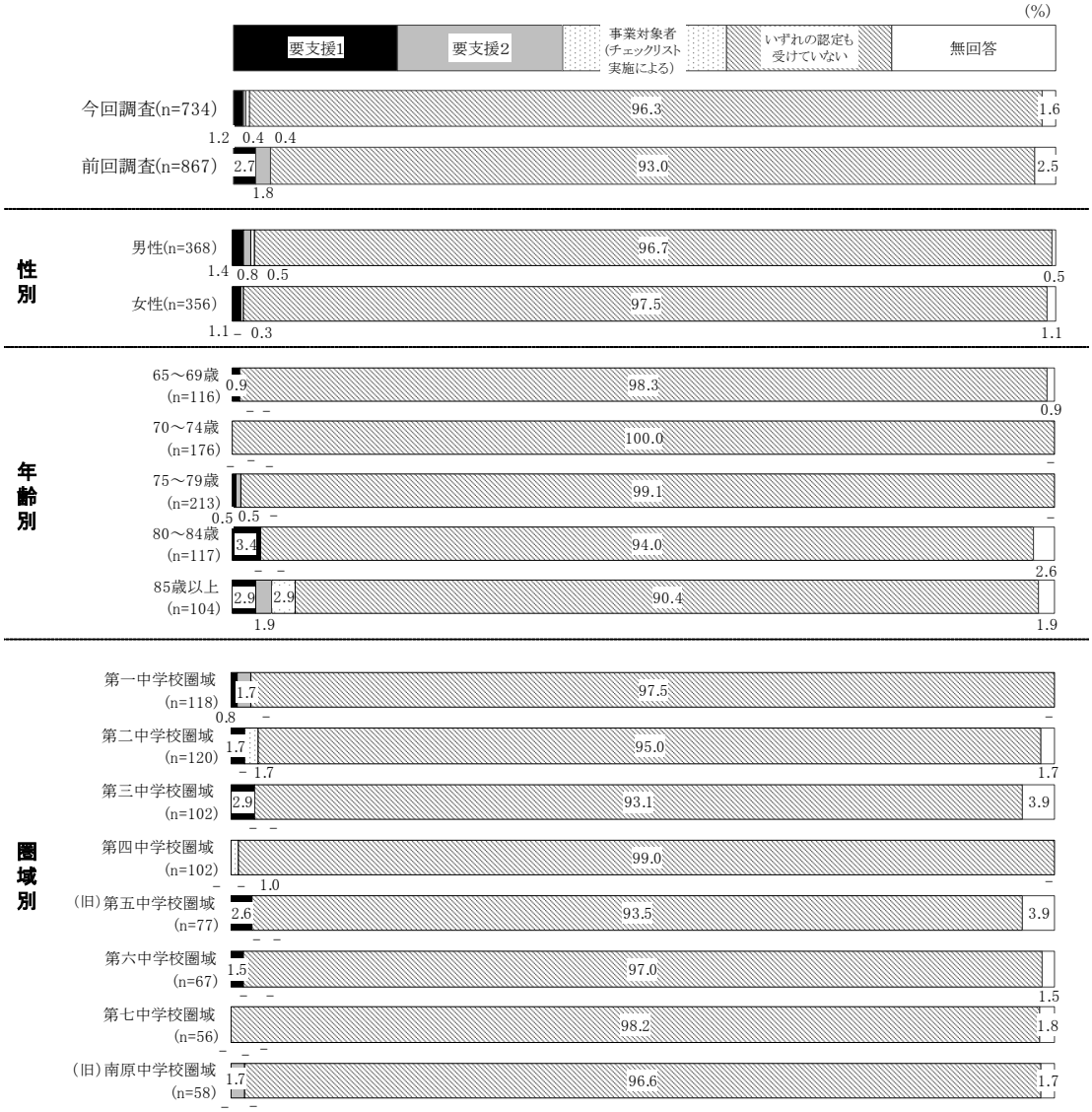
▶年齢は、「75～79 歳」が 29.0%と最も高く、次いで、「70～74 歳」が 24.0%、「80～84 歳」が 15.9%となっている。また、【前期高齢者】（65～69 歳＋70～74 歳）は 39.8%、【後期高齢者】（75～79 歳＋80～84 歳＋85～89 歳＋90～94 歳＋95～99 歳＋100 歳以上）は 59.1%となっている。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶圏域別でみると、『第一中学校圏域』は【後期高齢者】の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【前期高齢者】の割合が高くなっている。



（４）要介護度

（４）あなた（あて名のご本人）の要介護度は次のどれにあてはまりますか。（○は１つ）

▶要介護度は、「いずれの認定も受けていない」が 96.3%と最も高く、次いで、「要支援１」が 1.2%、「要支援２」「事業対象者」ともに 0.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』『85 歳以上』は「要支援１」「要支援２」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、概ね同じ傾向となっている。

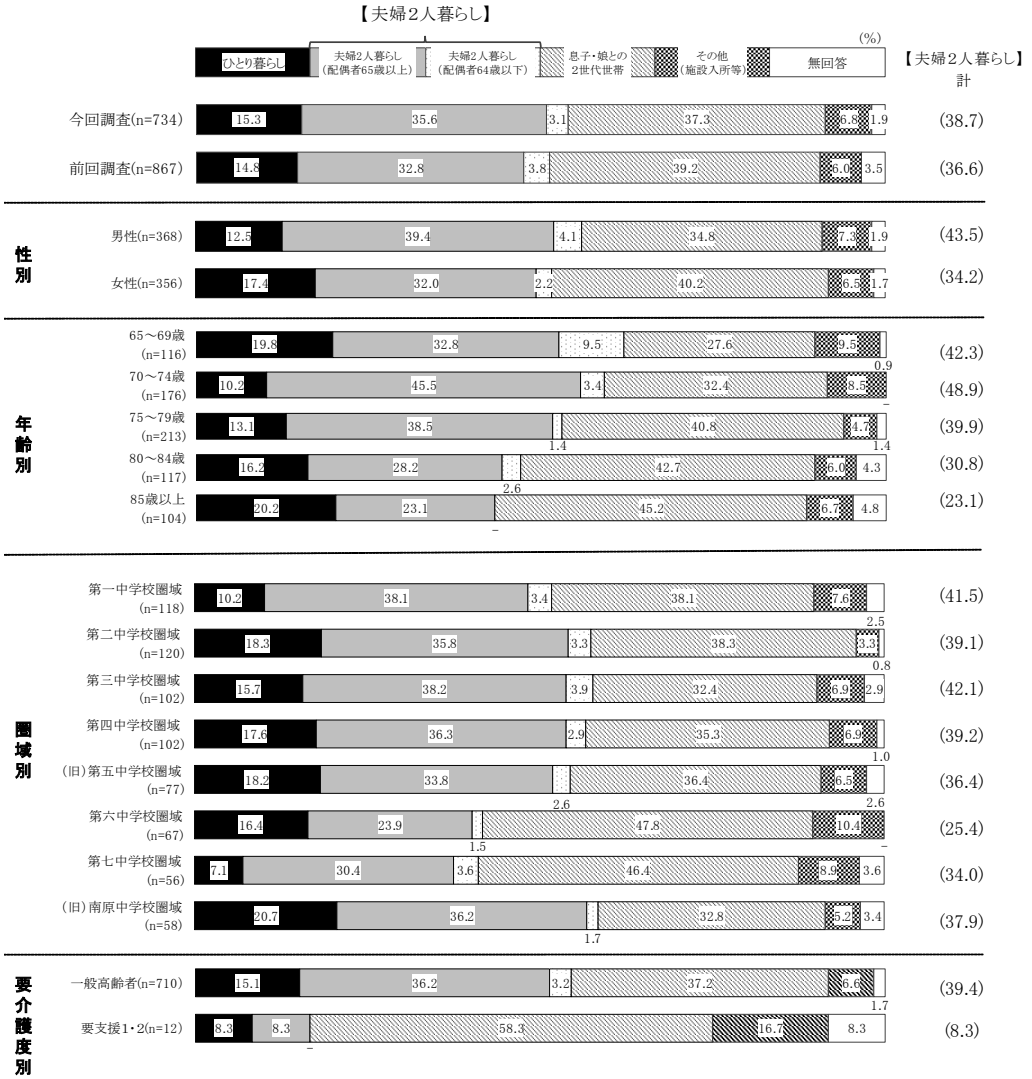


１　あなたのご家族や生活状況等について

（１）家族構成

問１（１）家族構成を教えてください。（○は１つ）

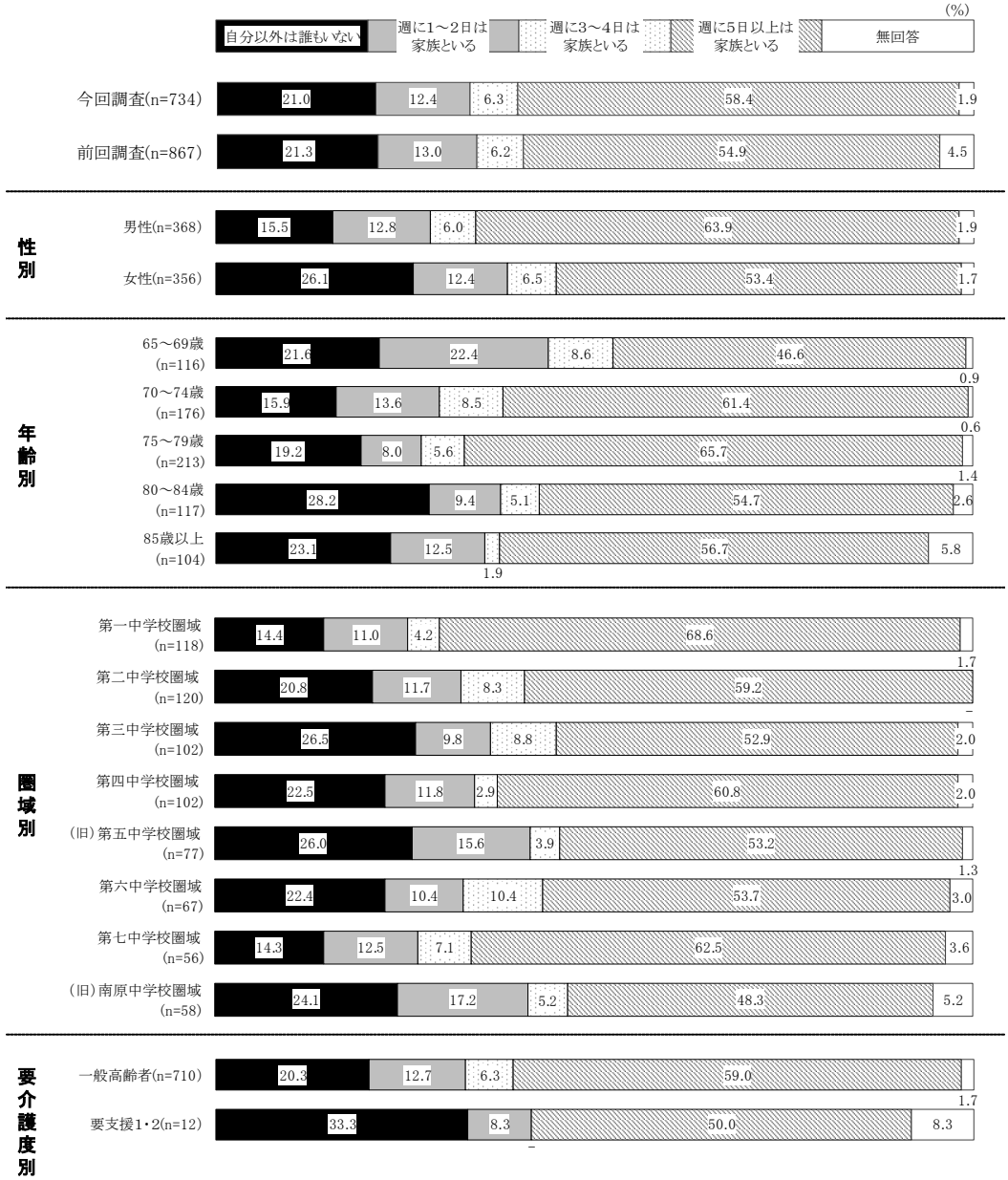
▶家族構成は、「息子・娘との２世代世帯」が 37.3%と最も高く、次いで、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が35.6%、「ひとり暮らし」が15.3%となっている。また、【夫婦２人暮らし】（夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）＋夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下））は 38.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも【夫婦２人暮らし】の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『65～69 歳』『85 歳以上』は「ひとり暮らし」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「ひとり暮らし」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【夫婦２人暮らし】の割合が高くなっている。



（２）日中（昼間）家族の状況

問１（２）日中（昼間）のご家族の状況はどうなっていますか。（○は１つ）

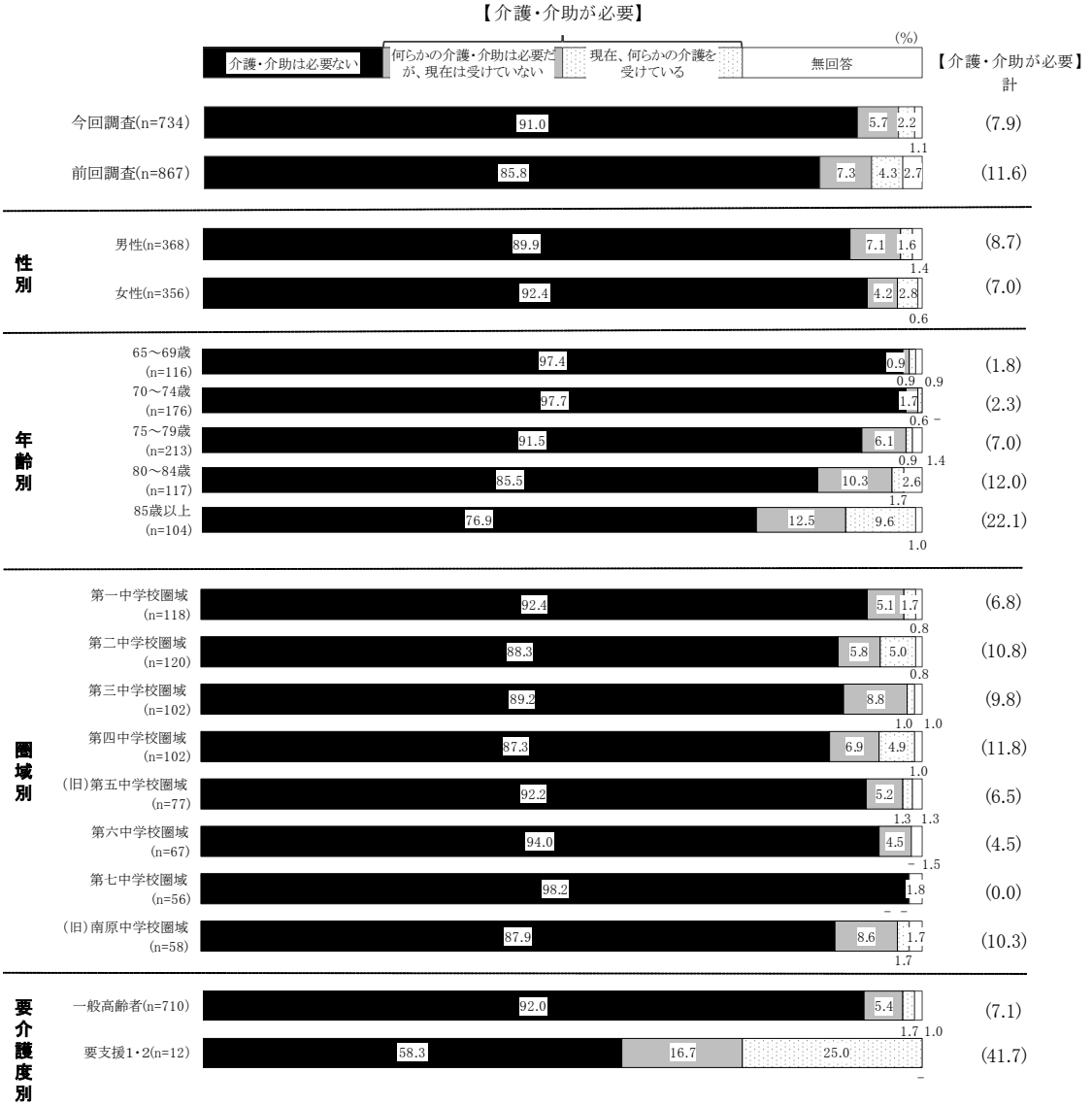
▶日中（昼間）の家族の状況は、「週に５日以上は家族といる」が 58.4%と最も高く、次いで、「自分以外は誰もいない」が 21.0%、「週に１～２日は家族といる」が 12.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「週に５日以上は家族といる」が、『女性』は男性よりも「自分以外は誰もいない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「自分以外は誰もいない」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第一中学校圏域』は「週に５日以上は家族といる」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「自分以外は誰もいない」の割合が高くなっている。



（３）介護・介助が必要か

問１（３）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は１つ）

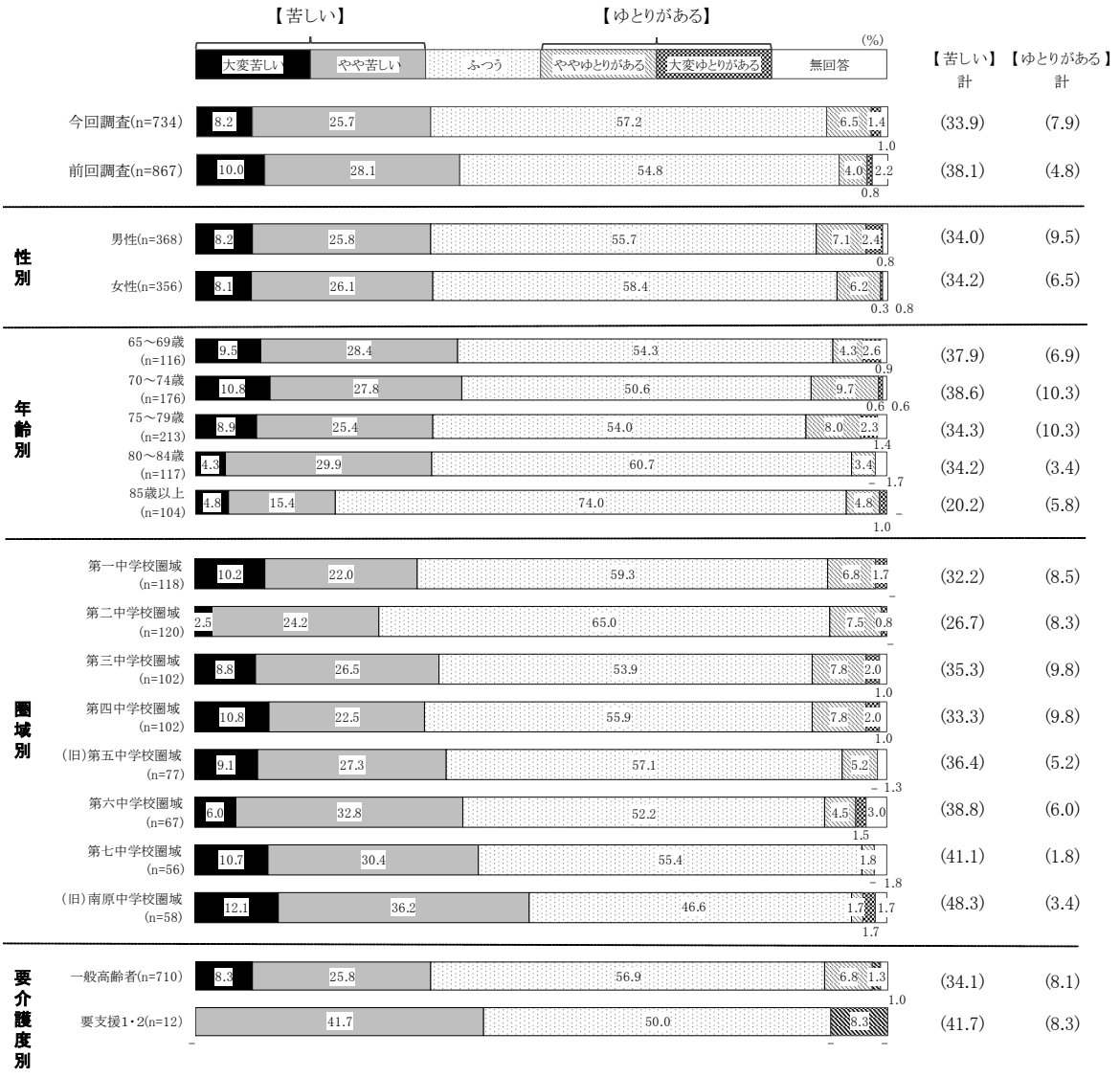
▶介護・介助が必要かは、「介護・介助は必要ない」が 91.0%と最も高く、次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 5.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が 2.2%となっている。
また、【介護・介助が必要】（何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない＋現在、何らかの介護を受けている）は、7.9%となっている。
▶前回調査と比べると、「介護・介助は必要ない」の割合が前回から 5.2 ポイント上昇している。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「介護・介助は必要ない」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第四中学校圏域』は【介護・介助が必要】の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも【介護・介助が必要】の割合が高くなっている。



（４）現在の暮らしの経済的状況

問１（４）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は１つ）

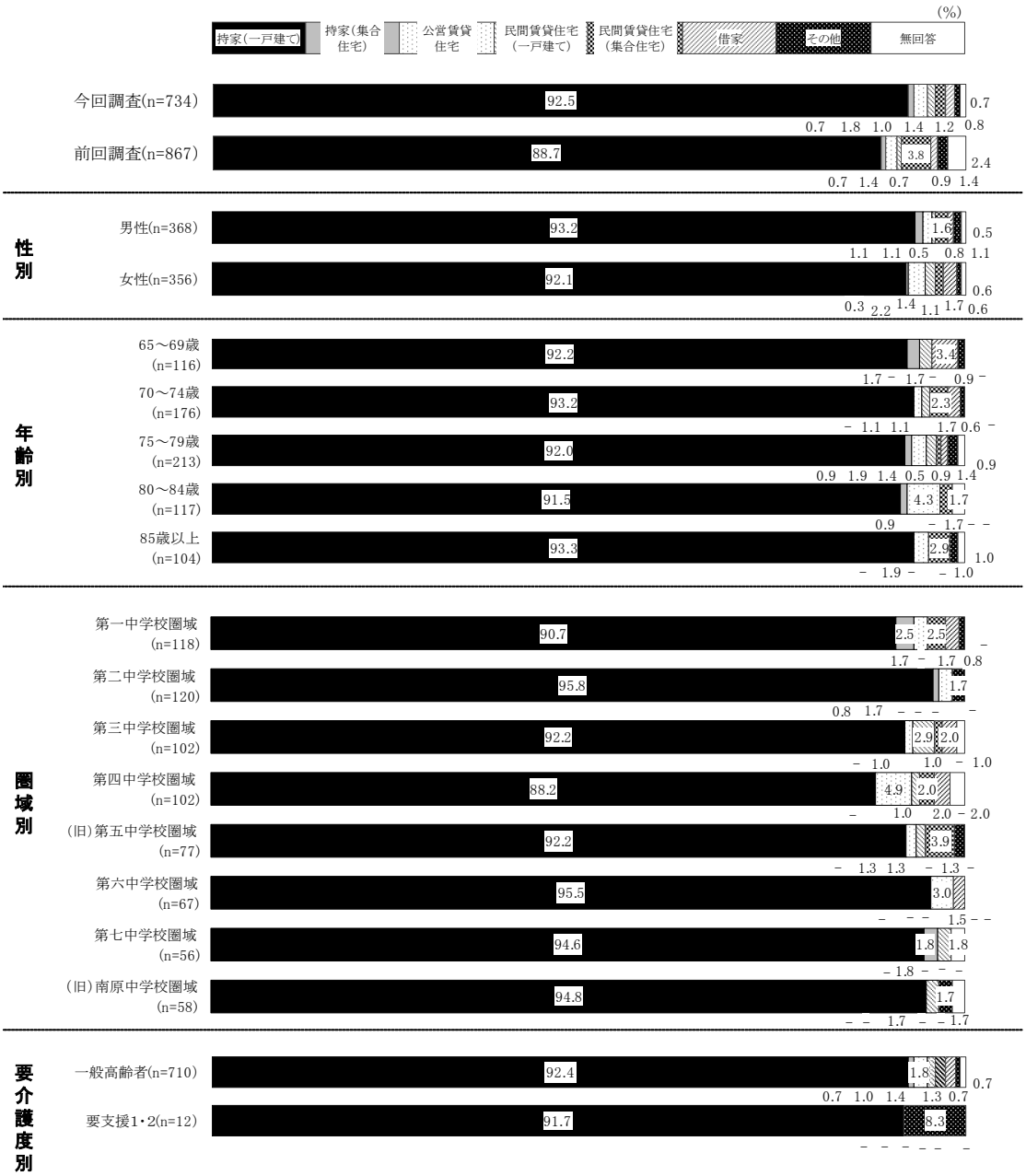
▶現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」が 57.2%と最も高く、次いで、「やや苦しい」が 25.7%、「大変苦しい」が 8.2%となっている。また、【苦しい】（大変苦しい＋苦しい）は 33.9%、【ゆとりがある】（ややゆとりがある＋大変ゆとりがある）は 7.9%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『70～74 歳』は「大変苦しい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は【苦しい】の割合が他の圏域よりも高く、『第七中学校圏域』は【ゆとりがある】の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも【苦しい】の割合が高くなっているが、「大変苦しい」の割合は一般高齢者の方が高くなっている。



（５）住居形態

問１（５）あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は１つ）

▶住居形態は、「持家（一戸建て）」が 92.5%と最も高く、次いで、「公営賃貸住宅」が 1.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 1.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、概ね同じ傾向となっている。
▶圏域別でみると、『第四中学校圏域』は「持家（一戸建て）」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「その他」の割合が高くなっている。

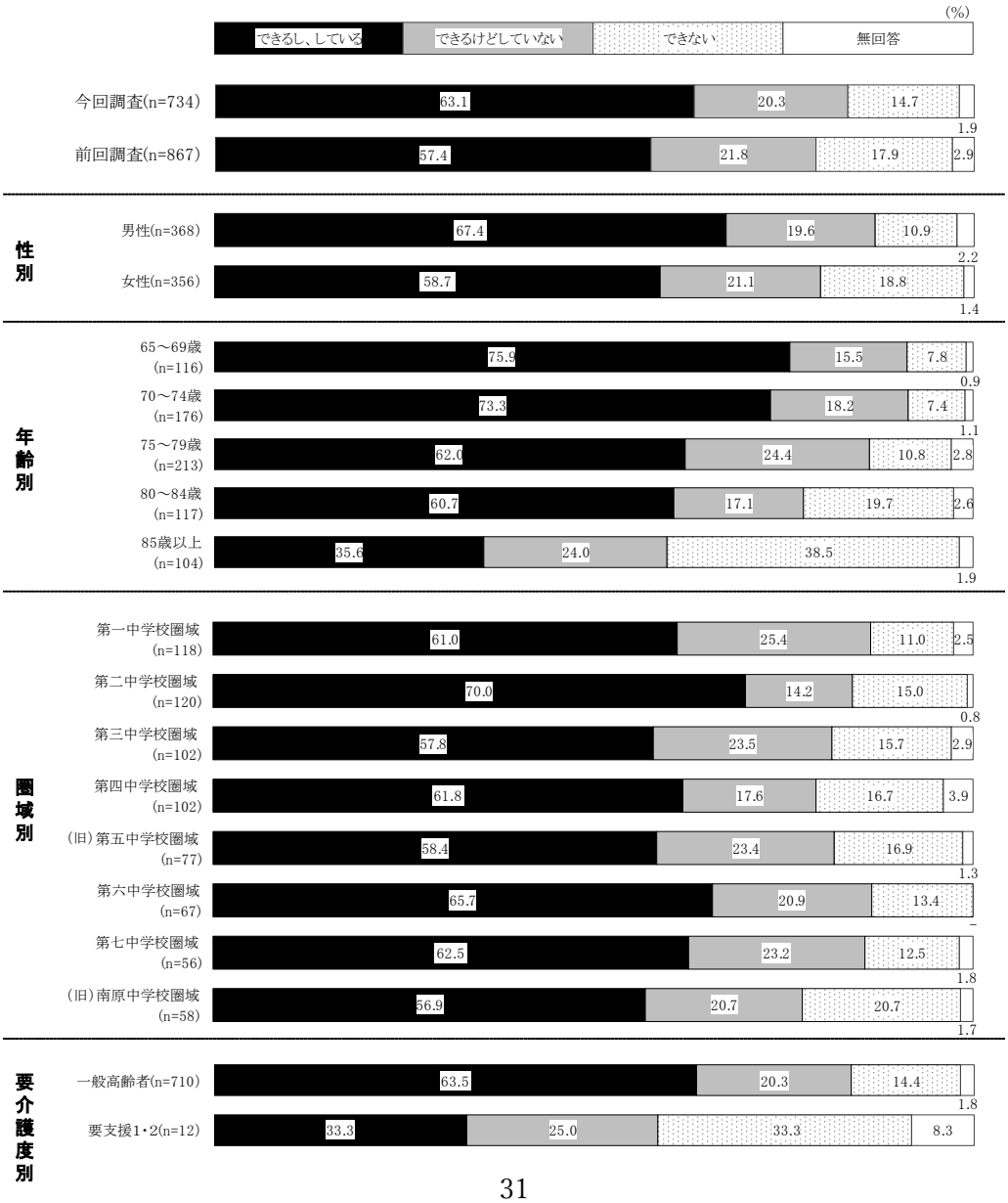


２　体力について

（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているか

問２（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○は１つ）

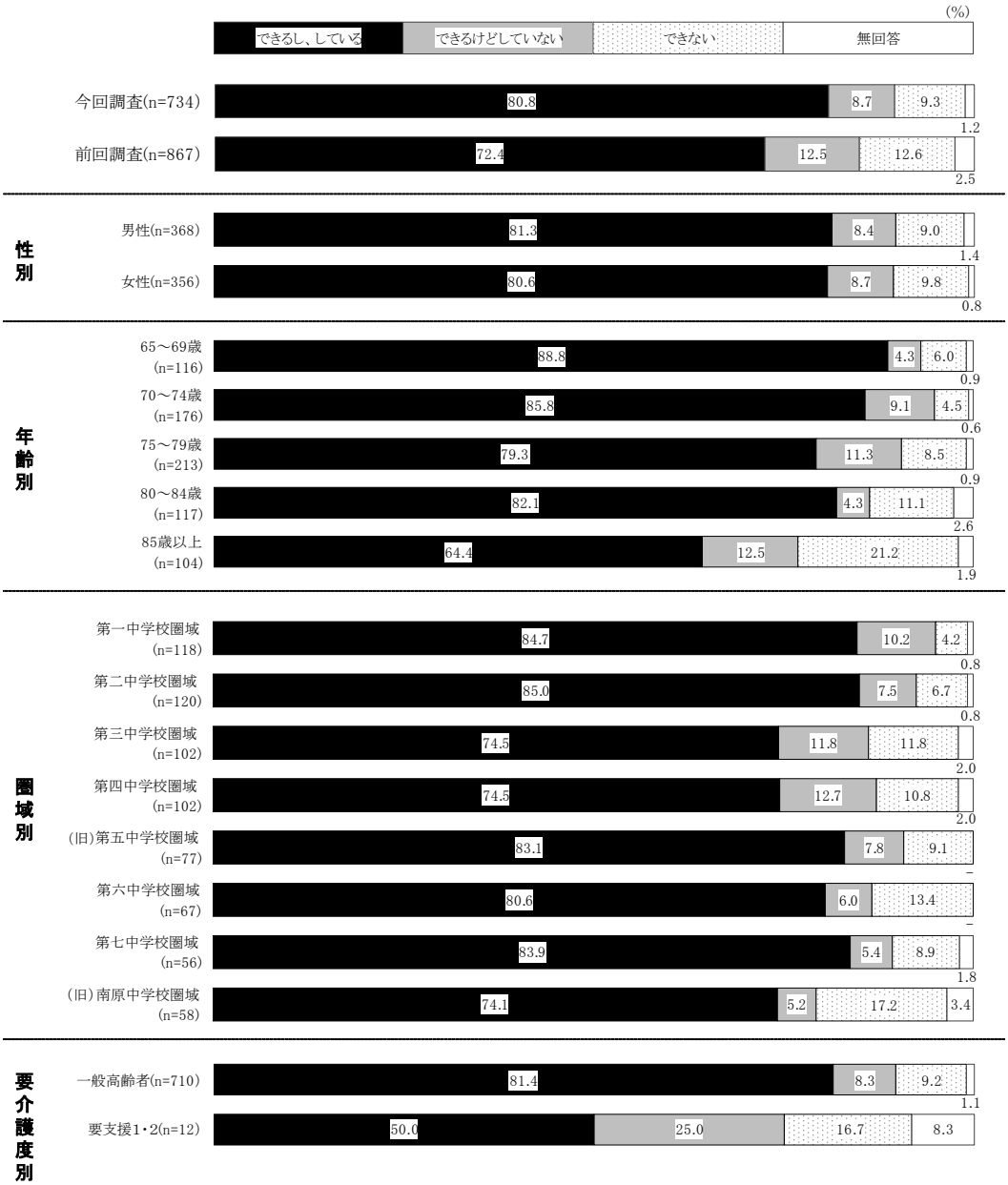
▶階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているかは、「できるし、している」が 63.1%と最も高く、次いで、「できるけどしていない」が 20.3%、「できない」が 14.7%となっている。
▶前回調査と比べると、「できるし、している」の割合が前回から 5.7 ポイント上昇している。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「できるし、している」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は「できるし、している」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「できるし、している」の割合が低くなっており、「できるけどしていない」「できない」の割合は一般高齢者よりも高くなっている。



（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

問２（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は１つ）

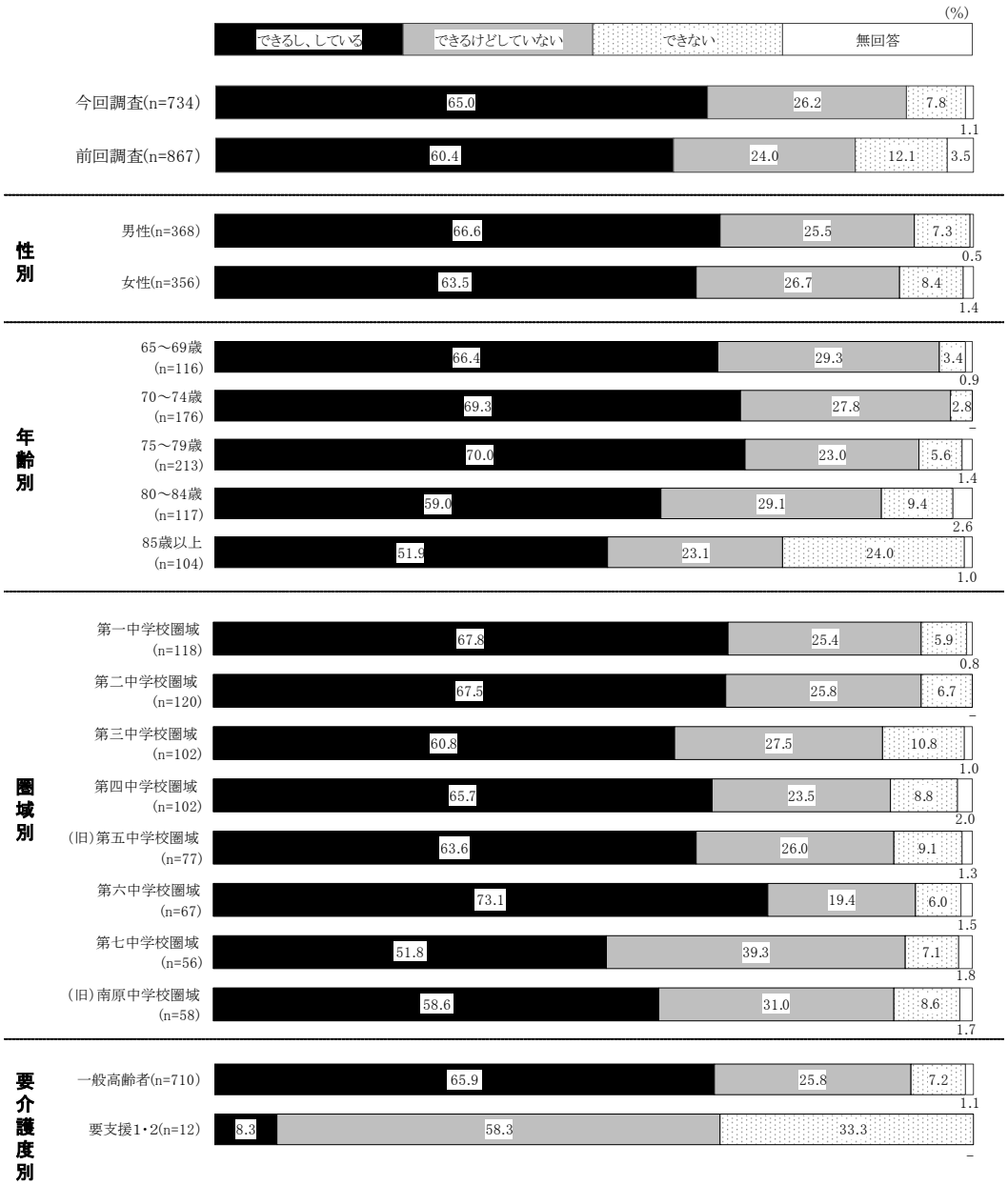
▶椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」が 80.8%と最も高く、次いで、「できない」が 9.3%、「できるけどしていない」が 8.7%となっている。
▶前回調査と比べると、「できるし、している」の割合が前回から 8.4 ポイント上昇している。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が概ね低下している。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「できるし、している」の割合が他の圏域よりも低くなっており、「できない」の割合は他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「できるし、している」の割合が高くなっている。



（３）15 分程度の歩行について

問２（３）15分位続けて歩いていますか。（○は１つ）

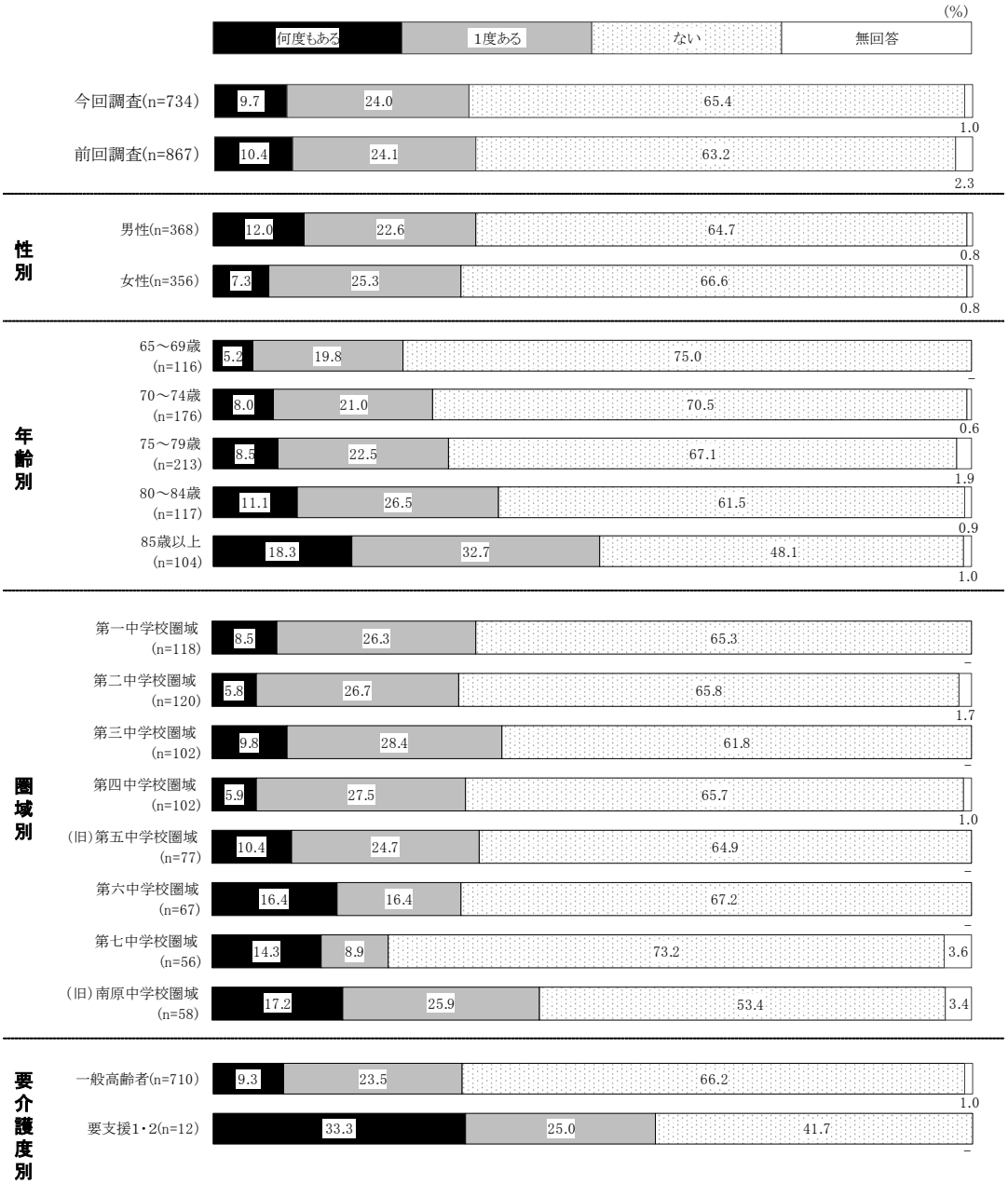
▶15 分程度の歩行については、「できるし、している」が 65.0%と最も高く、次いで、「できるけどしていない」が 26.2%、「できない」が 7.8%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「できない」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第六中学校圏域』は「できるけどしていない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「できるし、している」の割合が高くなっている。



（４）過去１年間の転倒経験

問２（４）過去１年間に転んだ経験がありますか。（○は１つ）

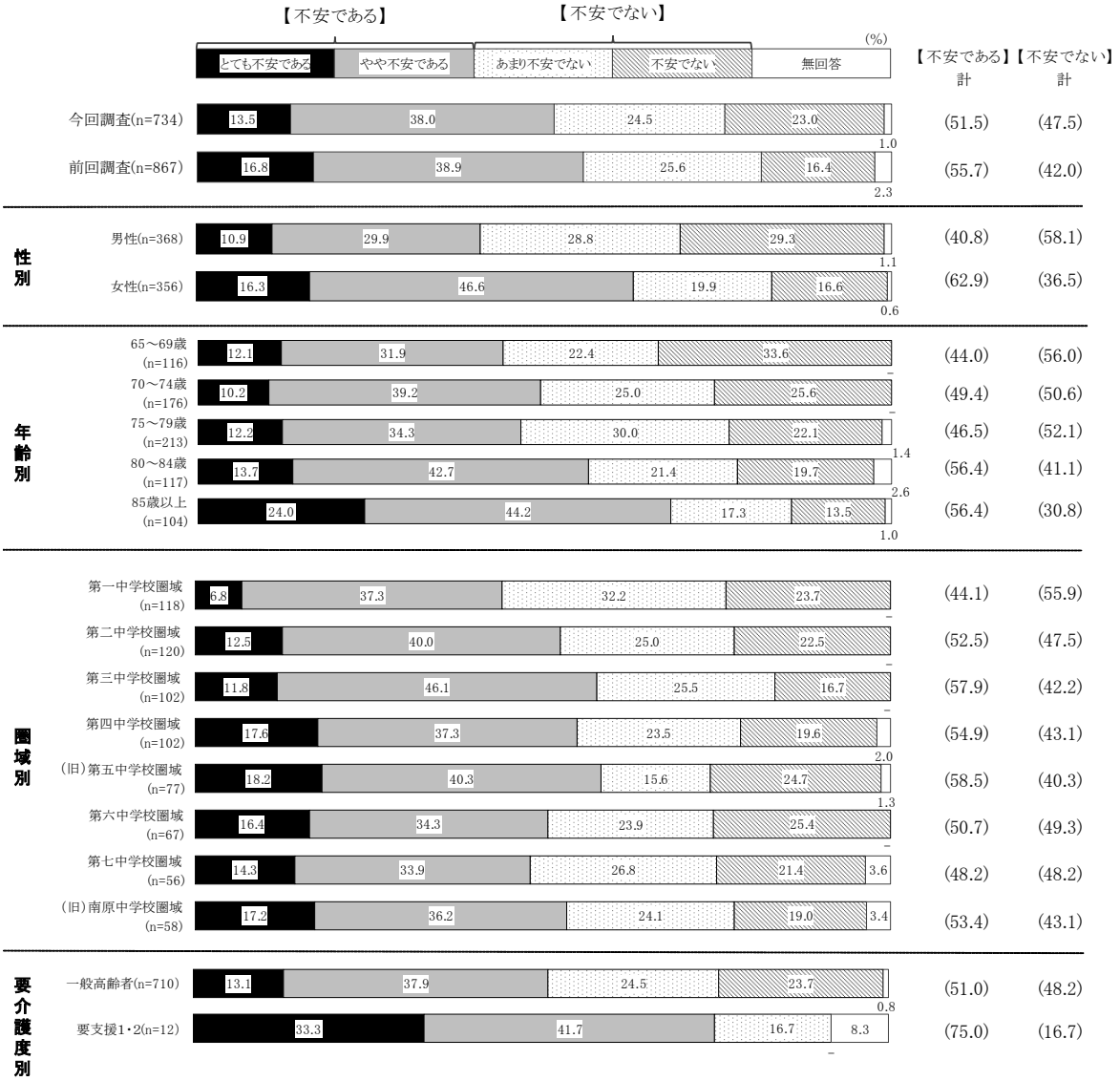
▶過去１年間の転倒経験は、「ない」が 65.4%と最も高く、次いで、「１度ある」が 24.0%、「何度もある」が 9.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「何度もある」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「何度もある」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「ない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「何度もある」の割合が高くなっている。



（５）転倒に対する不安は大きいか

問２（５）転倒に対する不安は大きいですか。（○は１つ）

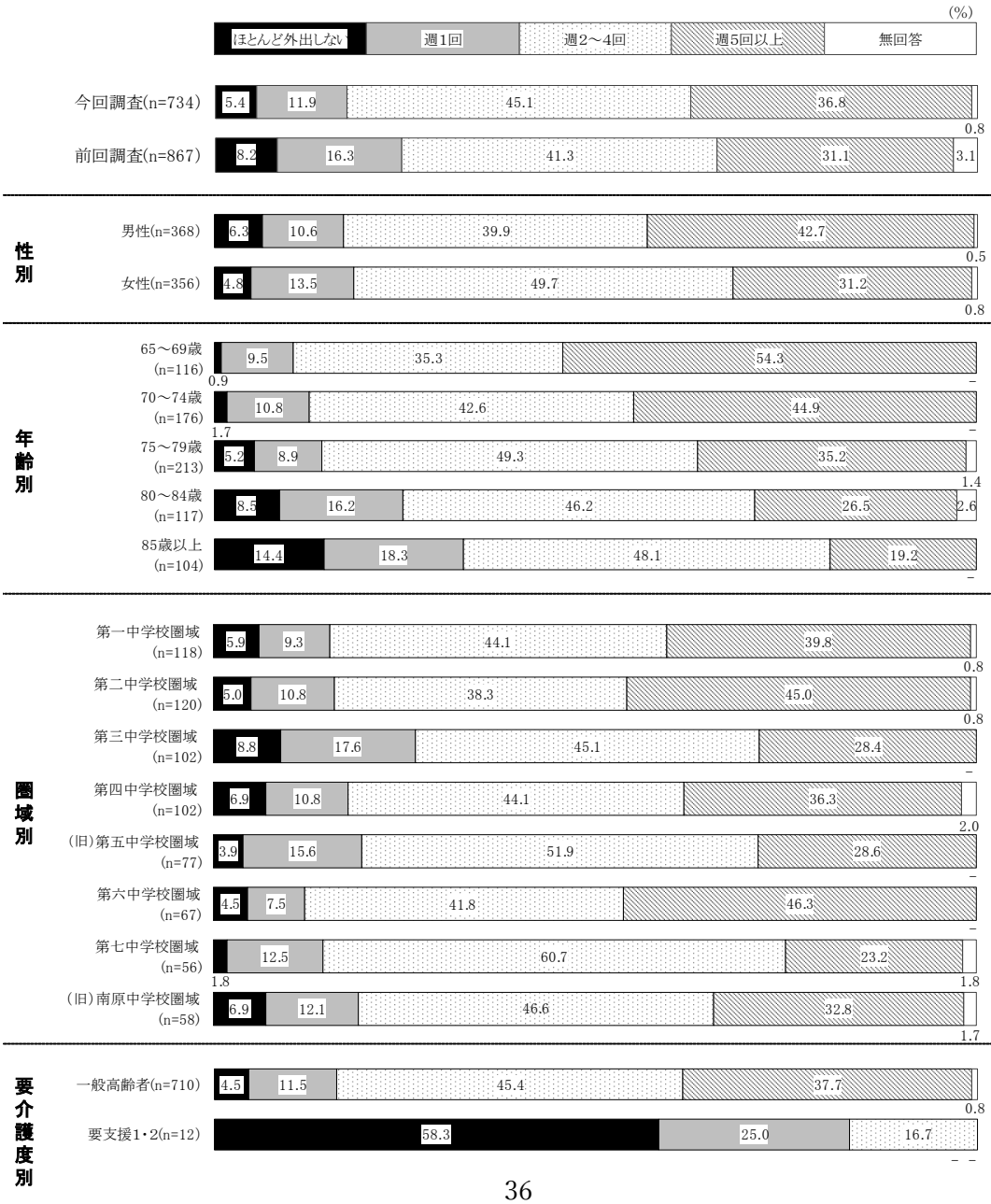
▶転倒に対する不安は大きいかは、「やや不安である」が 38.0%と最も高く、次いで、「あまり不安でない」が 24.5%、「不安でない」が 23.0%となっている。また、【不安である】（とても不安である＋やや不安である）は、51.5%、【不安でない】（あまり不安でない＋不安でない）は 47.5%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも【不安である】の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて【不安である】の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第一中学校圏域』は【不安である】の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「とても不安である」の割合が高くなっており、【不安である】の割合は７割を超えている。



（６）週当たりの外出状況

問２（６）週に１回以上は外出していますか。（○は１つ）

▶週当たりの外出状況は、「週２～４回」が 45.1%と最も高く、次いで、「週 5 回以上」が 36.8%、「週１回」が 11.9%となっている。
▶前回調査と比べると、「週５回以上」の割合が前回から 5.7 ポイント上昇している。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「週５回以上」が、『女性』は男性よりも「週２～４回」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第六中学校圏域』は「週５回以上」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「ほとんど外出しない」の割合が高くなっている。



（７）昨年と比較した外出状況

問２（７）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は１つ）

▶昨年と比較した外出状況は、「減っていない」が 41.7%と最も高く、次いで、「あまり減っていない」が 29.0%、「減っている」が 23.8%となっている。また、【減っている】（とても減っている＋減っている）は 28.0%、【減っていない】（あまり減っていない＋減っていない）は 70.7%となっている。

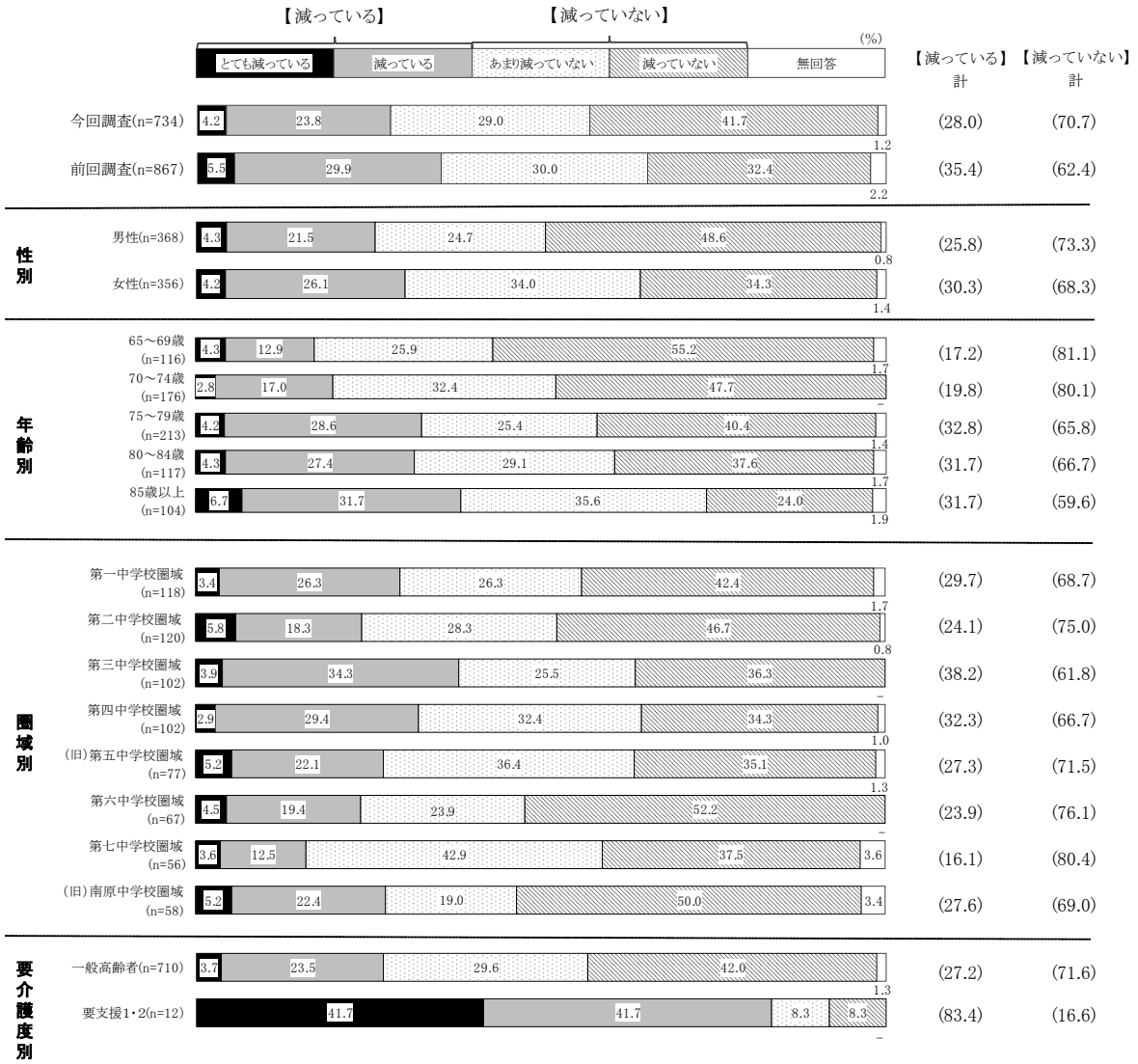
▶前回調査と比べると、「減っていない」の割合が前回から 9.3 ポイント上昇し、「減っている」の割合が前回から 6.1 ポイント低下している。

▶性別でみると、『男性』は女性よりも【減っていない】の割合が、『女性』は男性よりも【減っている】の割合が高くなっている。

▶年齢別でみると、年齢階層が低くなるにつれて【減っていない】の割合が上昇している。

▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は【減っている】の割合が他の圏域よりも高くなっている。

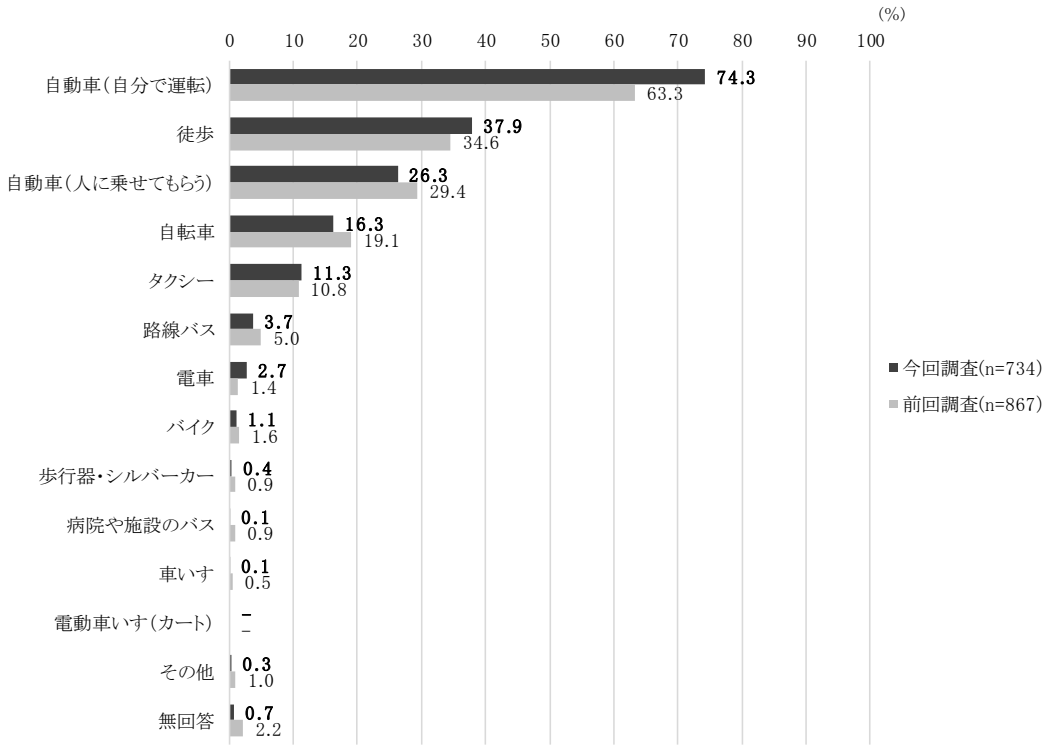
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「とても減っている」の割合が高くなっている。



（８）外出する際の移動手段

問２（８）外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

▶外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が 74.3%と最も高く、次いで、「徒歩」が 37.9%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 26.3%となっている。
▶前回調査と比べると、「自動車（自分で運転）」の割合が前回から 11.0 ポイント上昇している。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「自動車（自分で運転）」が、『女性』は男性よりも「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「自動車（自分で運転）」の割合が低下し、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が上昇している。『85 歳以上』では、「タクシー」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「自動車（自分で運転）」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「自動車（自分で運転）」の割合が低くなっている。一方で「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」の割合は一般高齢者よりも高くなっている。

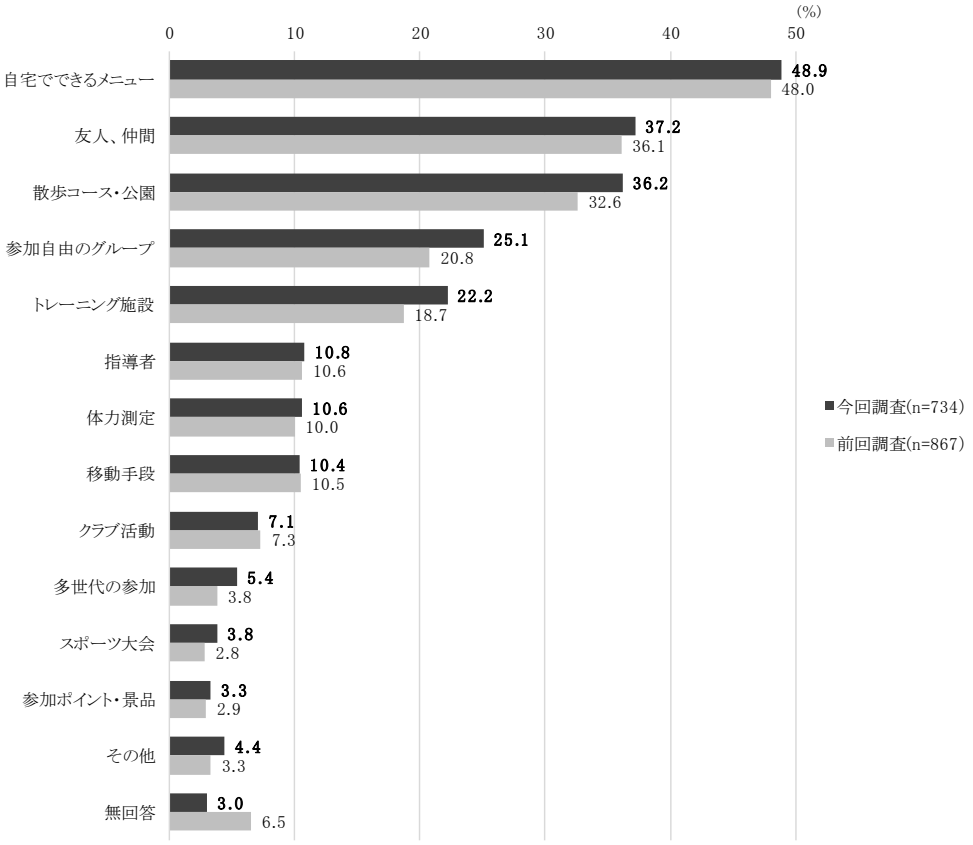
（%）

		n=	自動車（自分で運転）	徒歩	自動車（人に乗せてもらう）	自転車	タクシー	路線バス	電車	バイク	歩行器・シルバーカー	車いす	電動車いす（カート）	その他
全体		734	74.3	37.9	26.3	16.3	11.3	3.7	2.7	1.1	0.4	0.1	-	0.3
性別	男性	368	85.3	38.0	12.5	16.8	9.2	2.7	2.7	1.9	-	0.3	-	0.3
	女性	356	62.9	37.9	40.7	16.0	13.8	4.8	2.8	0.3	0.8	-	-	0.3
年齢別	65～69歳	116	89.7	36.2	15.5	19.0	3.4	3.4	6.0	2.6	-	-	-	-
	70～74歳	176	87.5	39.8	17.6	18.2	2.3	0.6	1.7	1.7	-	-	-	-
	75～79歳	213	79.3	38.0	24.4	15.0	11.7	3.3	2.3	0.5	0.9	-	-	-
	80～84歳	117	58.1	35.9	32.5	19.7	17.1	5.1	3.4	0.9	-	-	-	1.7
	85歳以上	104	43.3	39.4	50.0	9.6	28.8	8.7	1.0	-	1.0	1.0	-	-
圏域別	第一中学校圏域	118	73.7	50.8	26.3	24.6	16.9	7.6	5.9	2.5	-	-	-	-
	第二中学校圏域	120	69.2	47.5	29.2	19.2	12.5	5.8	5.0	-	-	-	-	-
	第三中学校圏域	102	66.7	37.3	33.3	15.7	9.8	6.9	2.0	-	1.0	-	-	-
	第四中学校圏域	102	70.6	40.2	32.4	19.6	15.7	2.0	2.0	2.0	-	-	-	-
	（旧）第五中学校圏域	77	75.3	27.3	26.0	11.7	11.7	1.3	1.3	1.3	-	-	-	1.3
	第六中学校圏域	67	80.6	29.9	22.4	16.4	4.5	-	1.5	1.5	3.0	-	-	-
	第七中学校圏域	56	85.7	21.4	25.0	8.9	1.8	-	-	1.8	-	-	-	-
	（旧）南原中学校圏域	58	75.9	25.9	15.5	5.2	13.8	1.7	-	-	-	1.7	-	-
要介護度別	一般高齢者	710	75.6	38.5	25.6	16.5	10.6	3.5	2.8	1.1	0.4	-	-	0.3
	要支援１・２	12	25.0	25.0	50.0	8.3	41.7	16.7	-	-	-	8.3	-	-

（９）運動習慣のためにあると良いと思うもの

問２（９）運動する習慣をつけるためにあると良いと思うものは何ですか。（○はいくつでも）

▶運動する習慣をつけるためにあると良いと思うものは、「自宅でできるメニュー」が 48.9%と最も高く、次いで、「友人、仲間」が 37.2%、「散歩コース・公園」が 36.2%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「トレーニング施設」が、『女性』は「自宅でできるメニュー」「参加自由のグループ」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が低くなるにつれて「トレーニング施設」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「自宅でできるメニュー」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「友人、仲間」が、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「散歩コース・公園」「参加自由のグループ」の割合が高くなっている。

（%）

		n=	自宅でできるメニュー	友人、仲間	散歩コース・公園	参加自由のグループ	トレーニング施設	指導者	体力測定	移動手段	クラブ活動	多世代の参加
全体		734	48.9	37.2	36.2	25.1	22.2	10.8	10.6	10.4	7.1	5.4
性別	男性	368	42.7	35.6	38.6	17.4	26.1	7.9	9.2	7.1	7.1	4.3
	女性	356	55.1	38.5	33.7	33.1	18.3	14.0	12.4	14.0	7.0	6.7
年齢別	65～69歳	116	44.8	29.3	37.1	29.3	34.5	19.8	12.9	8.6	7.8	7.8
	70～74歳	176	50.0	38.1	41.5	25.6	27.3	8.0	11.4	6.8	8.5	7.4
	75～79歳	213	49.8	40.4	39.0	24.4	21.1	7.5	10.3	11.7	5.6	5.2
	80～84歳	117	47.0	39.3	30.8	29.9	14.5	12.8	10.3	6.8	9.4	3.4
	85歳以上	104	52.9	33.7	26.0	16.3	10.6	10.6	8.7	20.2	3.8	2.9
圏域別	第一中学校圏域	118	47.5	39.8	39.8	29.7	20.3	14.4	13.6	12.7	8.5	5.1
	第二中学校圏域	120	52.5	39.2	36.7	27.5	28.3	13.3	10.8	12.5	7.5	5.0
	第三中学校圏域	102	50.0	37.3	40.2	22.5	24.5	11.8	7.8	9.8	7.8	6.9
	第四中学校圏域	102	47.1	42.2	45.1	20.6	9.8	4.9	11.8	7.8	7.8	3.9
	（旧）第五中学校圏域	77	48.1	36.4	31.2	28.6	22.1	5.2	6.5	7.8	11.7	5.2
	第六中学校圏域	67	41.8	31.3	31.3	17.9	22.4	14.9	13.4	11.9	4.5	7.5
	第七中学校圏域	56	57.1	30.4	23.2	30.4	26.8	12.5	10.7	7.1	-	7.1
	（旧）南原中学校圏域	58	53.4	34.5	20.7	24.1	15.5	12.1	10.3	17.2	6.9	5.2
要介護度別	一般高齢者	710	49.0	36.8	36.6	25.4	22.7	11.0	10.8	10.4	6.9	5.5
	要支援１・２	12	50.0	58.3	25.0	16.7	-	-	8.3	8.3	8.3	8.3

（%）

		n=	スポーツ大会	参加ポイント・景品	その他
全体		734	3.8	3.3	4.4
性別	男性	368	6.0	2.2	5.4
	女性	356	1.7	4.5	3.4
年齢別	65～69歳	116	3.4	8.6	4.3
	70～74歳	176	4.5	3.4	3.4
	75～79歳	213	3.3	2.3	5.2
	80～84歳	117	6.0	2.6	0.9
	85歳以上	104	1.0	-	8.7
圏域別	第一中学校圏域	118	4.2	3.4	4.2
	第二中学校圏域	120	4.2	3.3	2.5
	第三中学校圏域	102	3.9	1.0	3.9
	第四中学校圏域	102	2.0	2.9	4.9
	（旧）第五中学校圏域	77	5.2	1.3	2.6
	第六中学校圏域	67	6.0	6.0	10.4
	第七中学校圏域	56	1.8	1.8	3.6
	（旧）南原中学校圏域	58	3.4	3.4	5.2
要介護度別	一般高齢者	710	3.9	3.4	4.5
	要支援１・２	12	-	-	-

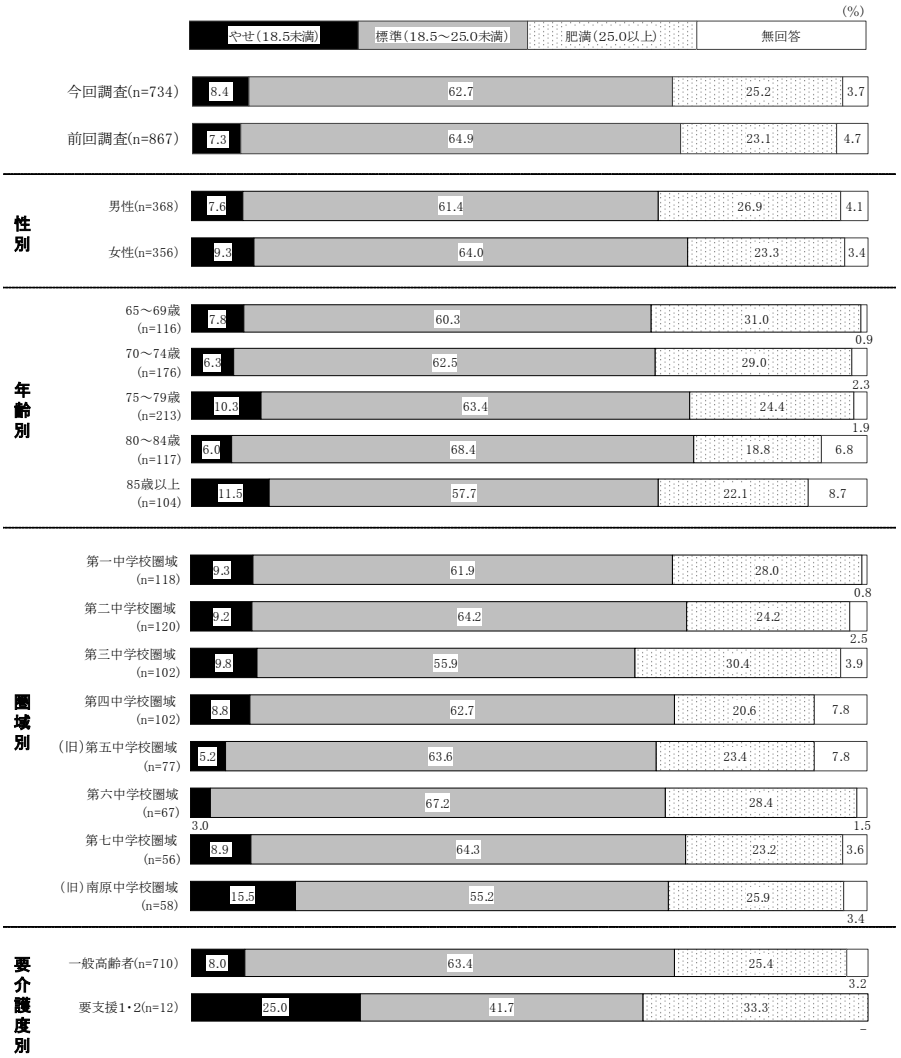
３　食べることについて

（１）身長・体重

問３（１）あなたの身長と体重をおうかがいします。
（数字を記入、※整数、小数第１位は四捨五入）

【BMI】

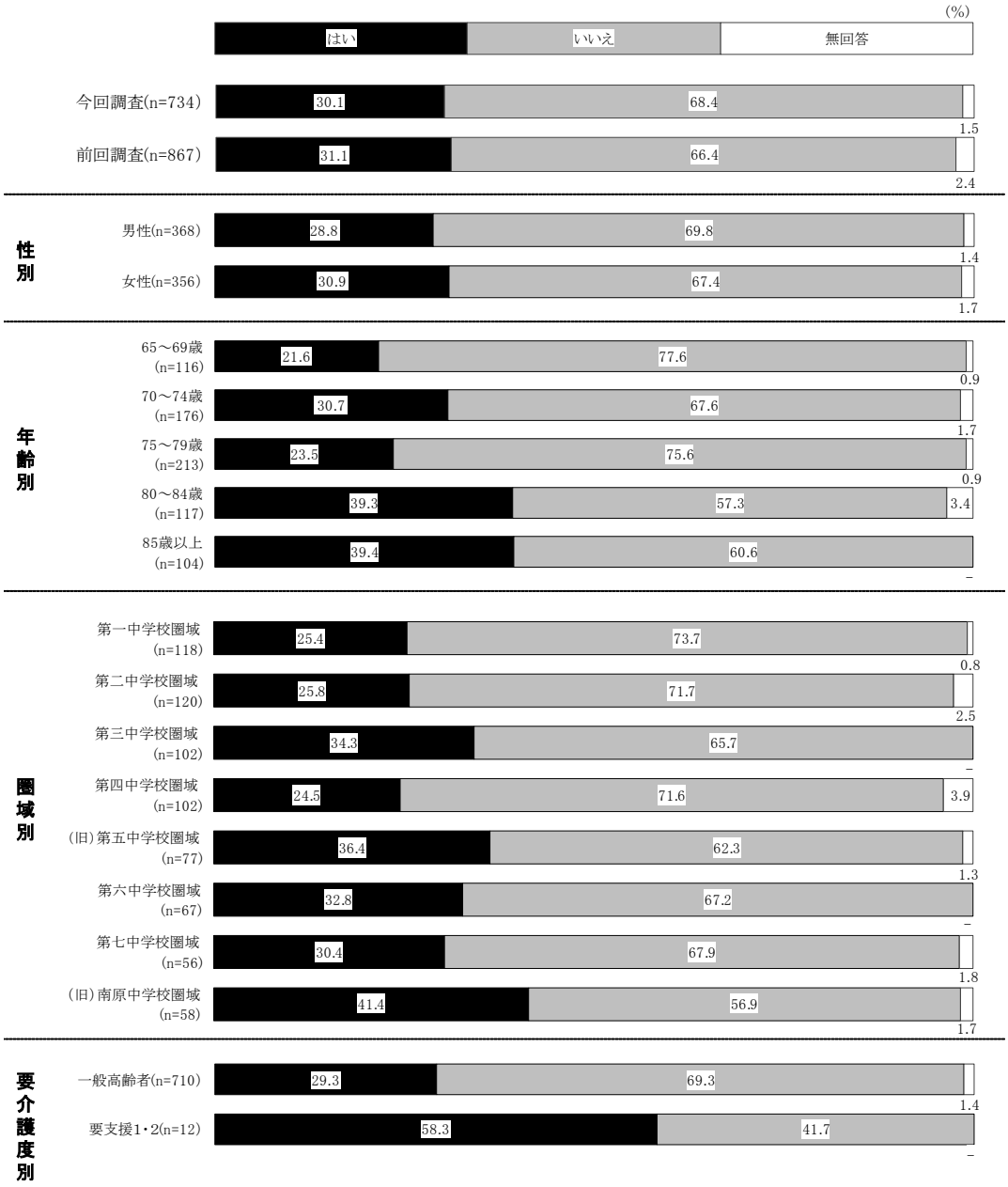
▶BMI は、「標準（18.5～25.0 未満）」が 62.7%と最も高く、次いで、「肥満（25.0 以上）」が 25.2%、「やせ（18.5 未満）」が 8.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『65～69 歳』は「肥満（25.0 以上）」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「やせ（18.5 未満）」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「やせ（18.5 未満）」「肥満（25.0 以上）」の割合が高くなっている。



（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

問３（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（○は１つ）

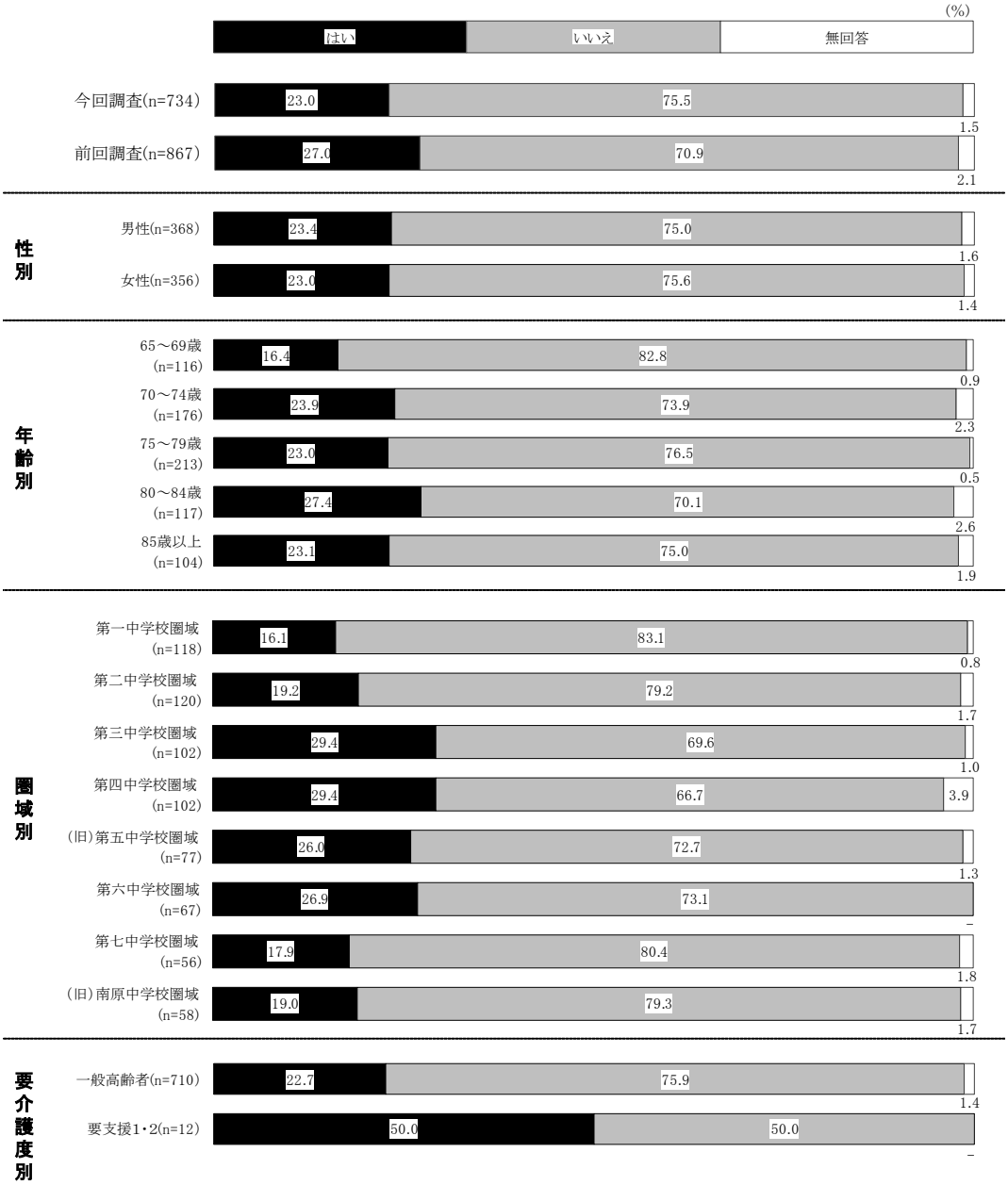
▶半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、「はい」が 30.1%、「いいえ」が 68.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』『85 歳以上』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（３）お茶や汁物等でむせることがあるか

問３（３）お茶や汁物等でむせることがありますか。（○は１つ）

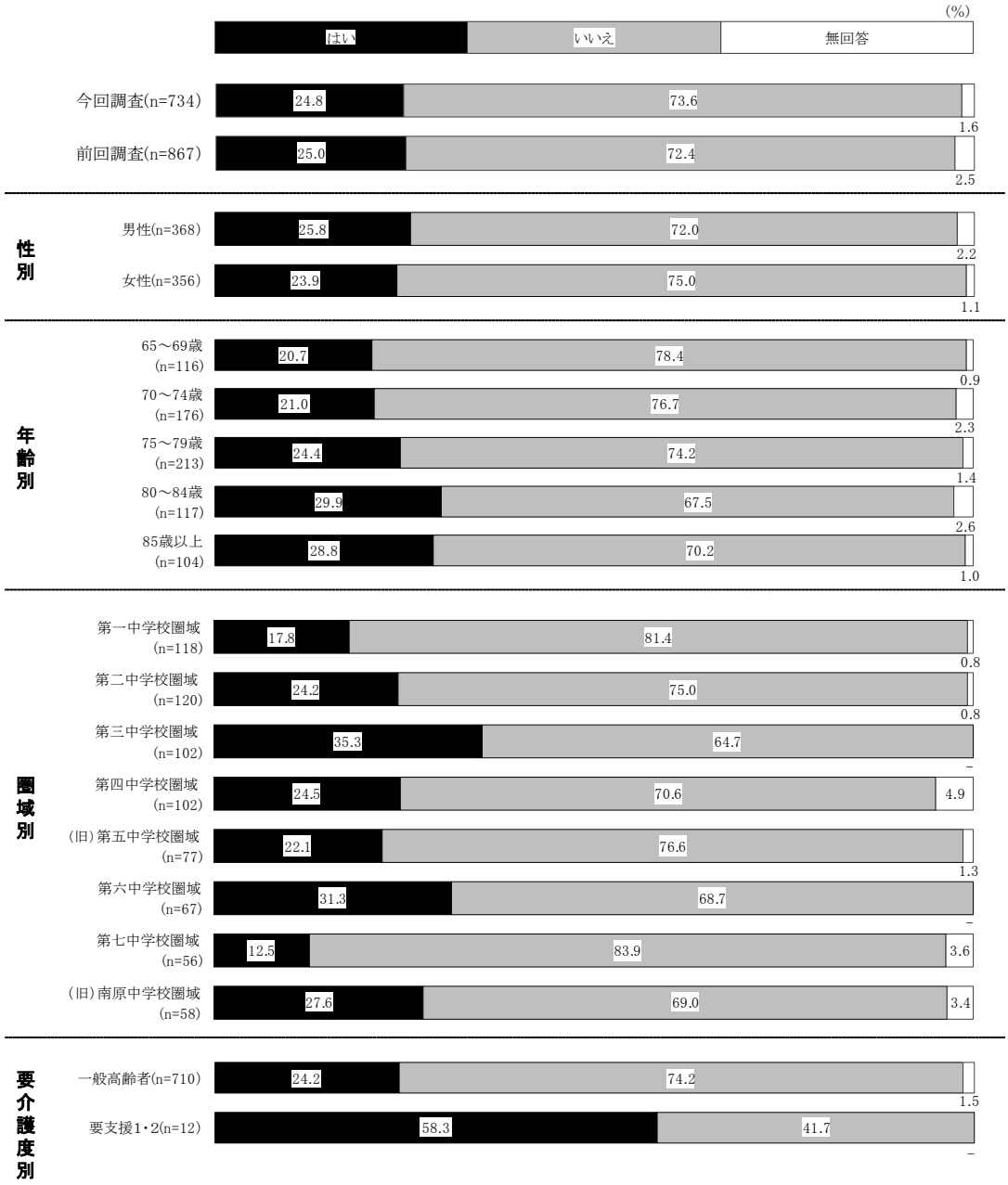
▶お茶や汁物等でむせることがあるかは、「はい」が 23.0%、「いいえ」が 75.5%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』『第四中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（４）口の渇きが気になるか

問３（４）口の渇きが気になりますか。（○は１つ）

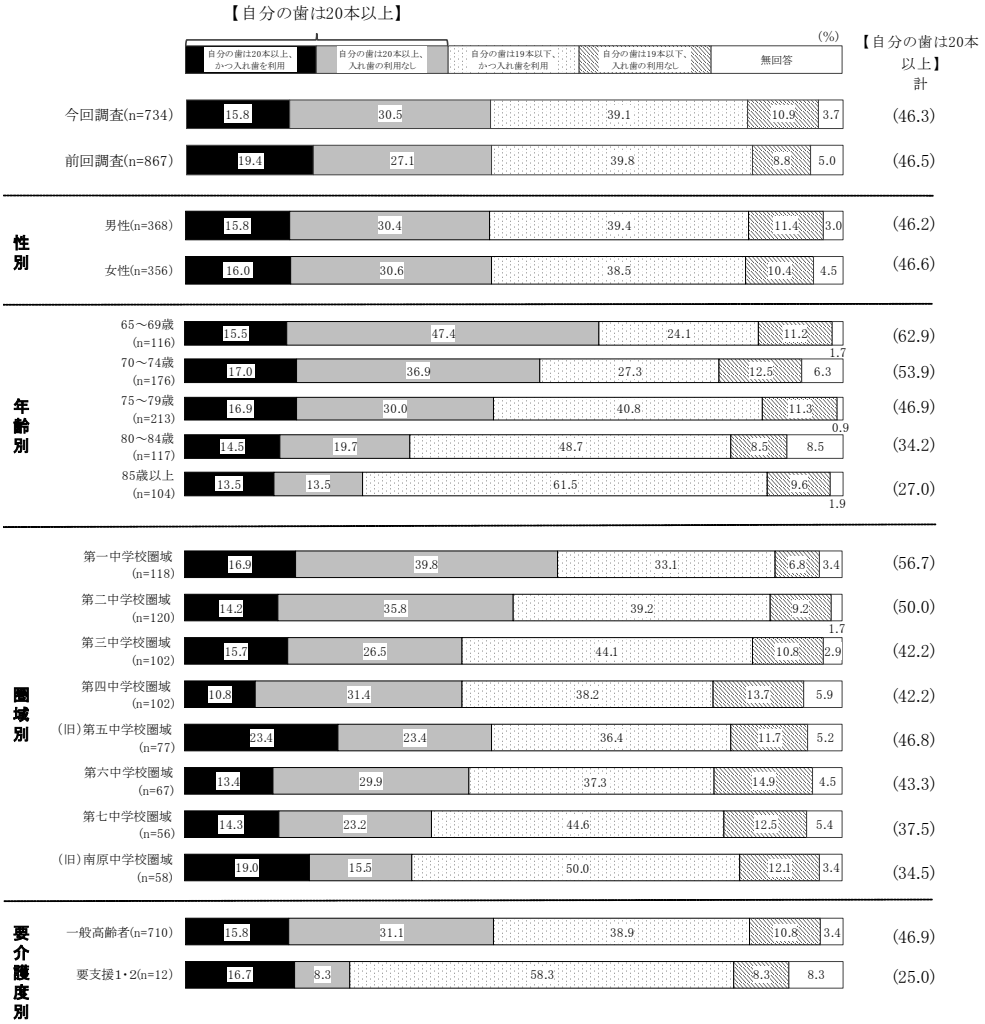
▶口の渇きが気になるかは、「はい」が 24.8%、「いいえ」が 73.6%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高く、年齢階層が低くなるにつれて「はい」の割合は低下する傾向となっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（５）歯の数と入れ歯の利用状況

問３（５）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（○は１つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずも含めて32本です。）

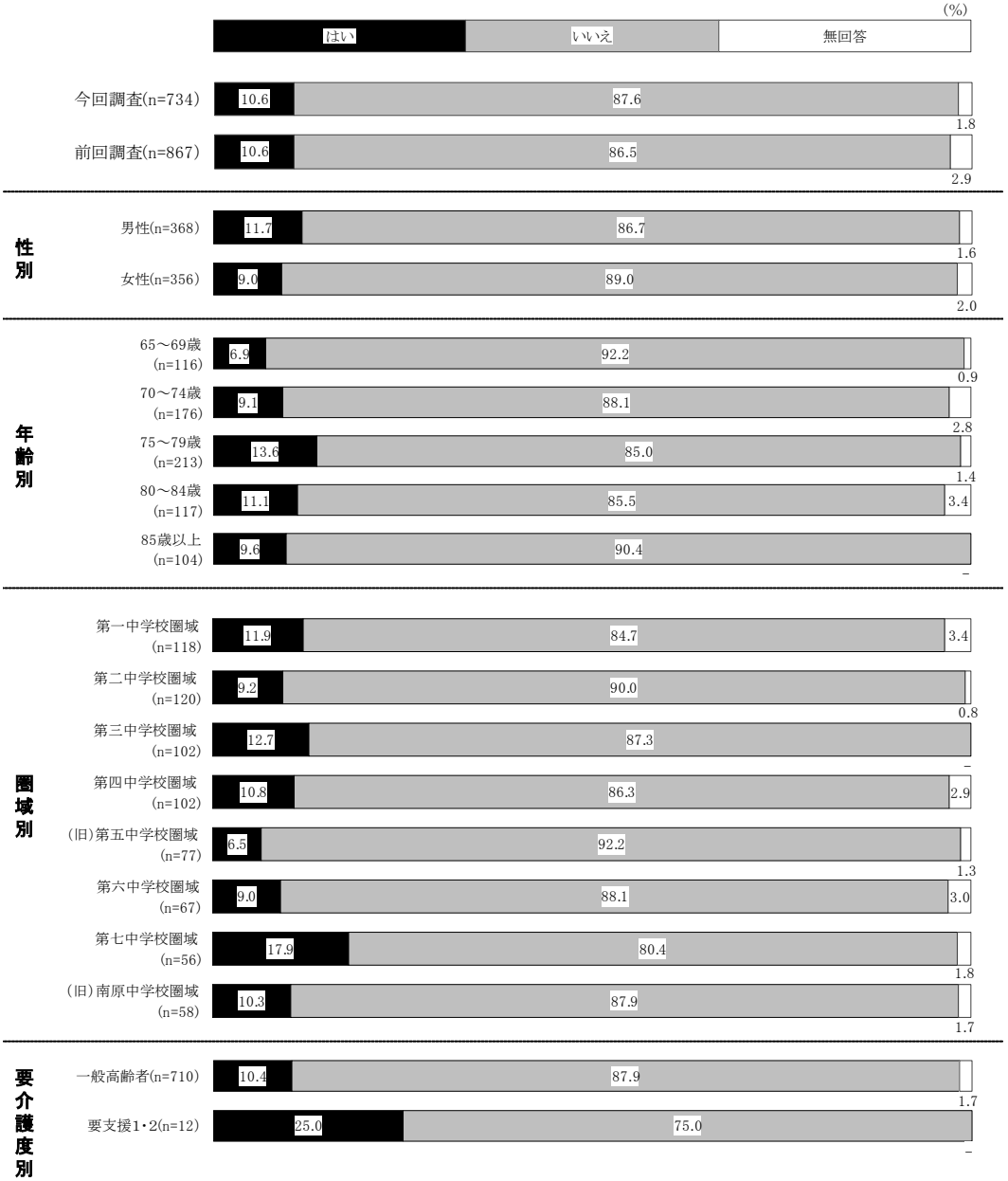
▶歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 39.1%と最も高く、次いで、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 30.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 15.8%となっている。また、【自分の歯は 20 本以上】（自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用＋自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし）は 46.3%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は【自分の歯は 20 本以上】の割合が他の圏域よりも低く、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【自分の歯は 20 本以上】の割合が高くなっている。



（６）６か月間で２～３kg 以上の体重減少があったか

問３（６）６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか。（○は１つ）

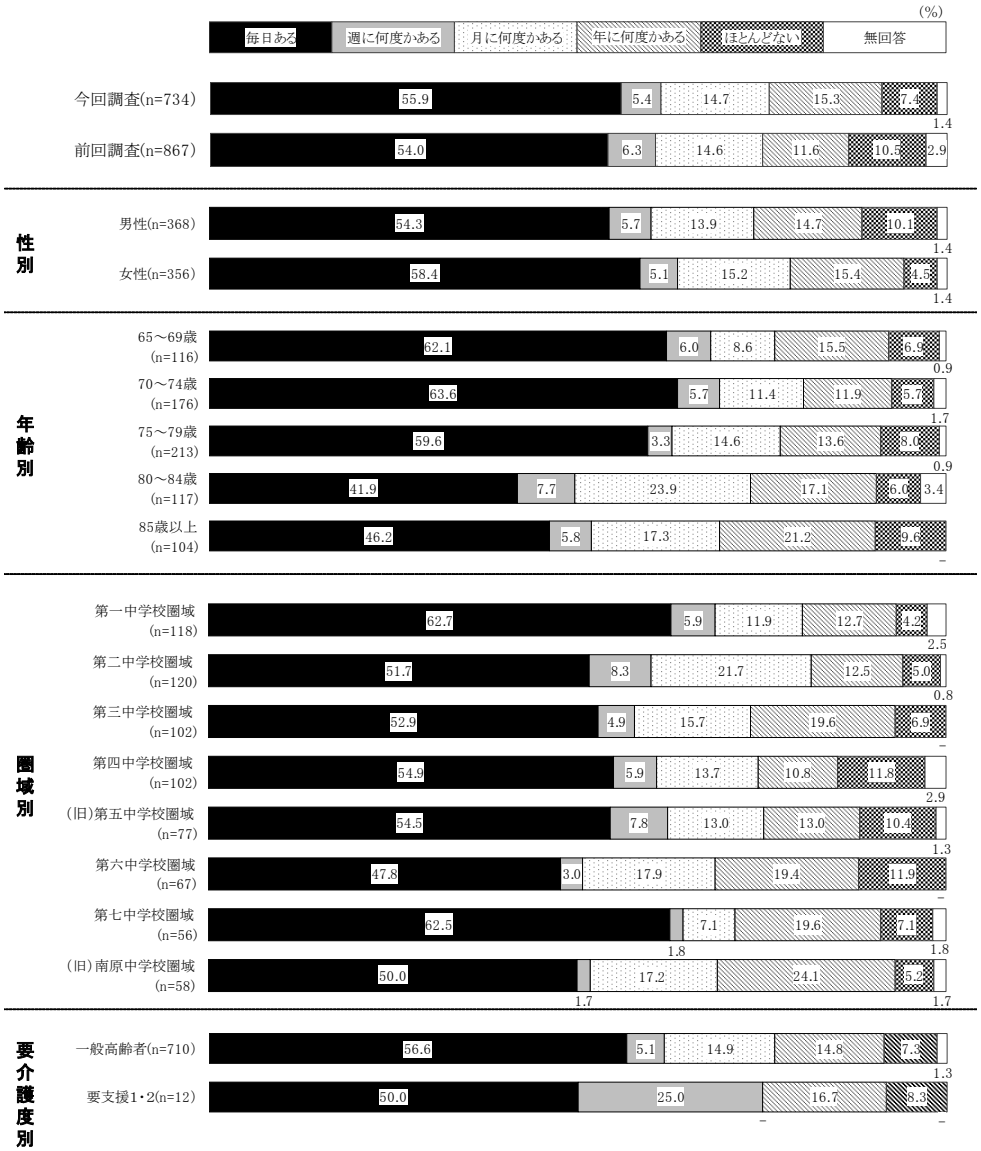
▶６か月間で２～３kg 以上の体重減少があったかは、「はい」が 10.6%、「いいえ」が 87.6%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『75～79 歳』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（７）どなたかと食事をともにする機会があったか

問３（７）どなたかと食事をともにする機会がありますか。（○は１つ）

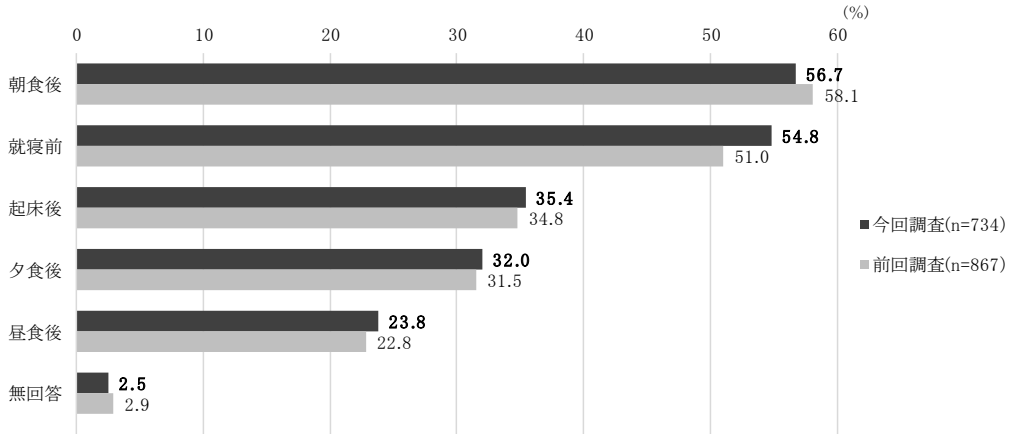
▶どなたかと食事をともにする機会があったかは、「毎日ある」が 55.9%と最も高く、次いで、「年に何度かある」が 15.3%、「月に何度かある」が 14.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「ほとんどない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「毎日ある」の割合が低下する傾向となっており、「80～84 歳」では 41.9%と最も低くなっている。
▶圏域別でみると、『第六中学校圏域』は「毎日ある」の割合が他の圏域よりも低くなっており、「ほとんどない」の割合は 11.9%と最も高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「毎日ある」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「週に何度かある」の割合が高くなっている。



（８）歯磨きをいつ行っているか

問３（８）歯磨きはいつ行っていますか。（○はいくつでも）

▶歯磨きをいつ行っているかは、「朝食後」が 56.7%と最も高く、次いで、「就寝前」が 54.8%、「起床後」が 35.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「朝食後」「就寝前」「昼食後」の割合が低くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「朝食後」の割合が概ね低下する傾向となっている。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は「起床後」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「朝食後」「就寝前」の割合が低くなっている。

（%）

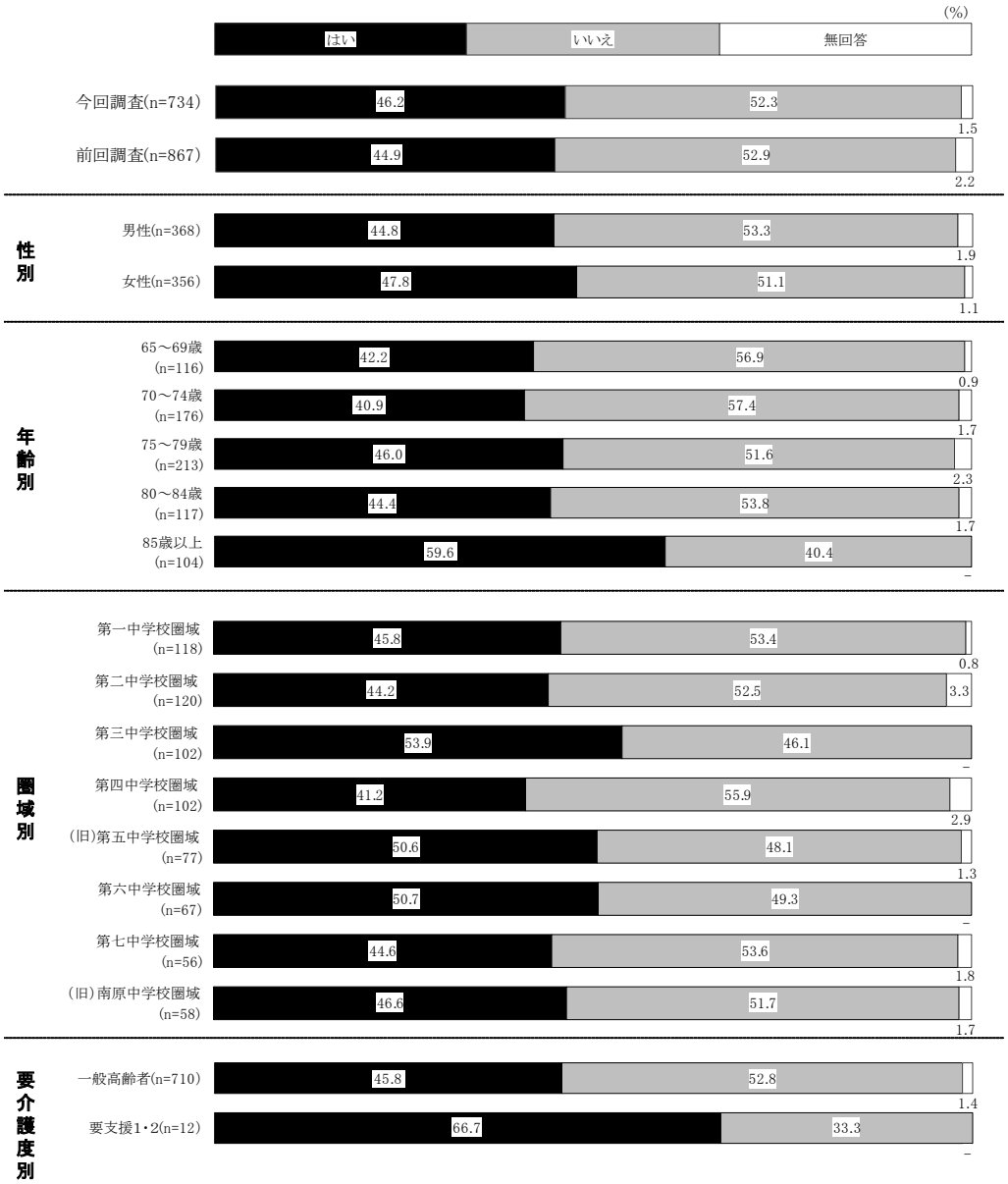
		n=	朝食後	就寝前	起床後	夕食後	昼食後
全体		734	56.7	54.8	35.4	32.0	23.8
性別	男性	368	49.5	47.8	37.5	31.0	18.8
	女性	356	64.6	62.1	33.1	33.4	29.8
年齢別	65～69歳	116	61.2	68.1	35.3	22.4	29.3
	70～74歳	176	59.1	63.6	31.3	29.0	25.6
	75～79歳	213	60.6	47.9	38.5	40.4	28.2
	80～84歳	117	52.1	48.7	35.0	31.6	16.2
	85歳以上	104	44.2	46.2	37.5	32.7	16.3
圏域別	第一中学校圏域	118	52.5	55.9	33.9	35.6	22.0
	第二中学校圏域	120	65.0	52.5	35.8	35.0	30.0
	第三中学校圏域	102	56.9	47.1	25.5	35.3	24.5
	第四中学校圏域	102	52.0	57.8	35.3	29.4	23.5
	（旧）第五中学校圏域	77	62.3	51.9	36.4	37.7	22.1
	第六中学校圏域	67	55.2	56.7	41.8	22.4	19.4
	第七中学校圏域	56	58.9	60.7	32.1	32.1	16.1
	（旧）南原中学校圏域	58	55.2	56.9	37.9	24.1	25.9
要介護度別	一般高齢者	710	57.6	55.4	35.4	32.4	24.2
	要支援１・２	12	25.0	33.3	33.3	33.3	25.0

４　毎日の生活について

（１）物忘れが多いと感じるか

問４（１）物忘れが多いと感じますか。（○は１つ）

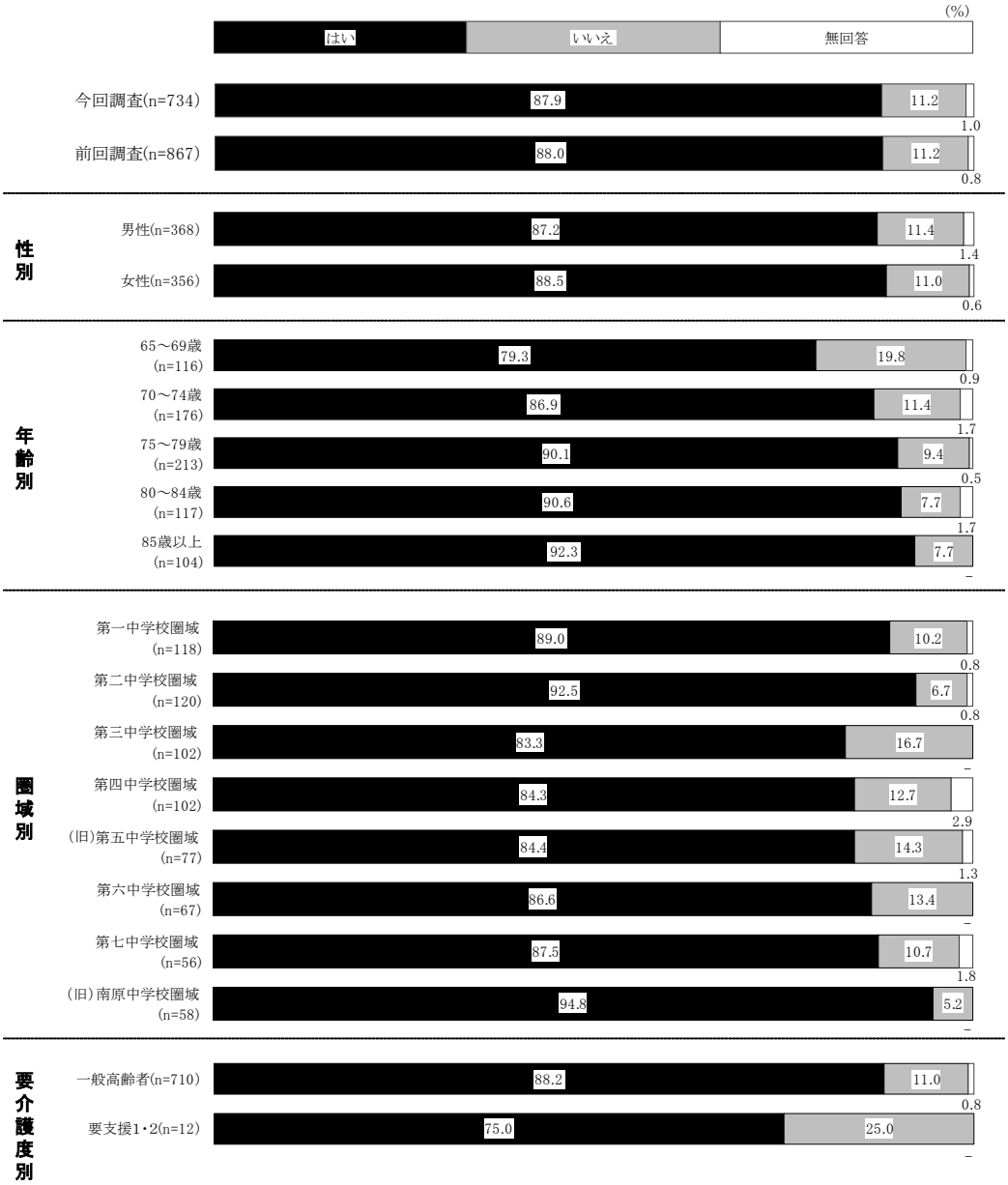
▶物忘れが多いと感じるかは、「はい」が 46.2%、「いいえ」が 52.3%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（２）電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

問４（２）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（○は１つ）

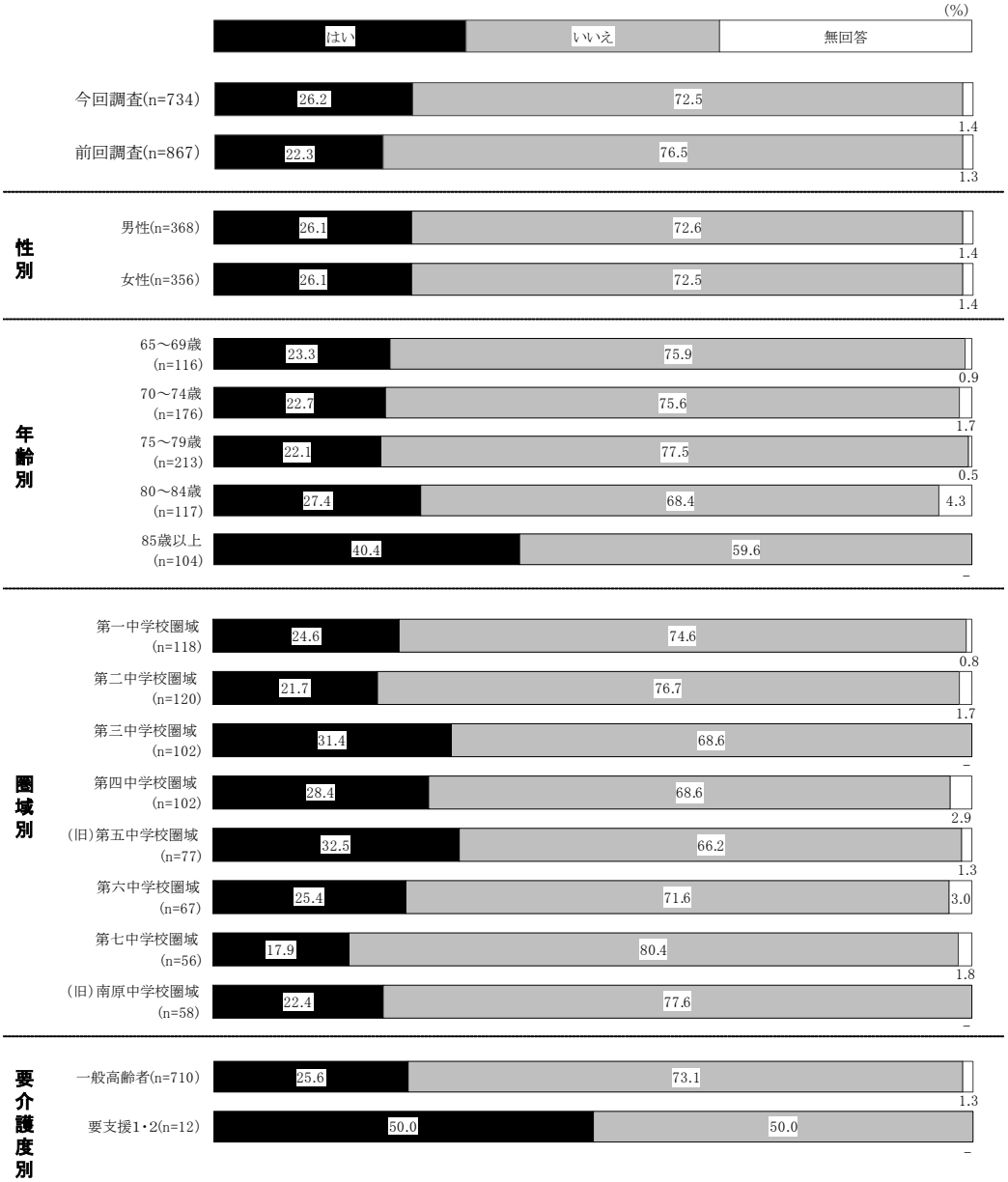
▶電話番号を調べて、電話をかけることをしているかは、「はい」が 87.9%、「いいえ」が 11.2%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「はい」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「はい」の割合が高くなっている。



（３）今日が何月何日かわからない時があるか

問４（３）今日が何月何日かわからない時がありますか。（○は１つ）

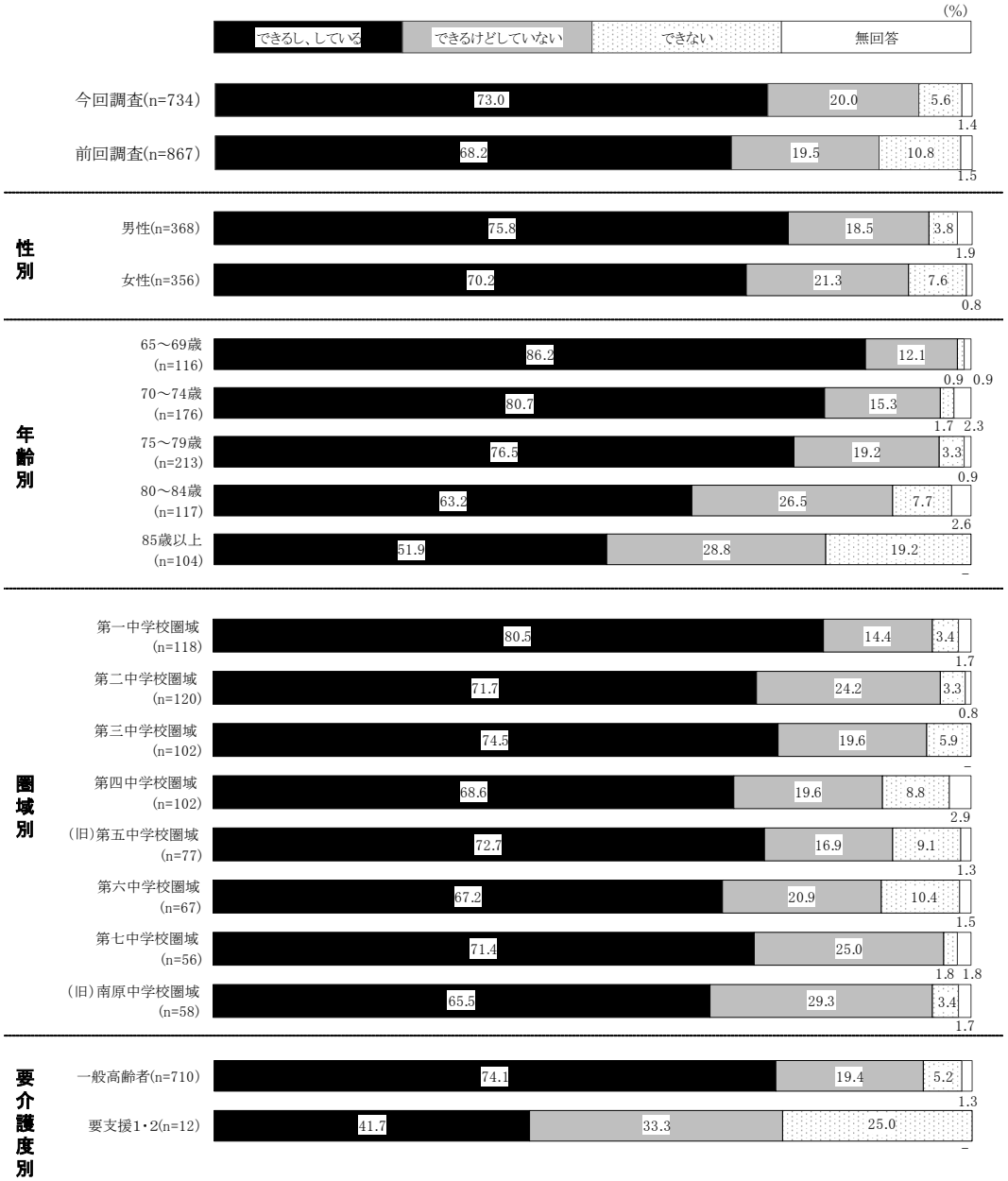
▶今日が何月何日かわからない時があるかは、「はい」が 26.2%、「いいえ」が 72.5%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて、「はい」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（４）バスや電車を使って１人で外出しているか

問４（４）バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）

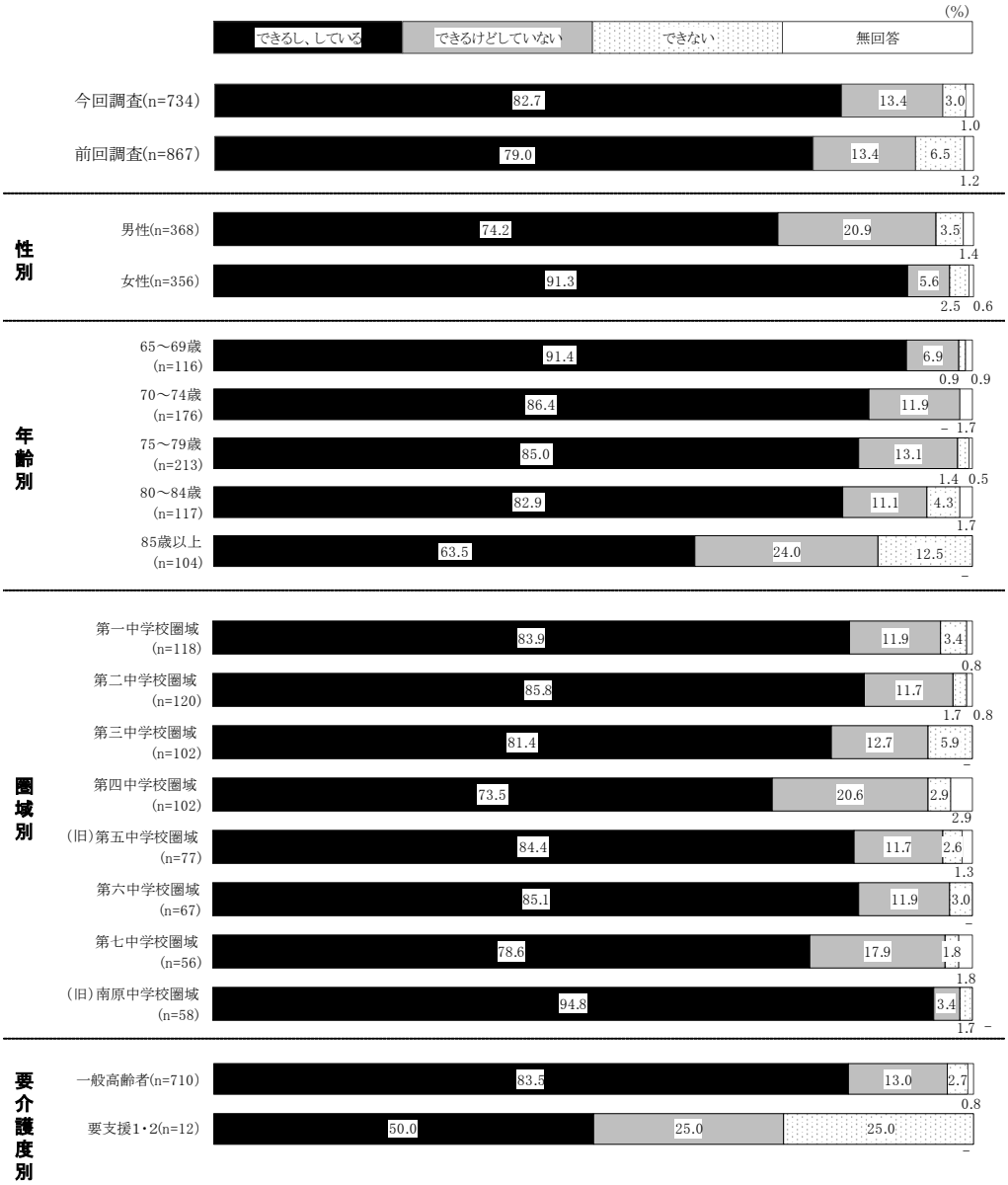
▶バスや電車を使って１人で外出しているかは、「できるし、している」が 73.0%と最も高く、次いで、「できるけどしていない」が 20.0%、「できない」が 5.6%となっている。
▶前回調査と比べると、「できない」の割合が前回から 5.2 ポイント低下している。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「できるし、している」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第一中学校圏域』は「できるし、している」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「できるし、している」の割合が低くなっており、「できるけどしていない」「できない」の割合は一般高齢者よりも高くなっている。



（５）食品・日用品の買物をしているか

問４（５）自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は１つ）

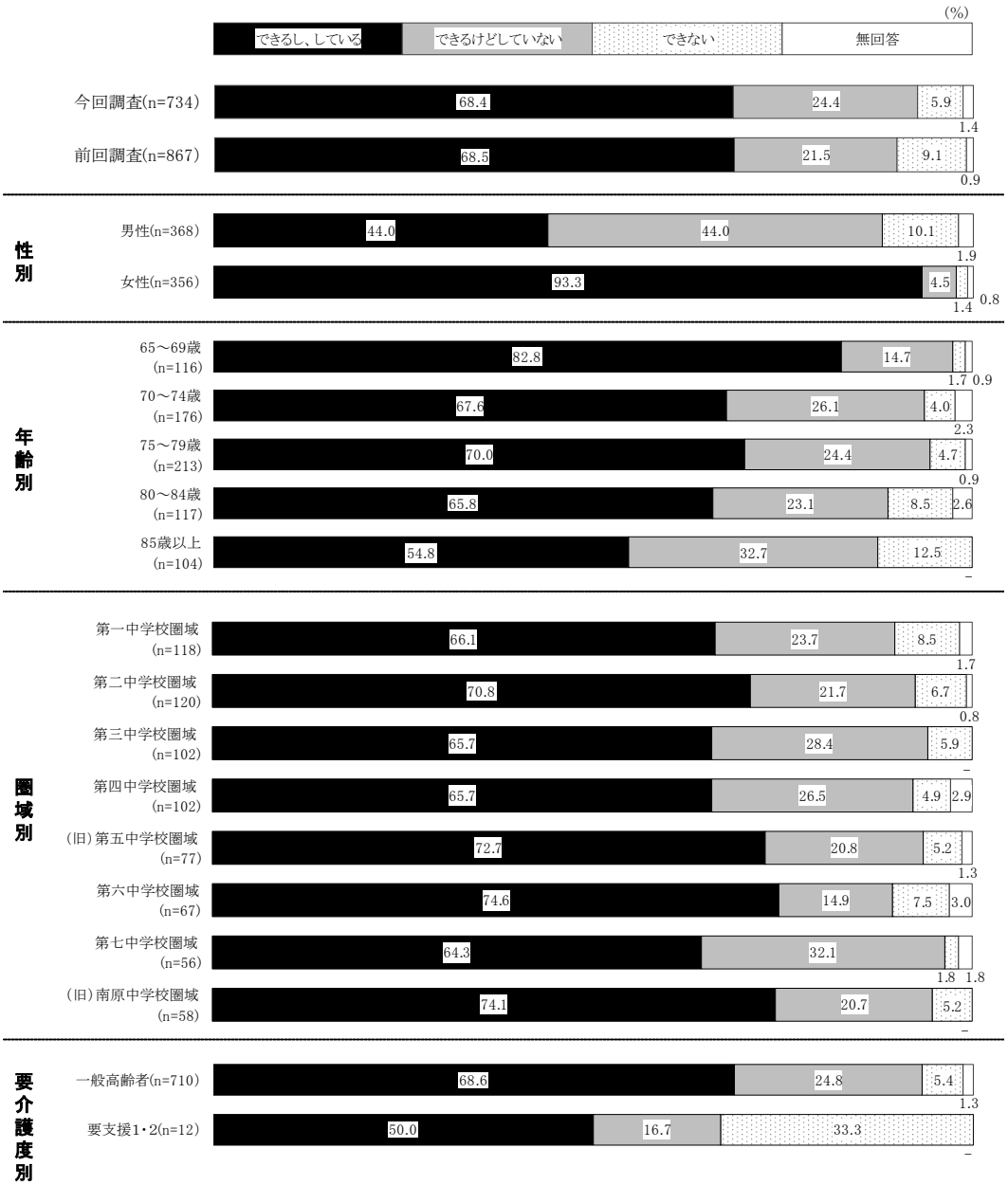
▶食品・日用品の買物をしているかは、「できるし、している」が 82.7%と最も高く、次いで、「できるけどしていない」が 13.4%、「できない」が 3.0%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも「できるし、している」が、『男性』は女性よりも「できるけどしていない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第四中学校圏域』は「できるし、している」の割合が他の圏域よりも低くなっており、「できるけどしていない」の割合は他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「できるし、している」の割合が低くなっており、「できるけどしていない」「できない」の割合は一般高齢者よりも高くなっている。



（６）食事の用意をしているか

問４（６）自分で食事の用意をしていますか。（○は１つ）

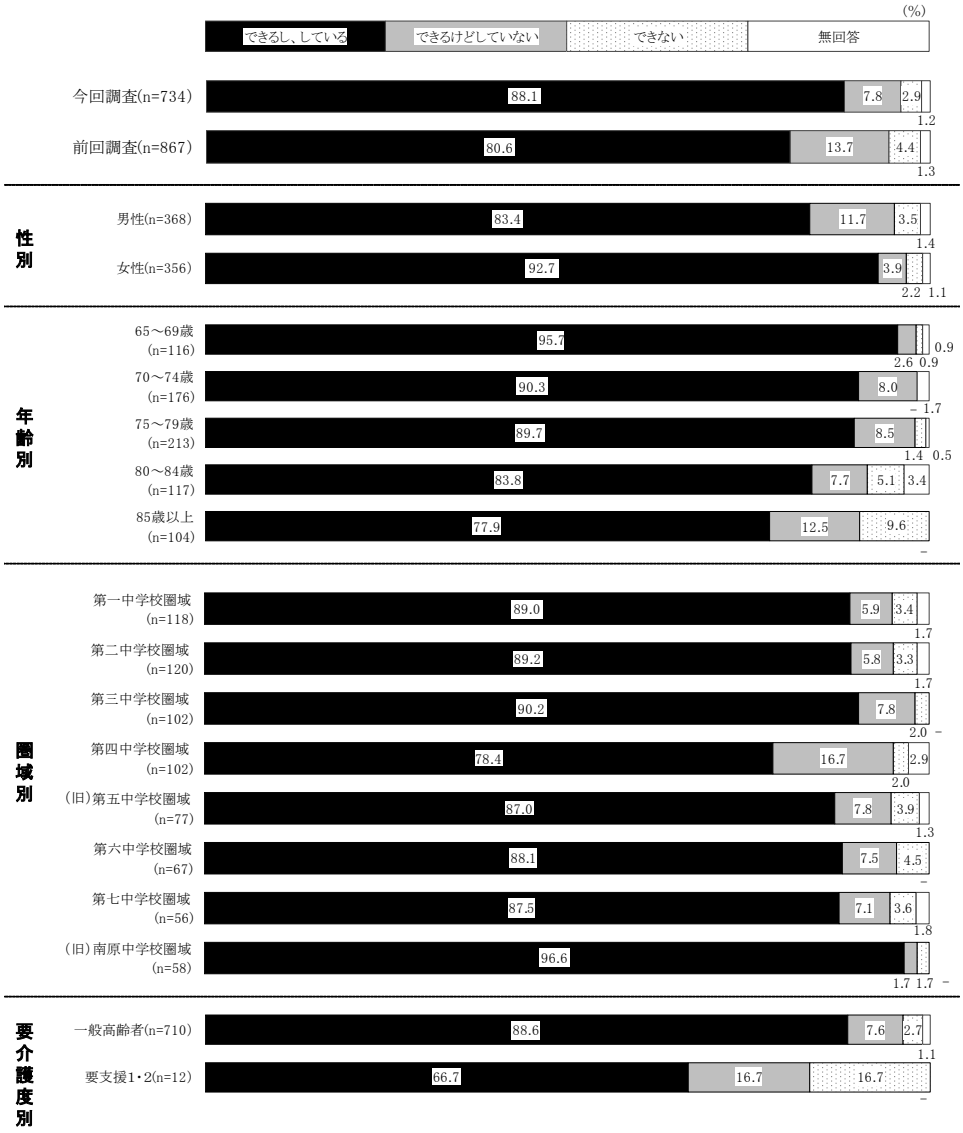
▶食事の用意をしているかは、「できるし、している」が 68.4%と最も高く、次いで、「できるけどしていない」が24.4%、「できない」が 5.9%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも「できるし、している」が、『男性』は女性よりも「できるけどしていない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低下する傾向となっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「できるけどしていない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「できるし、している」の割合が低くなっており、「できるけどしていない」「できない」の割合は一般高齢者よりも高くなっている。



（７）請求書の支払いをしているか

問４（７）自分で請求書の支払いをしていますか。（○は１つ）

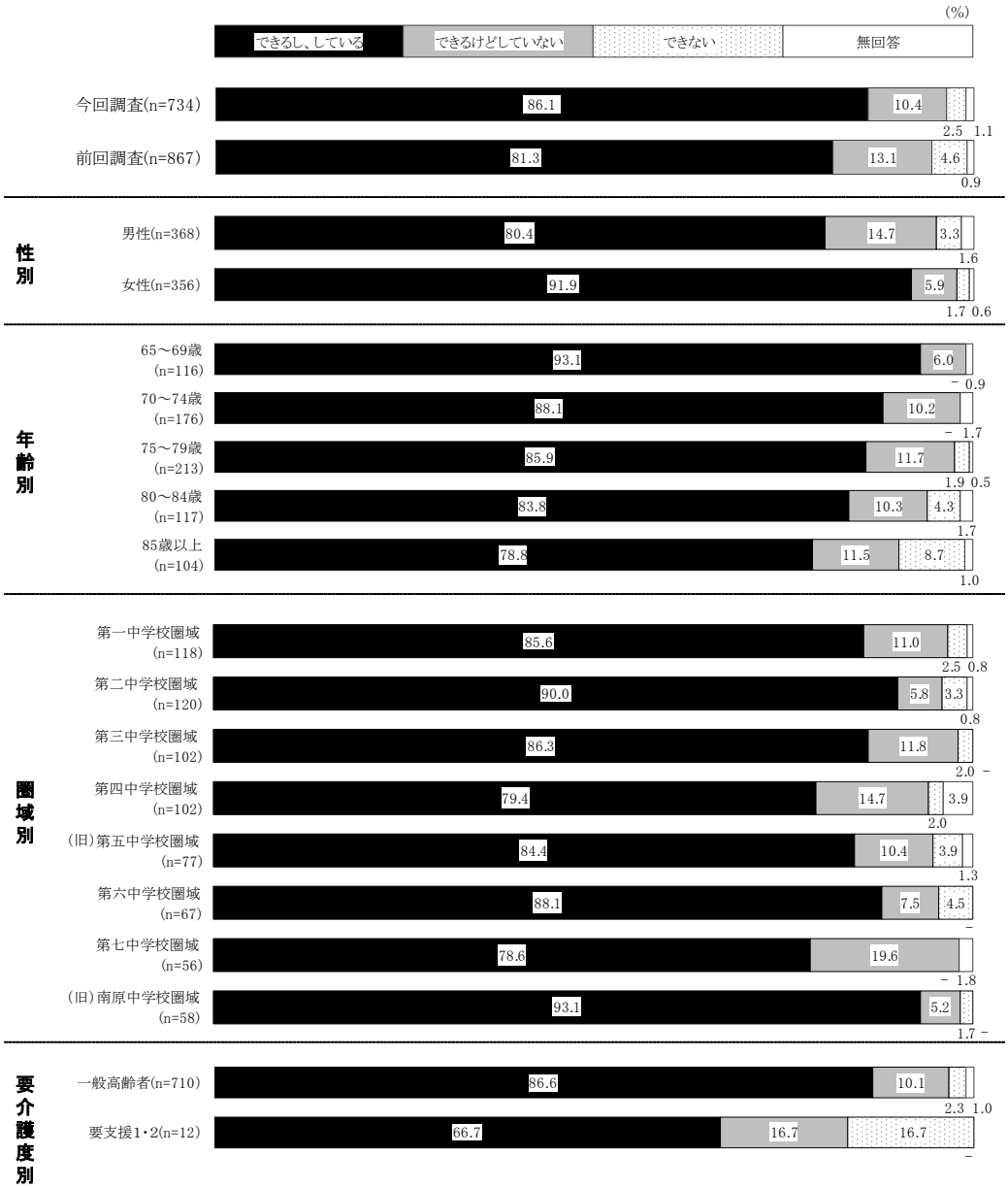
▶請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が 88.1%と最も高く、次いで、「できるけどしていない」が 7.8%、「できない」が 2.9%となっている。
▶前回調査と比べると、「できるし、している」の割合が前回から 7.5 ポイント上昇している。「できるけどしていない」の割合は前回から 5.9 ポイント低下している。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも「できるし、している」が、『男性』は女性よりも「できるけどしていない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第四中学校圏域』は「できるし、している」の割合が他の圏域よりも低くなっており、「できるけどしていない」の割合は他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「できるし、している」の割合が低くなっており、「できるけどしていない」「できない」の割合は一般高齢者よりも高くなっている。



（８）預貯金の出し入れをしているか

問４（８）自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は１つ）

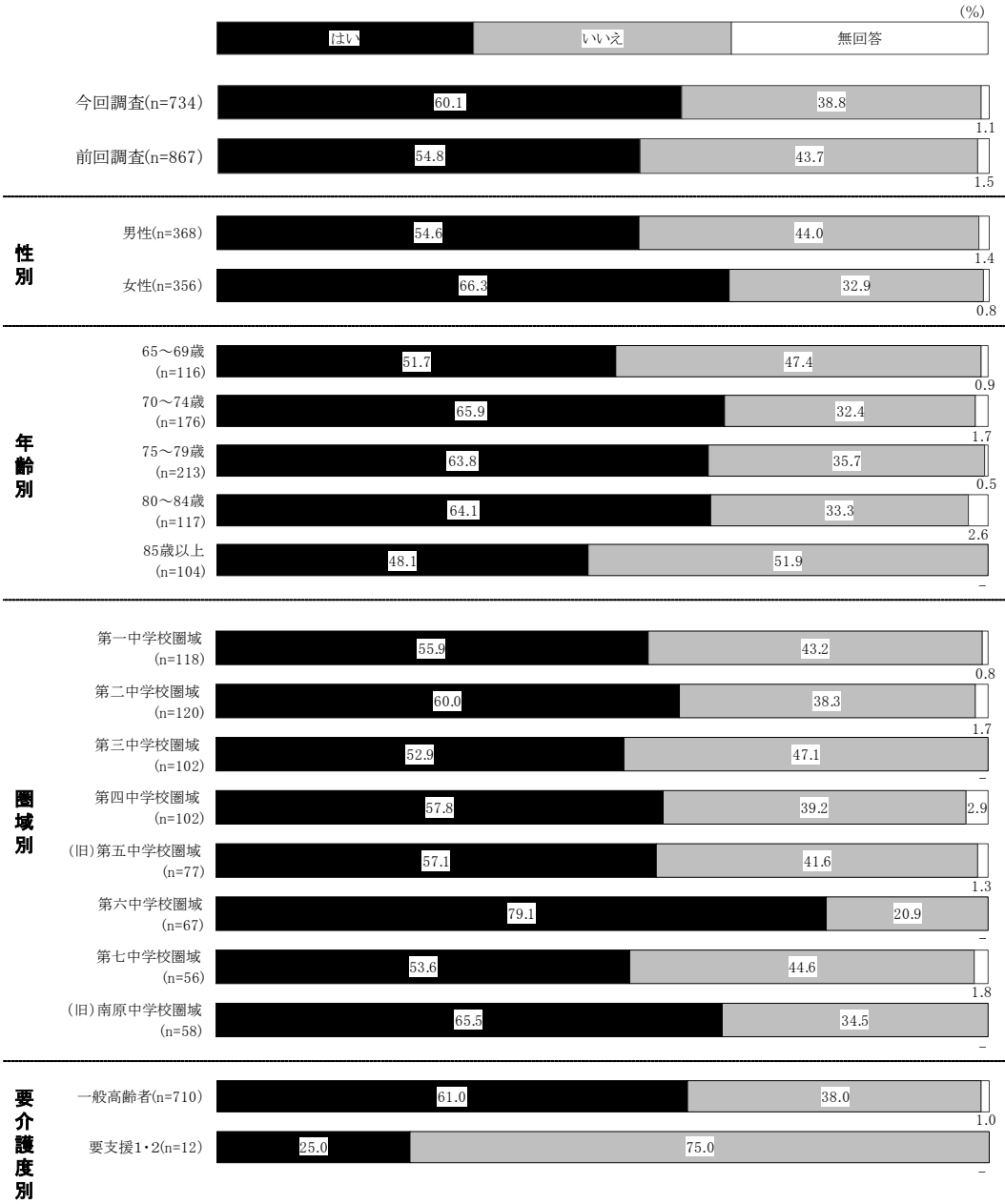
▶預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が 86.1%と最も高く、次いで、「できるけどしていない」が 10.4%、「できない」が 2.5%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも「できるし、している」が、『男性』は女性よりも「できるけどしていない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「できるし、している」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「できるし、している」の割合が低くなっており、「できるけどしていない」「できない」の割合は一般高齢者よりも高くなっている。



（９）友人の家を訪ねているか

問４（９）友人の家を訪ねていますか。（○は１つ）

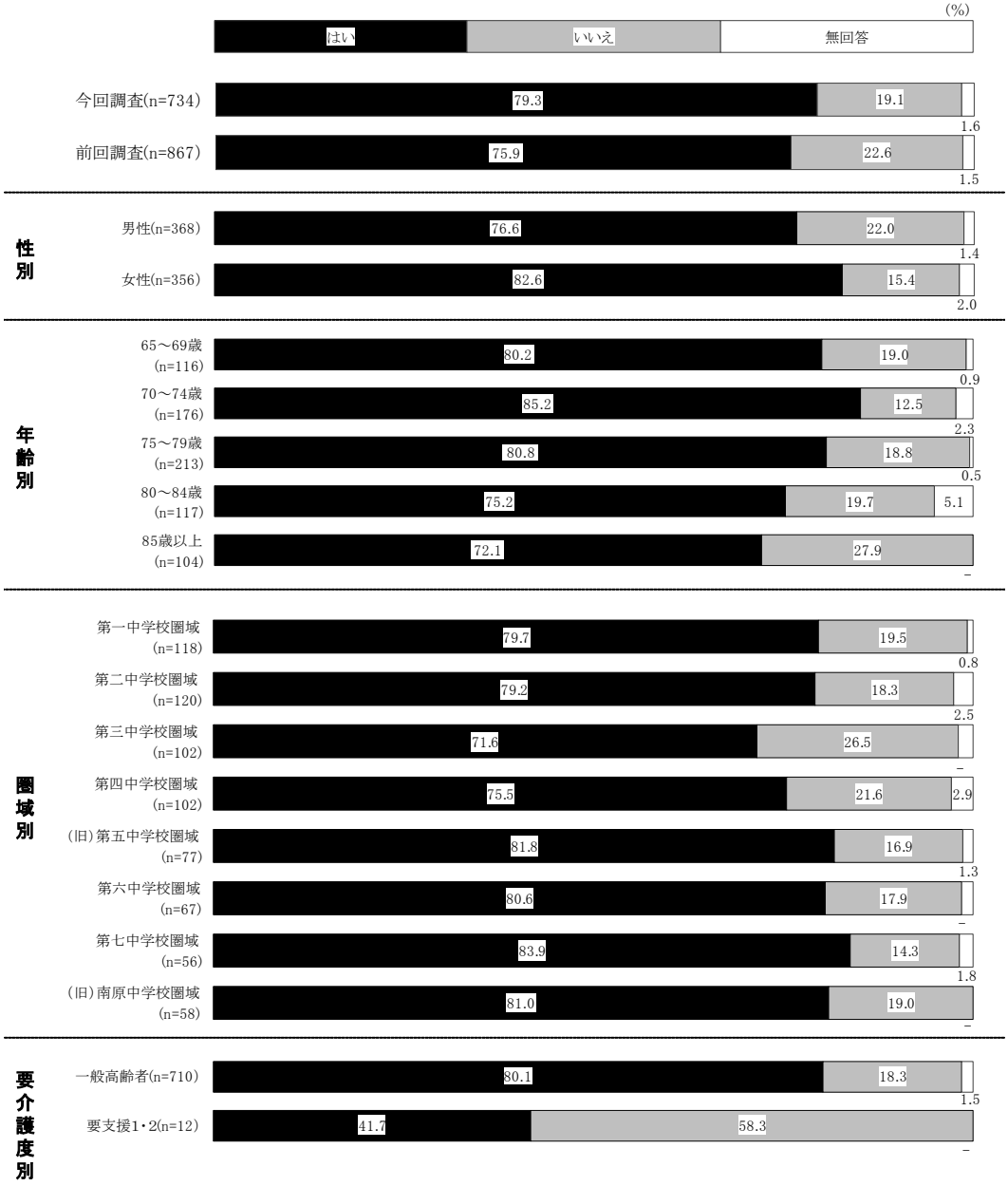
▶友人の家を訪ねているかは、「はい」が 60.1%、「いいえ」が 38.8%となっている。
▶前回調査と比べると、「はい」の割合が前回から 5.3 ポイント上昇している。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも「はい」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも低くなっている。
▶圏域別でみると、『第六中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「はい」の割合が高くなっている。



（１０）家族や友人の相談にのっているか

問４（１０）家族や友人の相談にのっていますか。（○は１つ）

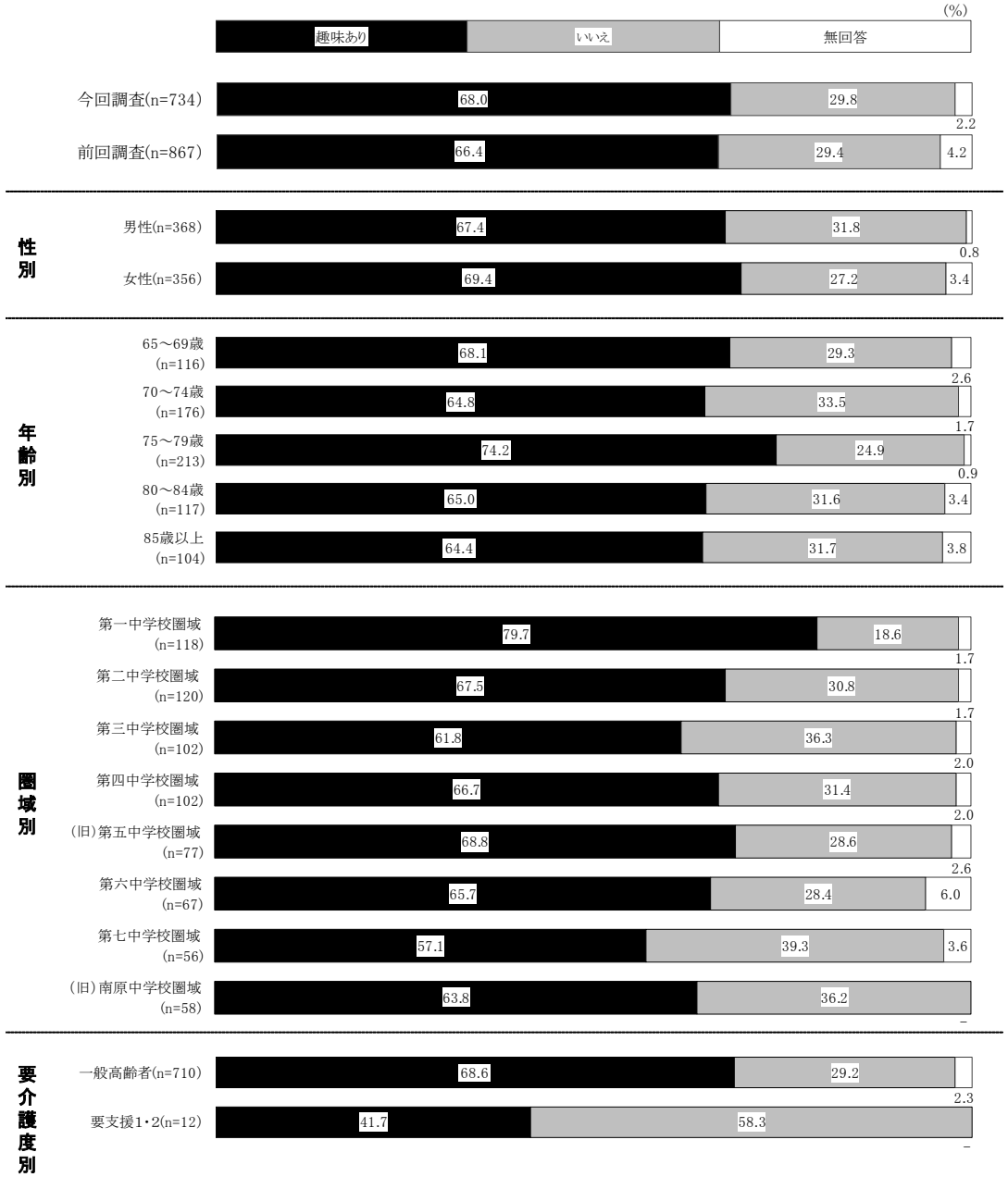
▶家族や友人の相談にのっているかは、「はい」が 79.3%、「いいえ」が 19.1%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも「はい」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『70～74 歳』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「はい」の割合が高くなっている。



（１１）趣味はあるか

問４（１１）趣味はありますか。（○は１つ）

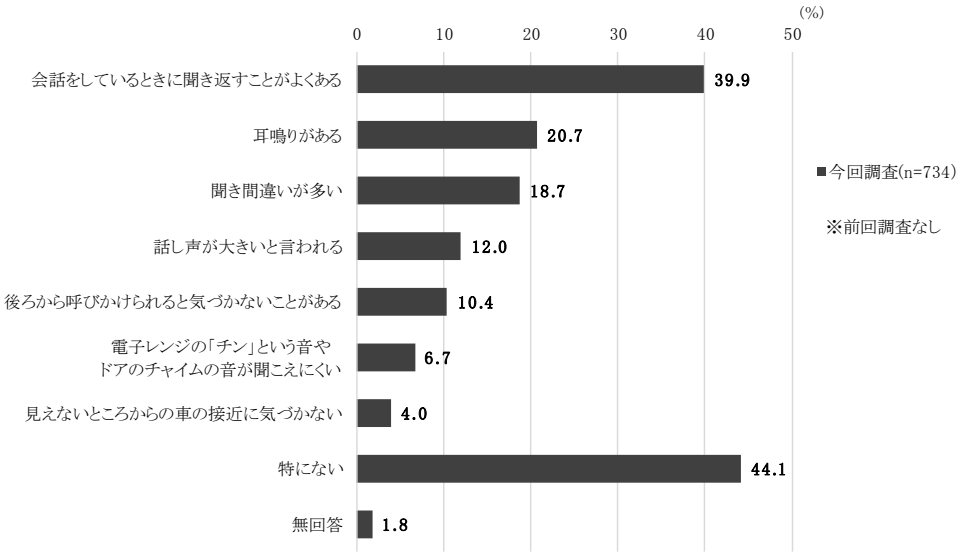
▶趣味はあるかは、「趣味あり」が 68.0%、「いいえ」が 29.8%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『75～79 歳』は「趣味あり」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第一中学校圏域』は「趣味あり」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「はい」の割合が高くなっている。



（１２）耳の聞こえについて

問４（１２）耳の聞こえについて、あてはまる項目はありますか。（○はいくつでも）

▶耳の聞こえについては、「会話をしているときに聞き返すことがよくある」が 39.9%と最も多く、次いで、「耳鳴りがある」が 20.7%、「聞き間違いが多い」が 18.7%となっている。
また、「特にない」は 44.1%なっている。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「会話をしているときに聞き返すことがよくある」が、『女性』は男性よりも「特にない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「会話をしているときに聞き返すことがよくある」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は「特にない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「会話をしているときに聞き返すことがよくある」の割合が高くなっている。

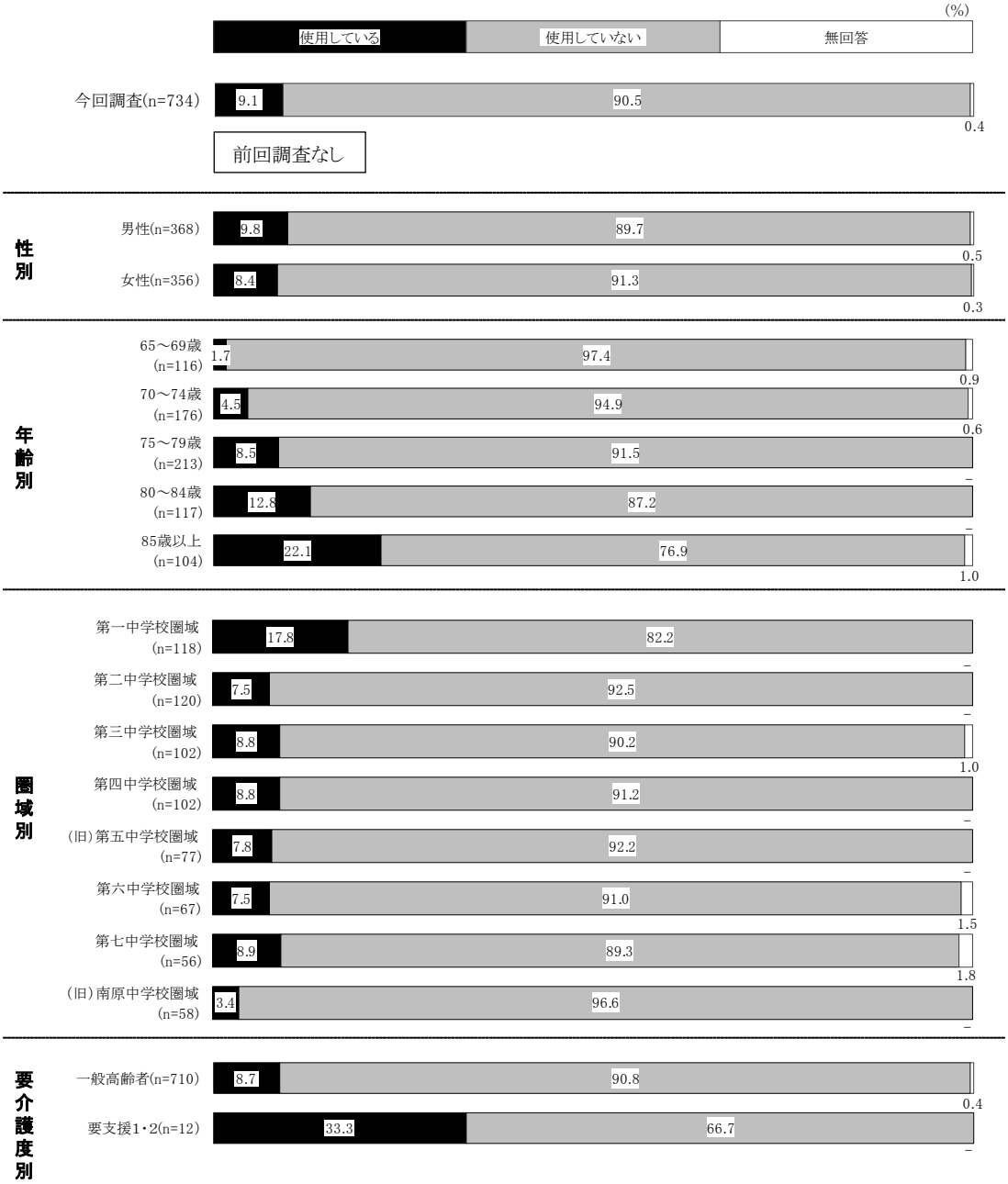
（%）

		n=	会話をしているときに聞き返すことがよくある	耳鳴りがある	聞き間違いが多い	話し声が大きいと言われる	後ろから呼びかけられると気づかないことがある	電子レンジの「チン」という音やドアのチャイムの音が聞こえにくい	見えないところからの車の接近に気づかない	特にない
全体		734	39.9	20.7	18.7	12.0	10.4	6.7	4.0	44.1
性別	男性	368	44.6	24.5	20.9	11.1	11.7	7.6	3.8	39.9
	女性	356	35.1	16.6	16.3	13.2	8.7	5.3	4.2	48.3
年齢別	65～69歳	116	26.7	19.0	9.5	12.1	4.3	2.6	1.7	54.3
	70～74歳	176	37.5	19.3	14.8	11.9	7.4	4.5	1.7	47.2
	75～79歳	213	37.1	22.1	21.1	8.0	8.9	4.7	3.3	46.5
	80～84歳	117	47.0	18.8	23.1	12.0	14.5	6.0	4.3	38.5
	85歳以上	104	56.7	24.0	25.0	20.2	19.2	18.3	11.5	29.8
圏域別	第一中学校圏域	118	49.2	17.8	23.7	15.3	13.6	11.0	3.4	35.6
	第二中学校圏域	120	36.7	14.2	14.2	10.8	5.8	5.0	1.7	53.3
	第三中学校圏域	102	47.1	21.6	22.5	10.8	12.7	6.9	6.9	41.2
	第四中学校圏域	102	36.3	18.6	15.7	14.7	11.8	7.8	3.9	43.1
	（旧）第五中学校圏域	77	37.7	22.1	15.6	13.0	7.8	5.2	3.9	46.8
	第六中学校圏域	67	43.3	25.4	20.9	9.0	14.9	6.0	4.5	38.8
	第七中学校圏域	56	33.9	30.4	16.1	14.3	5.4	7.1	5.4	44.6
	（旧）南原中学校圏域	58	32.8	25.9	17.2	10.3	6.9	3.4	3.4	44.8
要介護度別	一般高齢者	710	39.2	20.4	18.6	11.8	10.0	6.1	3.9	44.8
	要支援１・２	12	66.7	33.3	16.7	25.0	8.3	33.3	8.3	25.0

（１３）補聴器を使用しているか

問４（１３）あなたは、現在、補聴器を使用していますか。（○は１つ）

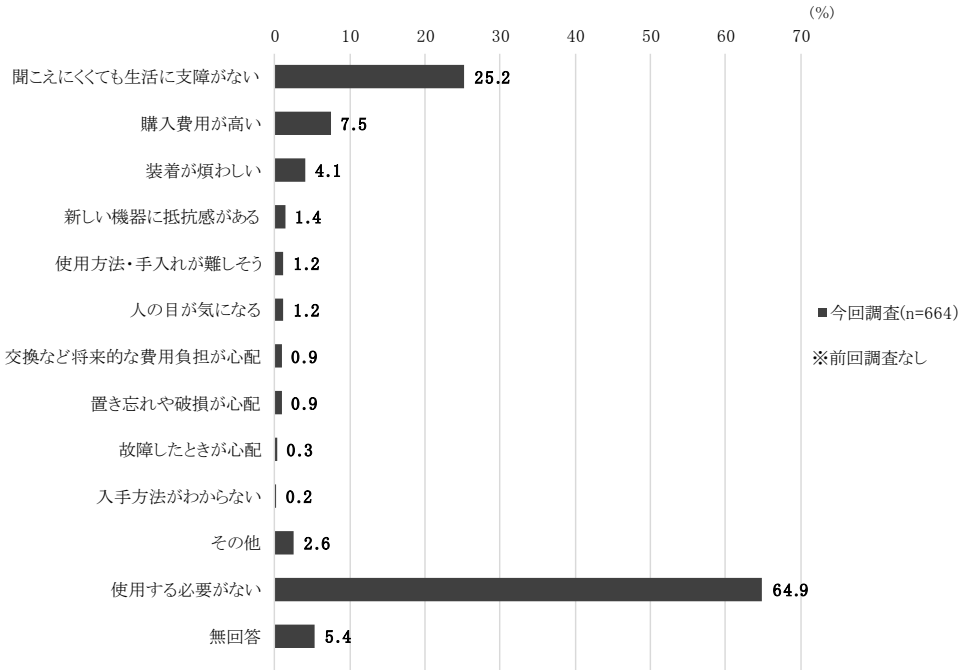
▶補聴器を使用しているかは、「使用している」が 9.1%、「使用していない」が 90.5%となっている。
▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「使用している」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第一中学校圏域』は「使用している」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「使用している」の割合が高くなっている。



（１４）補聴器を使用しない理由

問４【（１３）で「２．使用していない」を選んだ方のみ】
（１４）補聴器を使用しないのはなぜですか。（○はいくつでも）

▶補聴器を使用しない理由は、「聞こえにくくても生活に支障がない」が 25.2%と最も多く、次いで、「購入費用が高い」が 7.5%、「装着が煩わしい」が 4.1%となっている。また、「使用する必要がない」は 64.9%となっている。



▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「使用する必要がない」の割合は低下しているが、「聞こえにくくても支障がない」の割合は高くなっている。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は「聞こえにくくても支障がない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「聞こえなくても生活に支障がない」の割合が高くなっており、「購入費用が高い」「交換などの将来的な費用負担が心配」等、補聴器を使用していない理由として経済的な理由を選択する割合も高くなっている。

（%）

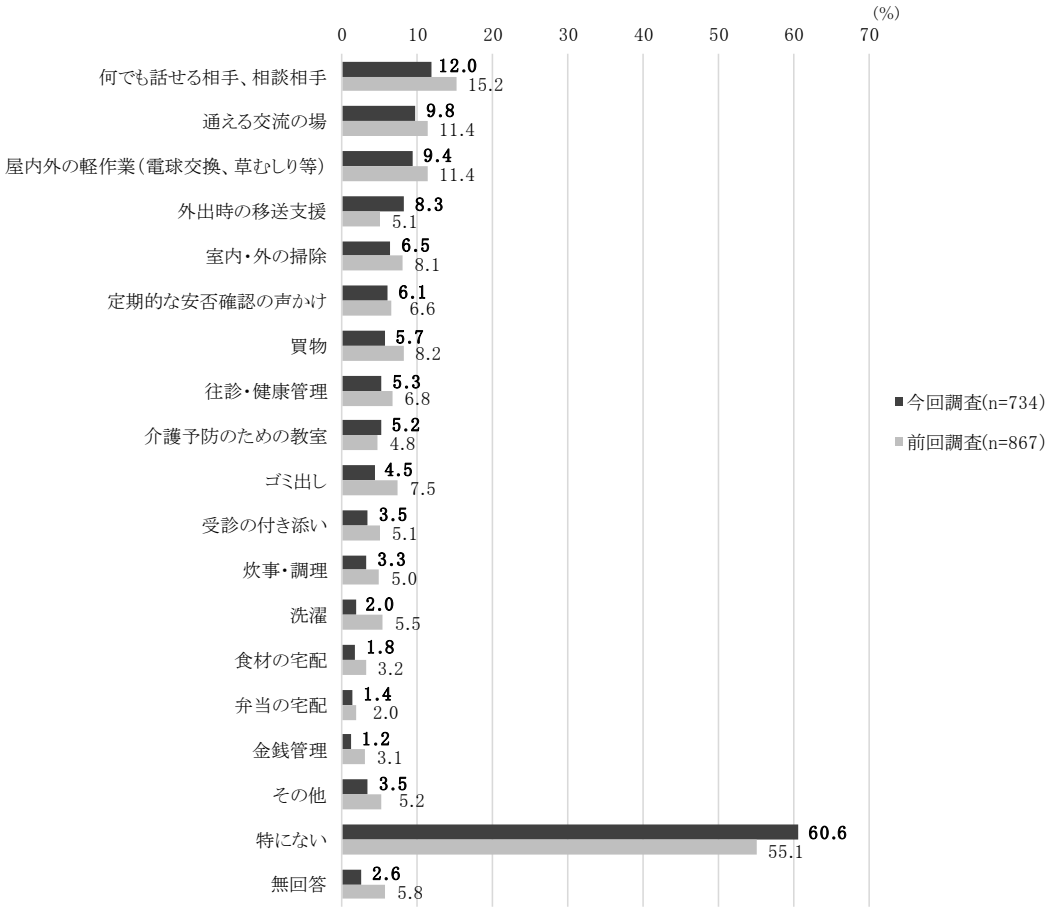
		n=	聞こえにくくても生活に支障がない	購入費用が高い	装着が煩わしい	新しい機器に抵抗感がある	使用方法・手入れが難しそう	人の目が気になる	交換など将来的な費用負担が心配	置き忘れや破損が心配	故障したときが心配	入手方法がわからない	その他	使用する必要がない
全体		664	25.2	7.5	4.1	1.4	1.2	1.2	0.9	0.9	0.3	0.2	2.6	64.9
性別	男性	330	27.6	8.2	4.8	1.5	0.6	0.6	1.2	1.2	0.3	0.3	2.7	62.7
	女性	325	22.8	7.1	3.4	1.2	1.8	1.8	0.6	0.6	0.3	-	2.5	67.1
年齢別	65～69歳	113	15.0	4.4	0.9	-	-	-	-	-	-	-	2.7	75.2
	70～74歳	167	19.2	6.0	1.2	0.6	-	1.2	1.2	-	-	-	2.4	72.5
	75～79歳	195	24.1	7.7	3.6	3.1	1.0	0.5	1.0	1.0	0.5	-	1.5	66.2
	80～84歳	102	34.3	9.8	4.9	1.0	2.9	2.0	1.0	2.0	-	-	3.9	57.8
	85歳以上	80	42.5	12.5	15.0	1.3	3.8	3.8	1.3	2.5	1.3	1.3	3.8	41.3
圏域別	第一中学校圏域	97	25.8	12.4	5.2	2.1	1.0	-	2.1	-	-	-	2.1	63.9
	第二中学校圏域	111	21.6	4.5	2.7	0.9	0.9	-	0.9	0.9	0.9	-	2.7	69.4
	第三中学校圏域	92	32.6	8.7	6.5	1.1	3.3	1.1	-	1.1	-	-	4.3	54.3
	第四中学校圏域	93	21.5	7.5	4.3	2.2	1.1	2.2	1.1	1.1	1.1	-	2.2	71.0
	（旧）第五中学校圏域	71	25.4	7.0	2.8	-	-	1.4	2.8	-	-	-	4.2	63.4
	第六中学校圏域	61	31.1	4.9	4.9	-	-	3.3	-	1.6	-	1.6	-	59.0
	第七中学校圏域	50	22.0	6.0	2.0	2.0	2.0	2.0	-	4.0	-	-	2.0	74.0
	（旧）南原中学校圏域	56	23.2	5.4	3.6	1.8	-	-	-	-	-	-	3.6	58.9
要介護度別	一般高齢者	645	24.5	7.1	4.0	1.4	1.2	1.2	0.8	0.8	0.3	0.2	2.6	66.0
	要支援１・２	8	50.0	25.0	12.5	-	-	-	12.5	12.5	-	-	-	25.0

（１５）普段の生活でどのような支援を必要と感じるか

問４（１５）あなたは、普段の生活でどのような支援が必要と感じますか。（○はいくつでも）

▶普段の生活でどのような支援を必要と感じるかは、「何でも話せる相手、相談相手」が 12.0%と最も高く、次いで、「通える交流の場」が 9.8%、「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）」が 9.4%となっている。また、「特にない」は 60.6%となっている。

▶前回調査と比べると、「特にない」の割合が前回から 5.5 ポイント上昇している。



▶性別でみると、『女性』は男性よりも「外出時の移送支援」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて割合が上昇するものが多く、中でも「ゴミ出し」「受診の付き添い」は年齢階層による差が大きくなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）第五中学校圏域』は「何でも話せる相手、相談相手」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「何でも話せる相手、相談相手」の割合が高くなっている。

(%)

		n=	何でも話せる相手、相談相手	通える交流の場	屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）	外出時の移送支援	室内・外の掃除	定期的な安否確認の声かけ	買物	往診・健康管理	介護予防のための教室	ゴミ出し	受診の付き添い
全体		734	12.0	9.8	9.4	8.3	6.5	6.1	5.7	5.3	5.2	4.5	3.5
性別	男性	368	12.2	7.6	7.1	5.4	6.3	5.2	4.9	7.3	3.5	3.8	3.3
	女性	356	11.5	12.1	11.2	11.5	6.5	6.7	6.2	3.4	6.7	4.8	3.9
年齢別	65～69歳	116	12.9	9.5	6.0	3.4	1.7	3.4	0.9	2.6	3.4	-	1.7
	70～74歳	176	10.8	8.5	5.1	5.1	2.8	2.8	2.8	2.8	3.4	1.7	1.7
	75～79歳	213	8.9	11.3	8.5	7.0	6.1	4.7	5.6	3.3	7.0	4.2	1.4
	80～84歳	117	11.1	9.4	14.5	11.1	10.3	6.8	6.0	6.8	5.1	4.3	3.4
	85歳以上	104	19.2	9.6	15.4	19.2	14.4	16.3	14.4	14.4	6.7	14.4	13.5
圏域別	第一中学校圏域	118	7.6	6.8	14.4	5.9	7.6	4.2	4.2	2.5	4.2	4.2	3.4
	第二中学校圏域	120	10.8	10.0	13.3	12.5	10.0	5.8	7.5	4.2	2.5	2.5	5.0
	第三中学校圏域	102	18.6	13.7	8.8	6.9	7.8	8.8	4.9	7.8	7.8	3.9	2.0
	第四中学校圏域	102	9.8	9.8	7.8	12.7	6.9	5.9	5.9	9.8	3.9	5.9	5.9
	（旧）第五中学校圏域	77	19.5	11.7	3.9	7.8	3.9	5.2	7.8	2.6	7.8	7.8	-
	第六中学校圏域	67	11.9	9.0	10.4	3.0	9.0	7.5	7.5	3.0	6.0	6.0	6.0
	第七中学校圏域	56	8.9	10.7	7.1	5.4	1.8	3.6	1.8	5.4	8.9	-	-
	（旧）南原中学校圏域	58	6.9	5.2	6.9	10.3	3.4	8.6	6.9	8.6	1.7	8.6	5.2
要介護度別	一般高齢者	710	11.1	9.6	9.2	8.3	6.1	5.8	5.2	4.9	5.2	4.1	3.2
	要支援１・２	12	50.0	25.0	16.7	16.7	25.0	25.0	16.7	25.0	8.3	25.0	25.0

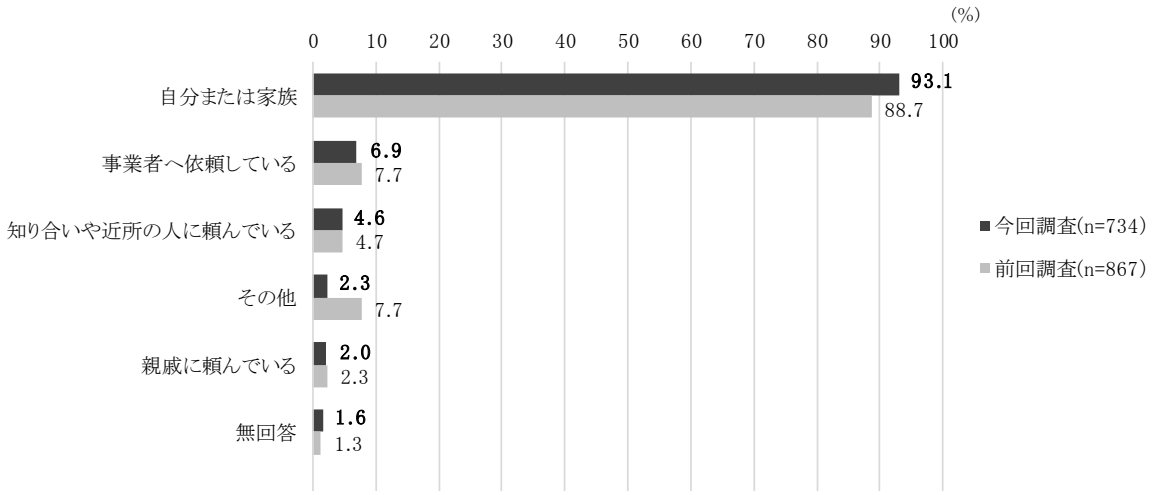
(%)

		n=	炊事・調理	洗濯	食材の宅配	弁当の宅配	金銭管理	その他	特にない
全体		734	3.3	2.0	1.8	1.4	1.2	3.5	60.6
性別	男性	368	4.9	2.7	1.4	1.1	1.4	3.3	65.5
	女性	356	1.4	0.8	2.2	1.7	0.6	3.9	56.2
年齢別	65～69歳	116	0.9	-	-	1.7	-	3.4	70.7
	70～74歳	176	2.8	1.7	2.3	1.1	0.6	2.3	72.7
	75～79歳	213	4.2	3.8	1.4	0.5	0.9	3.3	64.8
	80～84歳	117	3.4	1.7	1.7	2.6	2.6	5.1	52.1
	85歳以上	104	2.9	1.0	3.8	1.9	1.0	4.8	30.8
圏域別	第一中学校圏域	118	3.4	3.4	4.2	2.5	1.7	7.6	62.7
	第二中学校圏域	120	3.3	0.8	0.8	0.8	0.8	2.5	57.5
	第三中学校圏域	102	2.0	-	2.0	2.0	-	2.0	53.9
	第四中学校圏域	102	4.9	3.9	2.0	1.0	1.0	4.9	55.9
	（旧）第五中学校圏域	77	5.2	5.2	-	1.3	2.6	2.6	55.8
	第六中学校圏域	67	4.5	-	3.0	1.5	1.5	1.5	62.7
	第七中学校圏域	56	-	-	-	-	-	1.8	66.1
	（旧）南原中学校圏域	58	3.4	3.4	1.7	1.7	3.4	5.2	70.7
要介護度別	一般高齢者	710	3.0	1.7	1.7	1.3	0.8	3.7	61.5
	要支援１・２	12	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	-	16.7

（１６）冬の除雪は誰がするか

問４（１６）冬の除雪は誰がしますか。（○はいくつでも）

▶冬の除雪は誰がするかは、「自分または家族」が 93.1%と最も高く、次いで、「事業者へ依頼している」が 6.9%、「知り合いや近所の人に頼んでいる」が 4.6%となっている。
▶前回調査と比べると、「その他」の割合が前回から 5.4 ポイント低下している。



▶性別でみると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「自分または家族」の割合が低下している。「知り合いや近所の人の頼んでいる」「親戚に頼んでいる」の割合は年齢階層が高くなるにつれて上昇している。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「自分または家族」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「自分または家族」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「事業者へ依頼している」の割合が高くなっている。

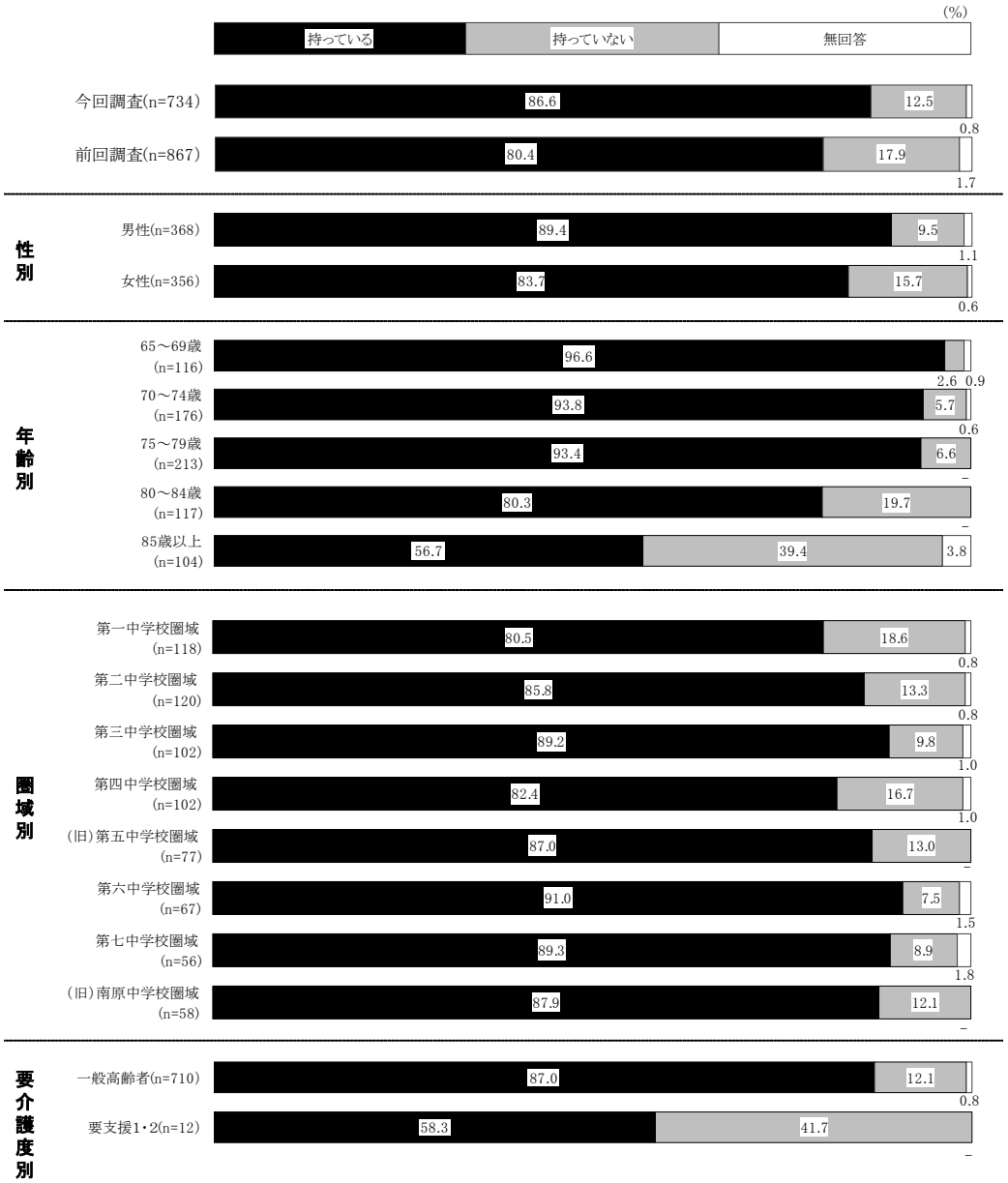
（%）

		n=	自分または家族	事業者へ依頼している	知り合いや近所の人に頼んでいる	親戚に頼んでいる	その他
全体		734	93.1	6.9	4.6	2.0	2.3
性別	男性	368	93.2	7.6	2.4	1.6	1.6
	女性	356	92.7	6.5	7.0	2.5	3.1
年齢別	65～69歳	116	99.1	4.3	0.9	-	0.9
	70～74歳	176	97.2	2.8	-	1.1	1.1
	75～79歳	213	93.9	7.5	5.2	1.9	2.8
	80～84歳	117	88.9	9.4	7.7	3.4	4.3
	85歳以上	104	81.7	13.5	12.5	4.8	2.9
圏域別	第一中学校圏域	118	91.5	7.6	4.2	2.5	5.1
	第二中学校圏域	120	95.0	7.5	5.0	3.3	1.7
	第三中学校圏域	102	90.2	8.8	4.9	2.9	1.0
	第四中学校圏域	102	91.2	6.9	2.9	2.0	2.0
	（旧）第五中学校圏域	77	94.8	7.8	2.6	-	3.9
	第六中学校圏域	67	94.0	3.0	3.0	1.5	-
	第七中学校圏域	56	96.4	1.8	7.1	-	-
	（旧）南原中学校圏域	58	91.4	8.6	12.1	3.4	1.7
要介護度別	一般高齢者	710	93.4	6.6	4.5	2.1	2.4
	要支援１・２	12	83.3	16.7	8.3	-	-

（１７）携帯電話またはスマートフォンの所持状況

問４（１７）ご自分の携帯電話またはスマートフォンを持っていますか。（○は１つ）

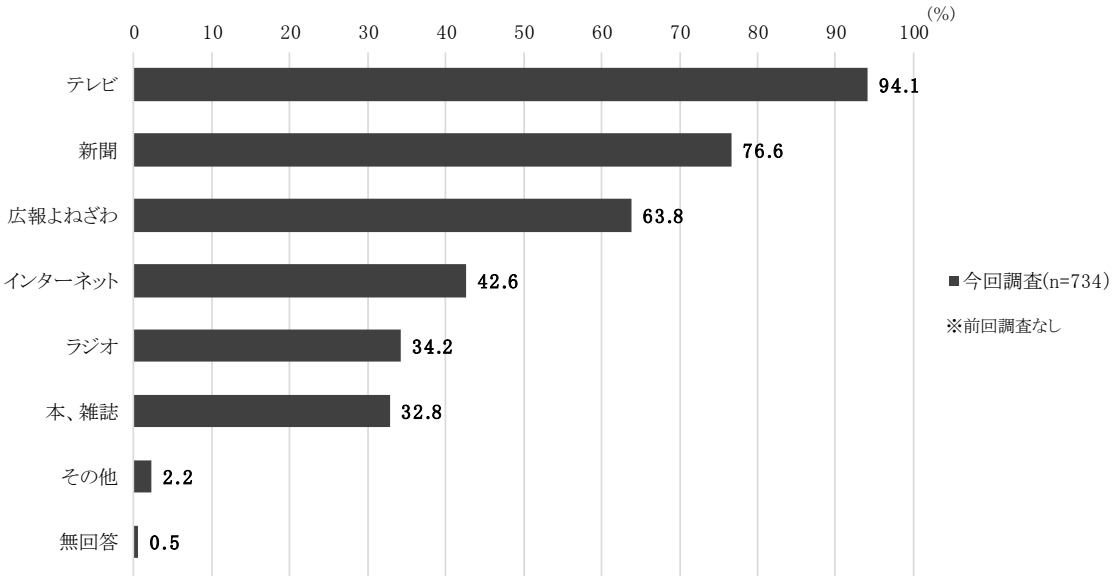
▶携帯電話またはスマートフォンの所持状況は、「持っている」が 86.6%、「持っていない」が 12.5%となっている。
▶前回調査と比べると、「持っている」の割合が前回から 6.2 ポイント上昇している。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「持っている」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「持っている」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第六中学校圏域』は「持っている」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「持っていない」の割合が高くなっている。



（１８）情報を得るために使用しているもの

問４（１８）情報を得るために使用しているものは何ですか。（○はいくつでも）

▶情報を得るために使用しているものは、「テレビ」が 94.1%と最も高く、次いで、「新聞」が 76.6%、「広報よねざわ」が 63.8%となっている。



▶性別でみると、『女性』は男性よりも「広報よねざわ」が、『男性』は女性よりも「インターネット」「新聞」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「新聞」の割合が上昇しているが、一方で「インターネット」の割合は低下している。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は「インターネット」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「インターネット」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「新聞」の割合が高くなっている

（%）

		n=	テレビ	新聞	広報よねざわ	インターネット	ラジオ	本、雑誌	その他
全体		734	94.1	76.6	63.8	42.6	34.2	32.8	2.2
性別	男性	368	93.8	79.6	56.8	51.1	35.3	31.0	1.9
	女性	356	94.7	73.0	71.1	34.8	33.4	35.1	2.5
年齢別	65～69歳	116	89.7	66.4	61.2	81.0	38.8	31.0	2.6
	70～74歳	176	96.0	72.7	60.2	52.3	28.4	33.0	1.1
	75～79歳	213	94.8	79.8	66.7	42.3	42.3	33.8	1.4
	80～84歳	117	94.0	80.3	64.1	20.5	29.1	31.6	3.4
	85歳以上	104	95.2	82.7	67.3	11.5	27.9	35.6	3.8
圏域別	第一中学校圏域	118	96.6	79.7	66.9	45.8	28.0	39.8	5.1
	第二中学校圏域	120	95.8	85.0	65.8	49.2	32.5	35.8	-
	第三中学校圏域	102	92.2	74.5	66.7	37.3	31.4	35.3	2.0
	第四中学校圏域	102	95.1	75.5	58.8	39.2	33.3	28.4	2.0
	（旧）第五中学校圏域	77	94.8	81.8	61.0	33.8	37.7	33.8	2.6
	第六中学校圏域	67	92.5	79.1	64.2	40.3	44.8	26.9	-
	第七中学校圏域	56	91.1	67.9	66.1	33.9	33.9	26.8	3.6
	（旧）南原中学校圏域	58	94.8	63.8	63.8	34.5	44.8	29.3	1.7
要介護度別	一般高齢者	710	94.4	76.3	64.1	43.8	34.2	33.1	2.3
	要支援１・２	12	83.3	83.3	66.7	8.3	33.3	33.3	-

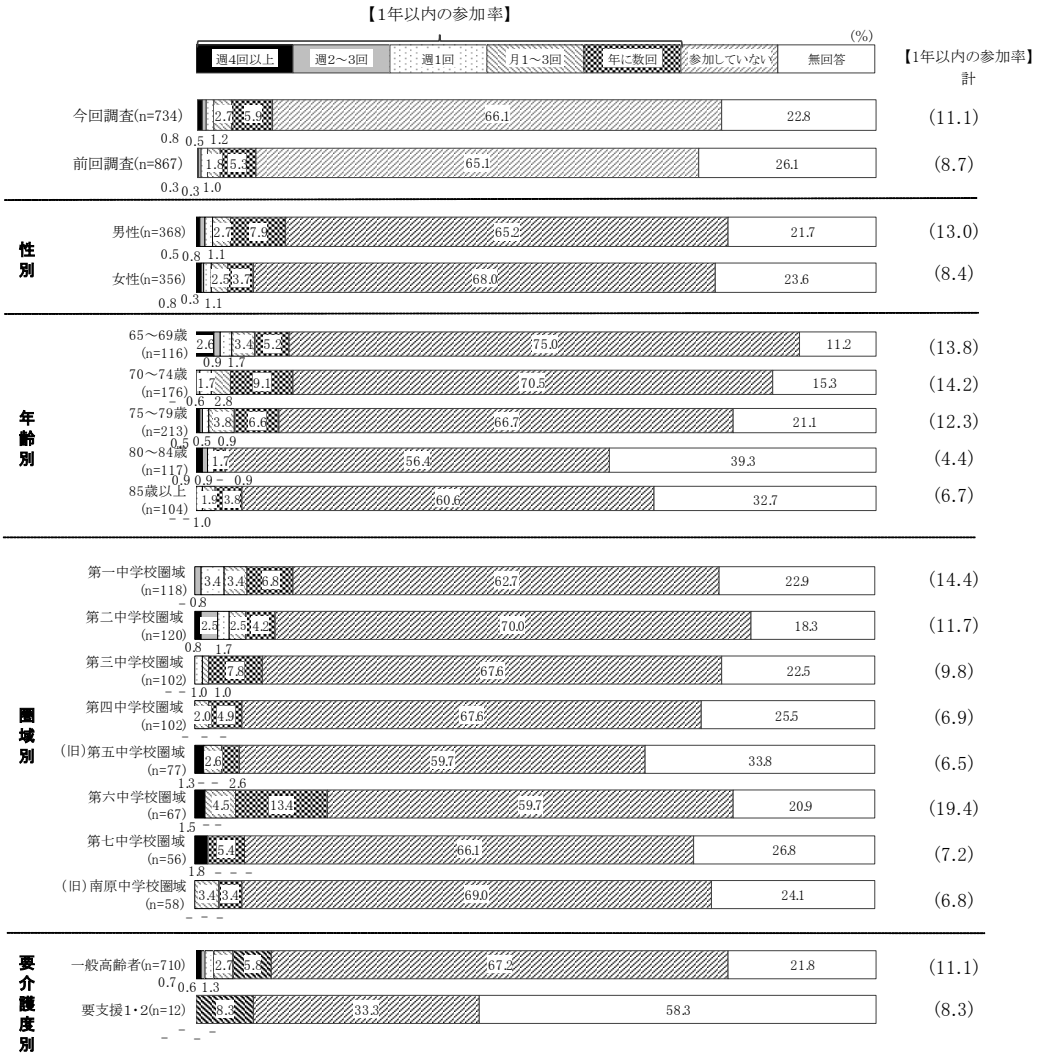
５　地域での活動等について

（１）地域活動等への参加状況

問５（１）以下のような会・グループ等にどのくらい参加していますか。
（①～⑧それぞれ○は１つ）

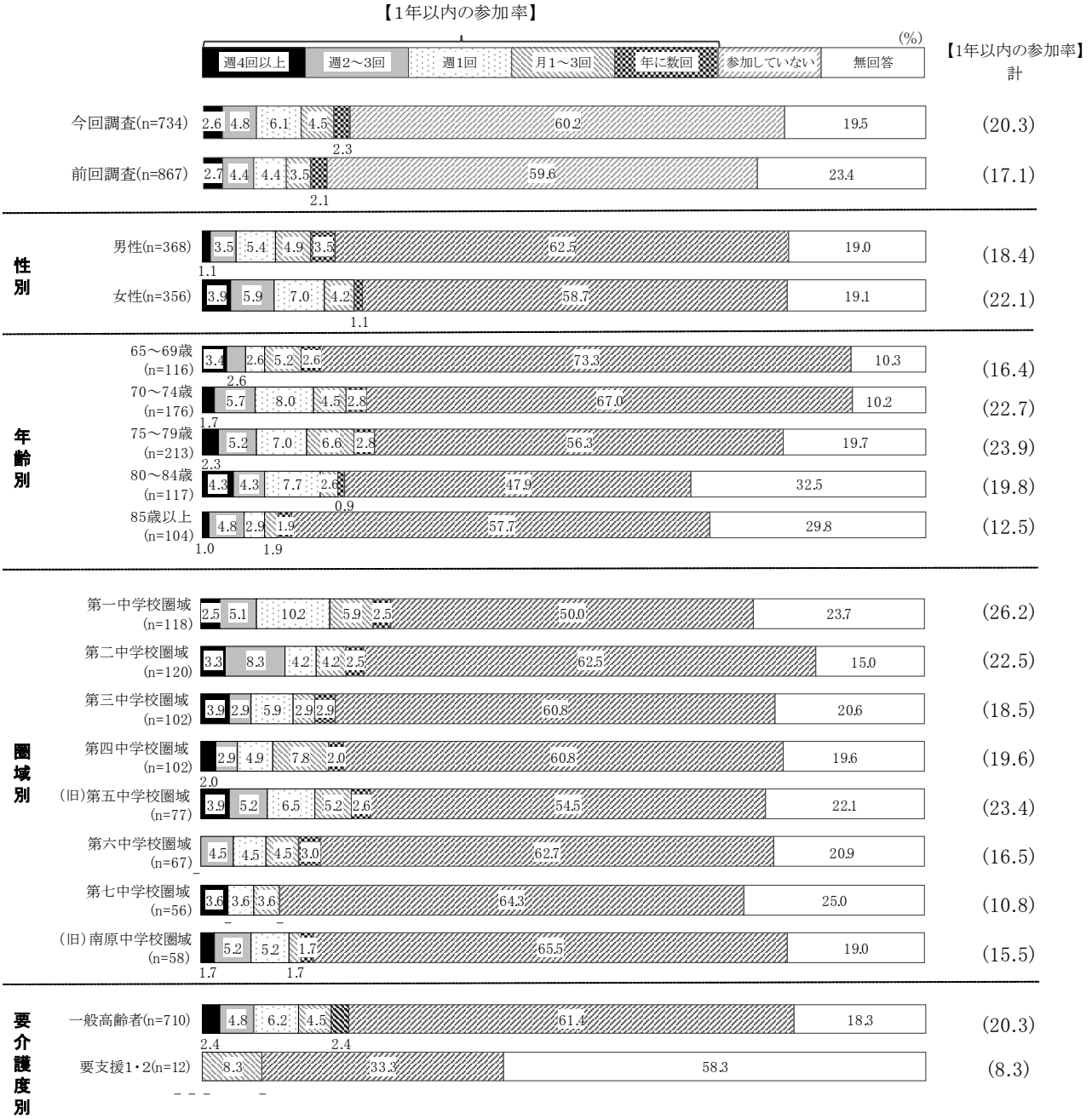
① ボランティアのグループ

▶地域活動等への参加状況① ボランティアのグループは、「参加していない」が 66.1%と最も高く、次いで、「年に数回」が 5.9%、「月１～３回」が 2.7%となっている。また、【１年以内の参加率】（週４回以上+週２～３回+週１回+月１～３回+年に数回）は、11.1%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は【１年以内の参加率】の割合が他の年齢階層よりも低くなっている。
▶圏域別でみると、『第六中学校圏域』は他の圏域よりも【１年以内の参加率】の割合が高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「参加していない」の割合が高くなっている。



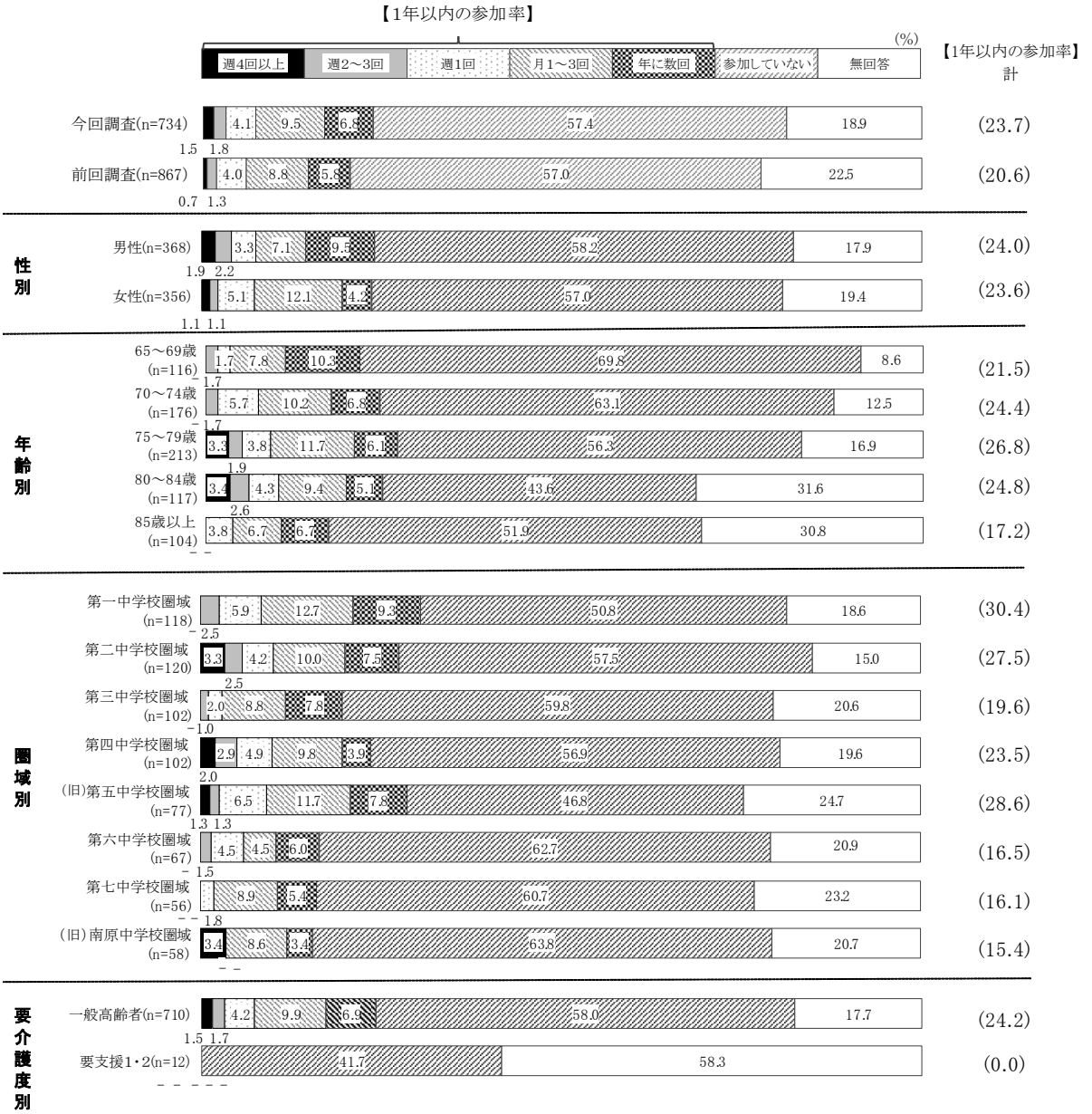
② スポーツ関係のグループやクラブ

▶地域活動等への参加状況② スポーツ関係のグループやクラブは、「参加していない」が 60.2%と最も高く、次いで、「週１回」が 6.1%、「週２～３回」が 4.8%となっている。また、【１年以内の参加率】（週４回以上+週２～３回+週１回+月１～３回+年に数回）は、20.3%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』は【１年以内の参加率】の割合が他の年齢階層よりも低くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は【１年以内の参加率】の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【１年以内の参加率】の割合が高くなっている。



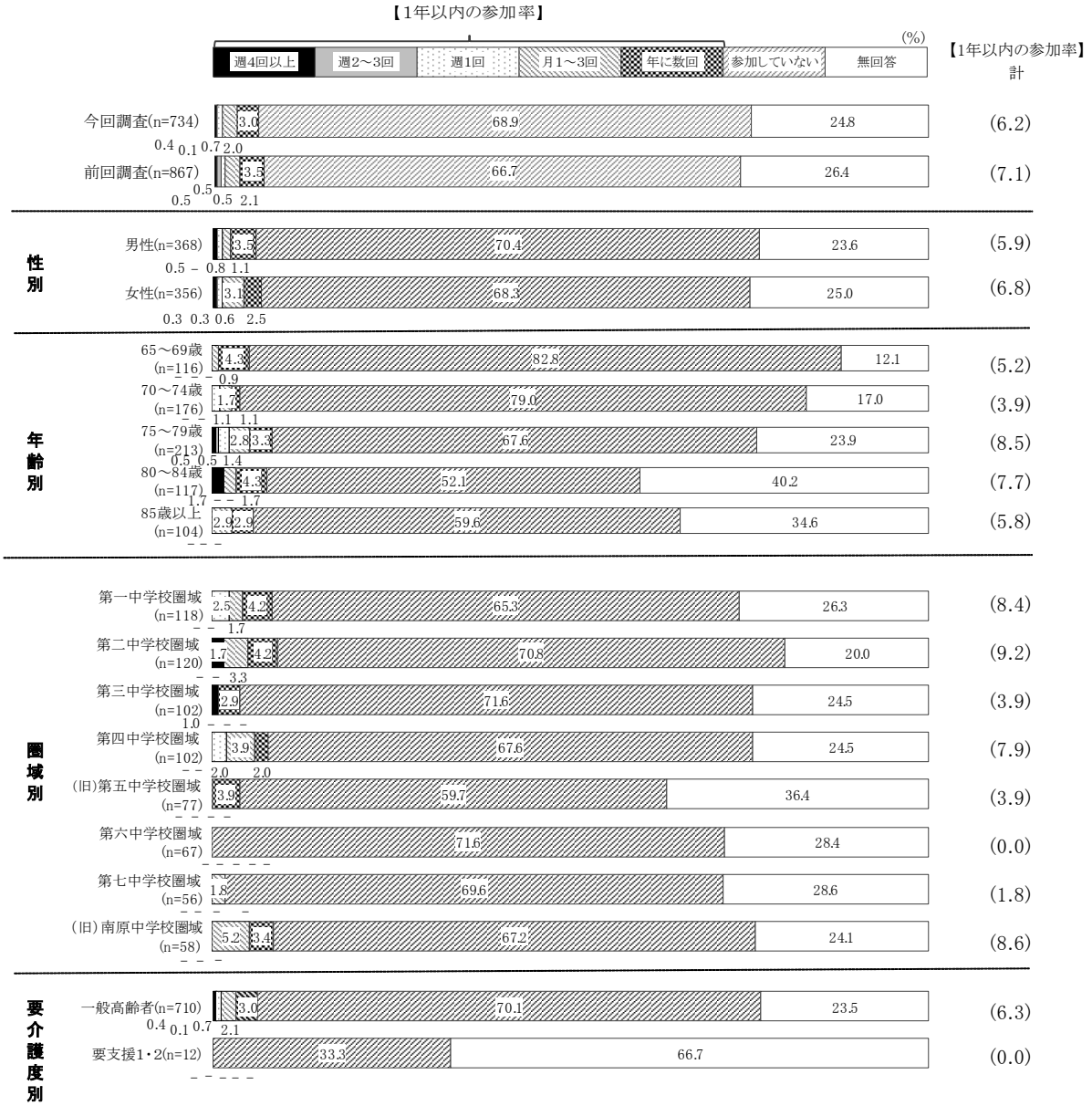
③ 趣味関係のグループ

▶地域活動等への参加状況③ 趣味関係のグループは、「参加していない」が 57.4%と最も高く、次いで、「月１～３回」が 9.5%、「年に数回」が 6.8%となっている。また、【１年以内の参加率】（週４回以上+週２～３回+週１回+月１～３回+年に数回）は、23.7%となっている。
▶性別でみると、男女ともに【１年以内の参加率】は概ね同じ傾向となっている。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』は【１年以内の参加率】の割合が他の年齢階層よりも低くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は【１年以内の参加率】の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』の【１年以内の参加率】は 24.2%、『要支援１・２』は 0.0%であった。



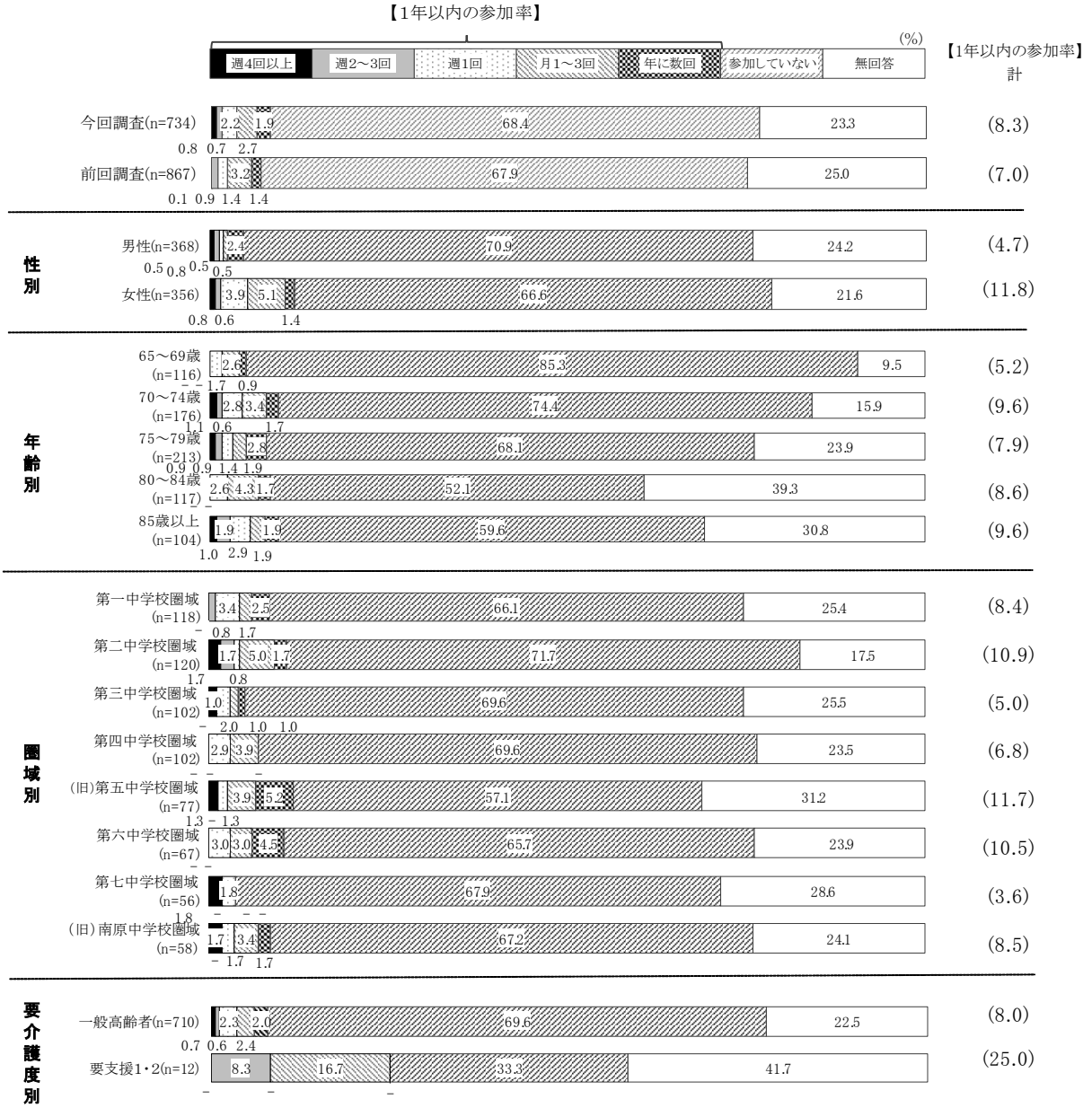
④ 学習・教養サークル

▶地域活動等への参加状況④ 学習・教養サークルは、「参加していない」が 68.9%と最も高く、次いで、「年に数回」が 3.0%、「月１～３回」が 2.0%となっている。また、【１年以内の参加率】（週４回以上+週２～３回+週１回+月１～３回+年に数回）は、6.2%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「参加していない」の割合が他の年齢階層よりも低くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）第五中学校圏域』は「参加していない」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』の【１年以内の参加率】は 6.3%、『要支援１・２』は 0.0%であった。



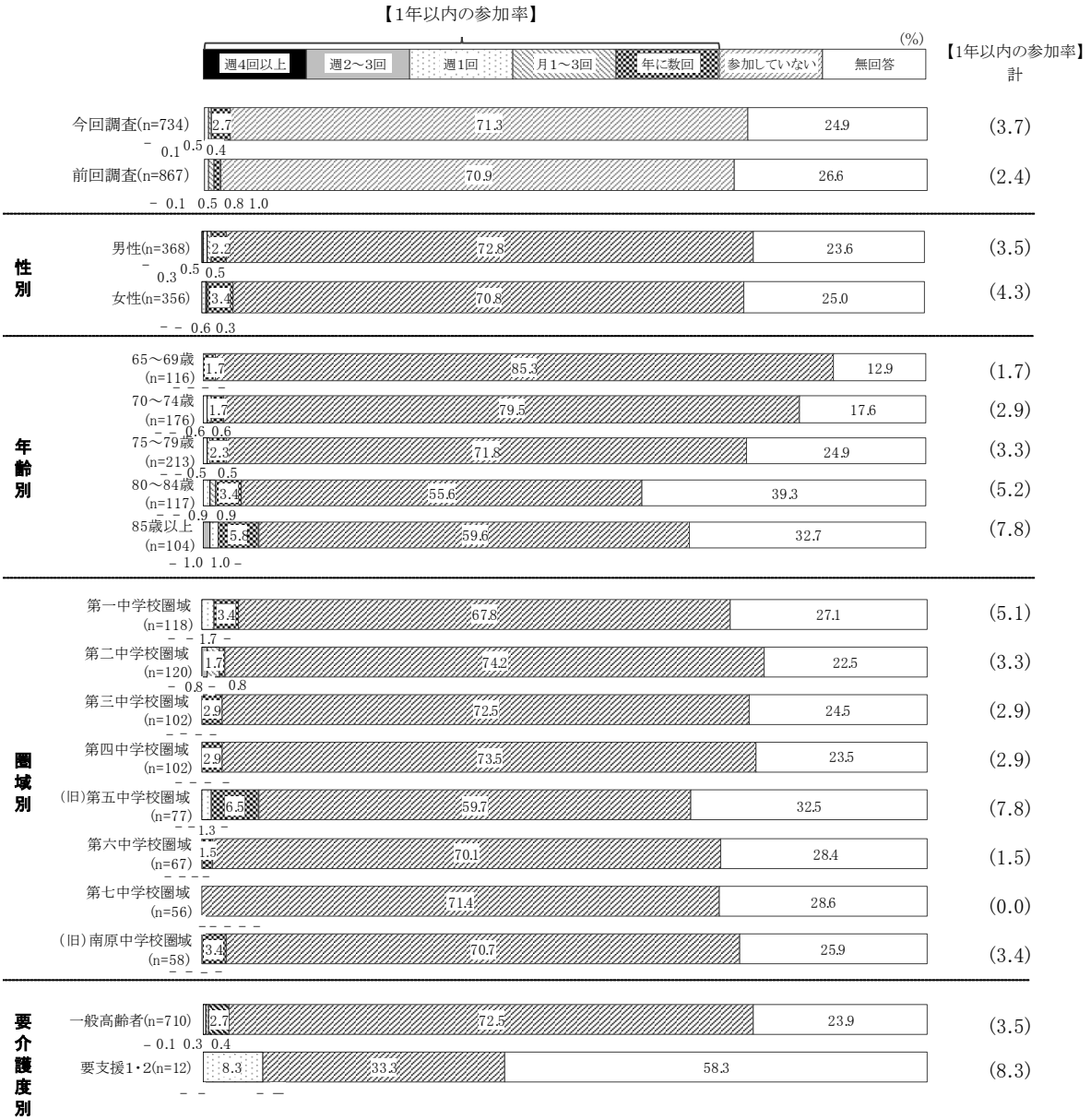
⑤ 通いの場（健康づくり、介護予防等の会・グループ）

▶地域活動等への参加状況⑤ 通いの場（健康づくり、介護予防等の会・グループ）は、「参加していない」が68.4%と最も高く、次いで、「月１～３回」が 2.7%、「週１回」が 2.2%となっている。また、【１年以内の参加率】（週４回以上+週２～３回+週１回+月１～３回+年に数回）は、8.3%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも【１年以内の参加率】の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「参加していない」の割合が他の年齢階層よりも低くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は【１年以内の参加率】の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも【１年以内の参加率】の割合が高くなっている。



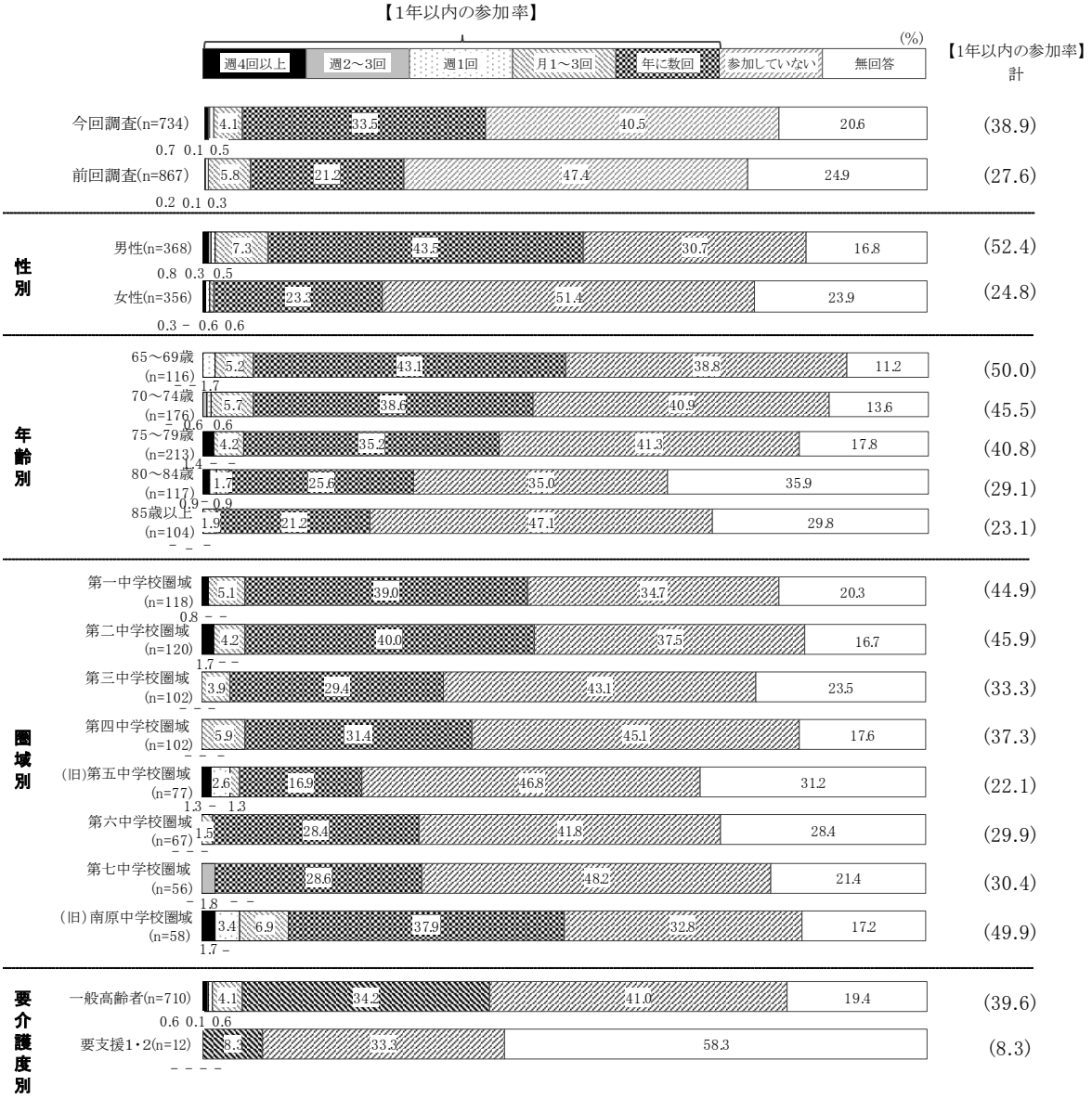
⑥ 老人クラブ（サロン）

▶地域活動等への参加状況⑥ 老人クラブ（サロン）は、「参加していない」が 71.3%と最も高く、次いで、「年に数回」が 2.7%、「週１回」が 0.5%となっている。また、【１年以内の参加率】（週４回以上+週２～３回+週１回+月１～３回+年に数回）は、3.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「参加していない」の割合が他の年齢階層よりも低くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）第五中学校圏域』は「年に数回」の割合が他の圏域よりも高く、「参加していない」は低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「参加していない」の割合が高くなっている。



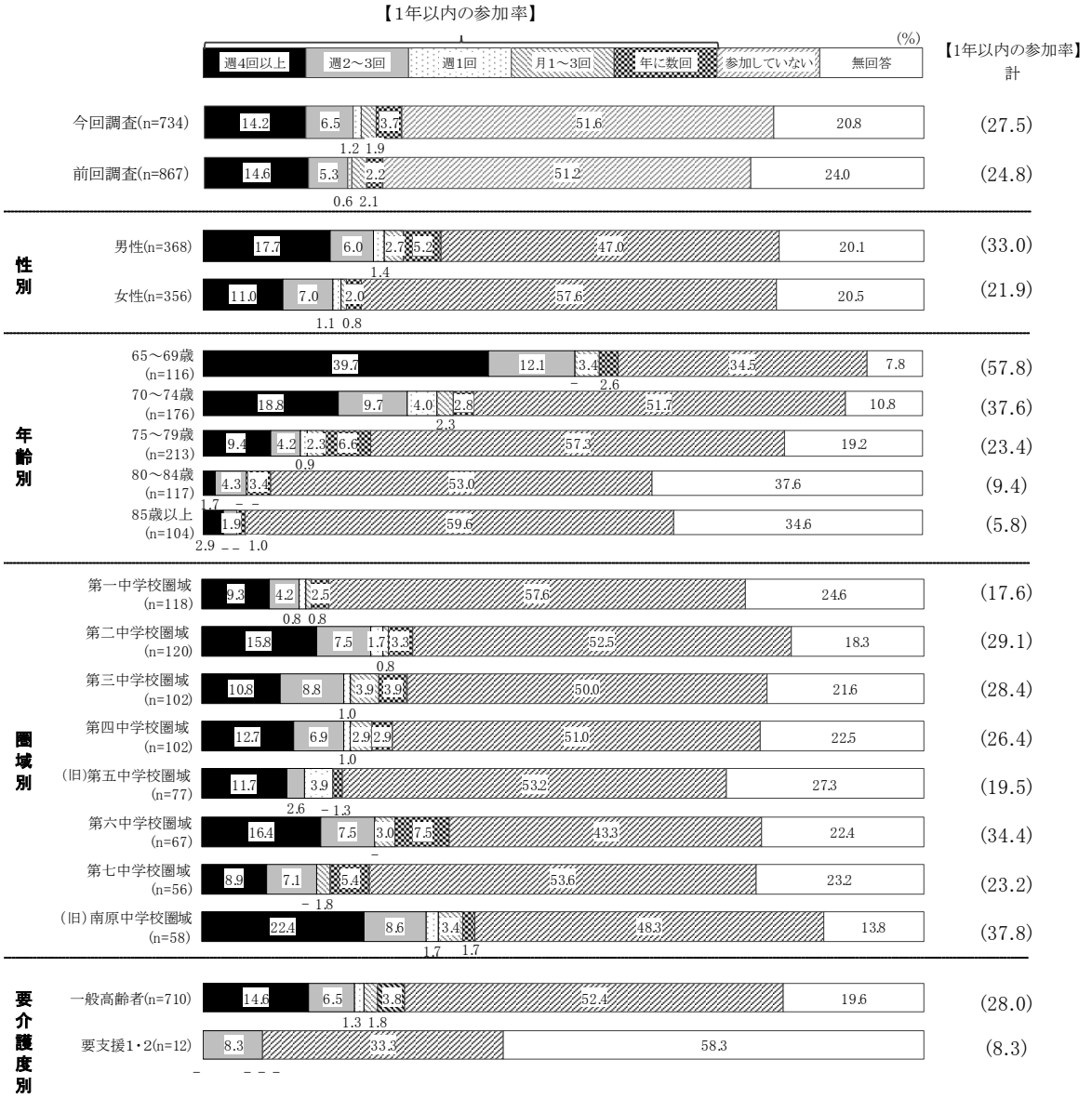
⑦ 町内会・自治会

▶地域活動等への参加状況⑦ 町内会・自治会は、「参加していない」が 40.5%と最も高く、次いで、「年に数回」が 33.5%、「月１～３回」が 4.1%となっている。また、【１年以内の参加率】（週４回以上+週２～３回+週１回+月１～３回+年に数回）は、38.9%となっている。
▶前回調査と比べると、【１年以内の参加率】の割合が前回から 11.3 ポイント上昇している。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも【１年以内の参加率】の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて【１年以内の参加率】の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『（旧）第五中学校圏域』は「年に数回」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【１年以内の参加率】の割合が高くなっている。



⑧ 収入のある仕事

▶地域活動等への参加状況⑧ 収入のある仕事は、「参加していない」が 51.6%と最も高く、次いで、「週４回以上」が 14.2%、「週２～３回」が 6.5%となっている。また、【１年以内の参加率】（週４回以上+週２～３回+週１回+月１～３回+年に数回）は、27.5%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも【１年以内の参加率】の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて【１年以内の参加率】の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域　』は「週４回以上」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【１年以内の参加率】の割合が高くなっている。

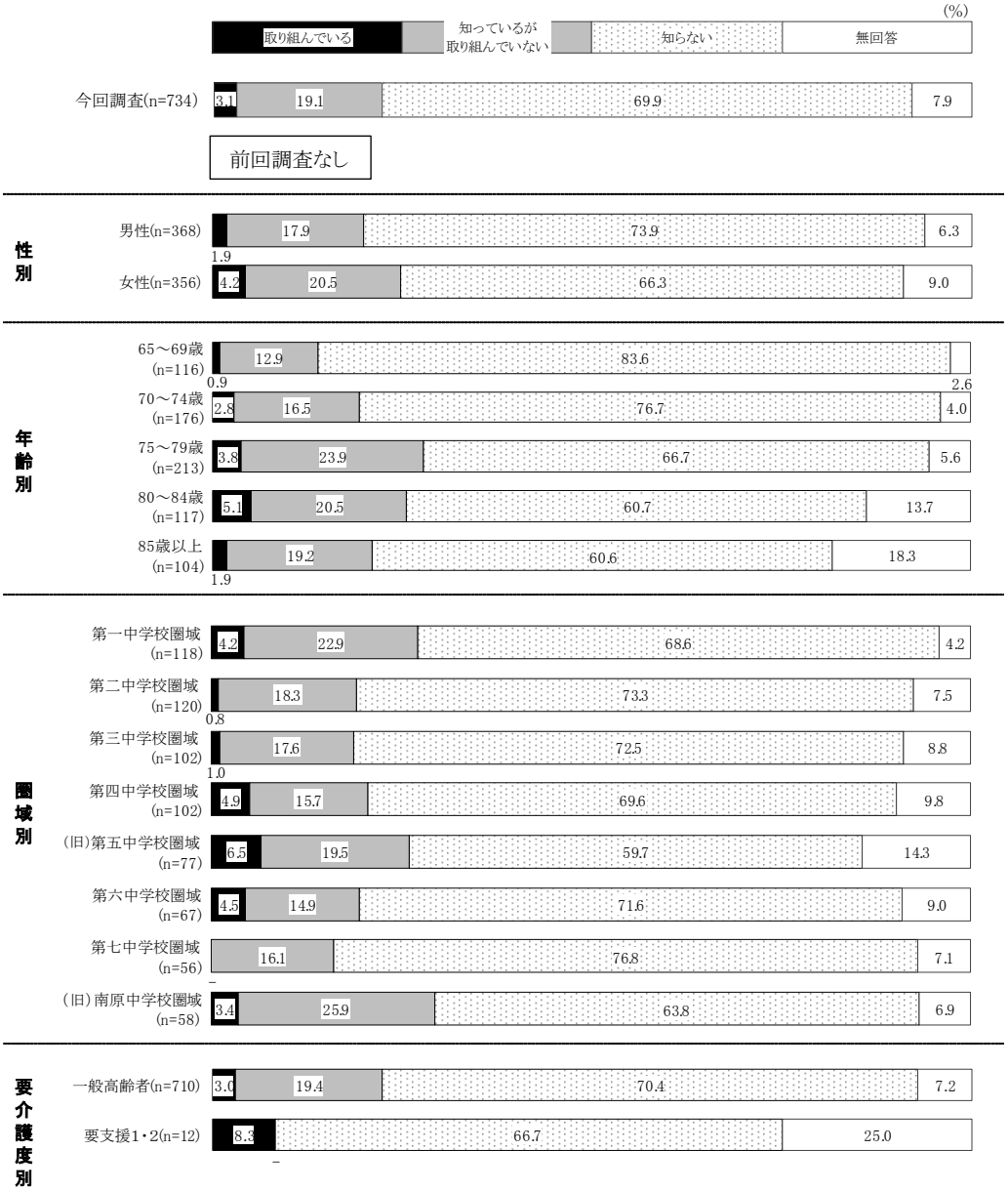


（２）市が実施・推進する事業の認知度

問５（２）あなたは、米沢市が実施または推進する事業を知っていますか。
（①～④それぞれ○は１つ）

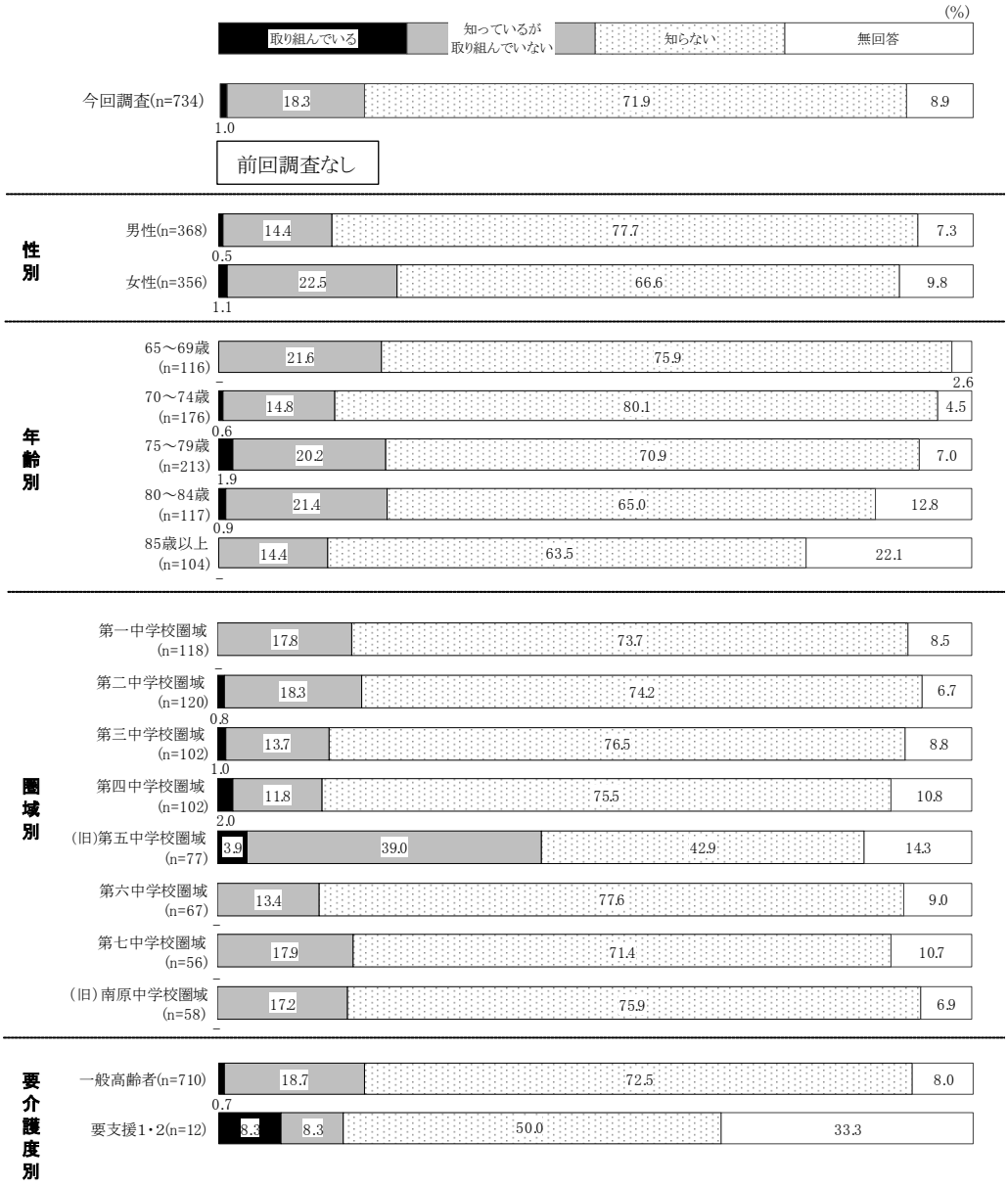
① よねざわはっぴい体操

▶市が実施・推進する事業の認知度① よねざわはっぴい体操は、「知らない」が 69.9%と最も高く、次いで、「知っているが取り組んでいない」が 19.1%、「取り組んでいる」が 3.1%となっている。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「知らない」が、『女性』は男性よりも「取り組んでいる」「知っているが取り組んでいない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『65～69 歳』は「知らない」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「知らない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「知らない」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「取り組んでいる」の割合が高くなっている。



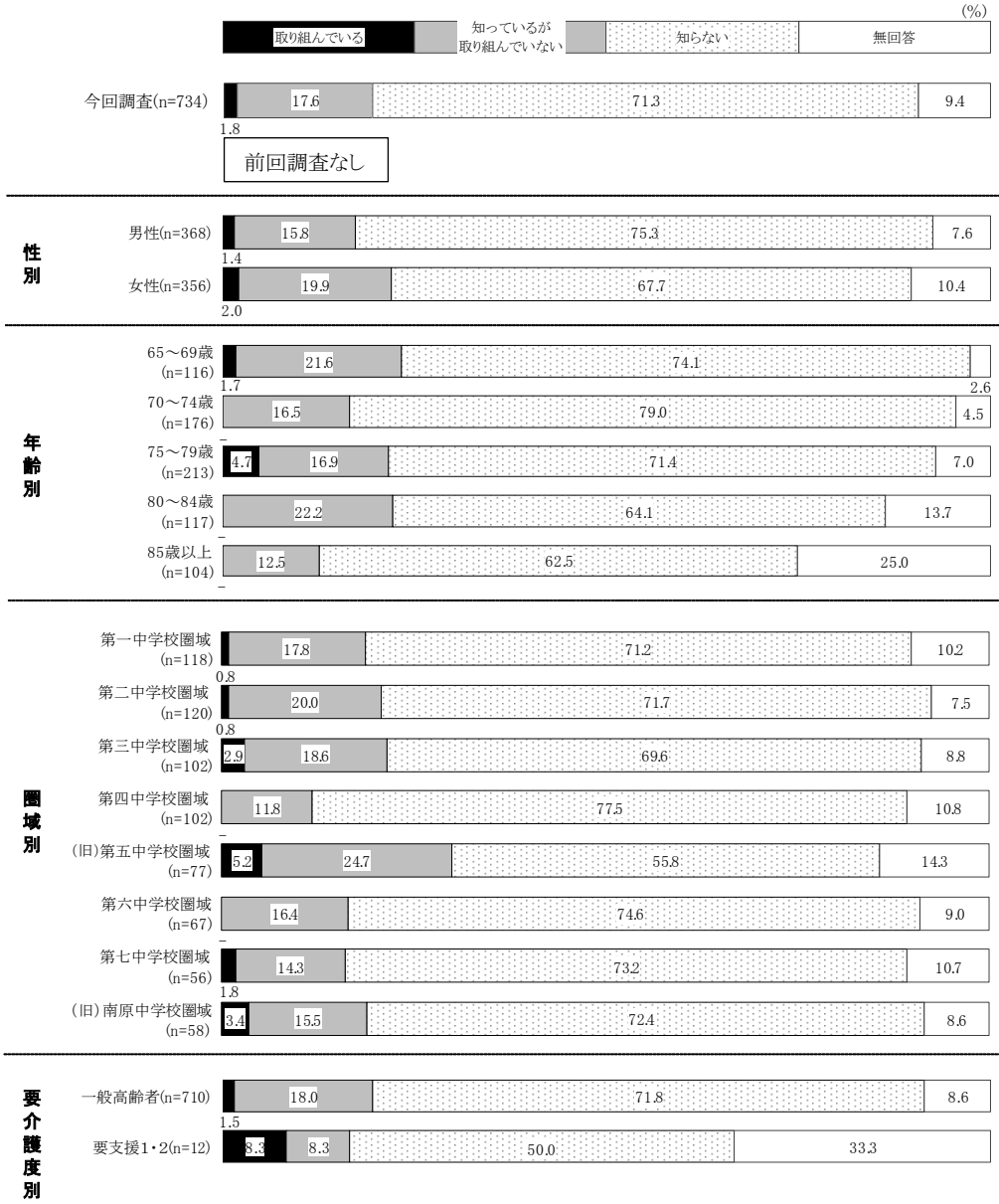
② オレンジ喫茶（認知症カフェ）

▶市が実施・推進する事業の認知度② オレンジ喫茶（認知症カフェ）は、「知らない」が 71.9%と最も高く、次いで、「知っているが取り組んでいない」が 18.3%、「取り組んでいる」が 1.0%となっている。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「知らない」が、『女性』は男性よりも「取り組んでいる」「知っているが取り組んでいない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『70～74 歳』は「知らない」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）第五中学校圏域』は「知っているが取り組んでいない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「知らない」「知っているが取り組んでいない」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「取り組んでいる」の割合が高くなっている。



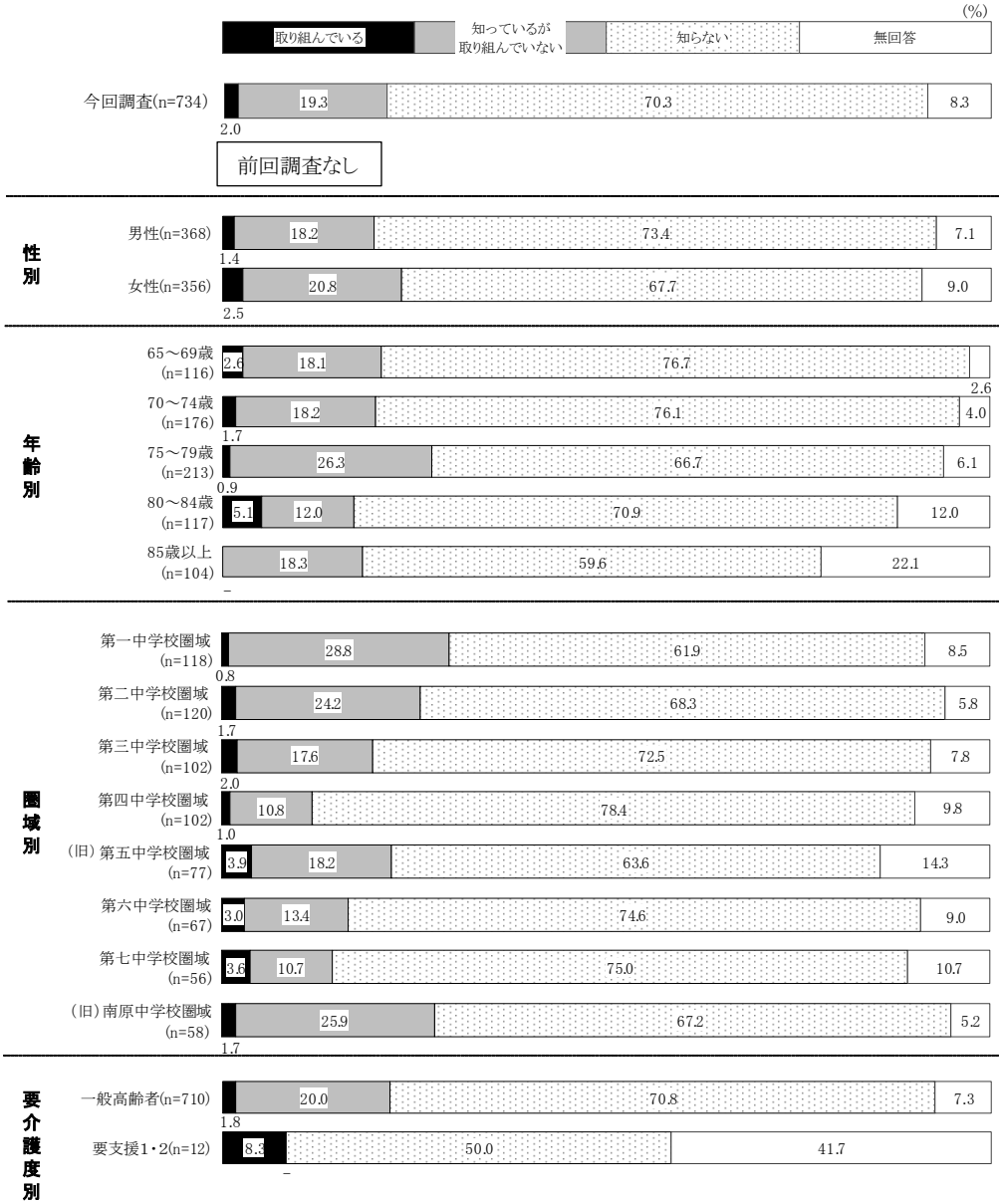
③ 認知症サポーター養成講座

▶市が実施・推進する事業の認知度③ 認知症サポーター養成講座は、「知らない」が 71.3%と最も高く、次いで、「知っているが取り組んでいない」が 17.6%、「取り組んでいる」が 1.8%となっている。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「知らない」が、『女性』は男性よりも「取り組んでいる」「知っているが取り組んでいない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『70～74 歳』は「知っているが取り組んでいない」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）第五中学校圏域』は「知っているが取り組んでいない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「知らない」「知っているが取り組んでいない」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「取り組んでいる」の割合が高くなっている。



④ おしょうしなノート

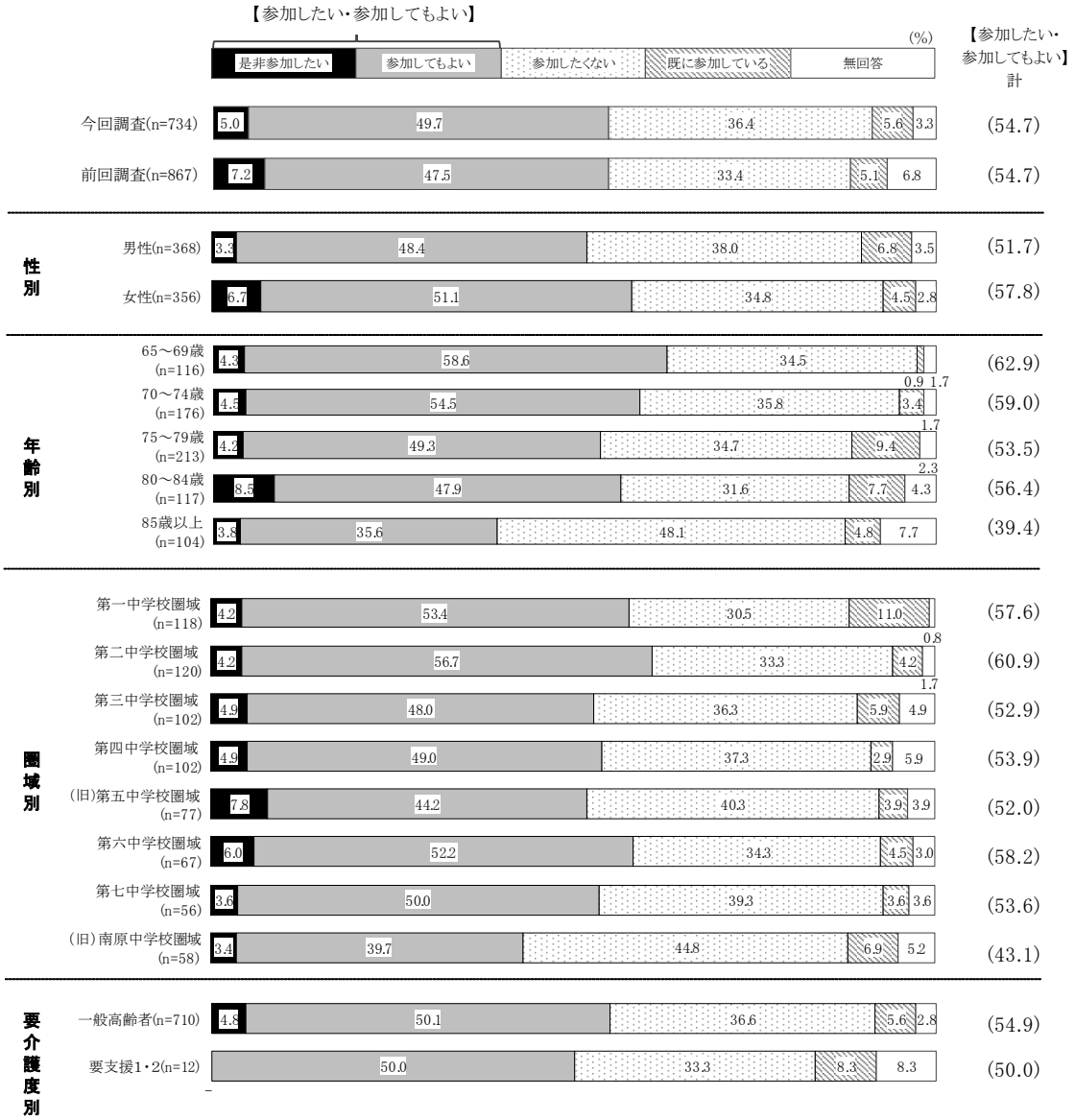
▶市が実施・推進する事業の認知度④ おしょうしなノートは、「知らない」が 70.3%と最も高く、次いで、「知っているが取り組んでいない」が 19.3%、「取り組んでいる」が 2.0%となっている。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「知らない」が、『女性』は男性よりも「取り組んでいる」「知っているが取り組んでいない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『75～79 歳』は「知らない」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第四中学校圏域』は「知らない」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「知らない」「知っているが取り組んでいない」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「取り組んでいる」の割合が高くなっている。



（３）地域活動への参加者としての参加意向

問５（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は１つ）

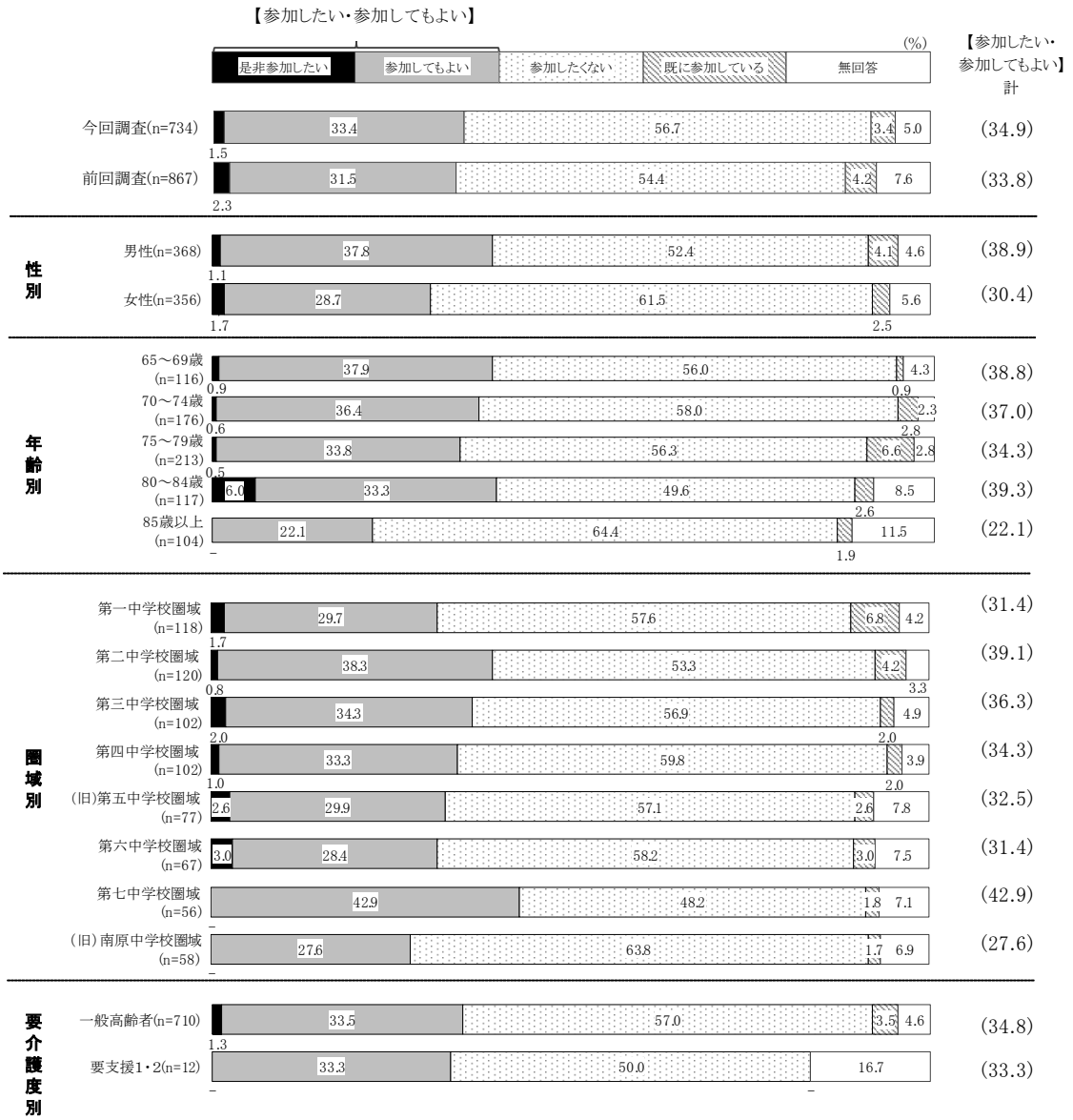
▶地域活動への参加者としての参加意向は、「参加してもよい」が 49.7%と最も高く、次いで、「参加したくない」が 36.4%、「既に参加している」が 5.6%となっている。また、【参加したい・参加してもよい】（是非参加したい＋参加してもよい）は、54.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも【参加したい・参加してもよい】の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『65～69 歳』は【参加したい・参加してもよい】の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は【参加したい・参加してもよい】の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【参加したい・参加してもよい】の割合が高くなっている。



（４）地域活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向

問５（４）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は１つ）

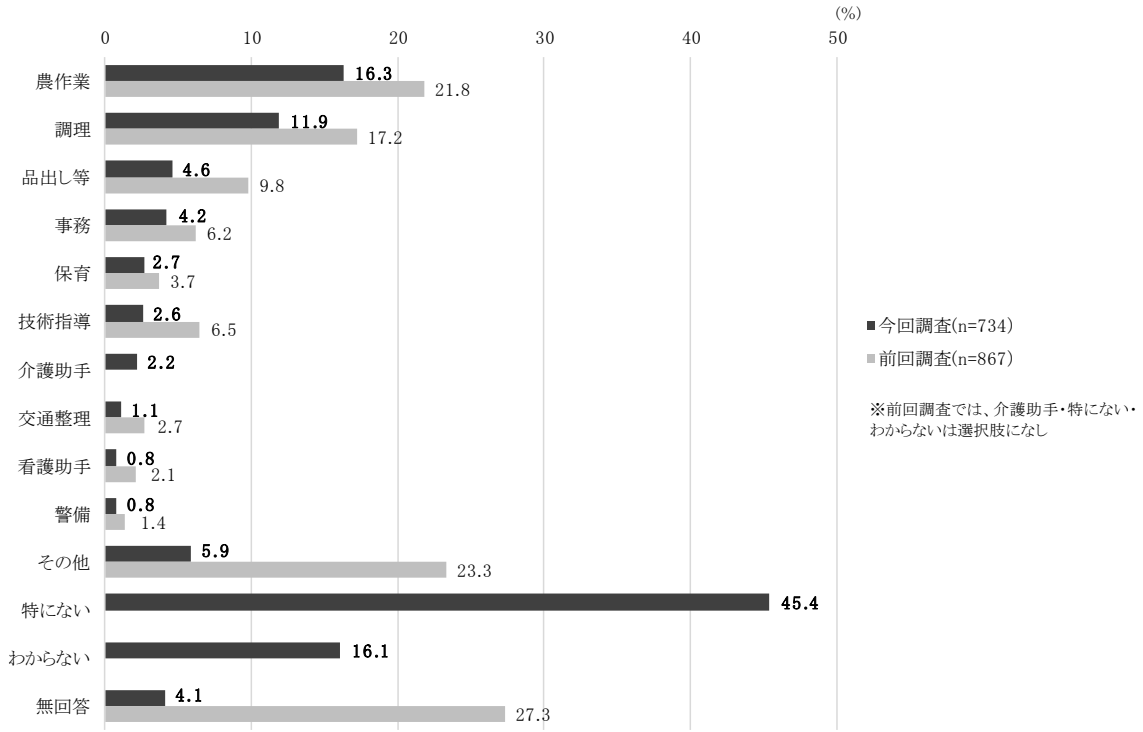
▶地域活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向は、「参加したくない」が 56.7%と最も高く、次いで、「参加してもよい」が 33.4%、「是非参加したい」が 1.5%となっている。また、【参加したい・参加してもよい】（是非参加したい+参加してもよい）は、34.9%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも【参加したい・参加してもよい】の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』は「参加したくない」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は【参加したい・参加してもよい】の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、特筆すべき差はみられなかった。



（５）やってみたい仕事や地域活動

問５（５）どのような仕事や地域活動なら行いたいと思いますか。（○はいくつでも）

▶やってみたい仕事や地域活動は、「農作業」が 16.3%と最も高く、次いで、「調理」が 11.9%、「品出し等」が 4.6%となっている。
▶前回調査と比べると、低下しているものが多く、中でも「農作業」が前回から 5.5 ポイント低下している。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「農作業」が、『女性』は男性よりも「調理」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「農作業」「調理」「品出し等」などの割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』『第六中学校圏域』『第七中学校圏域』は「農作業」の割合が２割台と他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「農作業」の割合が高くなっている。

（%）

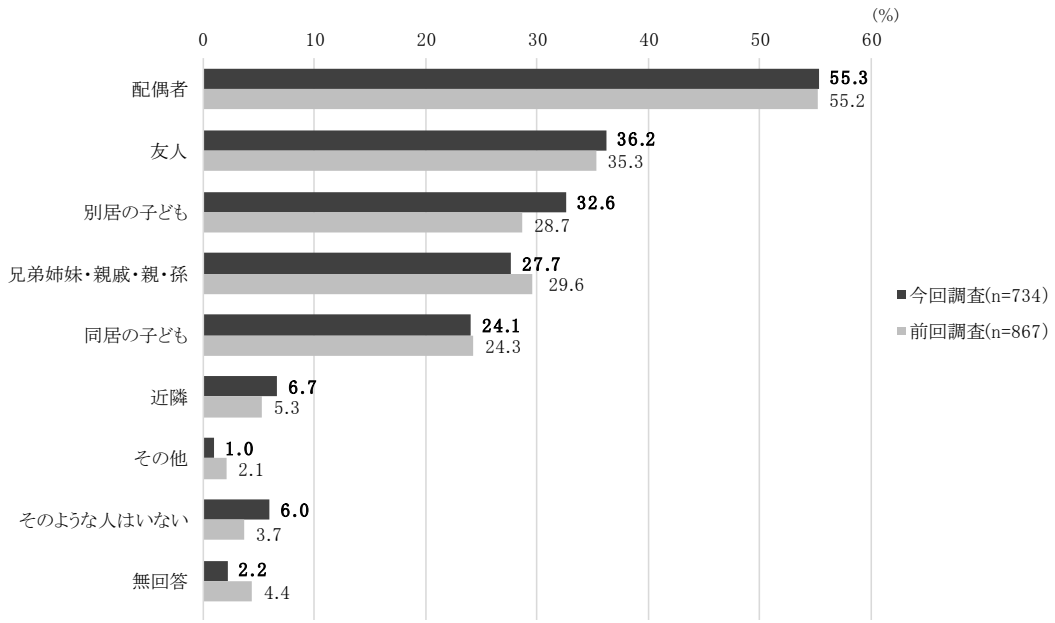
		n=	農作業	調理	品出し等	事務	保育	技術指導	介護助手	交通整理	看護助手	警備	その他	特にない	わからない
全体		734	16.3	11.9	4.6	4.2	2.7	2.6	2.2	1.1	0.8	0.8	5.9	45.4	16.1
性別	男性	368	21.7	5.4	3.3	4.6	0.3	4.3	1.4	2.2	-	1.6	6.5	46.5	14.4
	女性	356	10.7	18.5	6.2	3.9	5.1	0.8	3.1	-	1.7	-	5.1	44.4	17.4
年齢別	65～69歳	116	19.8	16.4	10.3	7.8	8.6	5.2	3.4	-	1.7	0.9	4.3	39.7	17.2
	70～74歳	176	19.3	14.2	6.3	5.1	3.4	4.5	1.1	-	-	1.1	4.5	43.8	16.5
	75～79歳	213	16.4	11.3	3.8	3.8	1.4	1.9	2.8	1.9	1.4	0.5	7.0	46.5	13.6
	80～84歳	117	14.5	9.4	2.6	3.4	-	-	3.4	2.6	0.9	1.7	6.0	48.7	15.4
	85歳以上	104	9.6	6.7	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-	7.7	49.0	18.3
圏域別	第一中学校圏域	118	12.7	11.0	5.1	7.6	1.7	1.7	2.5	3.4	-	0.8	7.6	50.8	11.9
	第二中学校圏域	120	10.8	14.2	2.5	5.0	2.5	1.7	0.8	0.8	-	0.8	10.0	45.8	19.2
	第三中学校圏域	102	23.5	12.7	3.9	2.0	7.8	2.0	4.9	-	2.0	1.0	3.9	34.3	19.6
	第四中学校圏域	102	13.7	13.7	2.9	3.9	-	3.9	1.0	1.0	2.0	1.0	4.9	47.1	15.7
	（旧）第五中学校圏域	77	13.0	10.4	5.2	2.6	2.6	2.6	3.9	1.3	2.6	1.3	1.3	51.9	13.0
	第六中学校圏域	67	26.9	11.9	4.5	1.5	3.0	3.0	1.5	-	-	-	6.0	40.3	19.4
	第七中学校圏域	56	26.8	5.4	7.1	-	-	1.8	1.8	1.8	-	-	5.4	41.1	14.3
	（旧）南原中学校圏域	58	17.2	13.8	8.6	3.4	5.2	5.2	-	-	-	1.7	3.4	50.0	10.3
要介護度別	一般高齢者	710	16.5	12.0	4.8	4.2	2.7	2.7	2.1	1.0	0.8	0.8	6.1	45.6	15.8
	要支援１・２	12	8.3	-	-	8.3	-	-	-	8.3	-	-	-	50.0	16.7

６　たすけあいについて

（１）心配事や愚痴を聞いてくれる人

問６（１）あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも）

▶心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が 55.3%と最も高く、次いで、「友人」が 36.2%、「別居の子ども」が 32.6%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「配偶者」が、『女性』は男性よりも「友人」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などの割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『65～69 歳』『70～74 歳』『75～79 歳』は「配偶者」が約６～７割と年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「配偶者」の割合が他の圏域よりも高なっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「配偶者」「友人」「別居の子ども」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」などの割合が高くなっている。

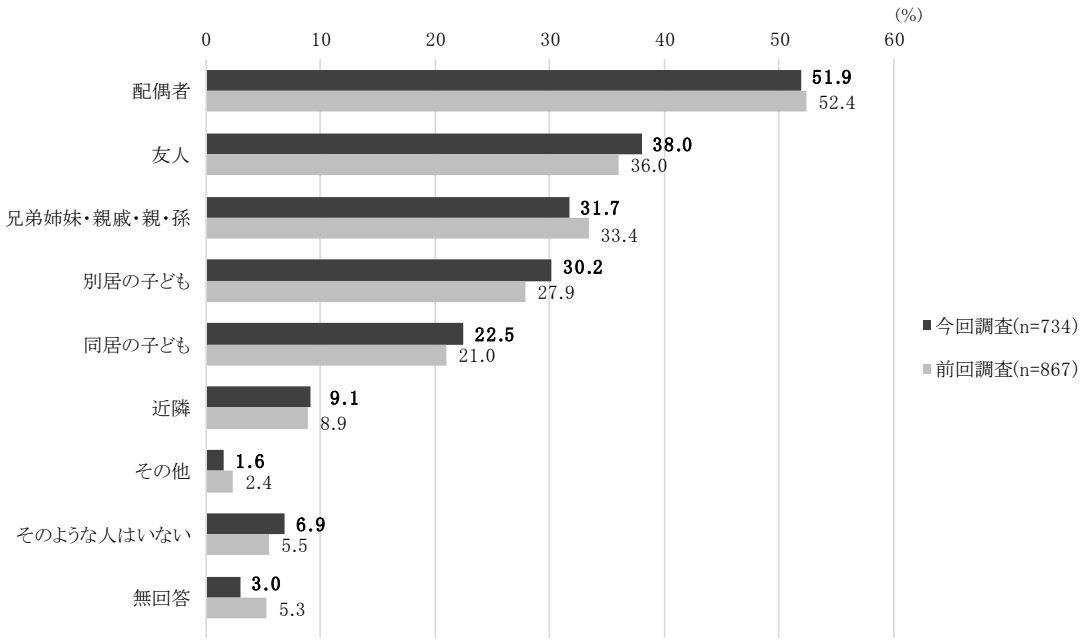
（%）

		n=	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
全体		734	55.3	36.2	32.6	27.7	24.1	6.7	1.0	6.0
性別	男性	368	66.8	24.7	24.2	19.3	17.1	4.6	0.8	8.7
	女性	356	43.8	48.6	41.0	36.8	31.2	8.7	0.8	3.1
年齢別	65～69歳	116	58.6	45.7	33.6	38.8	18.1	6.9	0.9	6.9
	70～74歳	176	67.6	36.4	32.4	26.1	12.5	4.0	1.1	6.8
	75～79歳	213	61.5	39.4	29.1	25.4	23.0	7.5	1.4	6.1
	80～84歳	117	39.3	30.8	32.5	29.1	36.8	6.8	0.9	3.4
	85歳以上	104	37.5	26.0	38.5	22.1	38.5	8.7	-	5.8
圏域別	第一中学校圏域	118	57.6	39.0	30.5	24.6	21.2	9.3	1.7	4.2
	第二中学校圏域	120	51.7	43.3	37.5	27.5	26.7	8.3	-	5.0
	第三中学校圏域	102	52.9	33.3	34.3	31.4	28.4	3.9	2.0	9.8
	第四中学校圏域	102	55.9	30.4	32.4	24.5	18.6	5.9	2.0	7.8
	（旧）第五中学校圏域	77	55.8	32.5	31.2	36.4	31.2	10.4	-	-
	第六中学校圏域	67	47.8	41.8	31.3	25.4	25.4	4.5	-	9.0
	第七中学校圏域	56	73.2	28.6	21.4	28.6	23.2	3.6	-	7.1
	（旧）南原中学校圏域	58	44.8	29.3	32.8	32.8	17.2	6.9	1.7	6.9
要介護度別	一般高齢者	710	56.3	36.8	33.0	27.5	23.2	6.5	1.0	6.1
	要支援１・２	12	33.3	25.0	8.3	50.0	50.0	8.3	-	-

（２）心配事や愚痴を聞いてあげる人

問６（２）反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも）

▶心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が 51.9%と最も高く、次いで、「友人」が 38.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 31.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「配偶者」が、『女性』は男性よりも「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などの割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「配偶者」の割合が、『（旧）南原中学校圏域』は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「配偶者」「友人」などが、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」の割合が高くなっている。

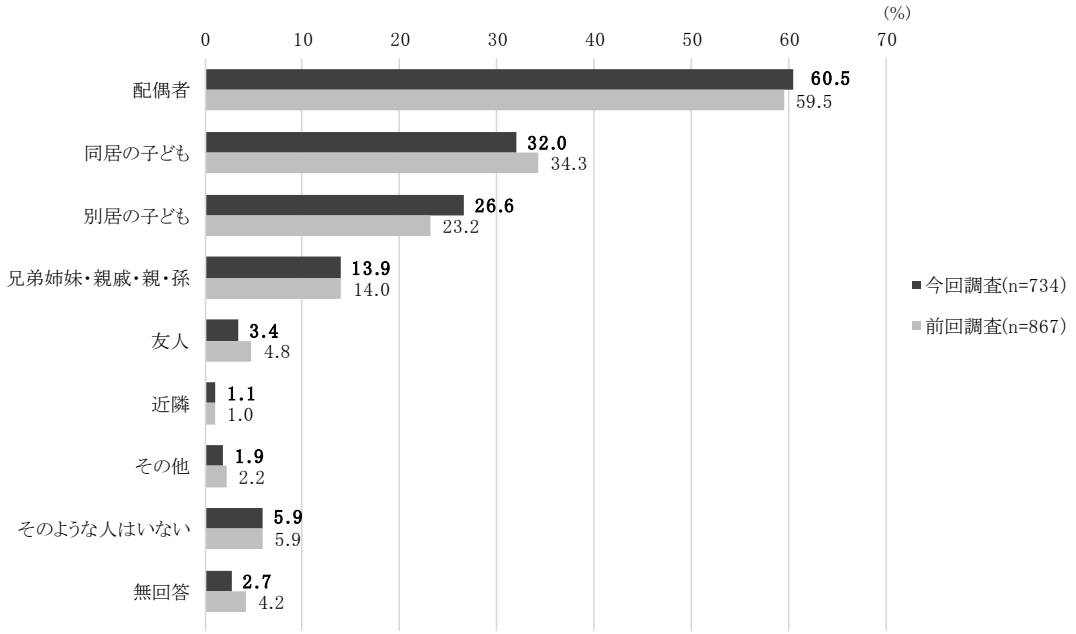
（%）

		n=	配偶者	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
全体		734	51.9	38.0	31.7	30.2	22.5	9.1	1.6	6.9
性別	男性	368	64.4	26.9	23.9	25.3	17.4	7.9	1.6	9.2
	女性	356	39.3	49.7	40.4	35.4	27.2	10.7	1.7	4.5
年齢別	65～69歳	116	55.2	43.1	43.1	31.9	24.1	6.0	0.9	6.9
	70～74歳	176	59.7	39.8	30.7	30.7	14.8	8.5	2.3	8.0
	75～79歳	213	57.7	43.7	29.6	31.0	20.2	10.8	1.9	5.2
	80～84歳	117	40.2	31.6	30.8	32.5	28.2	8.5	0.9	6.0
	85歳以上	104	36.5	26.0	27.9	25.0	31.7	11.5	1.9	9.6
圏域別	第一中学校圏域	118	53.4	42.4	30.5	28.0	20.3	9.3	1.7	3.4
	第二中学校圏域	120	51.7	42.5	34.2	40.8	26.7	9.2	-	5.8
	第三中学校圏域	102	50.0	37.3	34.3	27.5	24.5	5.9	4.9	7.8
	第四中学校圏域	102	51.0	33.3	21.6	30.4	17.6	10.8	2.0	12.7
	（旧）第五中学校圏域	77	54.5	33.8	39.0	26.0	27.3	11.7	-	5.2
	第六中学校圏域	67	37.3	37.3	34.3	26.9	19.4	10.4	3.0	7.5
	第七中学校圏域	56	69.6	28.6	23.2	19.6	26.8	3.6	-	8.9
	（旧）南原中学校圏域	58	43.1	32.8	44.8	31.0	17.2	12.1	1.7	8.6
要介護度別	一般高齢者	710	53.0	38.7	31.7	30.7	22.0	9.4	1.7	6.8
	要支援１・２	12	16.7	16.7	33.3	8.3	33.3	-	-	16.7

（３）看病や世話をしてくれる人

問６（３）あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
（○はいくつでも）

▶看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が 60.5%と最も高く、次いで、「同居の子ども」が 32.0%、「別居の子ども」が 26.6%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「配偶者」が、『女性』は男性よりも「同居の子ども」「別居の子ども」などの割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』を除き、年齢階層が高くなるにつれて「同居の子ども」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「配偶者」が、『第六中学校圏域』は「同居の子ども」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「配偶者」「別居の子ども」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などの割合が高くなっている。

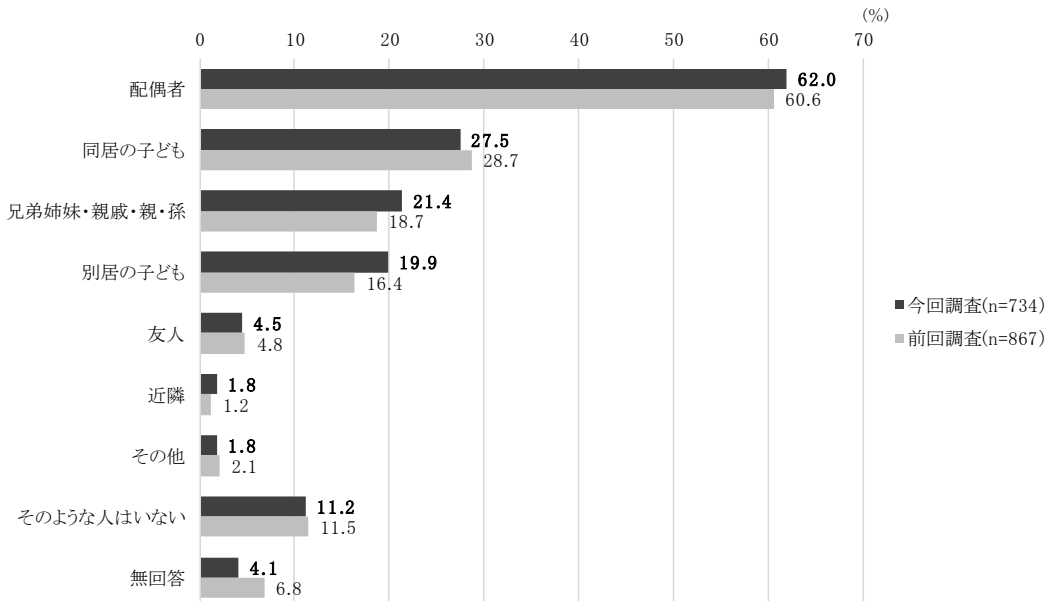
（%）

		n=	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない
全体		734	60.5	32.0	26.6	13.9	3.4	1.1	1.9	5.9
性別	男性	368	73.9	23.9	21.2	11.1	0.8	0.5	1.1	5.7
	女性	356	46.9	40.4	32.9	17.1	5.9	1.4	2.8	5.3
年齢別	65～69歳	116	63.8	25.0	20.7	15.5	3.4	-	-	8.6
	70～74歳	176	72.2	25.6	26.1	11.9	2.3	1.1	1.1	6.3
	75～79歳	213	67.6	32.4	25.4	14.6	2.8	1.4	1.9	4.7
	80～84歳	117	44.4	44.4	29.9	14.5	4.3	1.7	5.1	2.6
	85歳以上	104	41.3	37.5	34.6	14.4	4.8	-	1.9	6.7
圏域別	第一中学校圏域	118	61.0	32.2	27.1	16.1	4.2	1.7	4.2	4.2
	第二中学校圏域	120	57.5	30.0	31.7	12.5	5.8	1.7	-	3.3
	第三中学校圏域	102	59.8	34.3	35.3	16.7	2.9	-	3.9	4.9
	第四中学校圏域	102	61.8	31.4	25.5	10.8	1.0	1.0	2.0	8.8
	（旧）第五中学校圏域	77	57.1	32.5	19.5	15.6	3.9	1.3	1.3	7.8
	第六中学校圏域	67	52.2	41.8	20.9	13.4	3.0	1.5	-	6.0
	第七中学校圏域	56	80.4	32.1	19.6	12.5	1.8	-	-	3.6
	（旧）南原中学校圏域	58	53.4	24.1	32.8	20.7	5.2	1.7	1.7	8.6
要介護度別	一般高齢者	710	61.7	31.8	26.8	13.5	3.2	1.0	1.8	5.8
	要支援１・２	12	33.3	33.3	25.0	33.3	8.3	-	8.3	-

（４）看病や世話をしてあげる人

問６（４）反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも）

▶看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が 62.0%と最も高く、次いで、「同居の子ども」が 27.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 21.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「配偶者」が、『女性』は男性よりも「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などの割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「別居の子ども」の割合が徐々に低下している。
▶圏域別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「配偶者」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「同居の子ども」の割合が高くなっている。

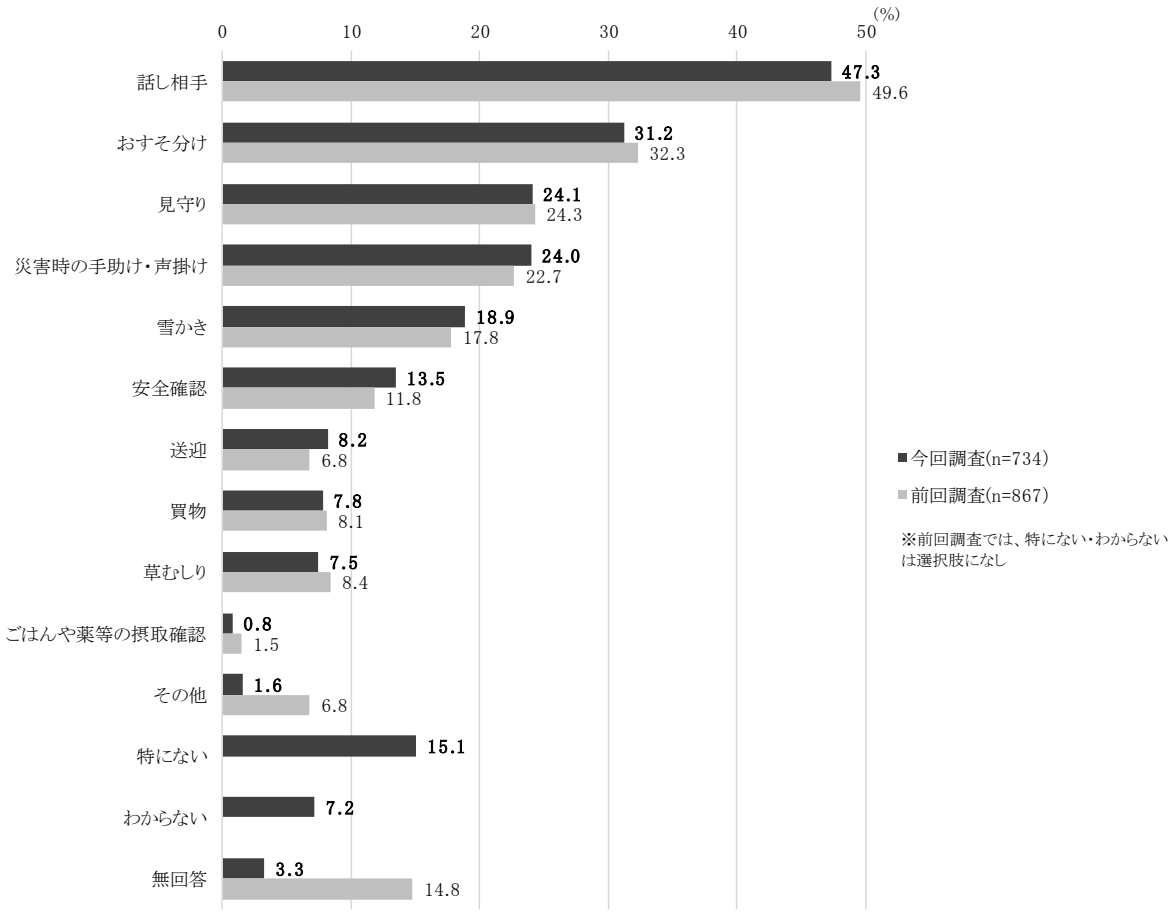
（%）

		n=	配偶者	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない
全体		734	62.0	27.5	21.4	19.9	4.5	1.8	1.8	11.2
性別	男性	368	70.7	22.3	19.0	15.5	1.9	0.8	1.4	11.1
	女性	356	53.4	32.9	24.2	24.4	7.0	2.5	2.2	10.7
年齢別	65～69歳	116	69.0	26.7	29.3	21.6	4.3	-	-	10.3
	70～74歳	176	73.3	21.0	23.9	24.4	4.5	2.3	1.1	8.0
	75～79歳	213	67.1	26.8	21.1	20.2	4.2	2.8	-	11.7
	80～84歳	117	47.0	35.9	16.2	16.2	5.1	0.9	2.6	7.7
	85歳以上	104	43.3	31.7	15.4	13.5	3.8	1.0	6.7	19.2
圏域別	第一中学校圏域	118	64.4	28.8	24.6	23.7	5.9	1.7	-	7.6
	第二中学校圏域	120	58.3	27.5	24.2	23.3	8.3	1.7	1.7	10.0
	第三中学校圏域	102	60.8	33.3	21.6	23.5	3.9	3.9	2.9	14.7
	第四中学校圏域	102	61.8	22.5	16.7	13.7	2.9	-	2.9	15.7
	（旧）第五中学校圏域	77	58.4	29.9	18.2	19.5	2.6	2.6	-	11.7
	第六中学校圏域	67	58.2	26.9	23.9	17.9	4.5	1.5	-	9.0
	第七中学校圏域	56	73.2	32.1	21.4	10.7	1.8	-	1.8	10.7
	（旧）南原中学校圏域	58	62.1	17.2	24.1	24.1	5.2	1.7	5.2	10.3
要介護度別	一般高齢者	710	63.2	26.9	21.3	19.9	4.5	1.7	1.7	11.0
	要支援１・２	12	25.0	41.7	25.0	16.7	-	-	-	16.7

（５）隣近所の人にしてあげられる手助け

問６（５）あなたは、隣近所の人にどのような手助けをしてあげられますか。（○はいくつでも）

▶隣近所の人にしてあげられる手助けは、「話し相手」が 47.3%と最も高く、次いで、「おすそ分け」が 31.2%、「見守り」が 24.1%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶性別でみると、『男性』は女性よりも「災害時の手助け・声掛け」「雪かき」などが、『女性』は男性よりも「話し相手」「おすそ分け」などの割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶圏域別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「話し相手」「見守り」「災害時の手助け・声掛け」など全体的にみても割合が高くなっている。

（%）

		n=	話し相手	おすそ分け	見守り	災害時の手助け・声掛け	雪かき	安全確認	送迎	買物	草むしり	ごはんや薬等の摂取確認
全体		734	47.3	31.2	24.1	24.0	18.9	13.5	8.2	7.8	7.5	0.8
性別	男性	368	40.5	18.5	23.9	27.2	28.8	13.9	9.8	4.3	7.9	0.8
	女性	356	54.8	44.7	24.7	20.8	8.4	12.9	6.7	11.2	6.7	0.8
年齢別	65～69歳	116	42.2	31.0	28.4	31.9	25.0	16.4	12.1	9.5	6.0	-
	70～74歳	176	42.0	27.8	30.1	26.7	25.6	15.3	6.3	8.5	8.0	0.6
	75～79歳	213	47.4	33.8	25.8	27.7	16.0	14.6	9.4	7.0	5.2	1.4
	80～84歳	117	52.1	27.4	18.8	13.7	14.5	8.5	8.5	8.5	9.4	0.9
	85歳以上	104	56.7	36.5	12.5	15.4	10.6	9.6	4.8	4.8	9.6	1.0
圏域別	第一中学校圏域	118	50.0	33.9	22.0	28.0	25.4	14.4	9.3	9.3	5.1	-
	第二中学校圏域	120	45.0	31.7	29.2	26.7	17.5	14.2	11.7	7.5	6.7	1.7
	第三中学校圏域	102	44.1	31.4	27.5	25.5	15.7	15.7	9.8	6.9	14.7	2.0
	第四中学校圏域	102	41.2	25.5	18.6	20.6	14.7	14.7	3.9	3.9	7.8	-
	（旧）第五中学校圏域	77	45.5	28.6	20.8	19.5	23.4	13.0	7.8	10.4	11.7	-
	第六中学校圏域	67	56.7	37.3	22.4	19.4	14.9	13.4	4.5	10.4	3.0	1.5
	第七中学校圏域	56	51.8	30.4	19.6	23.2	17.9	7.1	7.1	7.1	7.1	1.8
	（旧）南原中学校圏域	58	56.9	36.2	27.6	20.7	17.2	6.9	8.6	8.6	3.4	-
要介護度別	一般高齢者	710	47.6	31.1	24.8	24.2	18.7	13.7	8.5	7.9	7.3	0.8
	要支援１・２	12	25.0	33.3	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-

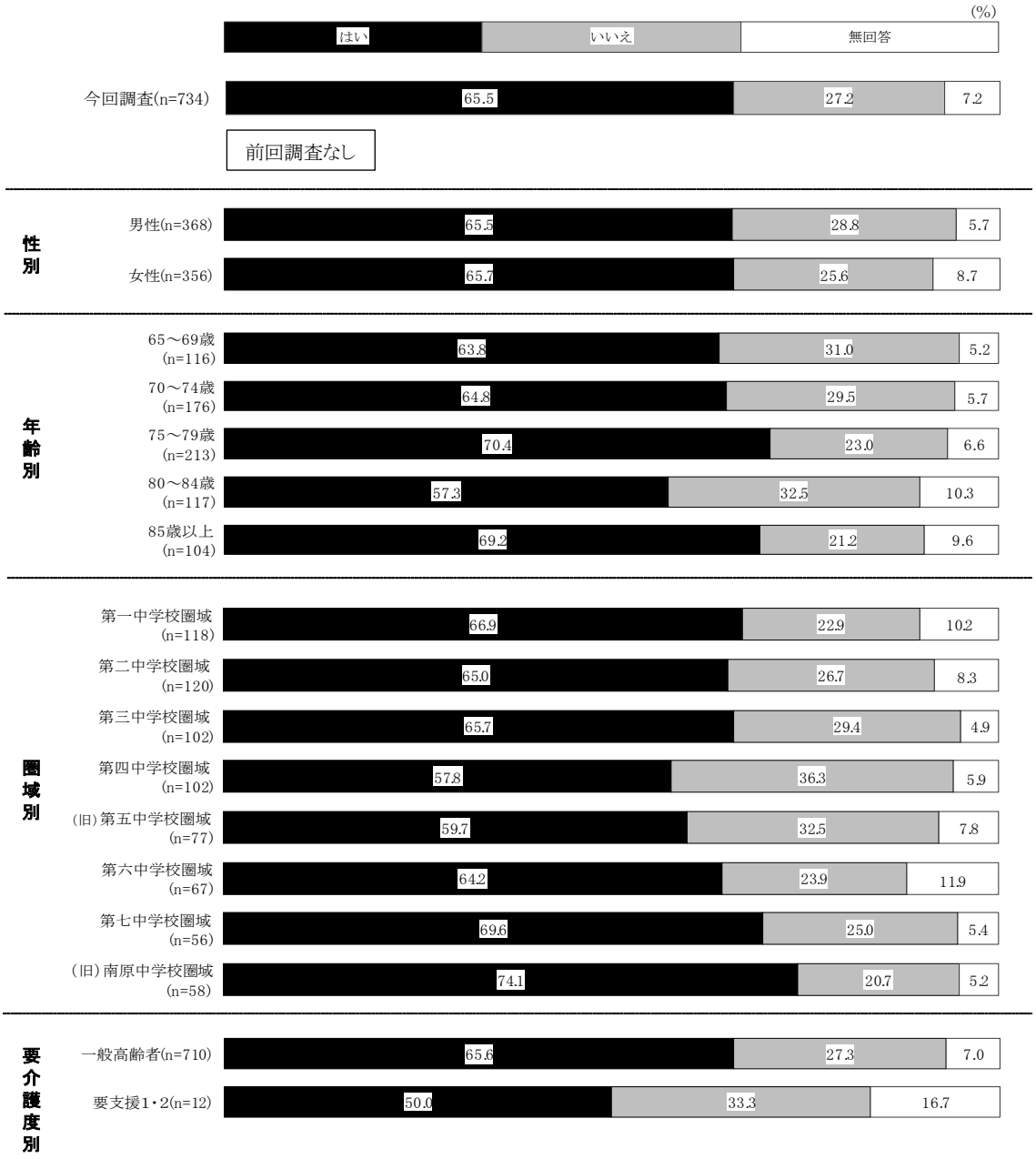
（%）

		n=	その他	特にない	わからない
全体		734	1.6	15.1	7.2
性別	男性	368	2.2	16.3	7.9
	女性	356	1.1	14.0	6.2
年齢別	65～69歳	116	0.9	14.7	8.6
	70～74歳	176	2.3	15.3	5.1
	75～79歳	213	1.4	14.6	9.4
	80～84歳	117	0.9	11.1	8.5
	85歳以上	104	2.9	20.2	3.8
圏域別	第一中学校圏域	118	0.8	11.0	5.9
	第二中学校圏域	120	1.7	14.2	6.7
	第三中学校圏域	102	-	16.7	7.8
	第四中学校圏域	102	2.9	16.7	8.8
	（旧）第五中学校圏域	77	1.3	16.9	9.1
	第六中学校圏域	67	3.0	13.4	9.0
	第七中学校圏域	56	3.6	19.6	7.1
	（旧）南原中学校圏域	58	1.7	17.2	3.4
要介護度別	一般高齢者	710	1.7	15.1	7.3
	要支援１・２	12	-	16.7	8.3

（６）災害時、助けてくれる人がいるか

問６（６）災害が発生した時、近所にあなたを助けてくれる人がいますか。（○は１つ）

▶災害時、助けてくれる人がいるかは、「はい」が 65.5%、「いいえ」が 27.2%となっている。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『75～79 歳』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「はい」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「いいえ」の割合が高くなっている。

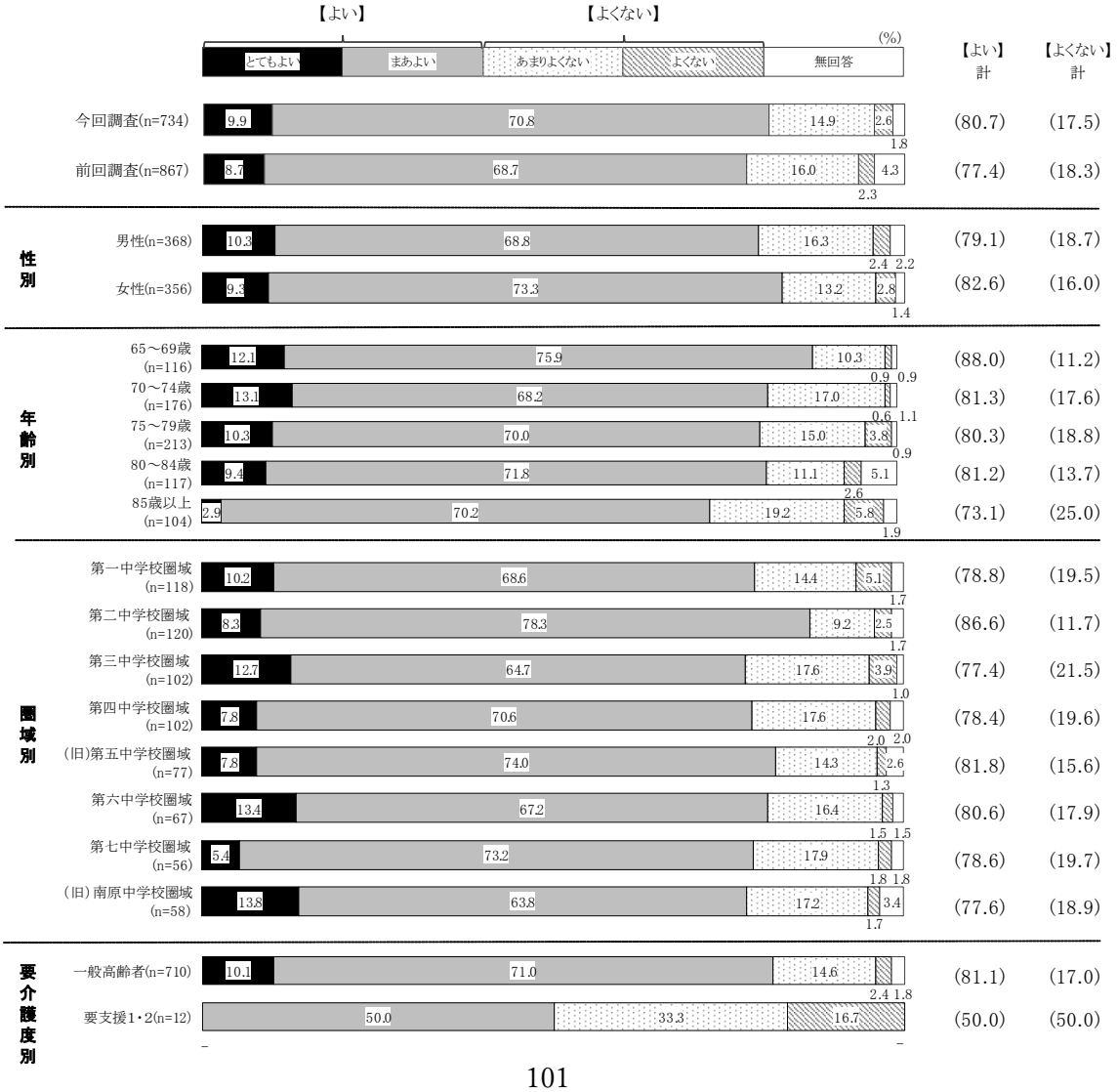


７　健康について

（１）現在の健康状態

問７（１）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は１つ）

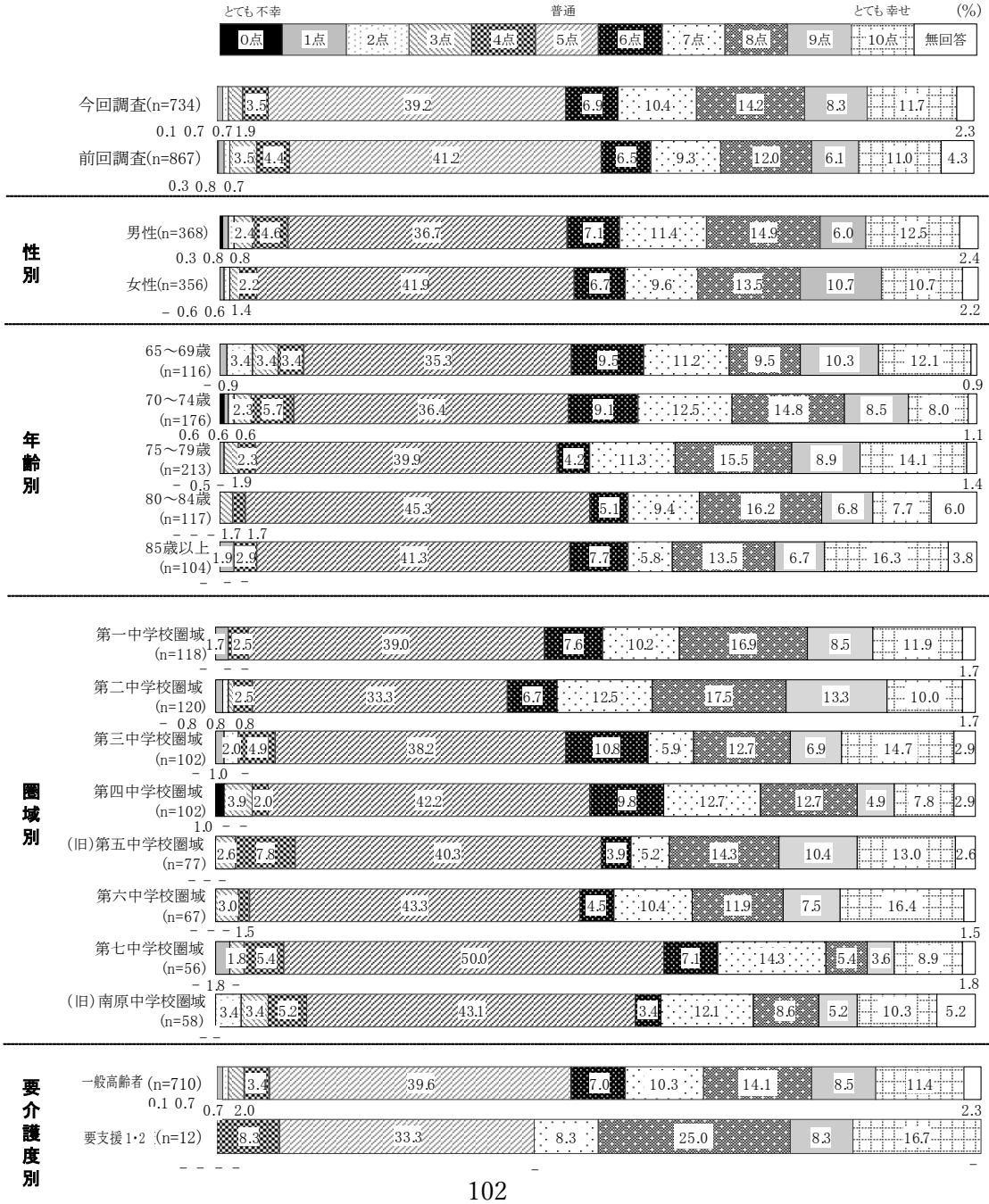
▶現在の健康状態は、「まあよい」が 70.8%と最も高く、次いで、「あまりよくない」が 14.9%、「とてもよい」が 9.9%となっている。また、【よい】（とてもよい+まあよい）は、80.7%、【よくない】（あまりよくない+よくない）は、17.5%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも【よくない】が、『女性』は男性よりも【よい】の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『70～74 歳』から年齢階層が高くなるにつれて「とてもよい」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は「まあよい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【よい】が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも【よくない】の割合が高くなっている。



（２）現在の幸福度

問７（２）あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を１０点として、数字を○で囲んでください。（○は１つ）

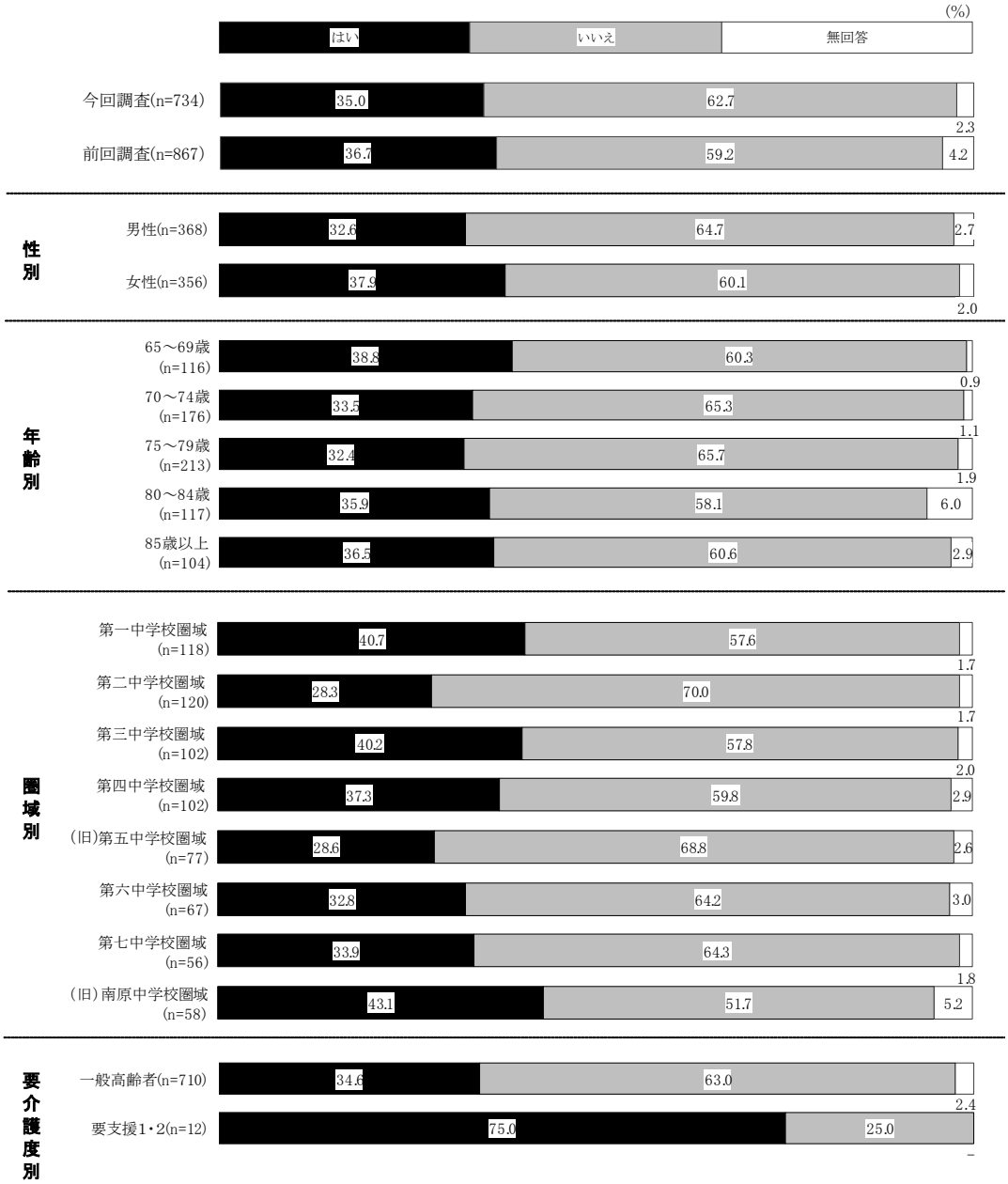
▶現在の幸福度は、「５点」が 39.2%と最も高く、次いで、「８点」が 14.2%、「１０点」が 11.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも「５点」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「３点」「８点」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は「８点」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者より「８点」の割合が高くなっている。



（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること

問７（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は１つ）

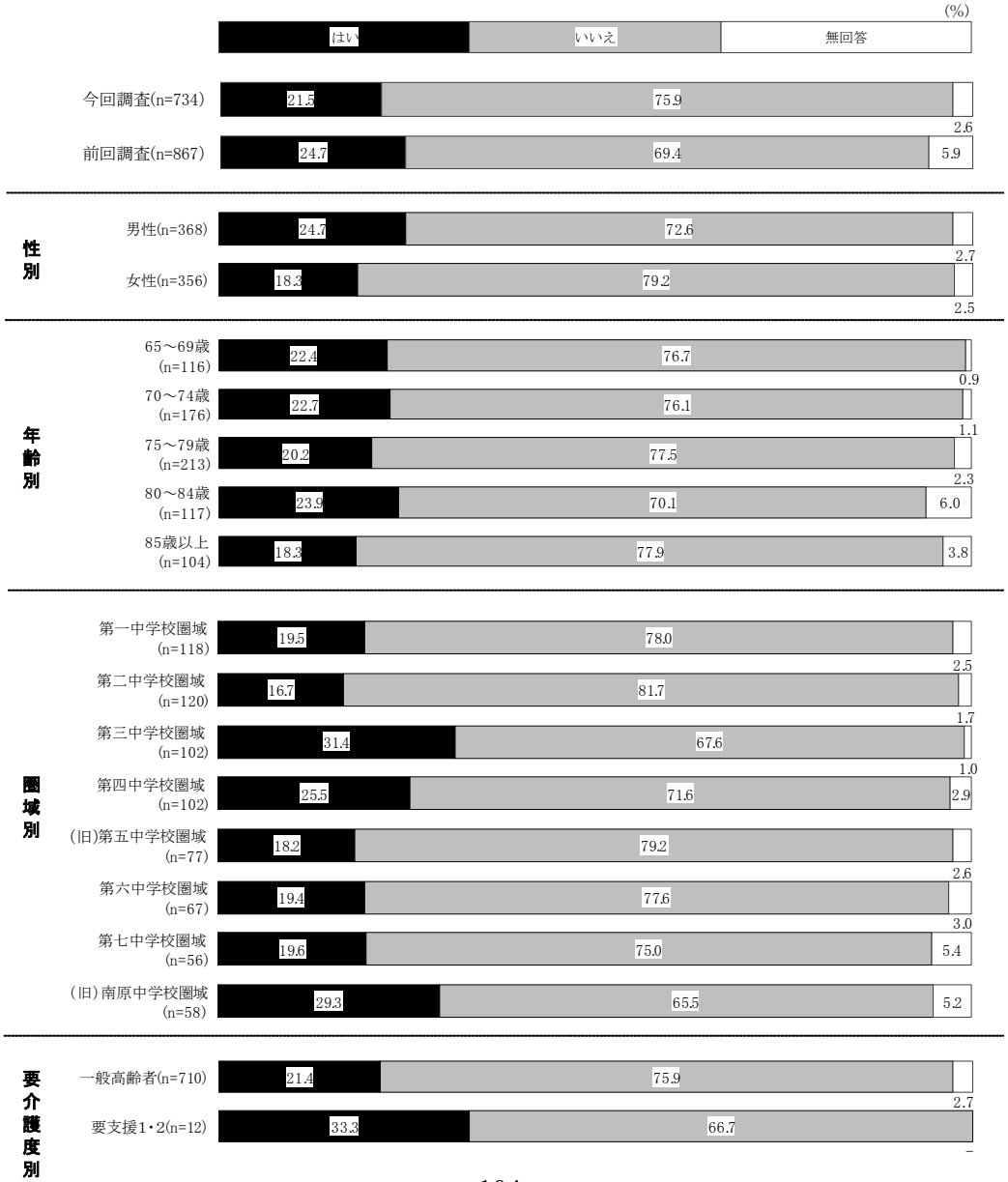
▶この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることは、「はい」が 35.0%、「いいえ」が 62.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「いいえ」が、『女性』は男性よりも「はい」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『65～69 歳』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「いいえ」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（４）この１か月間、興味がわかない、心から楽しめないと感じたりすること

問７（４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は１つ）

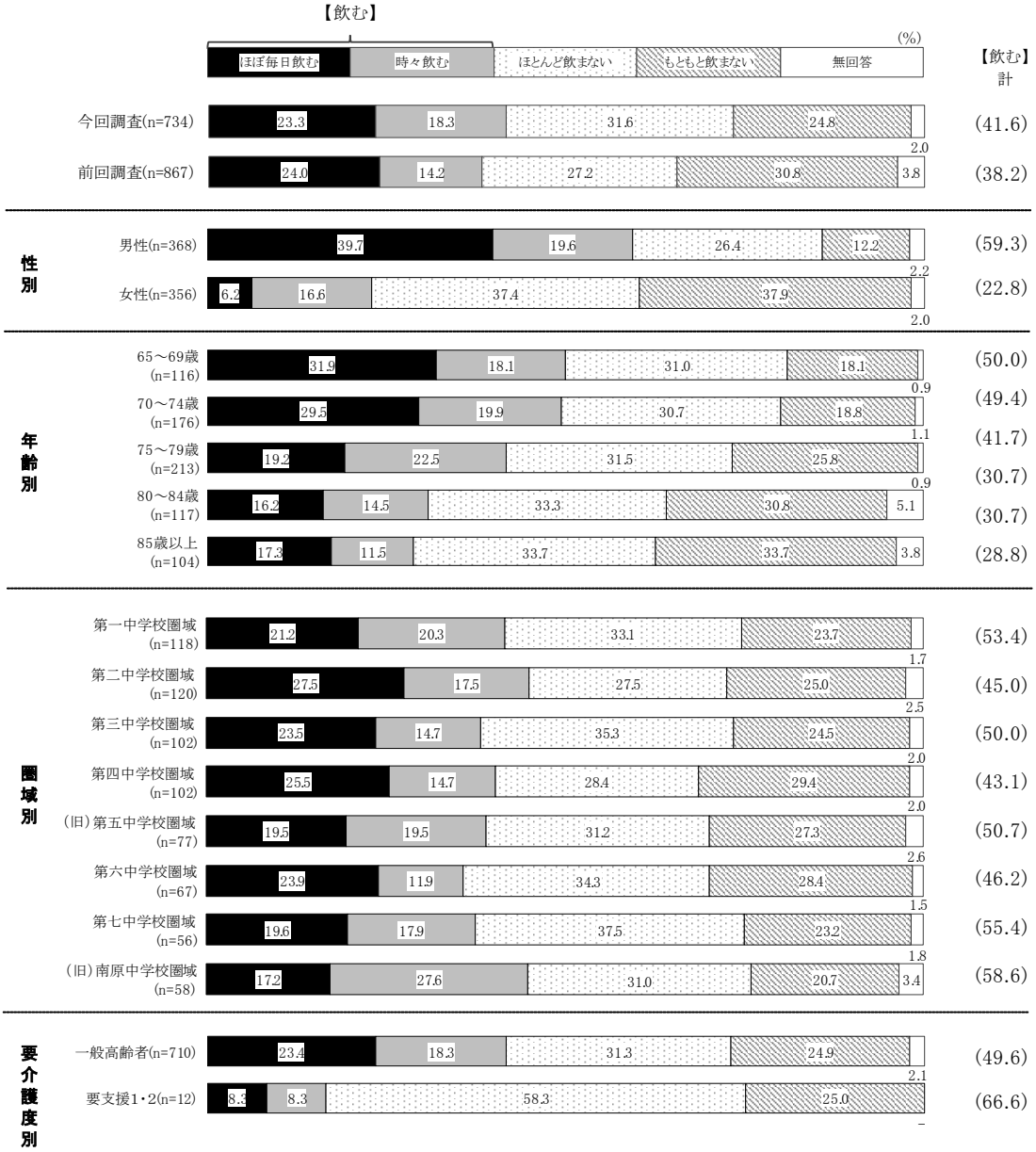
▶この１か月間、興味がわかない、心から楽しめないと感じたりすることは、「はい」が 21.5%、「いいえ」が 75.9%となっている。
▶前回調査と比べると、「いいえ」の割合が前回から 6.5 ポイント上昇している。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「はい」が、『女性』は男性よりも「いいえ」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、すべての年齢階層で大きな差はみられないが、『80～84 歳』は「はい」の割合が他の年齢階層よりもやや高くなっている。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「いいえ」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（５）飲酒状況

問７（５）お酒は飲みますか。（○は１つ）

▶飲酒状況は、「ほとんど飲まない」が 31.6%と最も高く、次いで、「もともと飲まない」が 24.8%、「ほぼ毎日飲む」が 23.3%となっている。また、【飲む】（ほぼ毎日飲む+時々飲む）は、41.6%となっている。
▶前回調査と比べると、「もともと飲まない」の割合が前回から 6.0 ポイント低下している。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「ほぼ毎日飲む」が、『女性』は男性よりも「もともと飲まない」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて【飲む】の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は「ほぼ毎日飲む」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも【飲む】が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「ほとんど飲まない」「もともと飲まない」の割合が高くなっている。



（６）喫煙状況

問７（６）タバコは吸っていますか。（○は１つ）

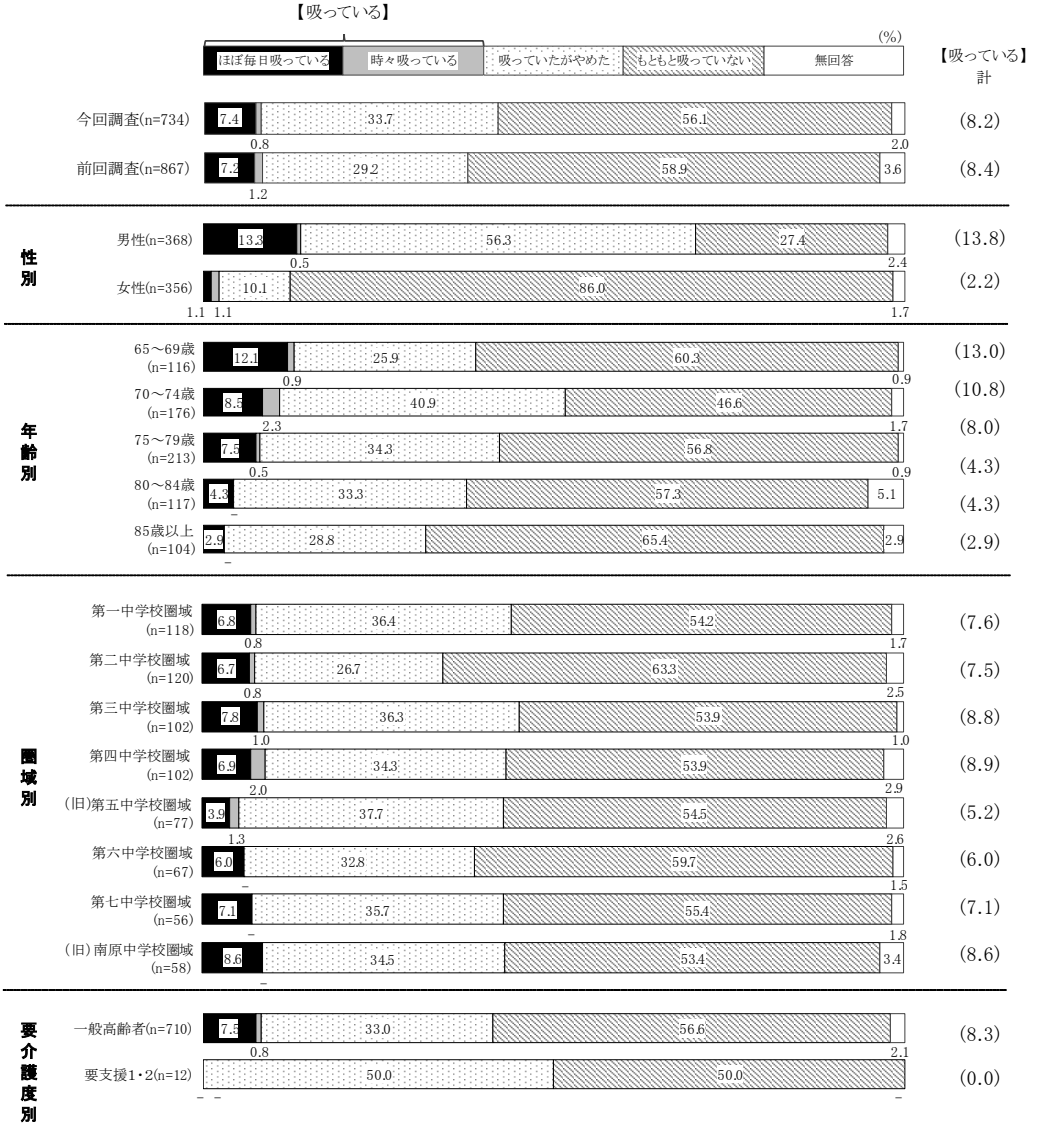
▶喫煙状況は、「もともと吸っていない」が 56.1%と最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」が 33.7%、「ほぼ毎日吸っている」が 7.4%となっている。また、【吸っている】（ほぼ毎日吸っている+時々吸っている）は、8.2%となっている。

▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。

▶性別でみると、『男性』は女性よりも【吸っている】「吸っていたがやめた」が、『女性』は男性よりも「もともと吸っていない」の割合が高くなっている。

▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「ほぼ毎日吸っている」の割合が低下している。一方、『70～74歳』から年齢階層が高くなるにつれて「吸っていたがやめた」の割合が低下、年齢階層が高くなるにつれて「もともと吸っていない」の割合が上昇している。

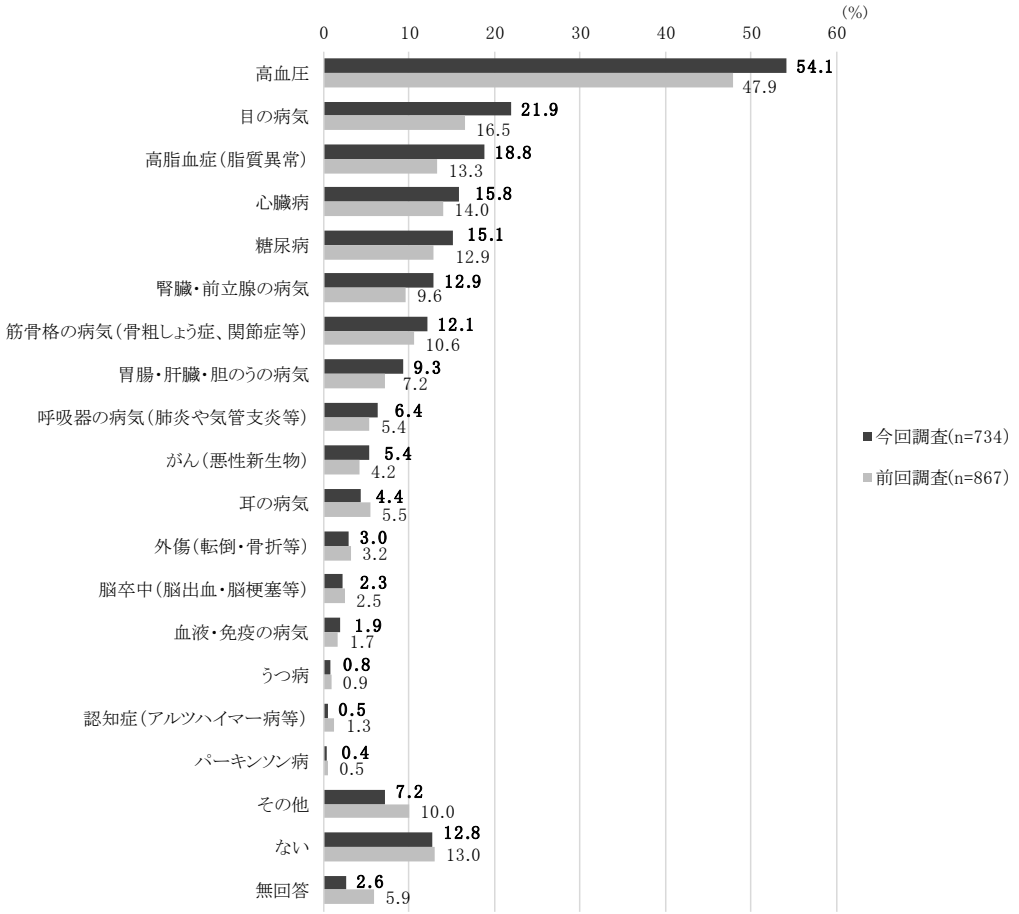
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「もともと吸っていない」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「吸っていたがやめた」の割合が高くなっている。



（７）治療中、後遺症のある病気

問７（７）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

▶治療中、後遺症のある病気は、「高血圧」が 54.1%と最も高く、次いで、「目の病気」が 21.9%、「高脂血症（脂質異常）」が 18.8%となっている。
▶前回調査と比べると、上昇しているものが多く、中でも「高血圧」が前回から 6.2 ポイント上昇している。



▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「高血圧」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。また、年齢階層が高くなるにつれて「高脂血症（脂質異常）」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「高血圧」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「高血圧」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「目の病気」「心臓病」などの割合が高くなっている。

（%）

		n=	高血圧	目の病気	高脂血症（脂質異常）	心臓病	糖尿病	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	がん（悪性新生物）	耳の病気	外傷（転倒・骨折等）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
全体		734	54.1	21.9	18.8	15.8	15.1	12.9	12.1	9.3	6.4	5.4	4.4	3.0	2.3
性別	男性	368	55.7	20.7	11.7	18.2	17.4	22.0	6.0	10.3	7.1	6.8	4.3	3.0	3.8
	女性	356	52.5	23.3	26.1	13.8	12.9	3.4	18.3	7.6	5.3	4.2	4.2	3.1	0.8
年齢別	65～69歳	116	45.7	18.1	25.9	7.8	10.3	5.2	8.6	7.8	4.3	3.4	2.6	1.7	-
	70～74歳	176	50.0	19.9	22.7	11.4	11.9	10.2	10.2	4.5	6.3	8.0	4.0	2.3	2.8
	75～79歳	213	58.7	25.4	20.2	19.7	22.5	16.0	15.5	12.7	6.1	4.2	2.8	5.2	2.3
	80～84歳	117	62.4	23.1	13.7	17.9	16.2	9.4	9.4	9.4	8.5	5.1	6.0	1.7	1.7
	85歳以上	104	52.9	21.2	7.7	23.1	10.6	23.1	16.3	10.6	5.8	6.7	7.7	2.9	4.8
圏域別	第一中学校圏域	118	51.7	19.5	20.3	14.4	19.5	16.9	12.7	9.3	3.4	6.8	6.8	3.4	0.8
	第二中学校圏域	120	50.8	23.3	21.7	15.0	17.5	13.3	15.0	4.2	4.2	4.2	3.3	3.3	-
	第三中学校圏域	102	48.0	26.5	17.6	15.7	10.8	13.7	9.8	15.7	11.8	3.9	4.9	1.0	2.0
	第四中学校圏域	102	59.8	19.6	18.6	15.7	14.7	14.7	13.7	9.8	4.9	4.9	2.9	2.0	3.9
	（旧）第五中学校圏域	77	57.1	23.4	19.5	20.8	11.7	10.4	18.2	7.8	1.3	3.9	3.9	2.6	2.6
	第六中学校圏域	67	58.2	16.4	10.4	10.4	20.9	6.0	10.4	7.5	10.4	4.5	4.5	6.0	7.5
	第七中学校圏域	56	58.9	25.0	19.6	16.1	14.3	19.6	5.4	8.9	10.7	12.5	7.1	5.4	3.6
	（旧）南原中学校圏域	58	62.1	24.1	17.2	22.4	12.1	8.6	10.3	13.8	8.6	8.6	1.7	1.7	-
要介護度別	一般高齢者	710	54.2	21.7	19.2	15.2	15.1	12.8	12.0	9.3	5.8	5.6	4.1	3.1	2.4
	要支援１・２	12	50.0	41.7	-	50.0	25.0	16.7	25.0	-	33.3	-	16.7	-	-

（%）

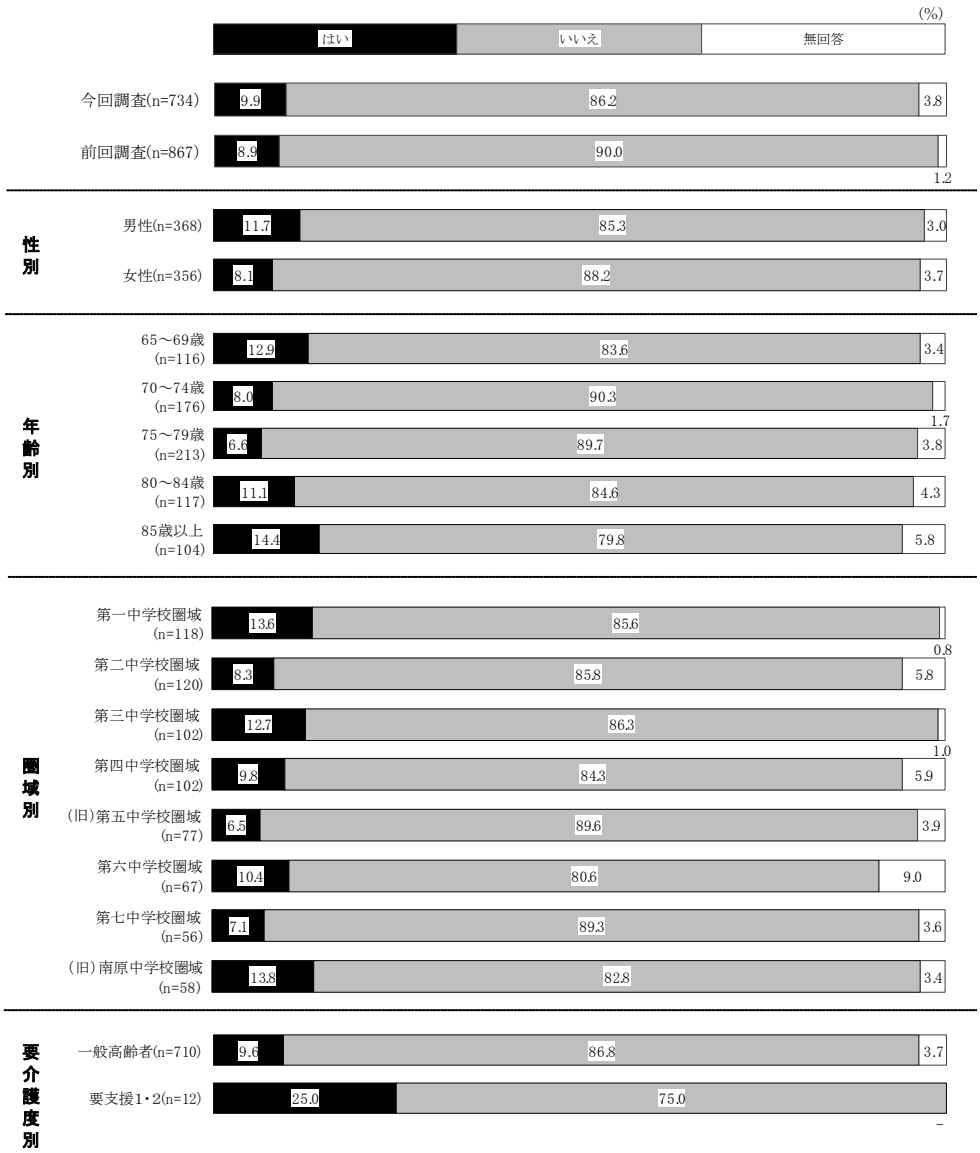
		n=	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	その他	ない
全体		734	1.9	0.8	0.5	0.4	7.2	12.8
性別	男性	368	1.9	1.4	0.3	0.5	6.3	11.1
	女性	356	2.0	0.3	0.8	0.3	8.4	14.6
年齢別	65～69歳	116	0.9	0.9	0.9	0.9	8.6	22.4
	70～74歳	176	2.3	1.7	-	0.6	6.8	15.3
	75～79歳	213	2.8	0.9	0.5	-	8.5	8.9
	80～84歳	117	0.9	-	0.9	-	6.0	6.8
	85歳以上	104	1.9	-	-	1.0	5.8	12.5
圏域別	第一中学校圏域	118	-	-	-	0.8	9.3	12.7
	第二中学校圏域	120	1.7	1.7	0.8	-	7.5	10.8
	第三中学校圏域	102	3.9	-	-	1.0	4.9	12.7
	第四中学校圏域	102	2.0	1.0	2.0	-	4.9	10.8
	（旧）第五中学校圏域	77	5.2	2.6	-	-	5.2	7.8
	第六中学校圏域	67	-	-	-	1.5	6.0	19.4
	第七中学校圏域	56	1.8	-	-	-	7.1	14.3
	（旧）南原中学校圏域	58	1.7	1.7	1.7	-	12.1	12.1
要介護度別	一般高齢者	710	1.8	0.8	0.6	0.3	7.5	12.8
	要支援１・２	12	8.3	-	-	8.3	-	8.3

８　認知症および成年後見制度等について

（１）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人の有無

問８（１）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は１つ）

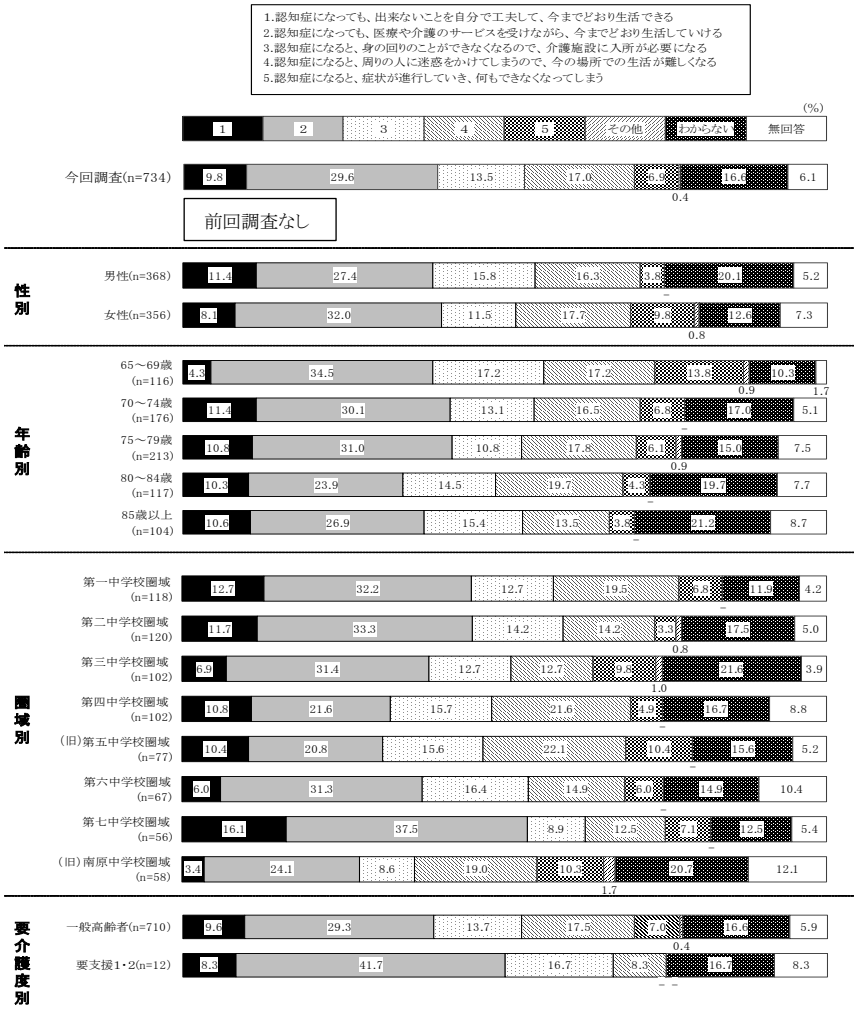
▶認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人の有無は、「はい」が 9.9%、「いいえ」が 86.2%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「いいえ」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「はい」の割合が高くなっている。



（２）認知症のイメージ

問８（２）あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。
（最もあてはまるもの１つに○）

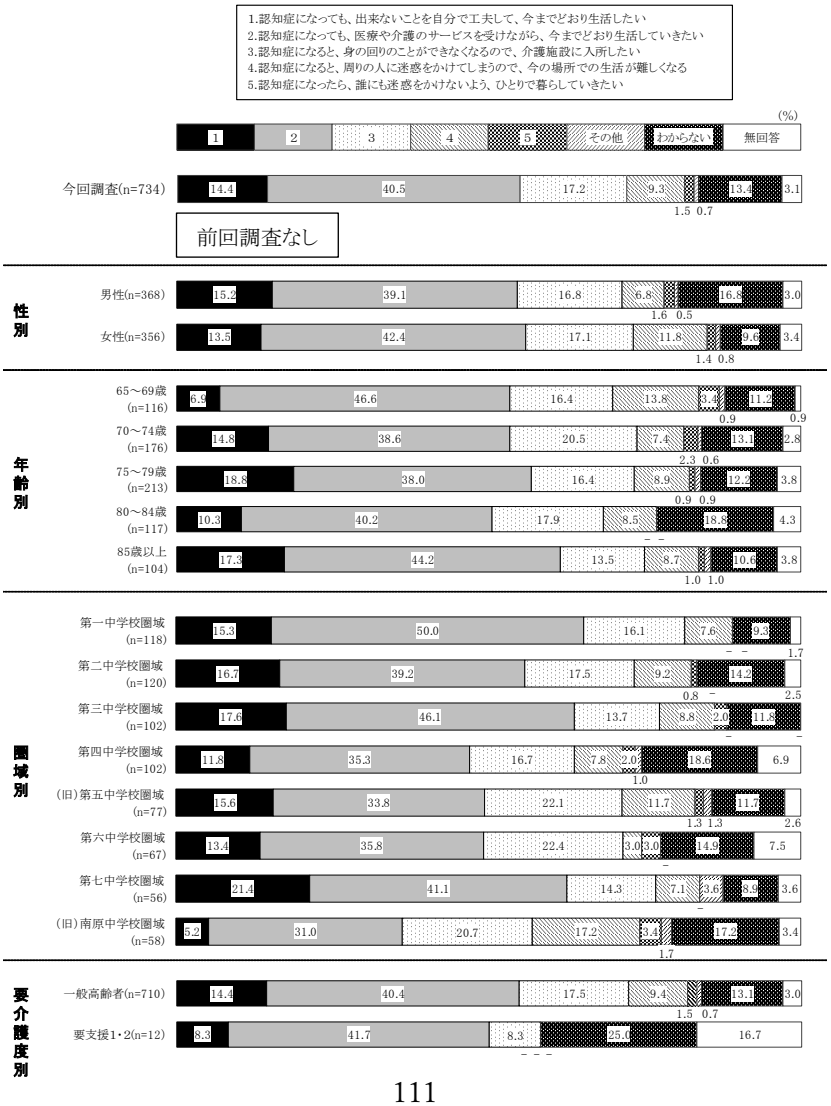
▶認知症のイメージは、「認知症になっても、医療や介護のサービスを受けながら、今までどおり生活できる」が29.6%と最も高く、次いで、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今の場所での生活が難しくなる」が 17.0%、「認知症になると、身の回りのことができなくなるので、介護施設に入所が必要になる」が13.5%となっている。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「認知症になっても、出来ないことを自分で工夫して、今までどおり生活できる」「認知症になっても、医療や介護のサービスを受けながら、今までどおり生活していける」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今の場所での生活が難しくなる」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「認知症になっても、医療や介護のサービスを受けながら、今までどおり生活していける」の割合が高くなっている。



（３）認知症になったら、どのように暮らしたいか

問８（３）もし、あなたが認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。
（最もあてはまるもの１つに○）

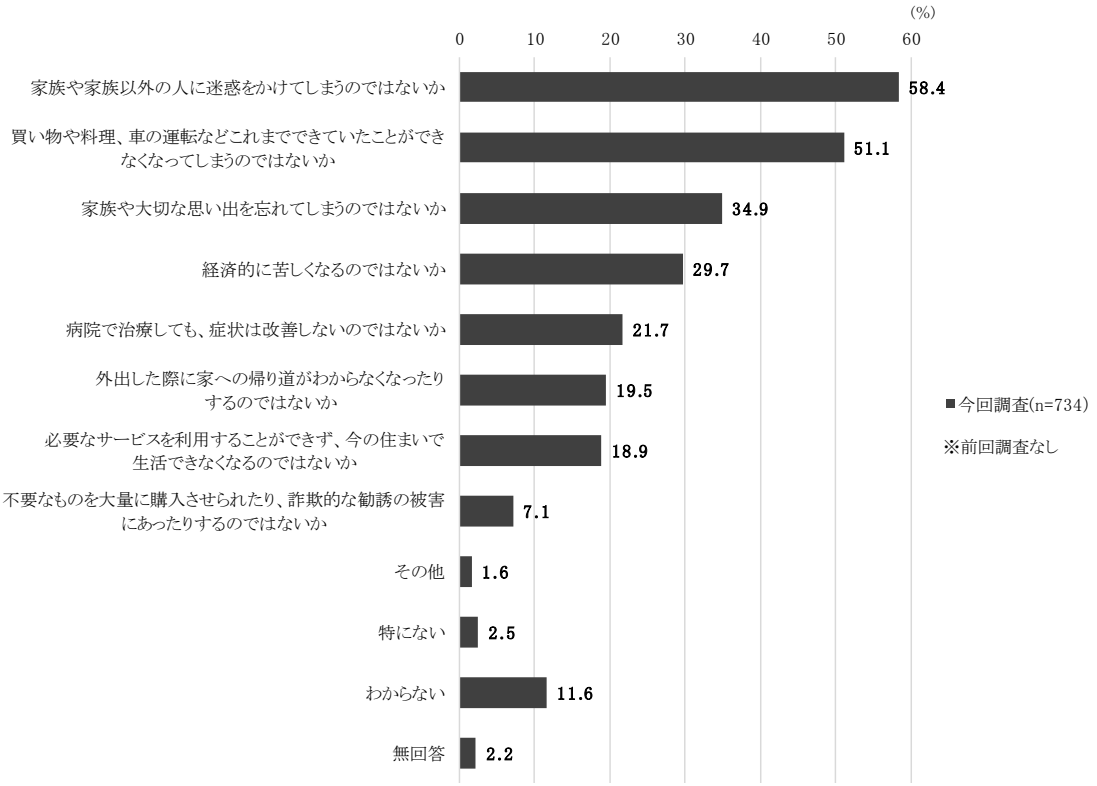
▶認知症になったら、どのように暮らしたいかは、「認知症になっても、医療や介護のサービスを受けながら、今までどおり生活していきたい」が 40.5%と最も高く、次いで、「認知症になると、身の回りのことができなくなるので、介護施設に入所したい」が 17.2%、「認知症になっても、出来ないことを自分で工夫して、今までどおり生活したい」が 14.4%となっている。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『75～79 歳』は「認知症になっても、出来ないことを自分で工夫して、今までどおり生活したい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「認知症になっても、出来ないことを自分で工夫して、今までどおり生活したい」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「認知症になっても、出来ないことを自分で工夫して、今までどおり生活したい」「認知症になると、身の回りのことができなくなるので、介護施設に入所したい」の割合が高くなっている。



（４）認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思うか

問８（４）もし、あなたご自身が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思いますか。（○はいくつでも）

▶認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思うかは、「家族や家族以外の人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 58.4%と最も高く、次いで、「買い物や料理、車の運転などこれまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 51.1%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 34.9%となっている。



▶性別でみると、『女性』は男性よりも高くなっているものが多く、中でも「家族や家族以外の人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 16.6 ポイント高くなっている。
▶年齢別でみると、『70～74 歳』から年齢階層が高くなるにつれて「家族や家族以外の人に迷惑をかけてしまうのではないか」「買い物や料理、車の運転などこれまでできていたことができなくなってしまうのではないか」「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「家族や家族以外の人に迷惑をかけてしまうのではないか」「買い物や料理、車の運転などこれまでできていたことができなくなってしまうのではないか」の割合が高くなっている。

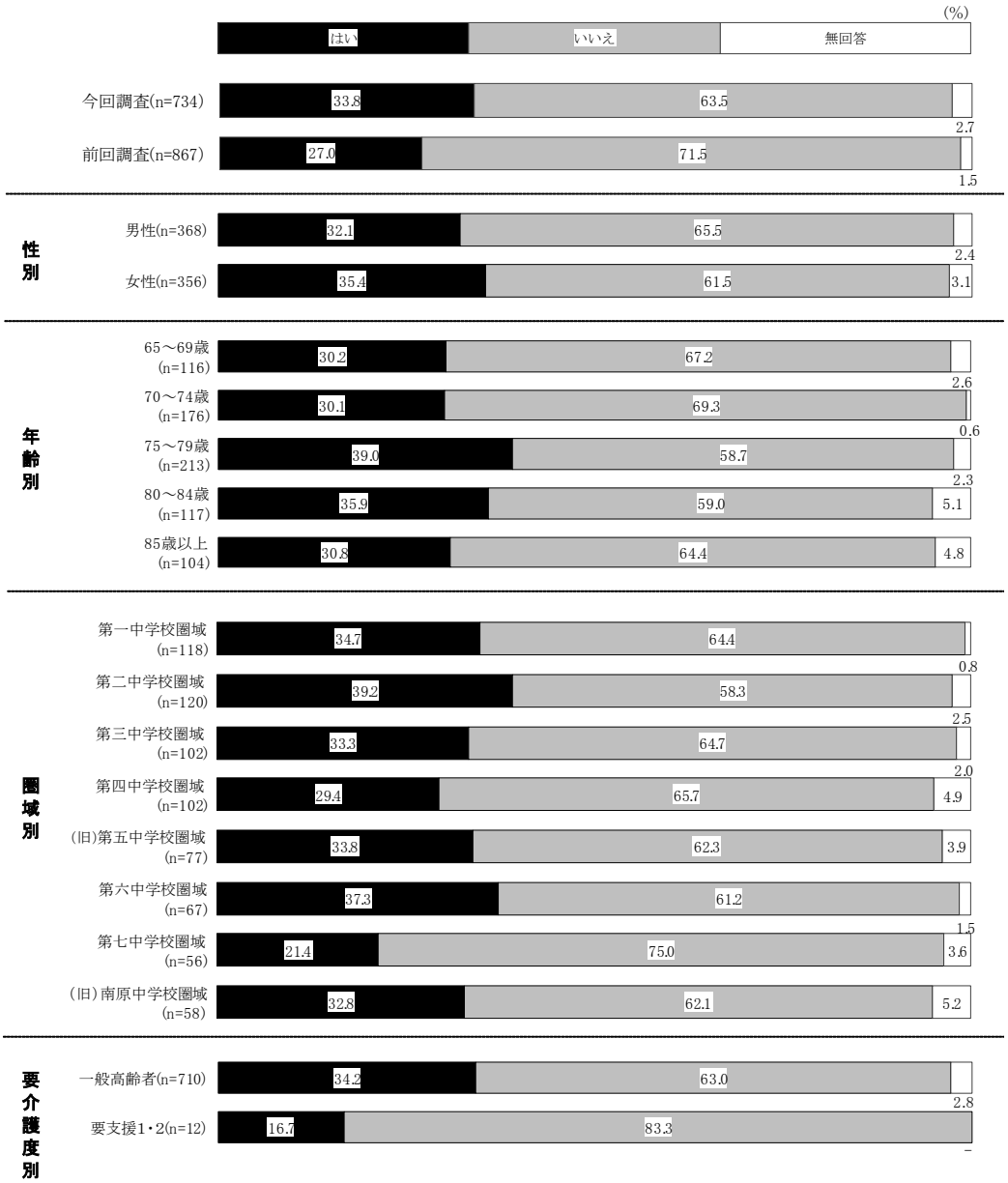
（%）

		n=	家族や家族以外の人に迷惑をかけてしまうのではないか	買い物や料理、車の運転などこれまでできていたことができなくなってしまうのではないか	家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか	経済的に苦しくなるのではないか	病院で治療しても、症状は改善しないのではないか	外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか	必要なサービスを利用することができず、今の住まいで生活できなくなるのではないか	不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害にあったりするのではないか	その他	特にない	わからない
全体		734	58.4	51.1	34.9	29.7	21.7	19.5	18.9	7.1	1.6	2.5	11.6
性別	男性	368	50.5	48.1	30.2	29.6	19.0	16.3	17.7	6.3	1.9	3.8	13.0
	女性	356	67.1	53.9	39.9	30.3	24.7	23.0	20.5	7.6	1.4	1.1	9.6
年齢別	65～69歳	116	62.1	56.9	35.3	37.9	23.3	28.4	18.1	12.1	1.7	2.6	6.9
	70～74歳	176	65.9	58.5	38.6	34.7	21.0	21.6	25.6	7.4	0.6	1.7	6.3
	75～79歳	213	55.9	53.1	34.3	27.7	21.1	18.8	15.5	5.2	2.3	2.3	12.2
	80～84歳	117	55.6	41.0	34.2	23.9	25.6	14.5	19.7	4.3	0.9	0.9	20.5
	85歳以上	104	51.9	39.4	30.8	24.0	18.3	13.5	15.4	7.7	2.9	5.8	12.5
圏域別	第一中学校圏域	118	45.8	54.2	25.4	35.6	21.2	25.4	8.5	63.6	2.5	1.7	7.6
	第二中学校圏域	120	30.8	50.8	18.3	25.0	12.5	19.2	5.0	55.8	1.7	5.0	12.5
	第三中学校圏域	102	35.3	55.9	20.6	26.5	18.6	23.5	6.9	55.9	1.0	3.9	9.8
	第四中学校圏域	102	28.4	42.2	17.6	25.5	16.7	12.7	2.9	56.9	2.9	1.0	13.7
	（旧）第五中学校圏域	77	33.8	45.5	23.4	32.5	27.3	18.2	10.4	59.7	-	5.2	11.7
	第六中学校圏域	67	23.9	46.3	17.9	28.4	13.4	16.4	9.0	52.2	3.0	1.5	16.4
	第七中学校圏域	56	32.1	60.7	33.9	32.1	19.6	14.3	7.1	57.1	1.8	-	8.9
	（旧）南原中学校圏域	58	41.4	58.6	25.9	44.8	27.6	22.4	12.1	63.8	-	-	12.1
要介護度別	一般高齢者	710	58.9	51.5	34.8	30.0	21.8	19.7	19.3	6.9	1.7	2.4	11.4
	要支援１・２	12	41.7	33.3	41.7	41.7	25.0	16.7	-	8.3	-	8.3	16.7

（５）認知症に関する相談窓口の認知度

問８（５）あなたは、認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）

▶認知症に関する相談窓口の認知度は、「はい」が 33.8%、「いいえ」が 63.5%となっている。
▶前回調査と比べると、「はい」の割合が前回から 6.8 ポイント上昇し、「いいえ」が 8.0 ポイント低下している。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『75～79 歳』から年齢階層が高くなるにつれて「はい」が低下、「いいえ」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は「はい」が、『第七中学校圏域』は「いいえ」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「はい」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「いいえ」の割合が高くなっている。

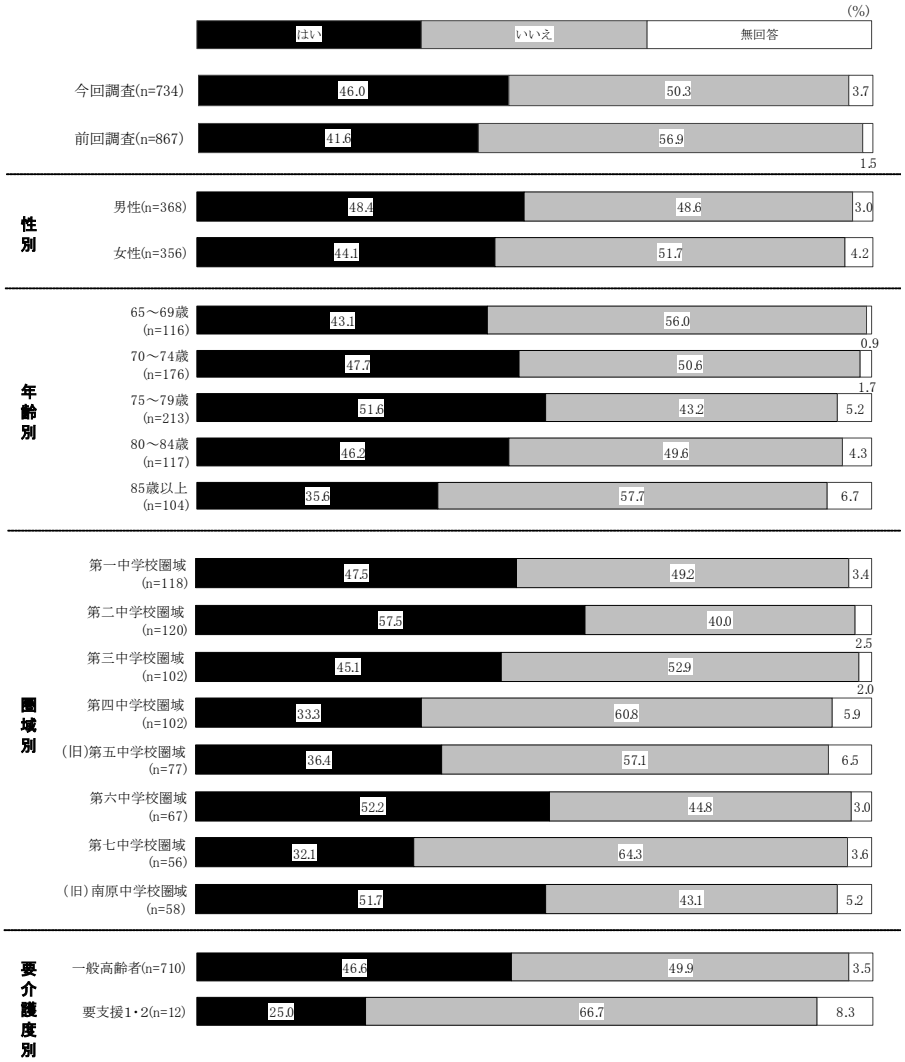


（６）成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

問８（６）成年後見制度※について米沢市役所や地域包括支援センターでもご相談いただけることをご存知ですか。（○は１つ）

※成年後見制度は、判断能力に不安がある場合に、ご本人または家庭裁判所が選んだ人が、ご本人の権利に関わる手続き等を代わりに行う制度です。

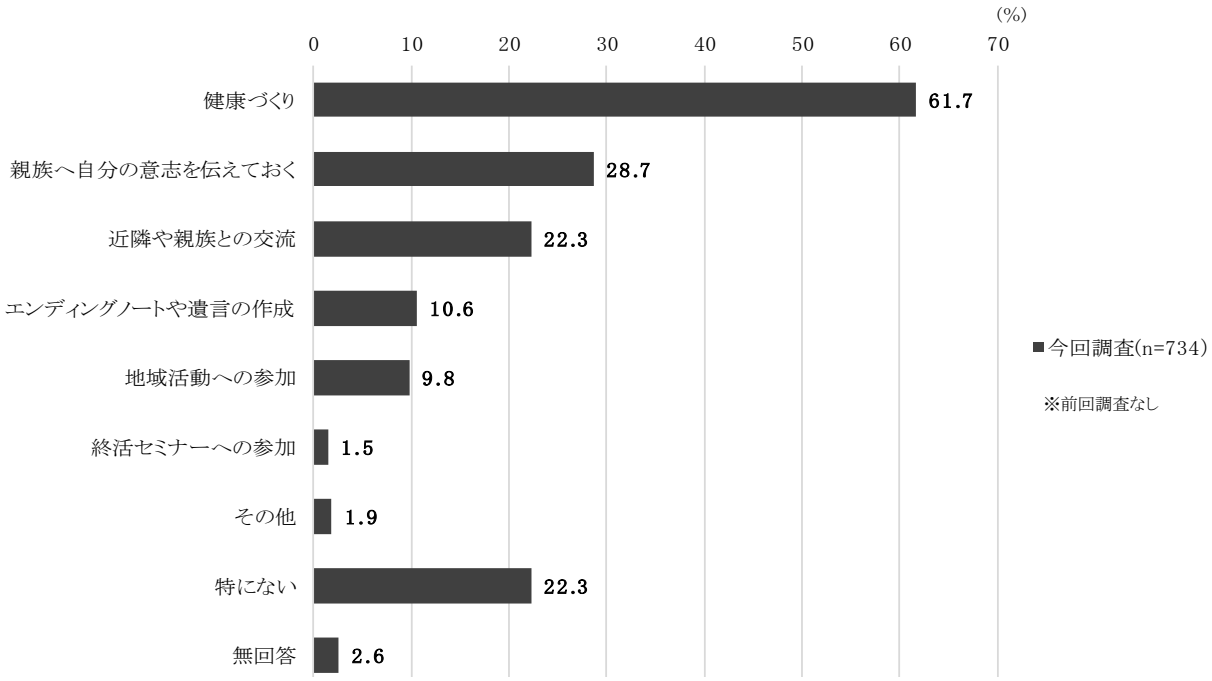
▶成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度は、「はい」が46.0%、「いいえ」が 50.3%となっている。
▶前回調査と比べると、「いいえ」の割合が前回から 6.6 ポイント低下している。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『75～79 歳』は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高く、『85 歳以上』は低くなっている。
▶圏域別でみると、『第二中学校圏域』は「はい」が、『第七中学校圏域』は「いいえ」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「はい」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「いいえ」の割合が高くなっている。



（７）将来の備えとして取り組んでいること

問８（７）あなたは将来の備えとして、どのようなことに取り組まれていますか。
（○はいくつでも）

▶将来の備えとして取り組んでいることは、「健康づくり」が 61.7%と最も高く、次いで、「親族へ自分の意志を伝えておく」が 28.7%、「近隣や親族との交流」が 22.3%となっている。



▶性別でみると、『女性』は男性よりも「健康づくり」「親族へ自分の意志を伝えておく」などの割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』は「健康づくり」の割合が他の年齢階層よりも低くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「健康づくり」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「健康づくり」「親族へ自分の意志を伝えておく」などが、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「近隣や親族との交流」「エンディングノートや遺言の作成」の割合が高くなっている。

（%）

		n=	健康づくり	親族へ自分の意志を伝えておく	近隣や親族との交流	エンディングノートや遺言の作成	地域活動への参加	終活セミナーへの参加	その他	特にない
全体		734	61.7	28.7	22.3	10.6	9.8	1.5	1.9	22.3
性別	男性	368	59.8	22.6	22.3	8.4	11.7	0.8	2.2	25.3
	女性	356	63.8	35.4	23.0	12.4	7.6	2.2	1.7	19.1
年齢別	65～69歳	116	61.2	25.0	16.4	10.3	10.3	1.7	1.7	26.7
	70～74歳	176	63.6	25.6	21.6	9.7	10.8	1.1	1.7	24.4
	75～79歳	213	67.1	32.9	26.8	11.7	10.8	1.4	2.3	18.8
	80～84歳	117	61.5	30.8	24.8	10.3	9.4	2.6	-	17.9
	85歳以上	104	48.1	27.9	20.2	9.6	4.8	1.0	3.8	26.0
圏域別	第一中学校圏域	118	66.9	30.5	24.6	12.7	11.0	0.8	2.5	15.3
	第二中学校圏域	120	67.5	27.5	24.2	7.5	9.2	0.8	1.7	15.8
	第三中学校圏域	102	63.7	34.3	20.6	11.8	10.8	3.9	1.0	24.5
	第四中学校圏域	102	59.8	21.6	16.7	8.8	6.9	1.0	2.0	26.5
	（旧）第五中学校圏域	77	58.4	28.6	28.6	7.8	10.4	-	1.3	23.4
	第六中学校圏域	67	58.2	26.9	20.9	16.4	9.0	3.0	-	28.4
	第七中学校圏域	56	58.9	33.9	17.9	12.5	8.9	1.8	1.8	23.2
	（旧）南原中学校圏域	58	43.1	24.1	19.0	3.4	8.6	1.7	3.4	34.5
要介護度別	一般高齢者	710	61.8	29.3	22.1	10.1	9.6	1.5	2.0	22.3
	要支援１・２	12	50.0	8.3	33.3	33.3	8.3	-	-	33.3

（８）人生の最終段階における医療・ケアに関して、家族などや医療・ケアチームとどの程度話し合ったことがあるか

問８（８）あなたは、ご自身やご家族などの人生の最終段階における医療・ケアに関して、家族などや医療・ケアチームとどの程度話し合ったことがありますか。（○は１つ）

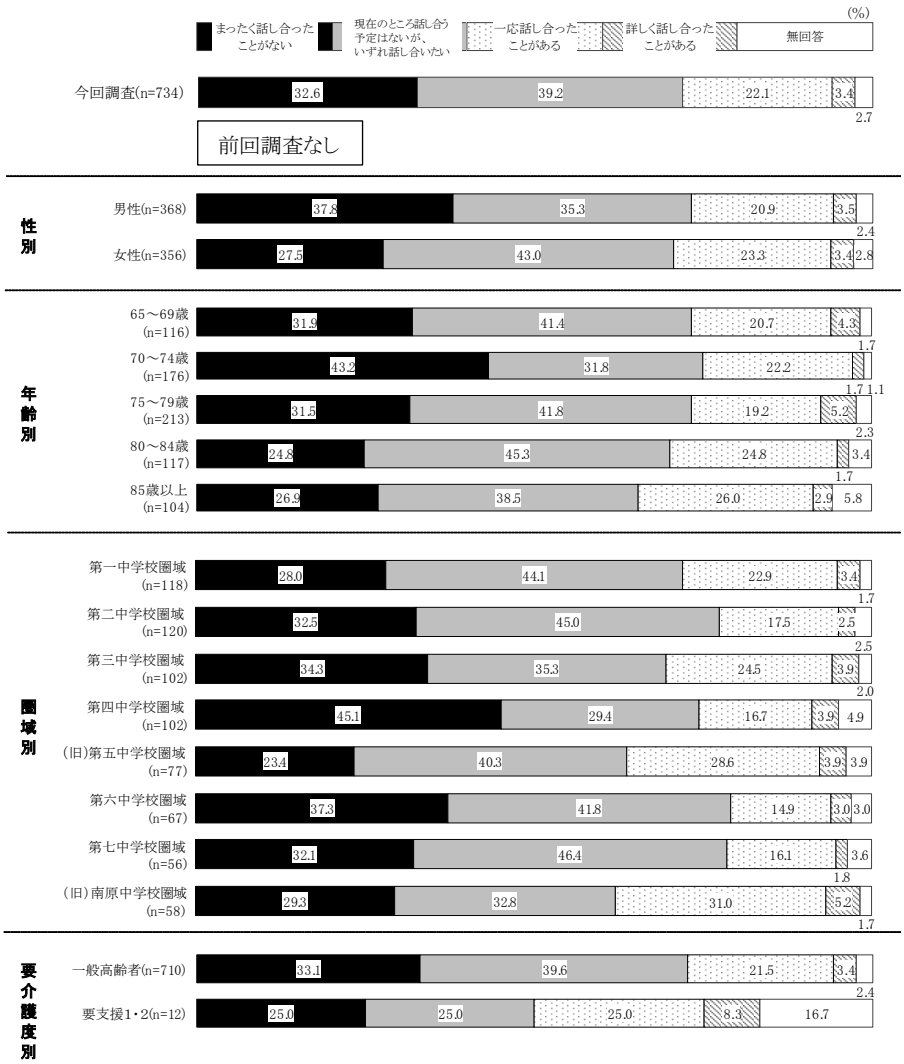
▶人生の最終段階における医療・ケアに関して、家族などや医療・ケアチームとどの程度話し合ったことがあるかは、「現在のところ話し合う予定はないが、いずれ話し合いたい」が 39.2%と最も高く、次いで、「まったく話し合ったことがない」が 32.6%、「一応話し合ったことがある」が 22.1%となっている。

▶性別でみると、『男性』は女性よりも「まったく話し合ったことがない」「詳しく話し合ったことがある」が、『女性』は男性よりも「現在のところ話し合う予定はないが、いずれ話し合いたい」「一応話し合ったことがある」の割合が高くなっている。

▶年齢別でみると、『70～74 歳』は「まったく話し合ったことがない」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。

▶圏域別でみると、『第四中学校圏域』は他の圏域よりも「まったく話し合ったことがない」の割合が高く、「（旧）第五中学校圏域」は低くなっている。

▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「まったく話し合ったことがない」「現在のところ話し合う予定はないが、いずれ話し合いたい」の割合が高くなっている。



９　自由意見

（９）介護保険事業や高齢者の保健福祉に関するご意見やご要望等

最後に、介護保険事業や高齢者の保健福祉に関するご意見やご要望等について、自由にお書きください。

▶ 介護保険事業や高齢者の保健福祉に関するご意見やご要望等は、「行政について」が 41 件と最も多く、次いで「感想や生き方について」（39 件）、「介護保険・医療について」（30 件）となっている。

順位	内容	件数
1	行政について	41 件
2	感想や生き方について	39 件
3	介護保険・医療について	30 件
4	経済的負担や軽減について	26 件
5	高齢者施策について	23 件
6	生活に対する不安について	18 件
7	交通について	12 件
8	健康づくりや介護予防について	11 件
9	介護者の負担について	10 件
10	情報提供について	9 件
11	相談先について	8 件
12	アンケートについて	6 件
13	介護認定について	4 件
	その他	11 件
	合計	248 件

※回答者数：187 人（「特にない」などの回答は除く）
※１人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

【自由意見（一部抜粋）】

1.　行政について

○ 義父もまた母も高齢でデイサービスやショートステイで職員の方々に大変お世話になっている。本人も家族も生活の支えとなり大変感謝している。高齢者も充分負担をといわれるが、納めた税金が社会福祉、日常生活の分野に充分な予算として還流されることを望んでいる。

○ この度、主人の介護に関して包括支援センターを知りました。皆さん親切に対応していただき、今も相談しています。介護になったから知った事です。これから知らない人達に伝えて行きたいと思います。
○ 介護施設等の介護士・ヘルパーの人員不足および労働環境の改善・整備（給料アップ、施設等への国からの補助金アップ）を図る必要があると思います。
○ 介護保険の窓口の対応されるスタッフの方々にもっと、寄り添った応対をして欲しいと思います。

2. 感想や生き方について

○ 今は健康で飲み薬もありません。でも、いつの日か福祉のお世話になると思いますが、それを先へ先へと追いやって、三度の食事はしっかりと取り、フットワークをやり、健康維持が仕事です。その時のために、お世話のなり方を考えていきたいし、そういう制度があることにありがたみと、安心感があります。
○ 自分のことが出来なくなった時、希望すれば誰でも介護施設に入所できる世の中になれば良いのかなと思います。
○ 子供達に元気なうちに話しておくことが沢山あると思いますが考えたことはありませんでした。まず断捨離が先かと思っています。元気に動けるのもここ４、５年かと思います。今年から計画を立てて生きて行くことも考えています。

3. 介護保険・医療について

○ 介護については、先々必要となると思うが介護保険料が高すぎる為、現状生活するための生活費に影響がある。
○ 高齢者の介護保険料の負担を考えていただきたい。介護保険を利用しないまま終わってしまう人もいるのではないかと思う。
○ 年金は上がらないのに保険料は上がる。介護保険料必要なことは理解できますがもう少し負担が減るといい。
○ 要介護〇〇以上でないと、支援受けられないなど聞いた事があります。介護保険料を年金から引かれている訳ですがいざ病気になった時に、介護保険からどのような支援が受けられるのかあまり分からないので不安です。

4. 経済的負担や軽減について

○ 金銭的に余裕のない人でも利用できる施設があれば良いと思います。
○ 介護デイサービスを利用していますが現在小・中・高での給食は無料なのに介護の食事は自費です。いくら高齢者でも昼食の料金も、現在の物価高に困っている方多いと思います。この点今後の生活向上にも、援助してほしいです。ぜひ検討して下さる様、切望いたします。

5.　高齢者施策について

○ 地区ごとのコミセンでの高齢者向きの事業（軽スポーツ、リクレイション等）も増やして望しい。

○ 元気アップ教室などの体力作りの事業を沢山開催して、前期・後期共に参加できるようにしてほしいと思います。体力作りの講座を年代別 70 歳代・80 歳代・90 歳以上等に別れた運動内容があっても良いと思います。

○ 近隣に 80 歳以上の年寄りが多く遠くからしか見守ることが出来ない。家族がいるので出過ぎたこともできない。遠くから見てるしかないが会った時など立ち話しをしたりするが、とても気になる。

○ 除雪作業中、屋根より落下した事もあり、雪による生活障害を強く感じています。高命による生活障害はあまり発生していませんが具体的に発生したら対応しようと考えています。先ず、日々元気に生活、仕事する事を考え、行動しています。

○ 後期高齢者の年齢になりましたが、以前と変わらずウォーキングや、スポーツジムで体身を動かしています。どちらも多くの高齢者との出会いがあります。先ず個人個人が頑張ることができる環境づくり、健康長寿の取り組みや、予防のための地域コミュニケーションの取り組み等楽しめる場づくりがもっと必要と思います。自助、共助を介助がどのように関わっていくのかが、これからの社会にとって重要と考えます。

6.　生活に対する不安について

○ 今まで出来た事が出来なくなることが一番心配です。

○ 高齢夫婦２人の生活なので、雪が多くなってくると、今後どのような生活を送れば良いのか？（屋根の雪降ろし、除雪後の片づけ)。一人暮らしになって、家の片づけなど、金銭的な面もどうすれば良いか考えている。

7.　交通について

○ 目の病気で昨年一時車の運転に不安を感じたがその時、まちなかタクシーを利用させていただきありがたかったです。これからもこのような支援事業をお願いいたします。

○ 現在、車運転が可能でも何年か後には運転も不可能になる。買い物するにも私地区にはスーパーが近くにないこと、食料品店や移動スーパーなど少し増やしてほしい。バス運行廃止になり、通院や買物にでかけるにも移動手段がない、乗り合いタクシーもありますが、バス料金にくらべると、高いのではないかと思う。

8.　健康づくりや介護予防について

○ 介護及び福祉事業はとても大切です。今は心配ありませんが断言は出来ないので健康と心のケアを妻と共に考えて行きたいと思います。

○ 認知症はなぜなるのか？そのために必要な運動、食事法などがあったら教えて下さい。米沢市介護予防には色々参加させて頂き、家でも暇をみてはやれることを実行しております。大変ありがたく思っています。

9. 介護者の負担について

○ 老々介護で頑張っている人もいると思うので、自宅で介護をしている人に何らかの助成が必要だと思う。

○ 夫の介護をしているので時間がとれない。また、自分の身体の衰えも気になり自分なりになんとかやっているつもりです。

○ 実母を 10 年程自宅で介護し、現在は施設でお世話になっている。仕事をしながらの在宅介護はなかなか大変であったが、ケアマネージャーの方、デイサービスの方、ショートステイの方などの協力を得て、何とか乗り切ることができたと感じている。地域や家族の中で、自分が孤独しないことや、いろいろなサービスがあることを知り、上手に利用していくことが大切であると感じる。

10. 情報提供について

○ 介護施設等のパンフレットを年１回でも良いので市報等に入れて欲しいです。

○ 介護保険、保健事業について、詳しく情報が知りたい。

11. 相談先について

○ 介護保険や保健福祉を利用したい時はどこに相談したら良いか知りたいです。

○ 何事にも、自分の方から尋ねなければ教えてもらえない。どういったことをどこに相談すべきかというのをどうやって知ることが出来るのかとわかる老人がどのくらいることでしょう。皆さんがその時の悩みごとを何処に相談したら良いかがわかる様にしていただきたい。

12. アンケートについて

○ このようなアンケート調査をやっていただくことは、非常にありがたいです。明日は、我が身ですので、よく熟慮して答えました。よろしくお願いします。

○ 福祉関係、サービス等について、何となく知っているような気ではいたが、まだ実際身近に迫っていないのでこういうアンケートを前にすると、知らなかったことがあるのだろうという意識が出てありがたいと思いました。

13. 介護認定について

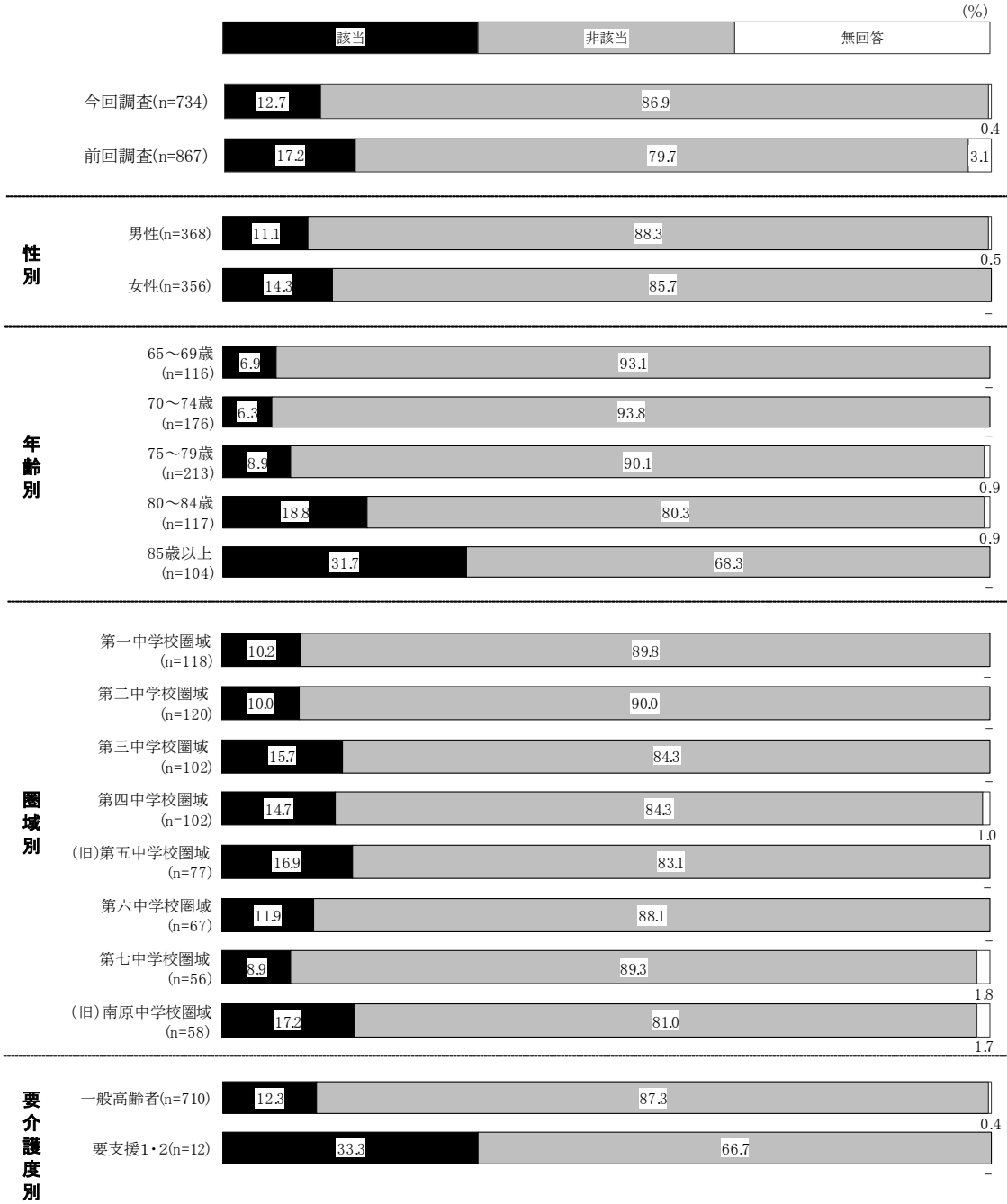
○ 介護認定について、その時（訪問時）の本人の状態だけではなく、日頃の様子なども家族に聞いて、判断していただきたい。

○ もしも自分が介護認定を受けることがあったとしたら認定のばらつきや施設等の待機が長引いたり、少しでも少なくなればと思います。（このご時世、施設が高額となり入所は本当に難しく不安に思います）

１０　高齢者リスク判定分析

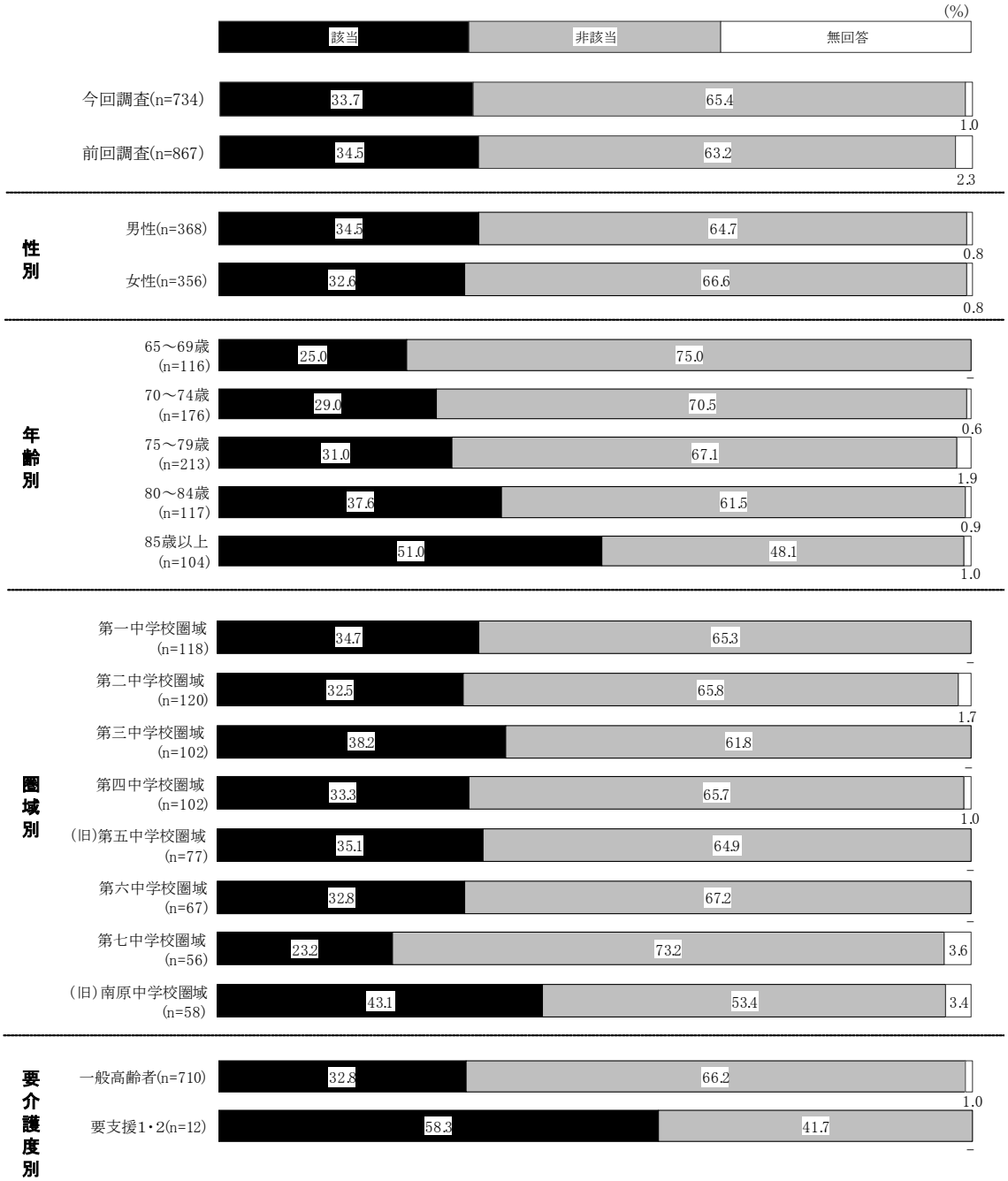
（１）運動器機能リスク

▶運動器機能リスクは、「該当」が 12.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『70～74 歳』から年齢階層が高くなるにつれて「該当」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は「該当」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「該当」の割合が高くなっている。



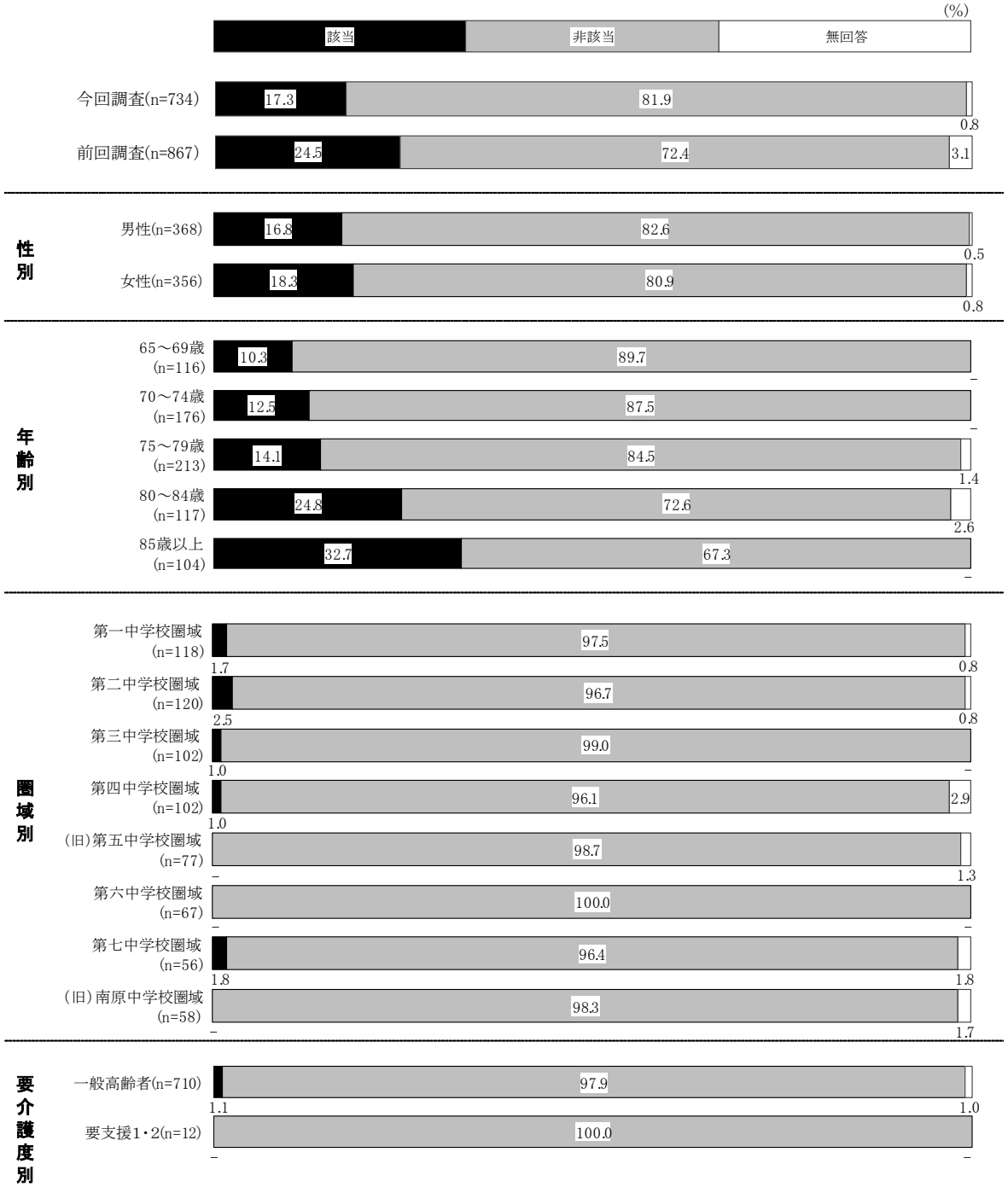
（２）転倒リスク

▶転倒リスクは、「該当」が 33.7%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「該当」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第七中学校圏域』は他の圏域よりも「該当」の割合が低く、『（旧）南原中学校圏域』は高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「該当」の割合が高くなっている。



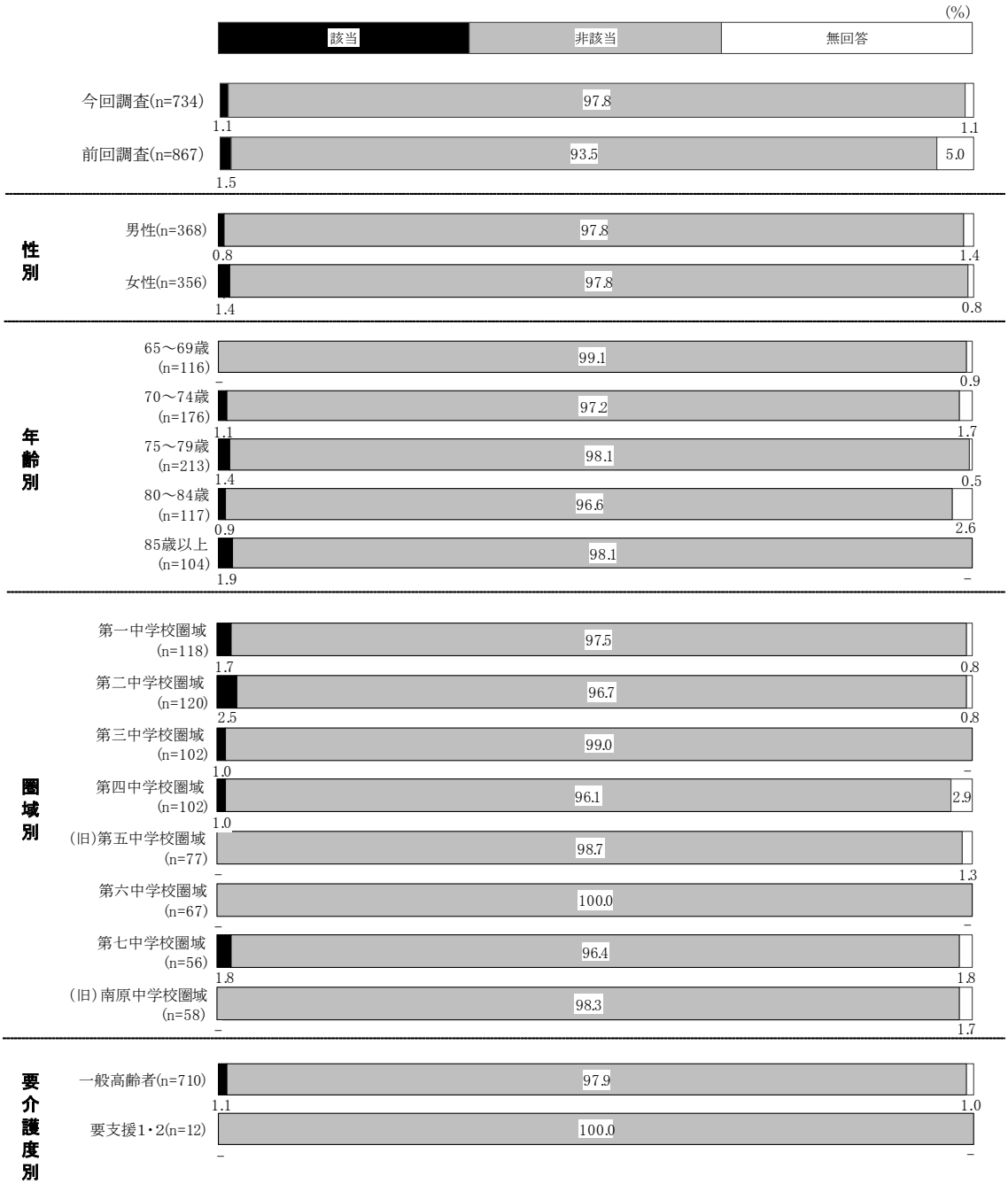
（３）閉じこもりリスク

▶閉じこもりリスクは、「該当」が 17.3%となっている。
▶前回調査と比べると、「該当」の割合が前回から 7.2 ポイント低下している。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「該当」の割合が上昇している。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は他の圏域よりも「該当」の割合が高く、『第六中学校圏域』は低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「該当」の割合が高くなっている。



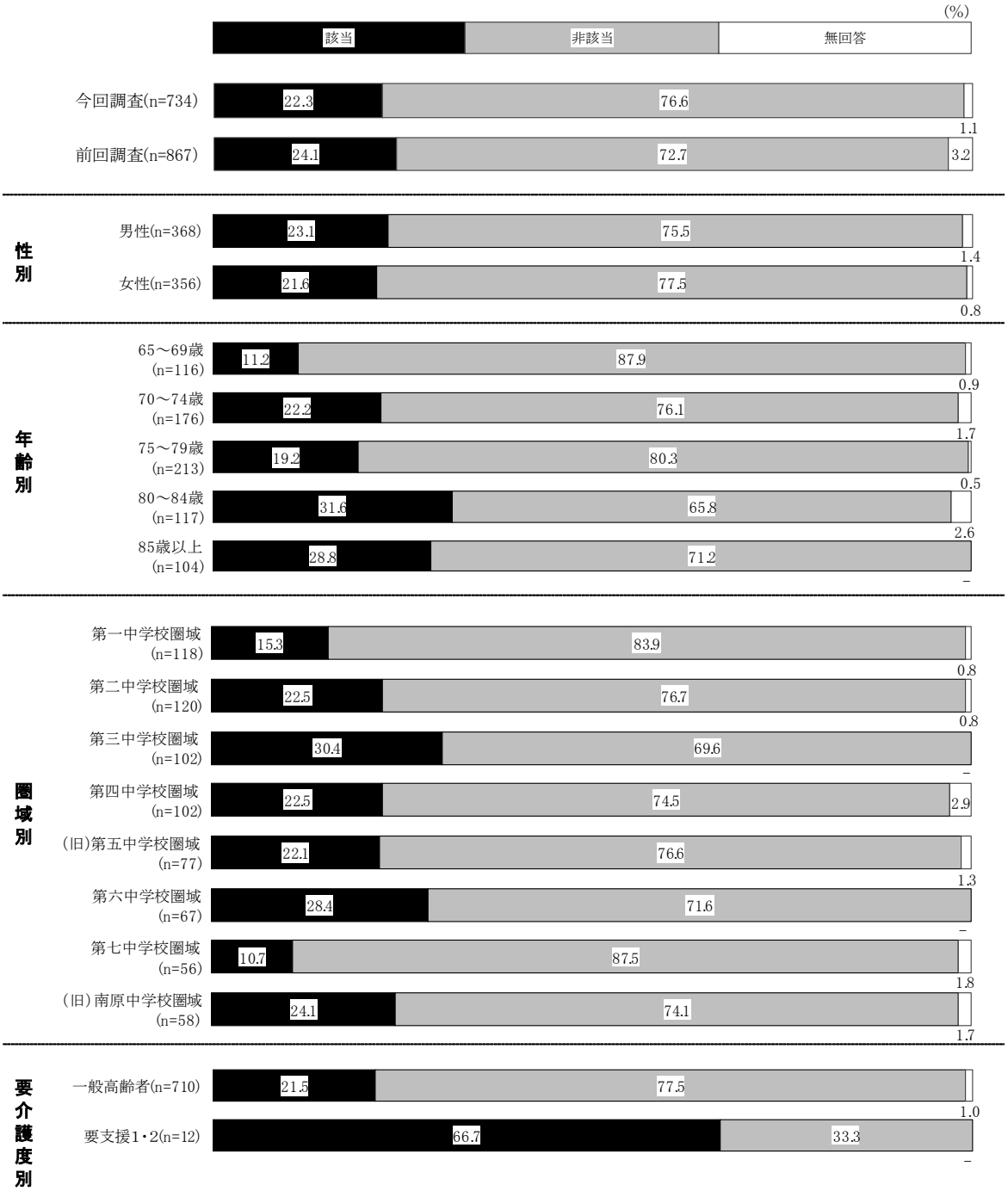
（４）低栄養リスク

▶低栄養リスクは、「該当」が 1.1%となっている。
▶前回調査、性別、年齢別、圏域別、要介護度別いずれも特筆すべき差はみられなかった。



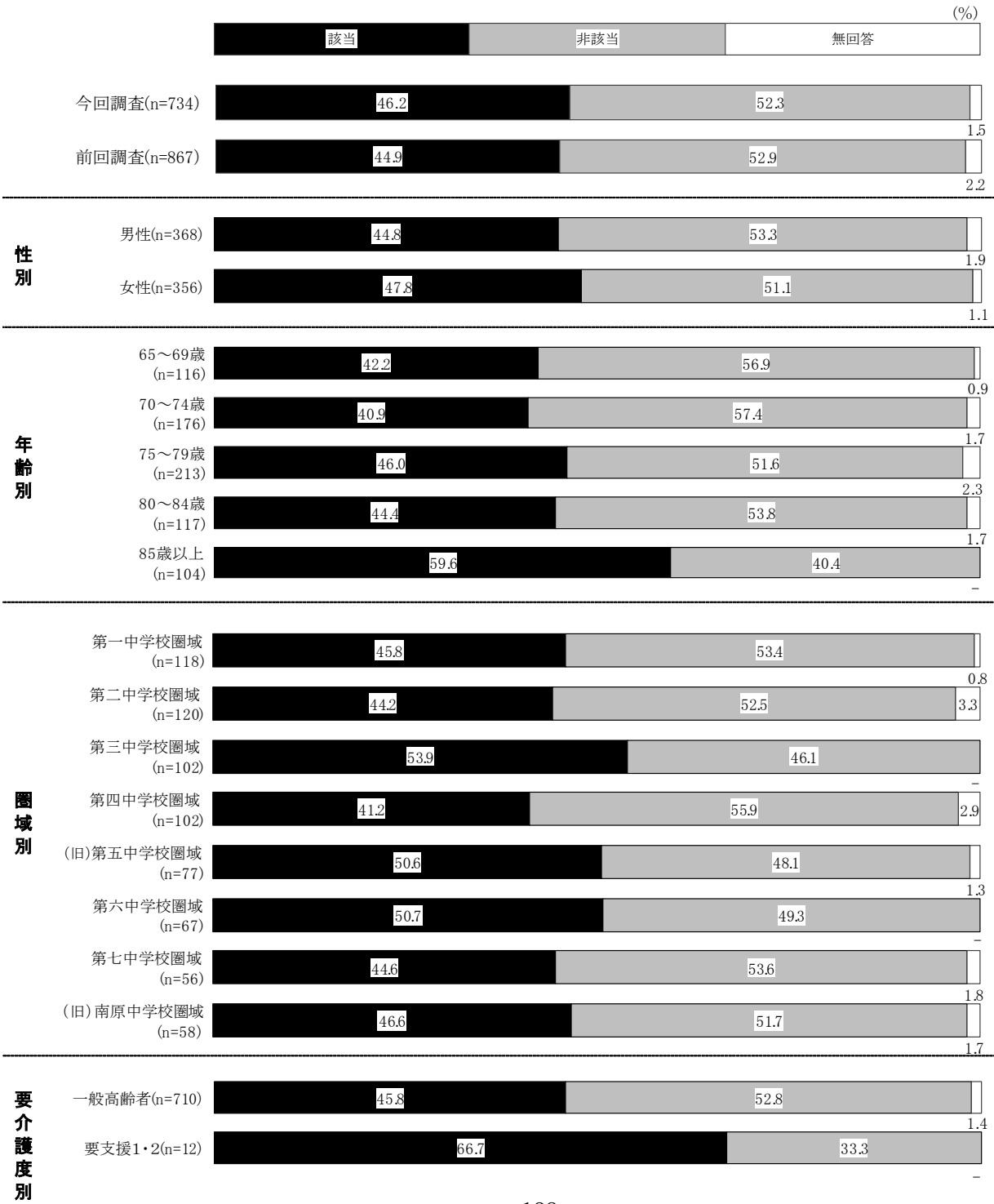
（５）口腔機能リスク

▶口腔機能リスクは、「該当」が 22.3%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『65～69 歳』は「該当」の割合が他の年齢階層よりも低く、『80～84 歳』は高くなっている。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は他の圏域よりも「該当」の割合が高く、「第七中学校圏域」は低くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「該当」の割合が高くなっている。



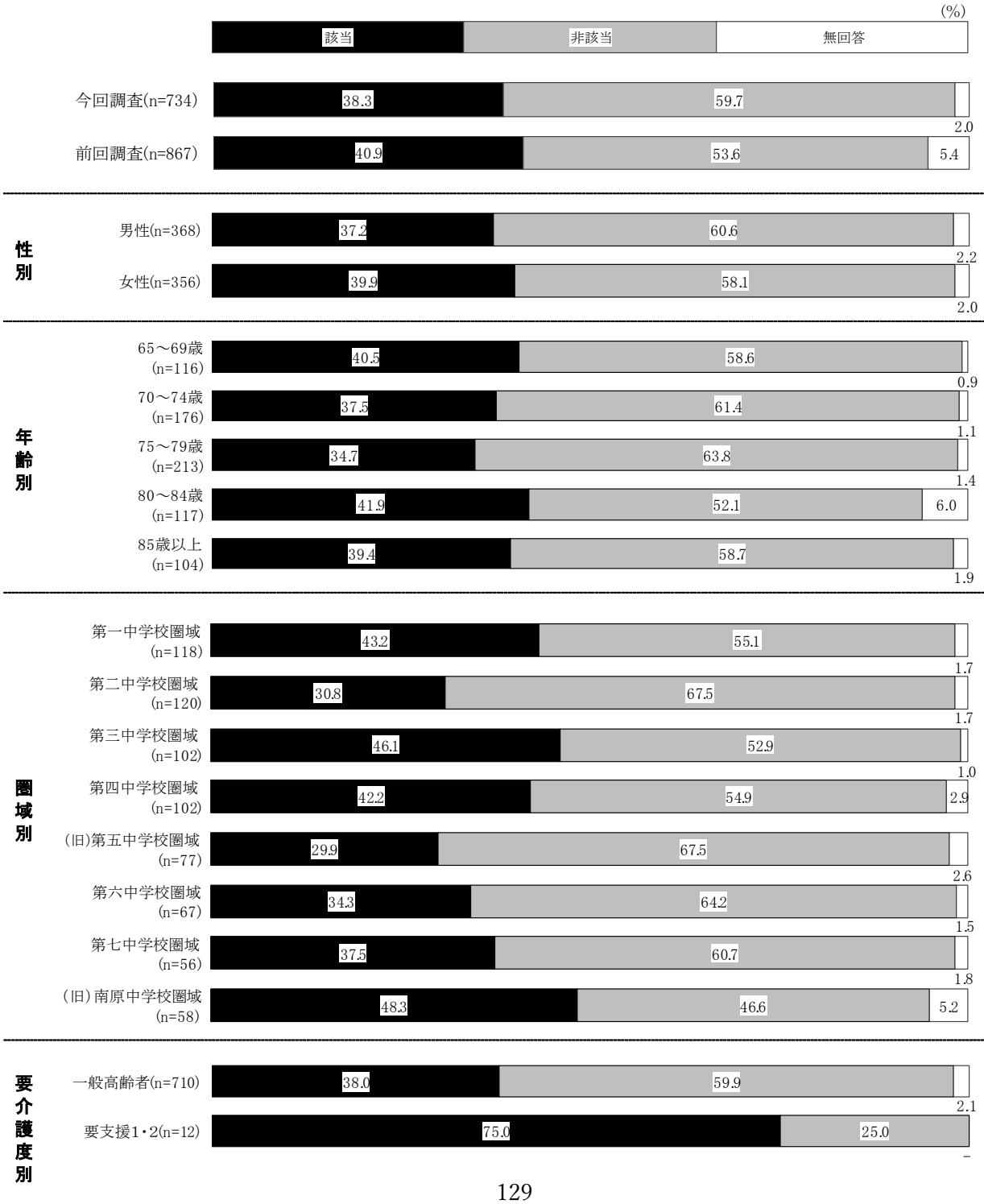
（６）認知機能リスク

▶認知機能リスクは、「該当」が 46.2%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『85 歳以上』は「該当」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『第三中学校圏域』は「該当」の割合が他の圏域よりも高なっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「該当」の割合が高くなっている。



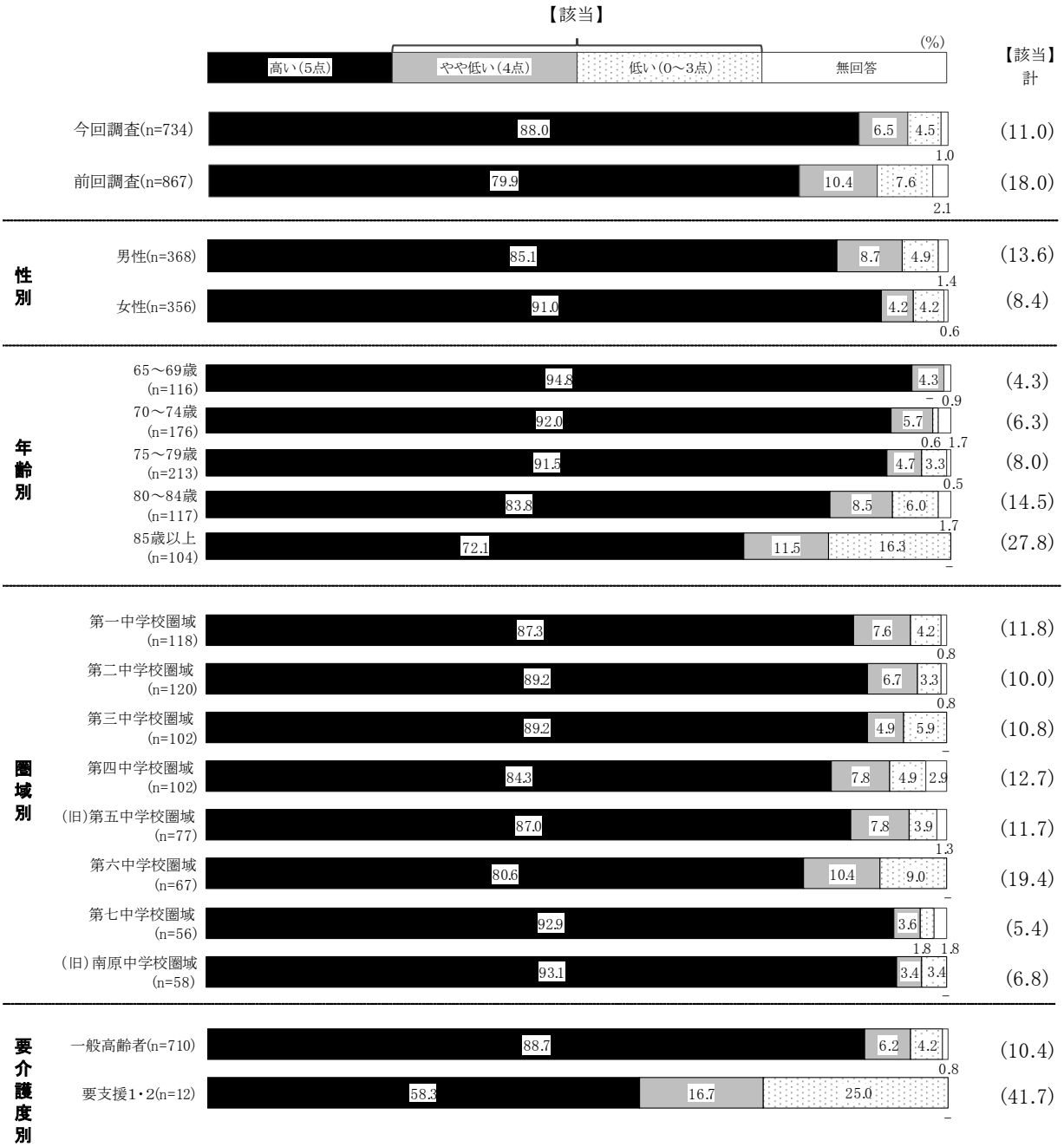
（7）うつリスク

▶うつリスクは、「該当」が 38.3%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶性別でみると、特筆すべき差はみられなかった。
▶年齢別でみると、『80～84 歳』は「該当」の割合が他の年齢階層よりも高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は「該当」の割合が他の圏域よりも高くなっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は一般高齢者よりも「該当」の割合が高くなっている。



（８）ＩＡＤＬ（手段的自立度）

▶ＩＡＤＬ（手段的自立度）は、「高い（５点）」が 88.0%と最も高く、次いで、「やや低い（４点）」が 6.5%、「低い（０～３点）」が 4.5%となっている。また、【該当】（やや低い（４点）＋低い（０～３点））は、11.0%となっている。
▶前回調査と比べると、【該当】の割合が前回から 7.0 ポイント低下している。
▶性別でみると、『女性』は男性よりも「高い（５点）」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、年齢階層が高くなるにつれて「高い（５点）」の割合が低下している。
▶圏域別でみると、『第六中学校圏域』は「高い（５点）」の割合が他の圏域よりも低くなっている。
▶要介護度別でみると、『一般高齢者』は要支援１・２よりも「高い（５点）」が、『要支援１・２』は一般高齢者よりも【該当】の割合が高くなっている。



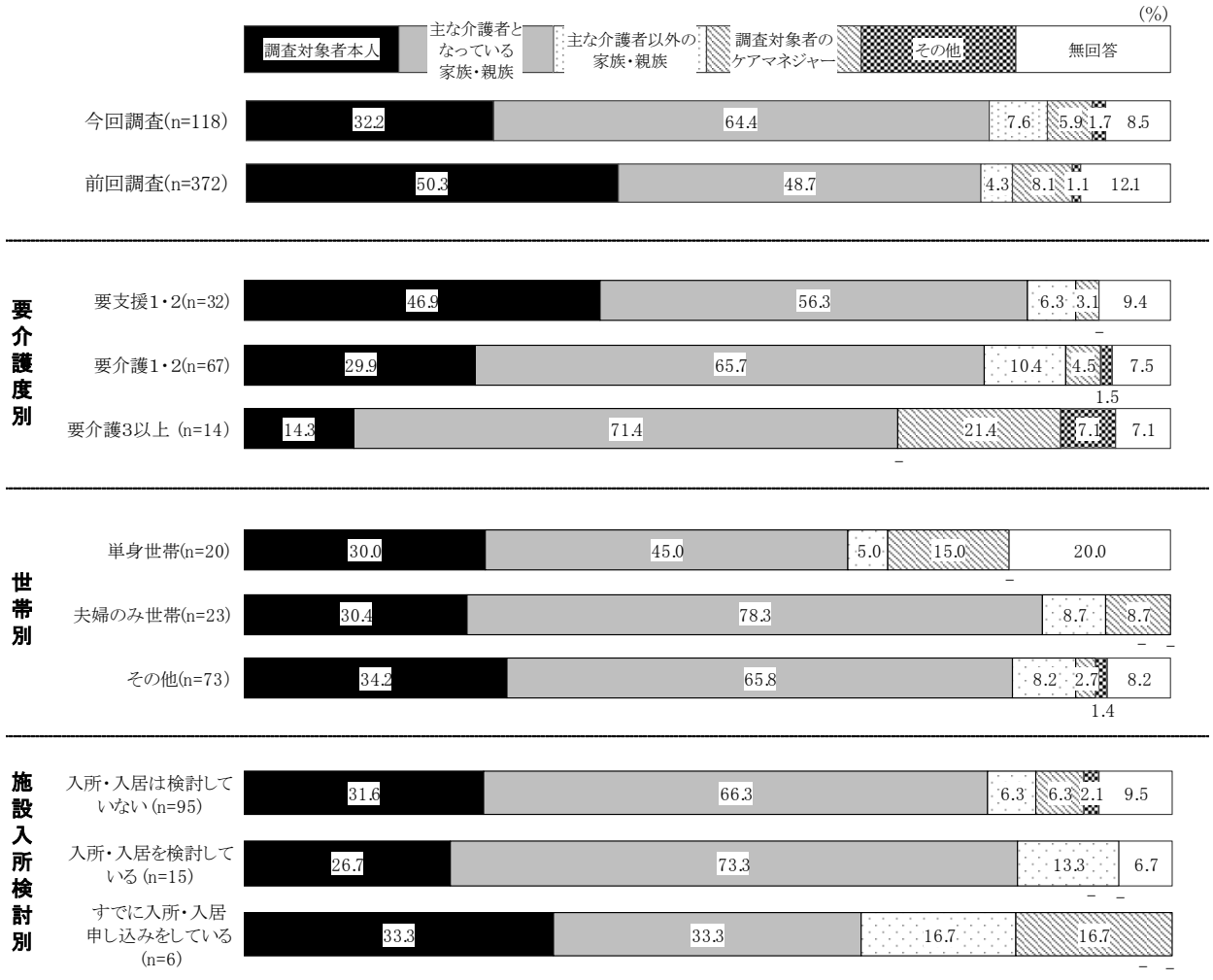
第３章　在宅介護実態調査の分析

１　対象者について

（１）調査票の聞き取りを行った相手

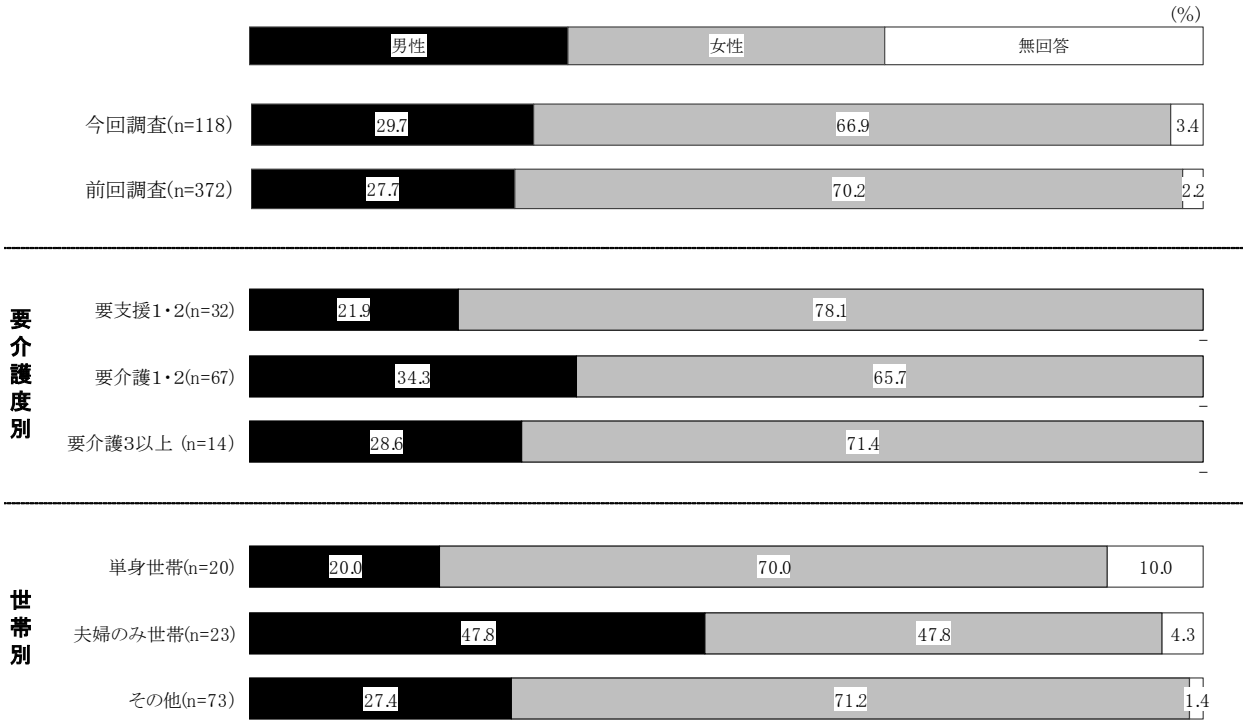
A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（複数選択可）

▶調査票の聞き取りを行った相手は、「主な介護者となっている家族・親族」が 64.4%と最も高く、次いで、「調査対象者本人」が 32.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が 7.6%となっている。
▶前回調査と比べると、「調査対象者本人」が前回から 18.1 ポイント低下し、「主な介護者となっている家族・親族」が 15.7 ポイント上昇している。
▶要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれて「調査対象者本人」の割合が低くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「調査対象者のケアマネジャー」が、『夫婦のみ世帯』は「主な介護者となっている家族・親族」が、『その他』は「調査対象者本人」の割合が高くなっている。
▶施設入所検討別でみると、『入所・入居を検討している』は「主な介護者となっている家族・親族」が、『すでに入所・入居申し込みをしている』は件数は少ないものの「調査対象者本人」「主な介護者以外の家族・親族」「調査対象者のケアマネジャー」の割合が高くなっている。



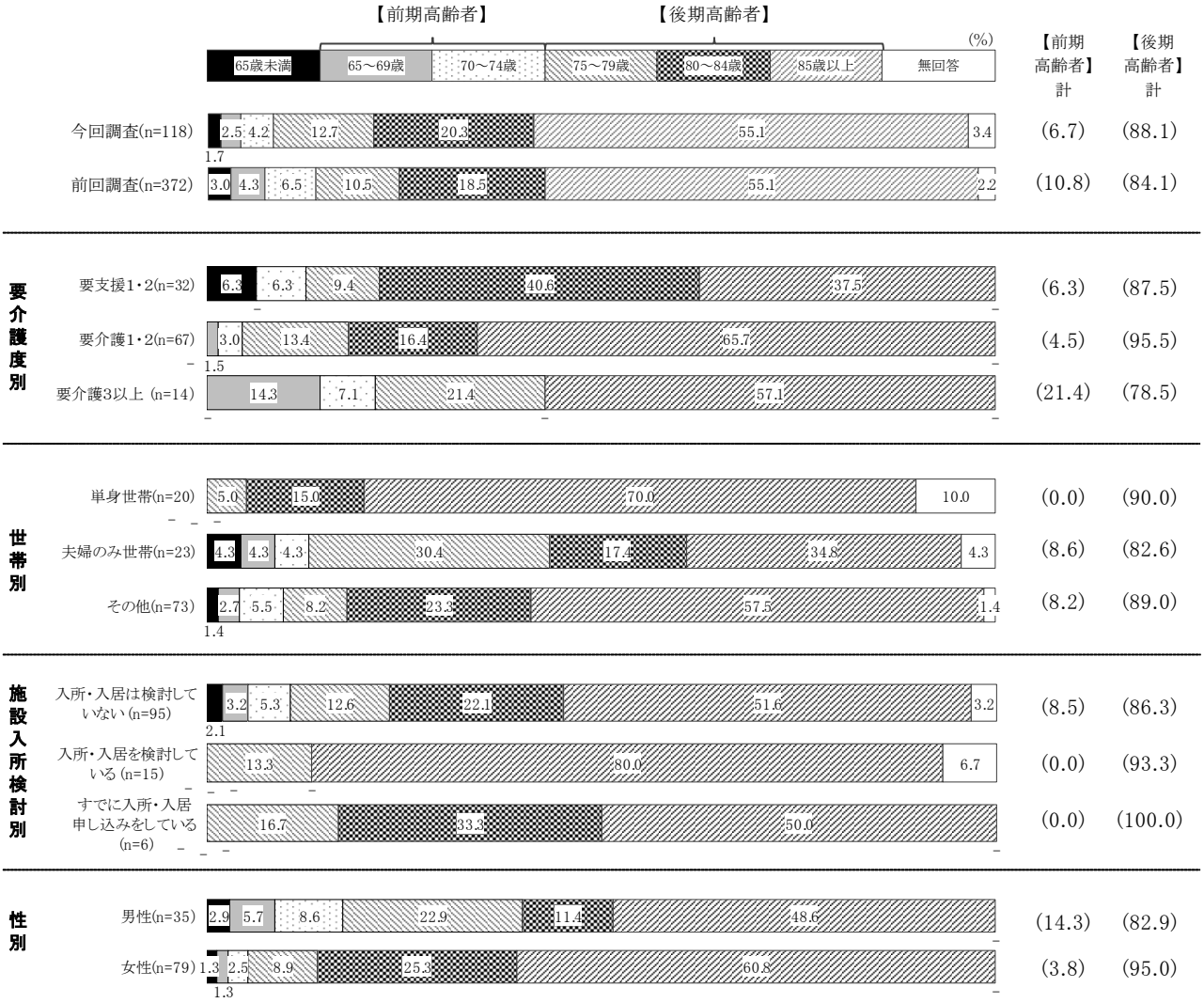
（２）性別

▶性別は、「男性」が 29.7%、「女性」が 66.9%となっている。
▶前回調査と比べると、男女ともに概ね同じ傾向となっている。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「女性」が、『要介護１・２』は「男性」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』『その他』は「女性」が約７割と夫婦のみの世帯よりも高くなっている。『夫婦のみの世帯』は男女ともに約５割となっている。



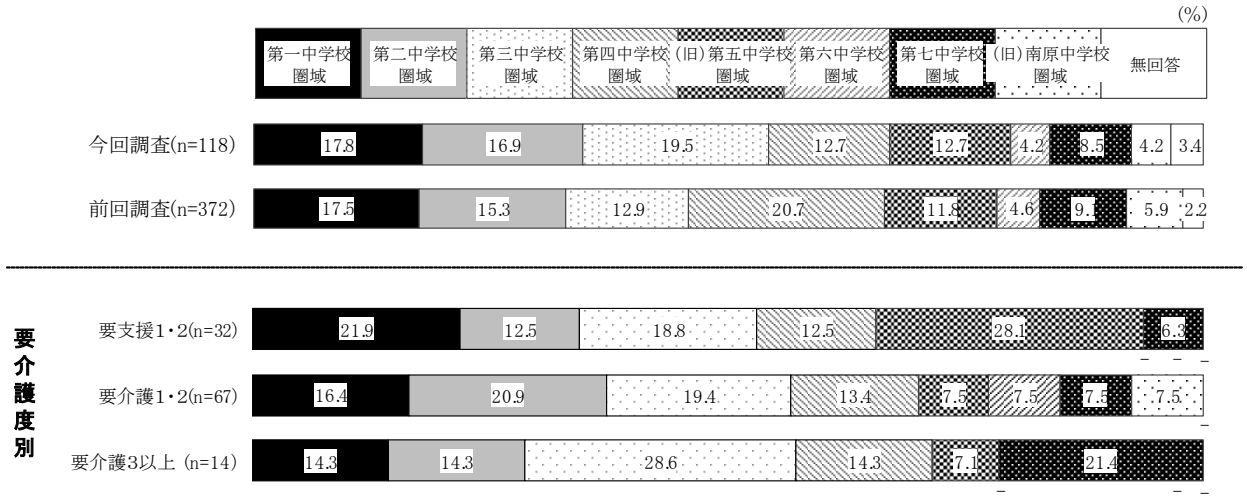
（３）年齢

▶年齢は、「85 歳以上」が 55.1%と最も高く、次いで、「80～84 歳」が 20.3%、「75～79 歳」が 12.7%となっている。また、【前期高齢者】（65～69 歳+70～74 歳）は、6.7%、【後期高齢者】（75～79 歳+80～84 歳+85 歳以上）88.1%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、『要介護１・２』は【後期高齢者】の割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』『その他』は【後期高齢者】の割合が約９割と概ね同じ傾向となっている。
▶施設入所検討別でみると、すべての項目にて【後期高齢者】が８割以上なっている。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも【前期高齢者】が、『女性』は男性よりも【後期高齢者】の割合が高くなっている。



（４）居住地区

▶居住地区は、「第三中学校圏域」が 19.5%と最も高く、次いで、「第一中学校圏域」が 17.8%、「第二中学校圏域」が 16.9%となっている。
▶前回調査と比べると、「第三中学校圏域」の割合が前回から 6.6 ポイント上昇し、「第四中学校圏域」が 8.0 ポイント低下している。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「第一中学校圏域」「（旧）第五中学校圏域」が、『要介護１・２』は「第二中学校圏域」が、『要介護３以上』は「第三中学校圏域」「第七中学校圏域」の割合が高くなっている。



（５）要介護度

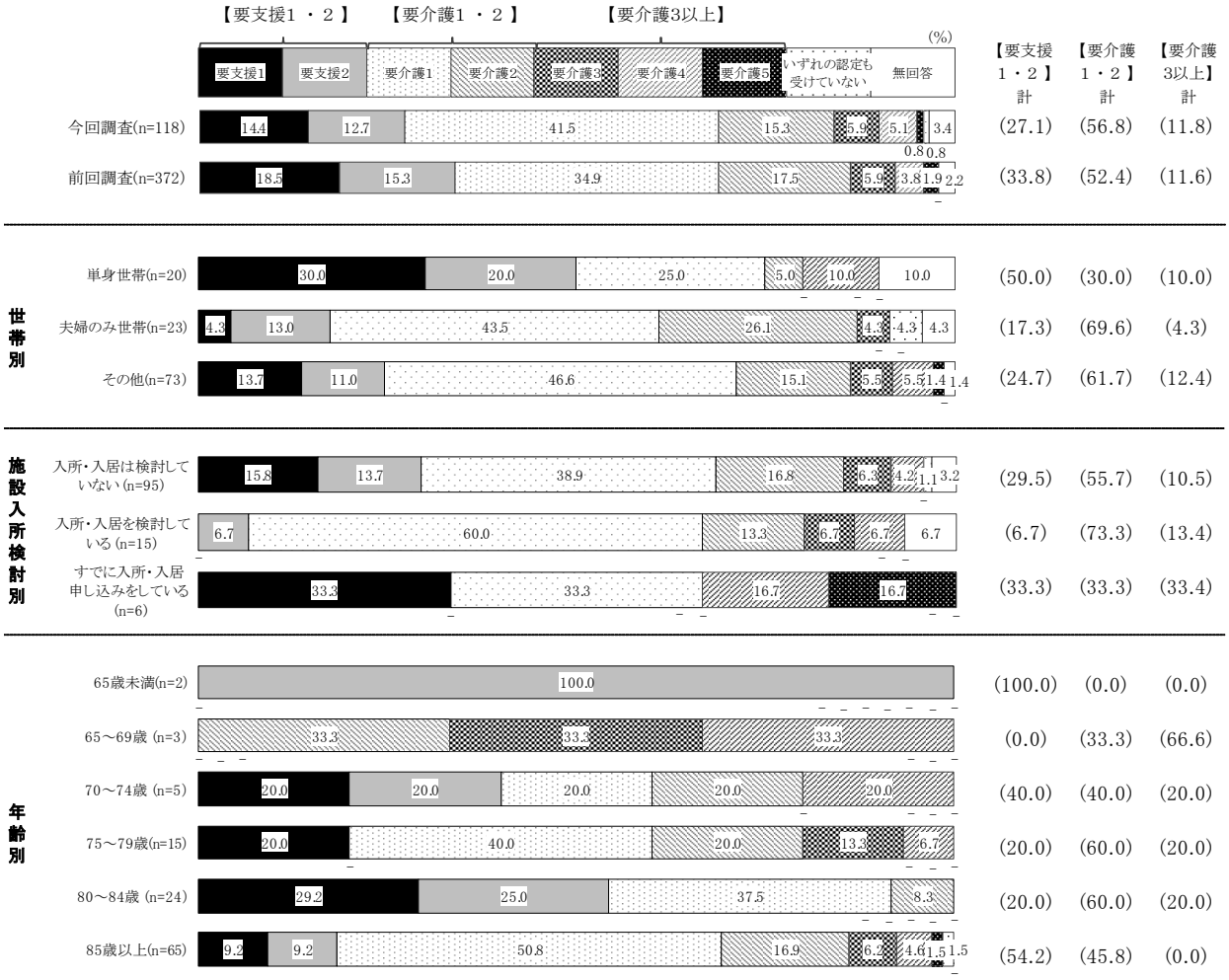
▶要介護度は、「要介護１」が 41.5%と最も高く、次いで、「要介護２」が 15.3%、「要支援１」が 14.4%となっている。また、【要支援１・２】（要支援１＋要支援２）は、27.1%、【要介護１・２】（要介護１＋要介護２）は 56.8%、【要介護３以上】（要介護３＋要介護４＋要介護５）は 11.8%となっている。

▶前回調査と比べると、【要支援１・２】の割合が前回から 6.7 ポイント低下している。

▶世帯別でみると、『単身世帯』は「要支援１・２」が、『夫婦のみ世帯』は「要介護１・２」、『その他』は「要介護３以上」の割合が高くなっている。

▶施設入所検討別でみると、『入所・入居を検討している』は「要介護１・２」が、『すでに入所・入居申し込みをしている』は「要介護３以上」の割合が高くなっている。

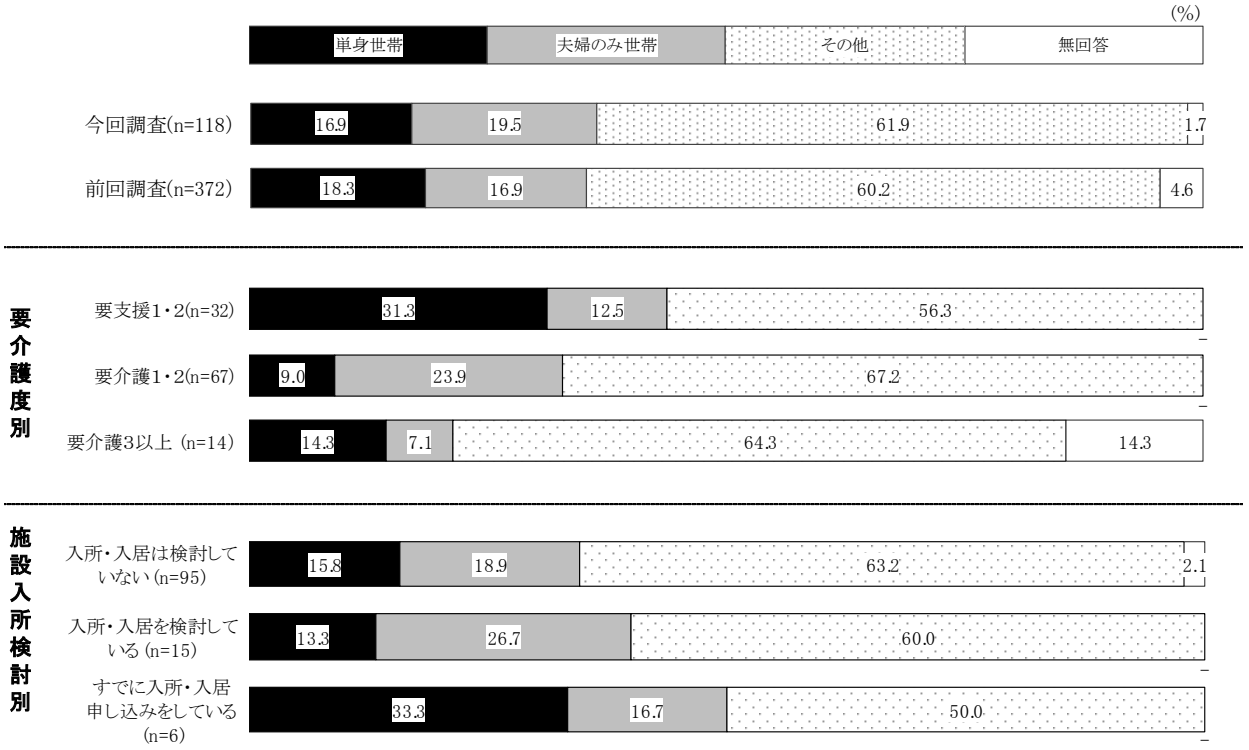
▶年齢別でみると、『65～69 歳』は【要介護３以上】が約７割、『75～79 歳』『80～84 歳』は【要介護１・２】が６割と他の年齢階層よりも高くなっている。



（６）世帯類型

問１　世帯類型について、ご回答ください。（１つを選択）

▶世帯類型は、「その他」が 61.9%と最も高く、次いで、「夫婦のみ世帯」が 19.5%、「単身世帯」が 16.9%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「単身世帯」が、『要介護１・２』は「夫婦のみ世帯」「その他」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶施設入所検討別でみると、『入所・入居は検討していない』は「その他」が、『入所・入居を検討している』は「夫婦のみ世帯」が、『すでに入所・入居申し込みをしている』は件数は少ないものの「単身世帯」の割合が他の世帯よりも高くなっている。

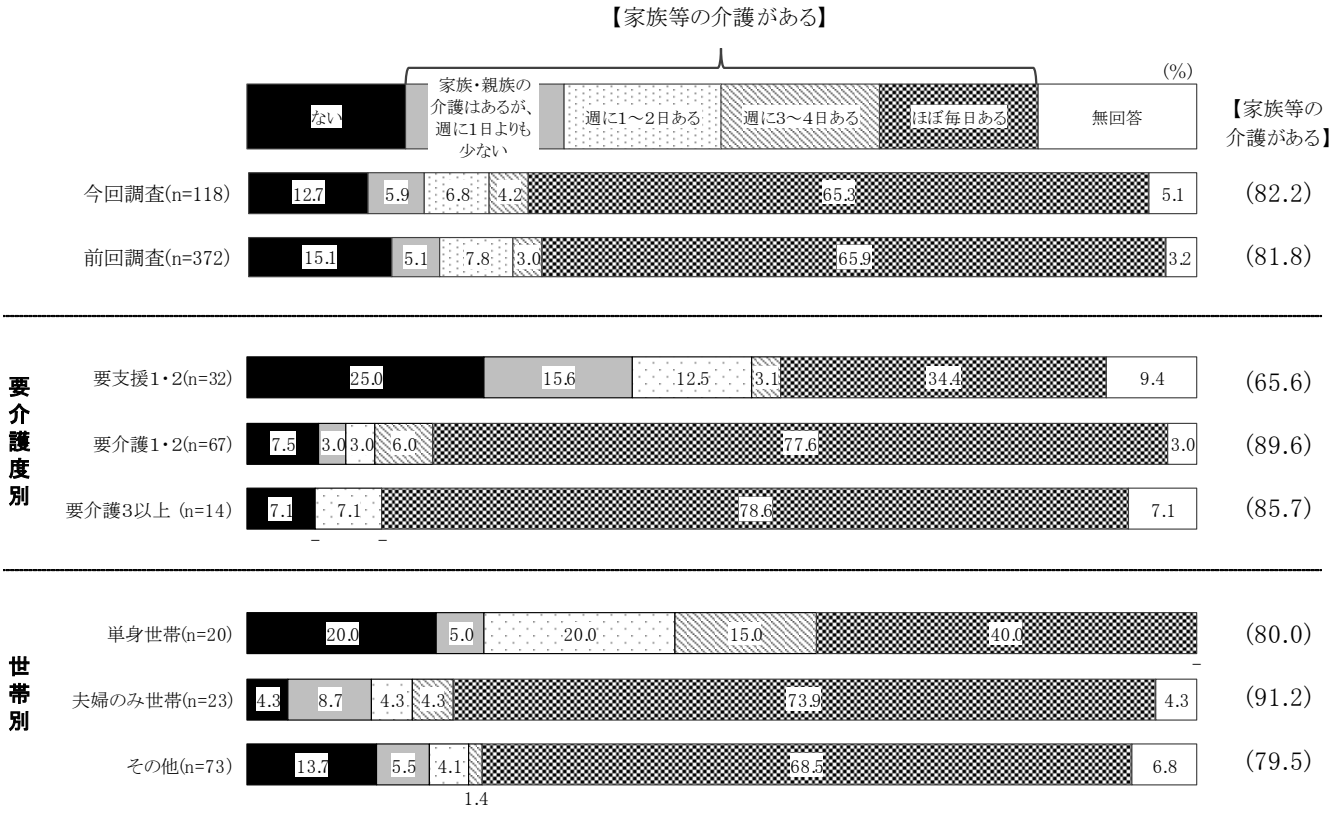


２　介護者について

（１）介護の頻度

問２　ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（１つを選択）

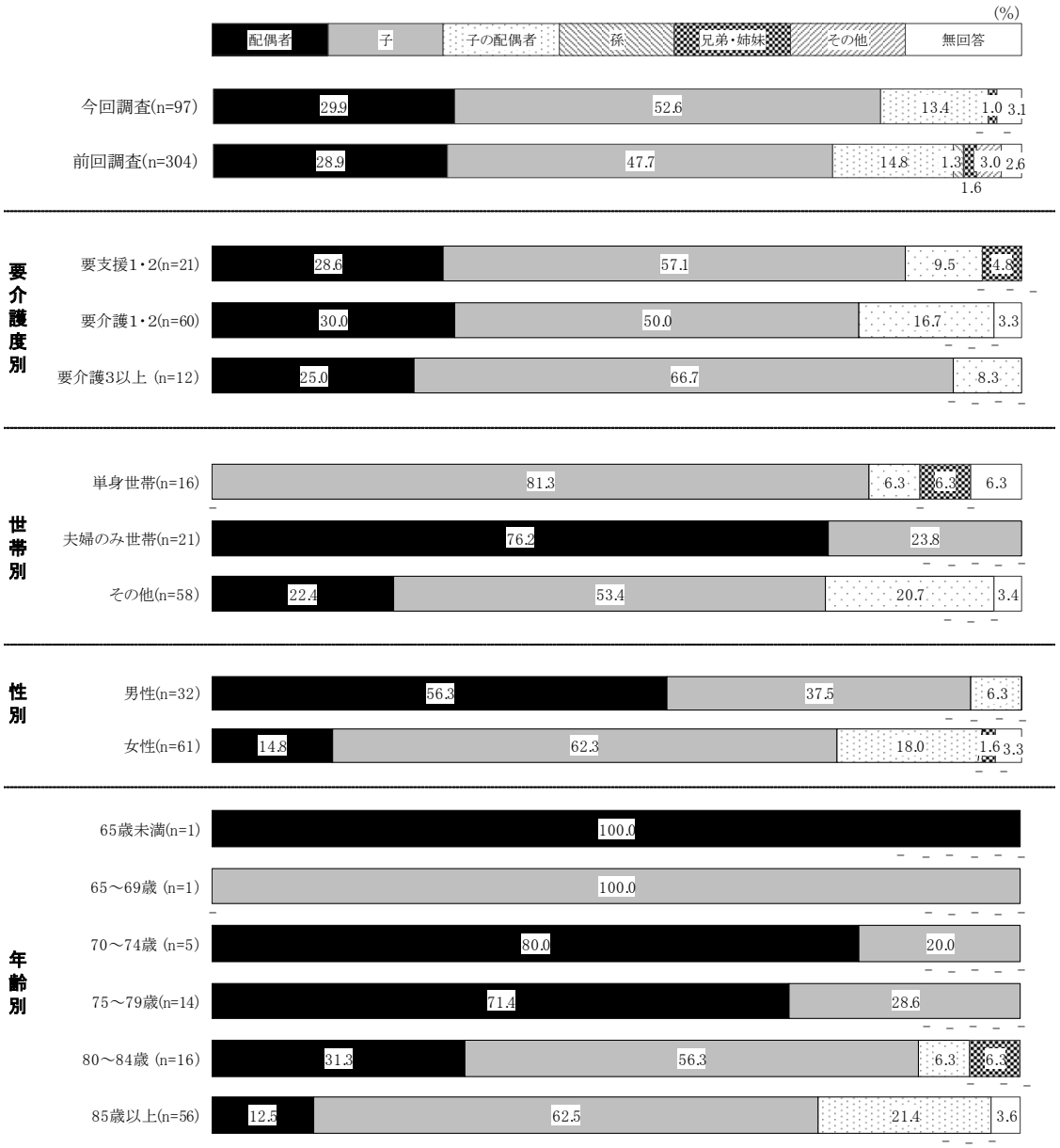
▶介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が 65.3%と最も高く、次いで、「ない」が 12.7%、「週に１～２日ある」が 6.8%となっている。また、【家族等の介護がある】（家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない+週に１～２日ある+週に３～４日ある+ほぼ毎日ある）は、82.2%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、要介護度が高くなるにつれて「ない」の割合が低く、「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「ない」「週に１～２日ある」が、『夫婦のみ世帯』は「ほぼ毎日ある」の割合が他の世帯よりも高くなっている。



（２）主な介護者

問３　主な介護者の方は、どなたですか。（１つを選択）

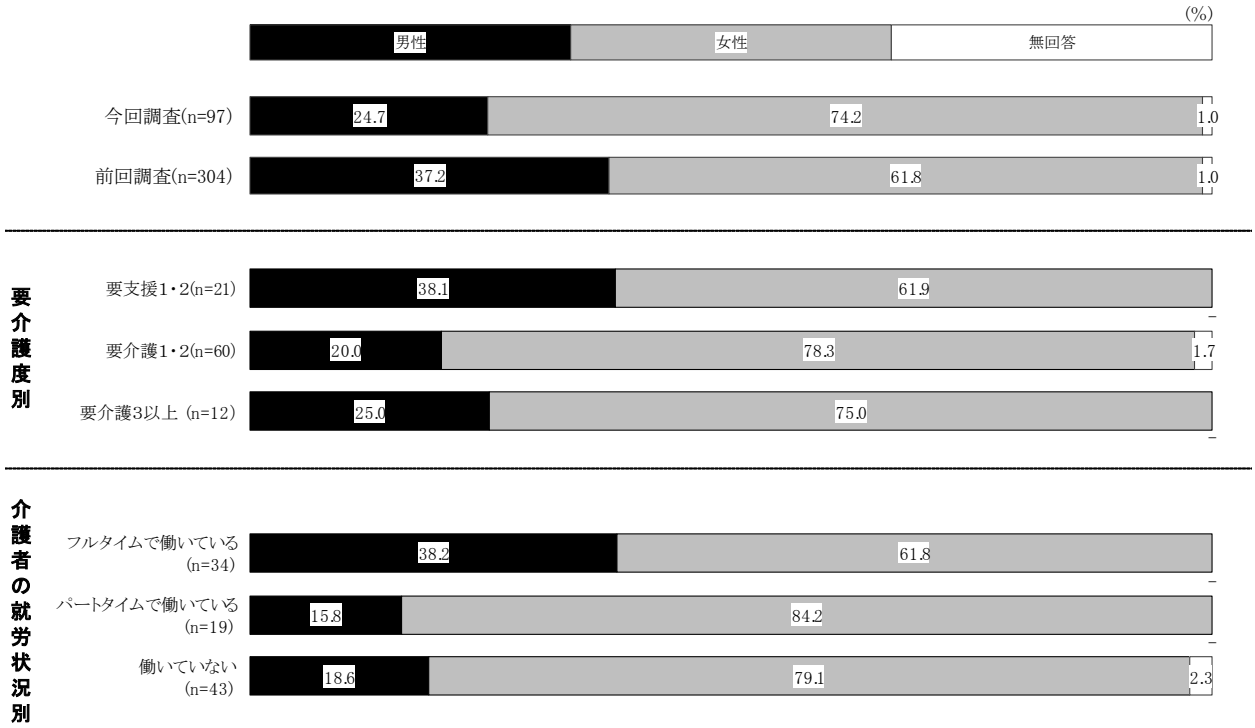
▶主な介護者は、「子」が 52.6%と最も高く、次いで、「配偶者」が 29.9%、「子の配偶者」が 13.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、いずれの要介護度も「配偶者」は約３割、「子」は約５～６割となっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「子」「兄弟・姉妹」が、『夫婦のみ世帯』は「配偶者」が、『その他』は「子の配偶者」の割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶性別でみると、『男性』は女性よりも「配偶者」が、『女性』は男性よりも「子」「子の配偶者」「兄弟・姉妹」の割合が高くなっている。
▶年齢別でみると、『70～74 歳』から年齢階層が高くなるにつれて「配偶者」の割合が低くなっている。



（３）主な介護者の性別

問４　主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（１つを選択）

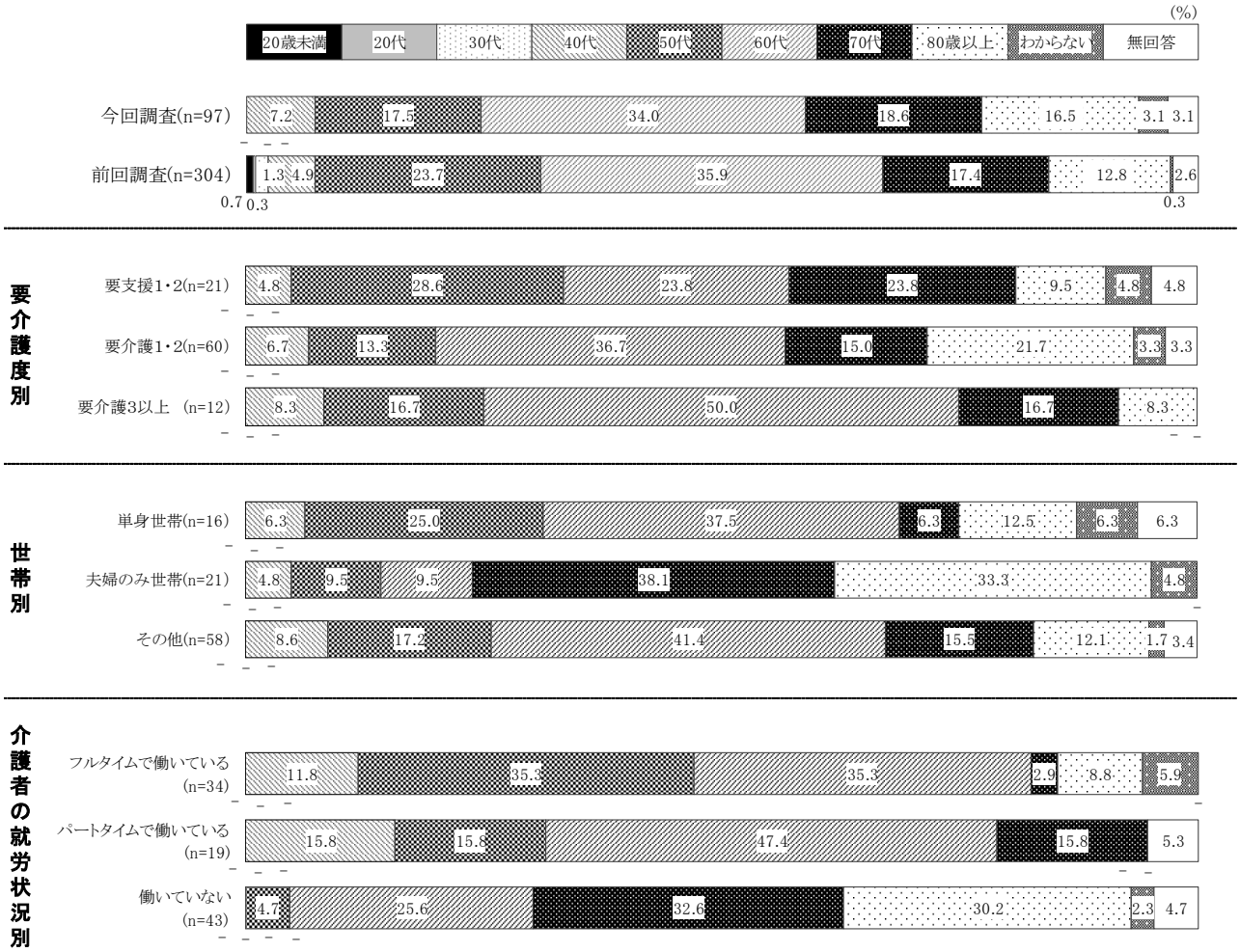
▶主な介護者の性別は、「男性」が 24.7%、「女性」が 74.2%となっている。
▶前回調査と比べると、「男性」の割合が前回から 12.5 ポイント低下し、「女性」が 12.4 ポイント上昇している。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「男性」が、『要介護１・２』は「女性」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶介護者の就労状況別でみると、『フルタイムで働いている』は「男性」が、『パートタイムで働いている』は「女性」の割合が高くなっている。



（４）主な介護者の年齢

問５　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（１つを選択）

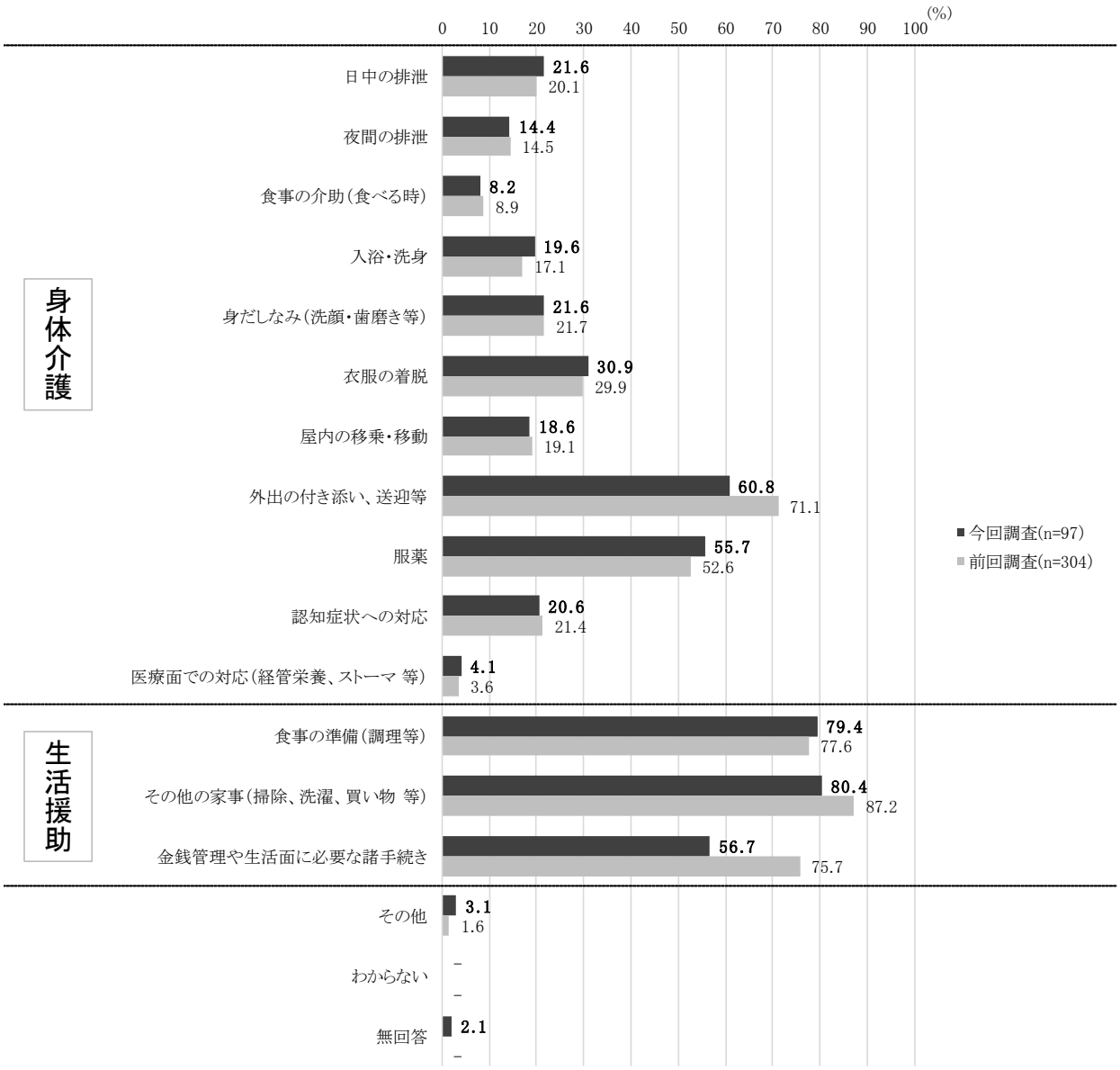
▶主な介護者の年齢は、「60 代」が 34.0%と最も高く、次いで、「70 代」が 18.6%、「50 代」が 17.5%となっている。
▶前回調査と比べると、「50 代」の割合が前回から 6.2 ポイント低下している。
▶要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれて「40 代」「60 代」の割合が高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「50 代」が、『夫婦のみ世帯』は「70 代」「80 歳以上」が、『その他』は「40 代」「60 代」の割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶介護者の就労状況別でみると、『フルタイムで働いている』は「50 代」が、『パートタイムで働いている』は「60 代」の割合が高くなっている。『働いていない』は「70 代」「80 歳以上」の割合が働いている方よりも高くなっている。



（５）主な介護者が行っている介護等

問６　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

▶主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 80.4%と最も高く、次いで、「食事の準備（調理等）」が 79.4%、「外出の付き添い、送迎等」が 60.8%となっている。
▶前回調査と比べると、「外出の付き添い、送迎等」の割合が前回から 10.3 ポイント、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 6.8 ポイント、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 19.0 ポイント低下している。



▶要介護度別でみると、『要介護３以上』は「日中の排泄」「夜間の排泄」「衣服の着脱」など、身体介護の割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「外出の付き添い、送迎等」が、『夫婦のみ世帯』は「入浴・洗身」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、『その他』は「衣服の着脱」「服薬」「食事の準備（調理等）」などの割合が他の世帯よりも高くなっている。

【身体介護】

（%）

		n=	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
全体		97	21.6	14.4	8.2	19.6	21.6	30.9	18.6	60.8	55.7	20.6	4.1
要介護度別	要支援１・２	21	-	-	-	9.5	-	4.8	-	52.4	14.3	4.8	4.8
	要介護１・２	60	20.0	8.3	6.7	18.3	23.3	33.3	16.7	66.7	66.7	21.7	5.0
	要介護３以上	12	75.0	66.7	33.3	25.0	50.0	75.0	58.3	50.0	75.0	41.7	-
世帯別	単身世帯	16	12.5	12.5	6.3	18.8	25.0	25.0	12.5	68.8	37.5	18.8	6.3
	夫婦のみ世帯	21	23.8	14.3	9.5	42.9	19.0	23.8	19.0	57.1	52.4	14.3	-
	その他	58	22.4	13.8	8.6	10.3	20.7	32.8	19.0	58.6	62.1	22.4	5.2

【生活援助】

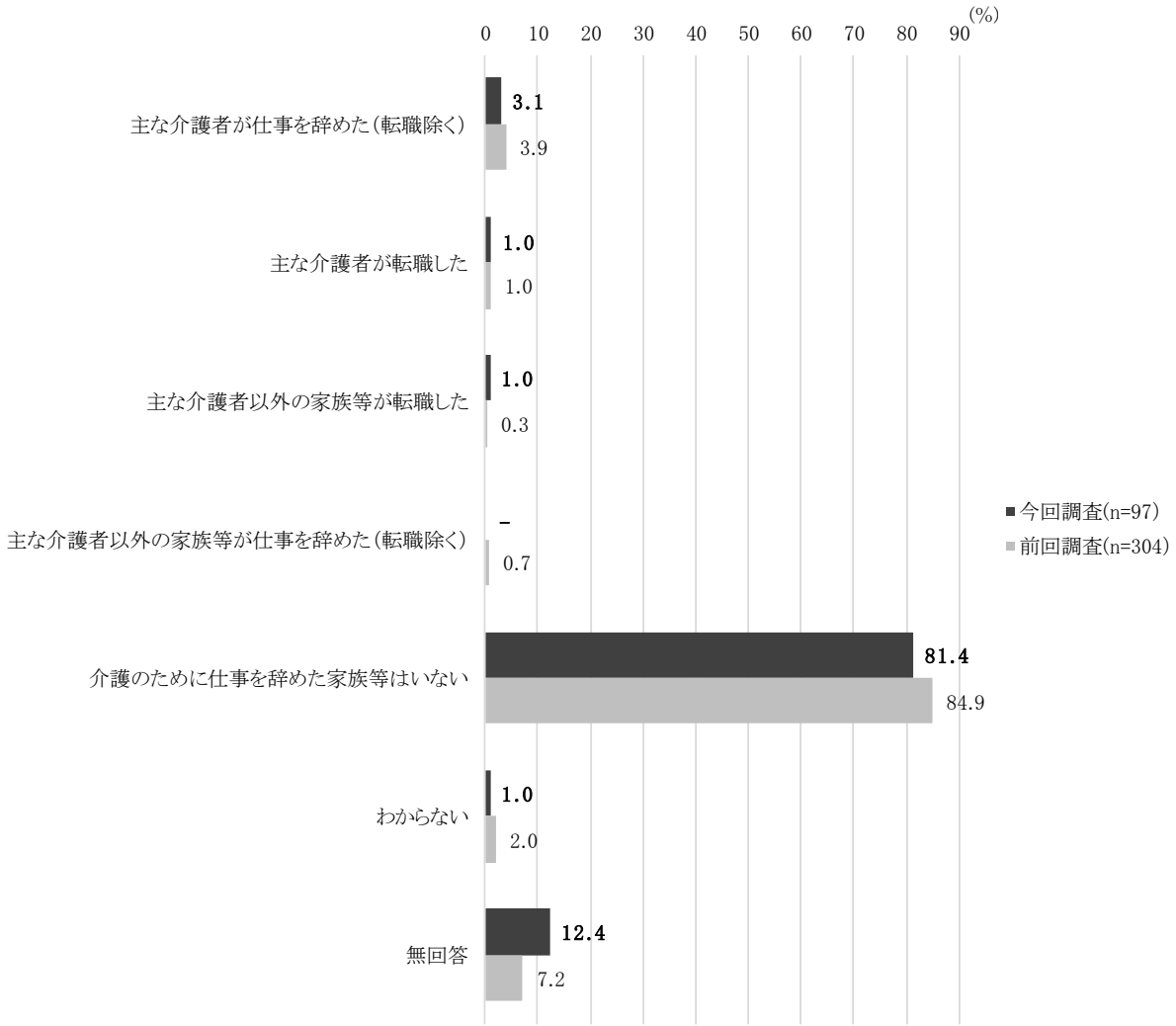
（%）

		n=	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体		97	79.4	80.4	56.7	3.1	-	2.1
要介護度別	要支援１・２	21	57.1	52.4	19.0	9.5	-	-
	要介護１・２	60	86.7	90.0	66.7	1.7	-	1.7
	要介護３以上	12	91.7	83.3	66.7	-	-	8.3
世帯別	単身世帯	16	68.8	81.3	56.3	12.5	-	-
	夫婦のみ世帯	21	66.7	71.4	57.1	4.8	-	-
	その他	58	86.2	82.8	56.9	-	-	3.4

（６）家族や親族の過去１年間の離職状況

問７　ご家族やご親族（家族等）で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。
（現在働いているかどうかや現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

▶家族や親族の過去１年間の離職状況 は、「介護のために仕事を辞めた家族等はいない」が 81.4%と最も高く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 3.1%、「主な介護者が転職した」「主な介護者以外の家族等が転職した」ともに 1.0%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶要介護度別でみると、特筆すべき差はみられなかった。

（%）

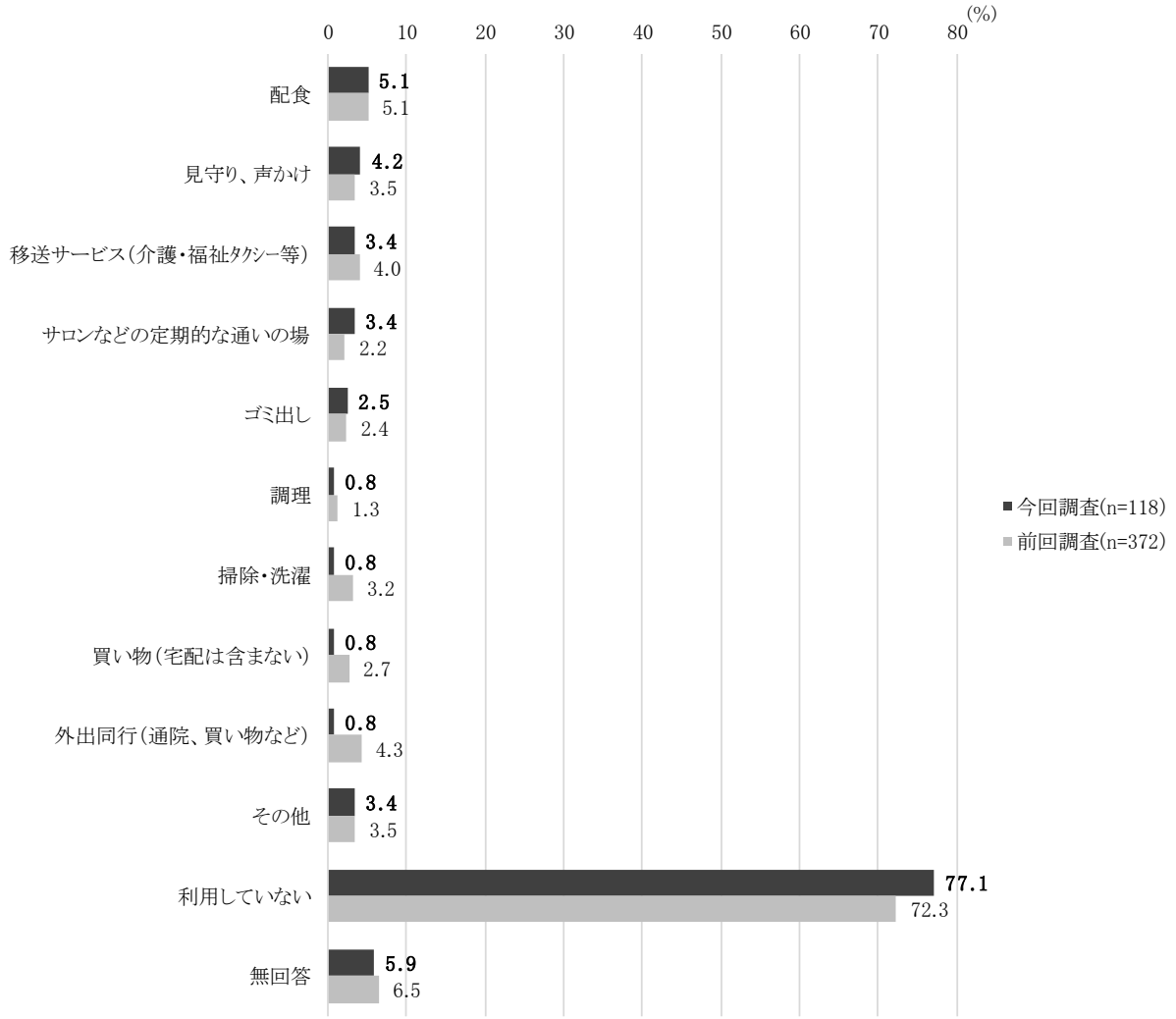
		n=	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族等が転職した	主な介護者以外の家族等が仕事を辞めた（転職除く）	介護のために仕事を辞めた家族等はいない	わからない	無回答
全体		97	3.1	1.0	1.0	0.0	81.4	1.0	12.4
要介護度別	要支援１・２	21	-	-	4.8	-	85.7	-	9.5
	要介護１・２	60	5.0	1.7	-	-	83.3	1.7	8.3
	要介護３以上	12	-	-	-	-	83.3	-	16.7

３　サービスや支援の利用状況

（１）現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

問８　現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

▶現在利用している介護保険サービス以外の支援･サービスは、「配食」が 5.1%と最も高く、次いで、「見守り、声かけ」が 4.2%、「移送サービス（介護･福祉ﾀｸｼｰ等）」が 3.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。



▶要介護度別でみると、『要介護３以上』は「配食」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「利用していない」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「配食」「見守り、声かけ」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」などの割合が他の世帯よりも高くなっている。

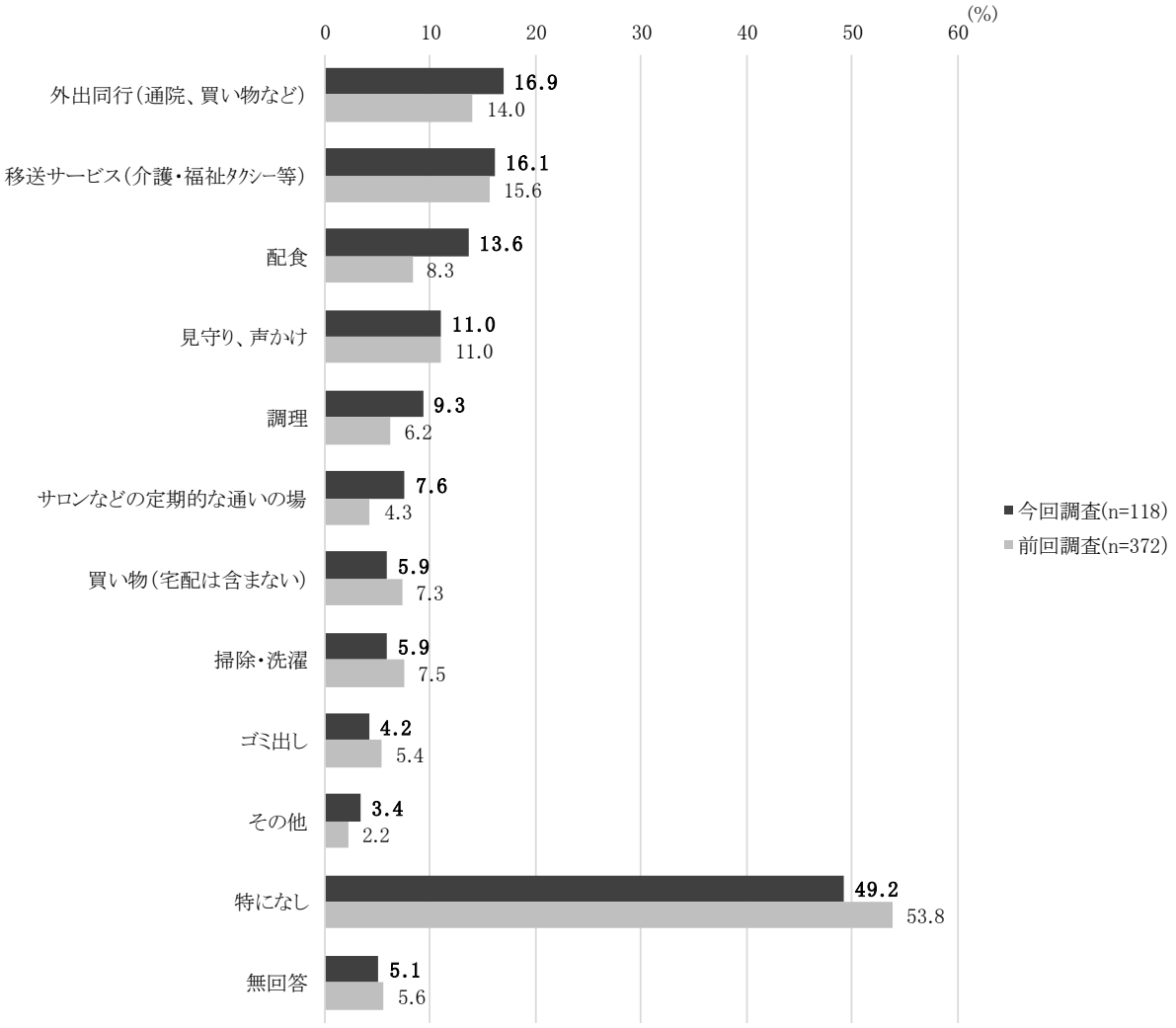
（%）

		n=	配食	見守り、声かけ	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	サロンなどの定期的な通いの場	ゴミ出し	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	外出同行（通院、買い物など）	その他	利用していない	無回答
全体		118	5.1	4.2	3.4	3.4	2.5	0.8	0.8	0.8	0.8	3.4	77.1	5.9
要介護度別	要支援１・２	32	3.1	6.3	6.3	6.3	-	-	-	-	-	-	78.1	6.3
	要介護１・２	67	4.5	4.5	-	3.0	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5	6.0	76.1	7.5
	要介護３以上	14	7.1	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	85.7	-
世帯別	単身世帯	20	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0	-	-	-	-	10.0	45.0	15.0
	夫婦のみ世帯	23	4.3	4.3	4.3	-	4.3	-	-	-	-	-	78.3	4.3
	その他	73	2.7	2.7	1.4	4.1	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	2.7	84.9	4.1

（２）在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問９　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。（複数選択可）

▶在宅生活の継続に必要と感じる支援･サービスは、「外出同行（通院、買い物など）」が 16.9%と最も高く、次いで、「移送サービス（介護･福祉ﾀｸｼｰ等）」が 16.1%、「配食」が 13.6%となっている。
▶前回調査と比べると、「配食」の割合が前回から 5.3 ポイント上昇している。



▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」などが、『要介護１・２』は「配食」「見守り、声かけ」などの割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「配食」「見守り、声かけ」「調理」などが、『夫婦のみ世帯』は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「買い物（宅配は含まない）」の割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶施設入所検討別でみると、『入所・入居を検討している』は「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「配食」「調理」の割合が２割と高くなっている。
▶圏域別でみると、『（旧）南原中学校圏域』は件数は少ないものの「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」などの割合が他の圏域よりも高くなっている。

（%）

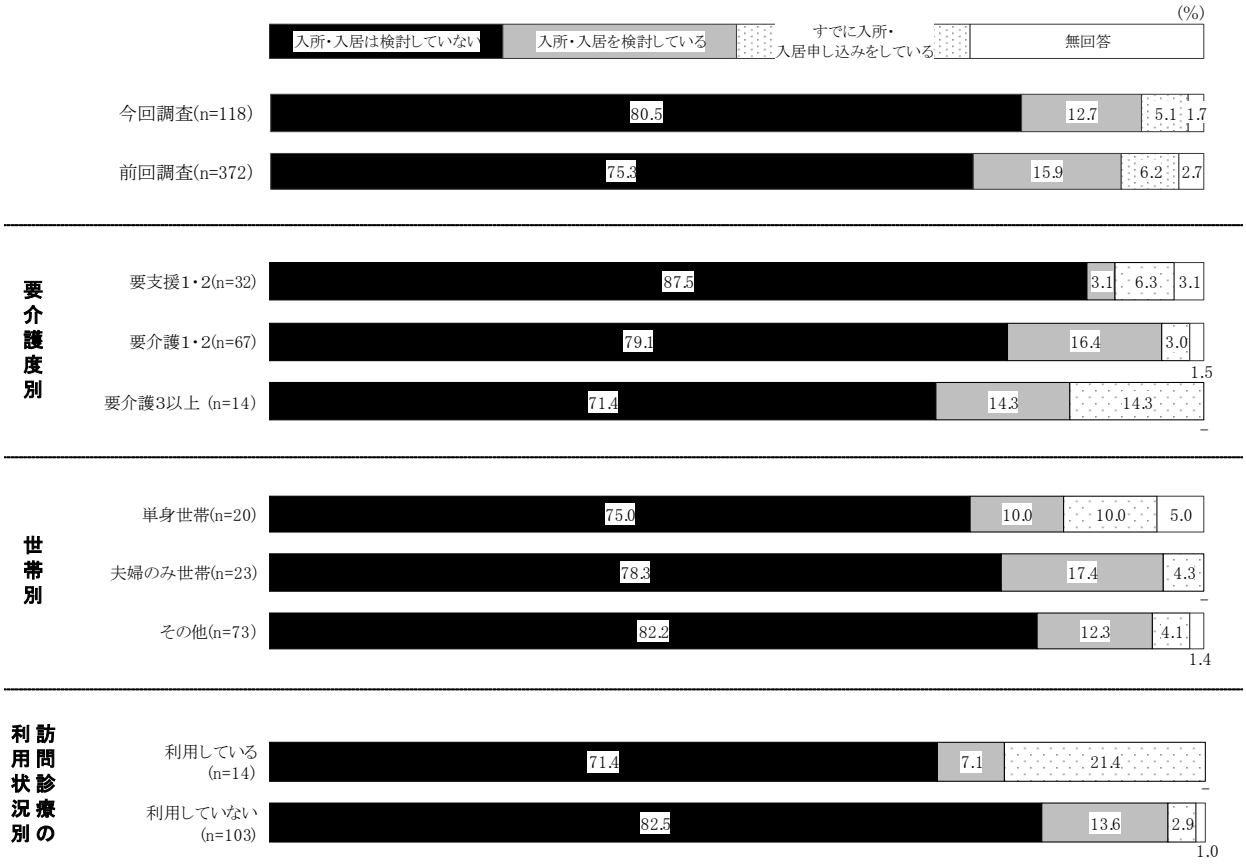
		n=	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	配食	見守り、声かけ	調理	サロンなどの定期的な通いの場	買い物（宅配は含まない）	掃除・洗濯	ゴミ出し	その他	特になし	無回答
全体		118	16.9	16.1	13.6	11.0	9.3	7.6	5.9	5.9	4.2	3.4	49.2	5.1
要介護度別	要支援１・２	32	18.8	18.8	9.4	6.3	3.1	9.4	6.3	6.3	3.1	-	40.6	12.5
	要介護１・２	67	17.9	16.4	16.4	13.4	11.9	6.0	7.5	7.5	4.5	4.5	49.3	3.0
	要介護３以上	14	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	-	-	-	7.1	64.3	-
世帯別	単身世帯	20	15.0	5.0	20.0	20.0	15.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	25.0	15.0
	夫婦のみ世帯	23	17.4	26.1	13.0	8.7	8.7	8.7	17.4	4.3	8.7	-	56.5	-
	その他	73	17.8	16.4	12.3	9.6	8.2	6.8	1.4	5.5	1.4	1.4	52.1	4.1
施設入所検討別	入所・入居は検討していない	95	16.8	15.8	13.7	10.5	8.4	9.5	6.3	5.3	3.2	2.1	49.5	4.2
	入所・入居を検討している	15	20.0	20.0	20.0	13.3	20.0	-	6.7	13.3	13.3	6.7	46.7	-
	すでに入所・入居申し込みをしている	6	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7	66.7	16.7
圏域別	第一中学校圏域	21	14.3	4.8	14.3	9.5	9.5	-	-	-	-	-	57.1	9.5
	第二中学校圏域	20	25.0	15.0	5.0	5.0	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0	35.0	10.0
	第三中学校圏域	23	17.4	26.1	26.1	8.7	8.7	13.0	8.7	8.7	4.3	-	56.5	-
	第四中学校圏域	15	20.0	13.3	6.7	33.3	20.0	6.7	13.3	20.0	6.7	13.3	46.7	-
	（旧）第五中学校圏域	15	6.7	13.3	20.0	-	6.7	6.7	6.7	-	-	-	60.0	13.3
	第六中学校圏域	5	-	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	60.0	-
	第七中学校圏域	10	10.0	30.0	10.0	-	20.0	20.0	-	10.0	10.0	-	40.0	-
	（旧）南原中学校圏域	5	60.0	20.0	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-

4　現在の状況や今後の希望について

（１）施設等への入所・入居の検討状況

問10　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
（１つを選択）
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

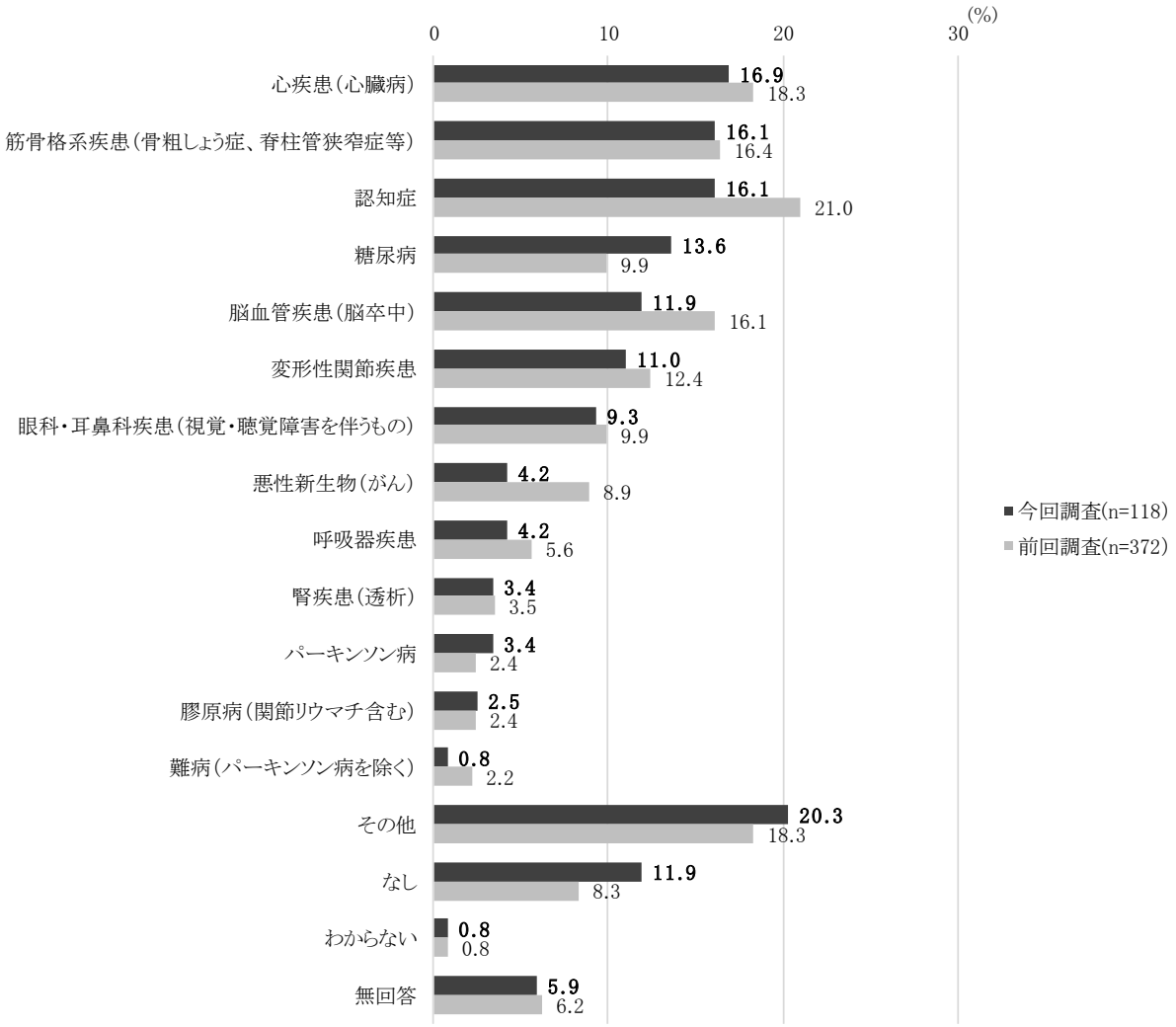
▶施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が 80.5%と最も高く、次いで、「入所・入居を検討している」が 12.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 5.1%となっている。
▶前回調査と比べると、「入所・入居は検討していない」の割合が前回から 5.2 ポイント上昇している。
▶要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれて「入所・入居は検討していない」の割合が低くなっている。
▶世帯別でみると、いずれの世帯も「入所・入居は検討していない」の割合が約８割と高くなっている。
▶訪問診療の利用状況別でみると、『利用している』は利用していないよりも「すでに入所・入居申し込みをしている」が、『利用していない』は利用しているよりも「入所・入居は検討していない」「入所・入居を検討している」の割合が高くなっている。



（２）現在抱えている傷病

問11　ご本人（認定調査対象者）が現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数選択可）

▶現在抱えている傷病は、「心疾患（心臓病）」が 16.9%と最も高く、次いで、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「認知症」が 16.1%、「糖尿病」が 13.6%となっている。
▶前回調査と比べると、「認知症」「脳血管疾患（脳卒中）」など低下しているものが多くなっている。



▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「心疾患（心臓病）」「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」などが、『要介護３以上』は「認知症」「脳血管疾患（脳卒中）」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。

▶施設入所検討別でみると、『入所・入居を検討している』は「心疾患（心臓病）」「認知症」「糖尿病」などが、『すでに入所・入居申し込みをしている』は「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が約３割と高くなっている。

▶性別でみると、『男性』は女性よりも「脳血管疾患（脳卒中）」が、『女性』は男性よりも「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「認知症」などの割合が高くなっている。

（%）

		n=	心疾患（心臓病）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	認知症	糖尿病	脳血管疾患（脳卒中）	変形性関節疾患	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）
全体		118	16.9	16.1	16.1	13.6	11.9	11.0	9.3	4.2	4.2	3.4
要介護度別	要支援１・２	32	18.8	25.0	3.1	9.4	3.1	9.4	9.4	3.1	3.1	6.3
	要介護１・２	67	17.9	10.4	17.9	13.4	14.9	13.4	9.0	4.5	4.5	3.0
	要介護３以上	14	7.1	21.4	28.6	14.3	21.4	-	7.1	7.1	7.1	-
施設入所検討別	入所・入居は検討していない	95	15.8	16.8	14.7	12.6	12.6	10.5	7.4	5.3	5.3	4.2
	入所・入居を検討している	15	26.7	13.3	26.7	20.0	6.7	13.3	13.3	-	-	-
	すでに入所・入居申し込みをしている	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	33.3	-	-	-
性別	男性	35	11.4	5.7	5.7	11.4	28.6	5.7	5.7	8.6	5.7	5.7
	女性	79	19.0	20.3	19.0	12.7	5.1	12.7	10.1	2.5	3.8	2.5

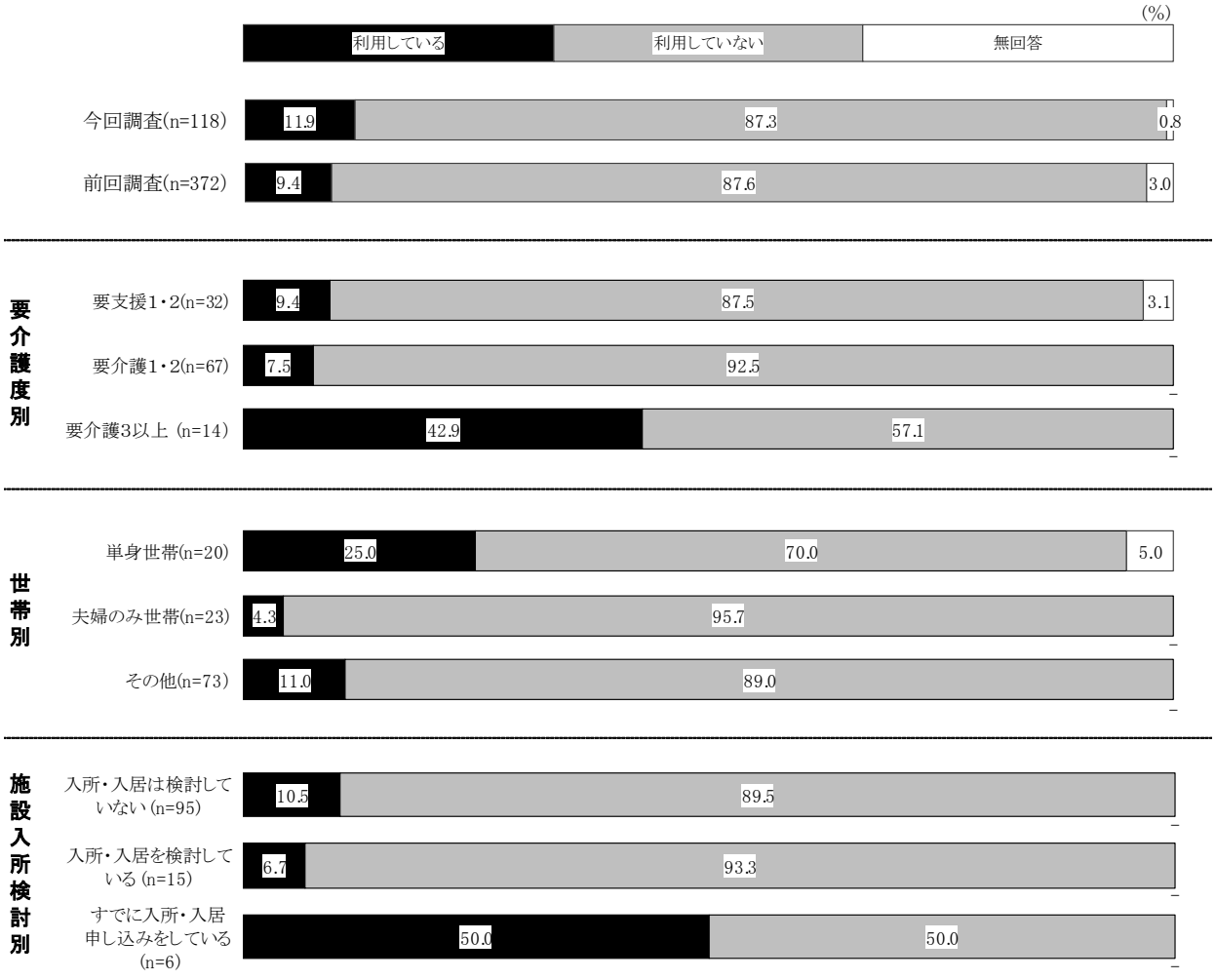
（%）

		n=	パーキンソン病	膠原病（関節リウマチ含む）	難病（パーキンソン病を除く）	その他	なし	わからない	無回答
全体		118	3.4	2.5	0.8	20.3	11.9	0.8	5.9
要介護度別	要支援１・２	32	6.3	-	-	15.6	12.5	-	12.5
	要介護１・２	67	3.0	4.5	1.5	19.4	11.9	1.5	4.5
	要介護３以上	14	-	-	-	28.6	7.1	-	-
施設入所検討別	入所・入居は検討していない	95	3.2	2.1	1.1	17.9	12.6	1.1	5.3
	入所・入居を検討している	15	-	6.7	-	33.3	13.3	-	6.7
	すでに入所・入居申し込みをしている	6	16.7	-	-	16.7	-	-	-
性別	男性	35	5.7	-	2.9	17.1	11.4	-	2.9
	女性	79	2.5	3.8	-	20.3	12.7	1.3	7.6

（３）訪問診療の利用状況

問12　ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（１つを選択）
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

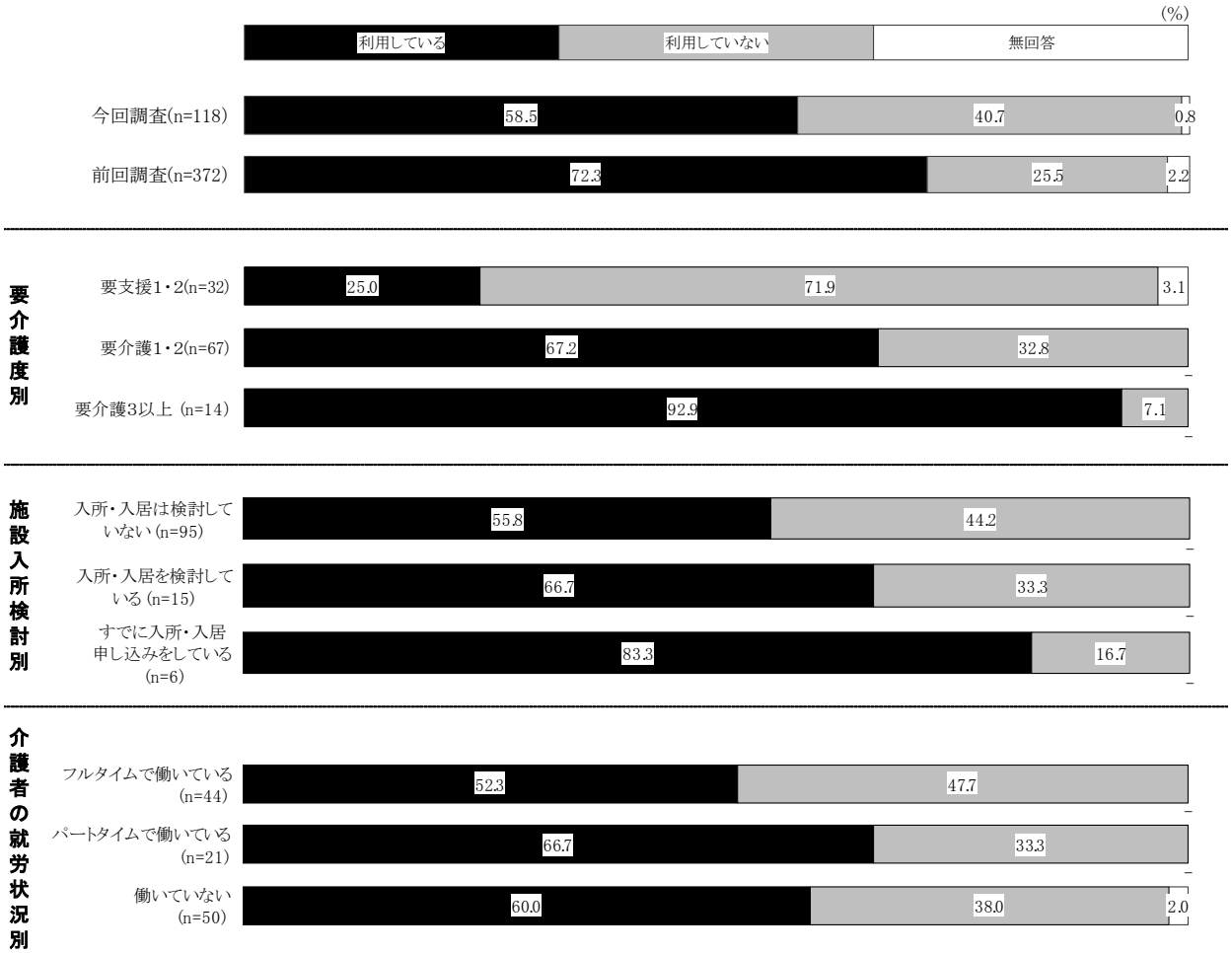
▶訪問診療の利用状況は、「利用している」が 11.9%、「利用していない」が 87.3%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、『要介護３以上』は「利用している」の割合が最も高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「利用している」の割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶施設入所検討別でみると、『すでに入所・入居申し込みをしている』は件数は少ないものの「利用している」の割合が高くなっている。



（４）介護保険サービスの利用状況

問13　現在介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）を利用していますか。
（１つを選択）

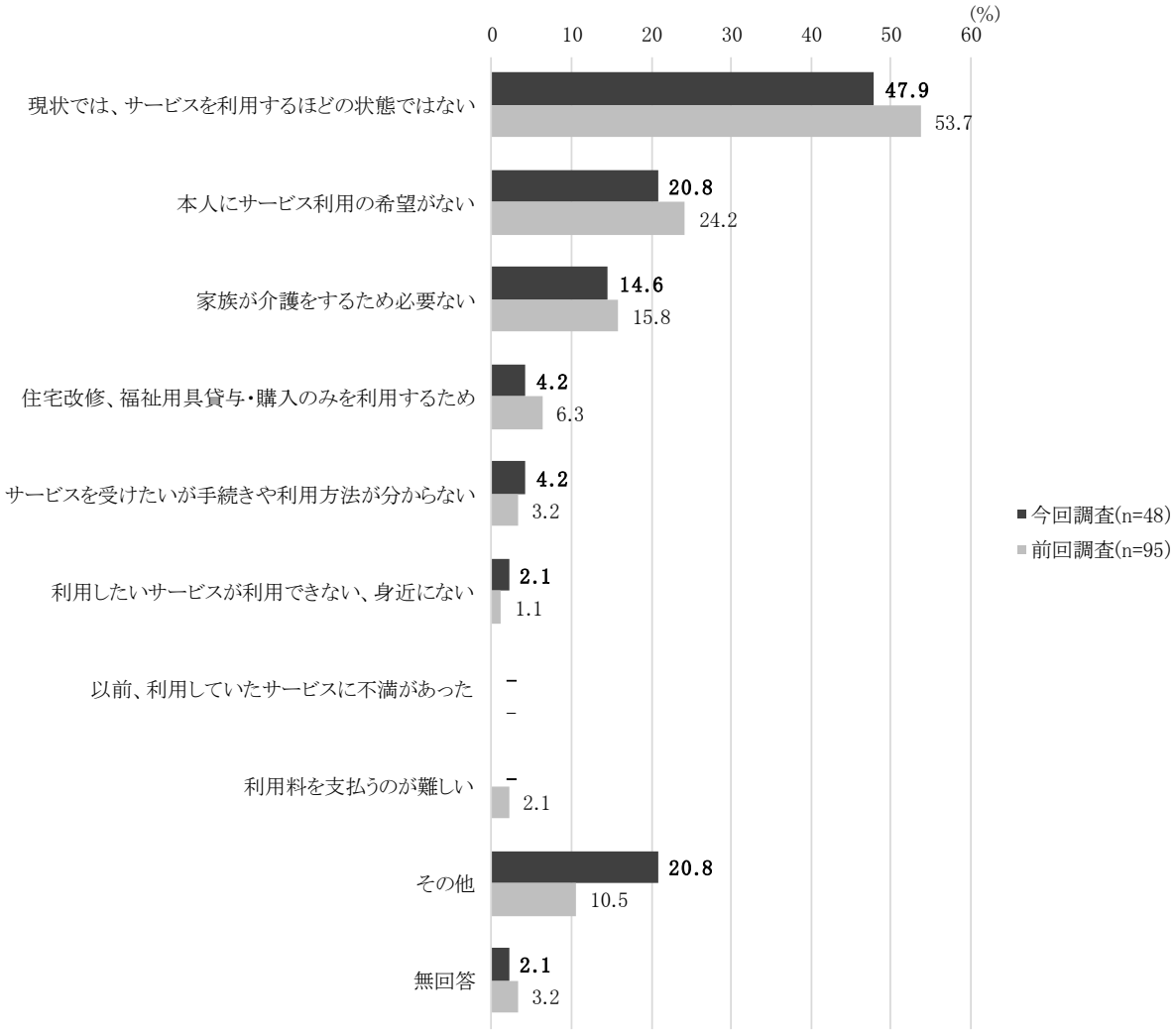
▶介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が 58.5%、「利用していない」が 40.7%となっている。
▶前回調査と比べると、「利用している」の割合が前回から 13.8 ポイント低下し、「利用していない」が 15.2 ポイント上昇している。
▶要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれて「利用している」の割合が高くなっている。
▶施設入所検討別でみると、『すでに入所・入居申し込みをしている』は件数は少ないものの「利用している」の割合が高くなっている。
▶介護者の就労状況別でみると、『パートタイムで働いている』は「利用している」の割合が高くなっている。



①　介護保険サービス利用していない理由

【問13で「２．利用していない」と回答した方のみ】
問14　介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

▶介護保険サービス利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 47.9%と最も高く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が 20.8%、「家族が介護をするため必要ない」が 14.6%となっている。
▶前回調査と比べると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が前回から 5.8 ポイント低下している。



▶要介護度別でみると、『要介護１・２』は「本人にサービス利用の希望がない」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶世帯別でみると、『夫婦のみ世帯』は「本人にサービス利用の希望がない」が、『その他』は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が他の世帯よりも高くなっている。

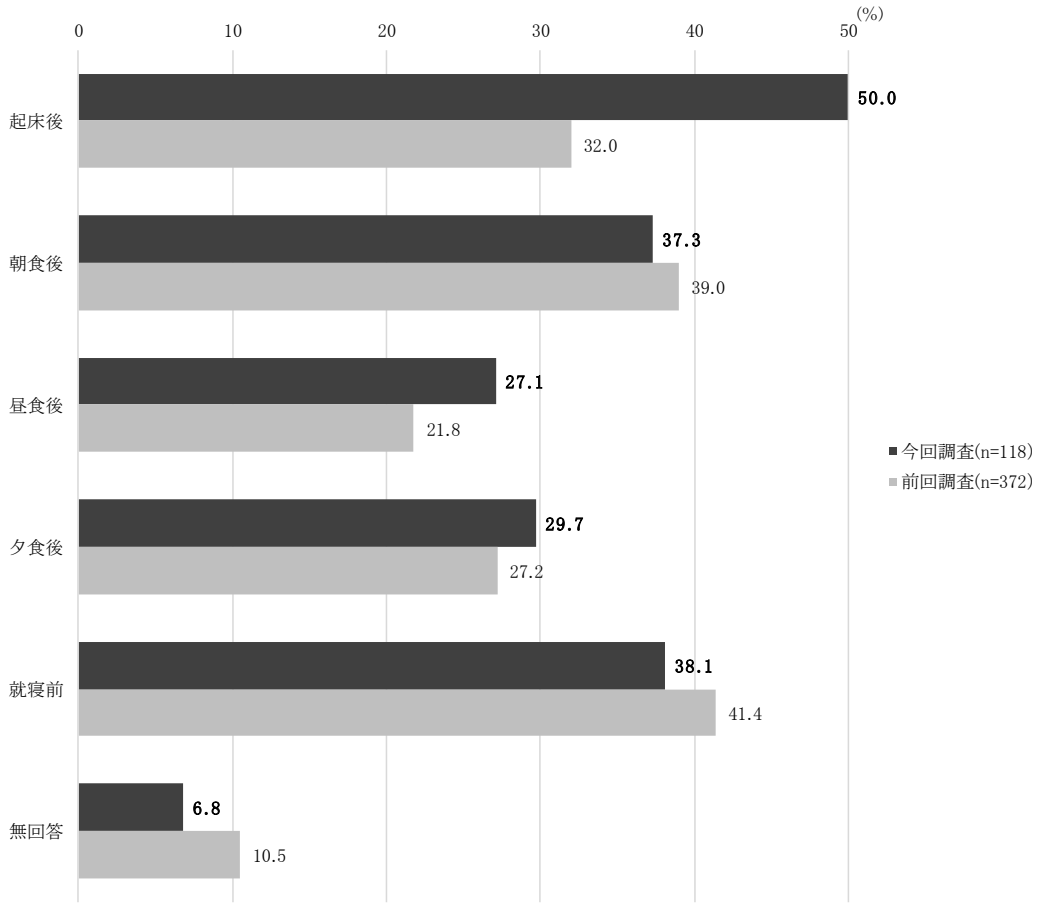
（%）

		n=	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	その他	無回答
全体		48	47.9	20.8	14.6	4.2	4.2	2.1	-	-	20.8	2.1
要介護度別	要支援１・２	23	52.2	8.7	21.7	4.3	4.3	4.3	-	-	21.7	-
	要介護１・２	22	50.0	27.3	4.5	-	4.5	-	-	-	22.7	4.5
	要介護３以上	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
世帯別	単身世帯	6	50.0	-	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7	-
	夫婦のみ世帯	11	36.4	54.5	18.2	9.1	-	-	-	-	18.2	-
	その他	31	51.6	12.9	12.9	3.2	3.2	3.2	-	-	22.6	3.2

（５）口腔ケアの状況

問15　ご本人は口腔ケア（ハミガキ、入れ歯洗浄、マッサージなど）をいつ行っていますか。
（複数選択可）

▶口腔ケアの状況は、「起床後」が 50.0%と最も高く、次いで、「就寝前」が 38.1%、「朝食後」が 37.3%となっている。
▶前回調査と比べると、「起床後」の割合が前回から 18.0 ポイント、「昼食後」が 5.3 ポイント上昇している。



▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「夕食後」「就寝前」が、『要介護１・２』は「朝食後」が、『要介護３以上』は「起床後」「昼食後」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。

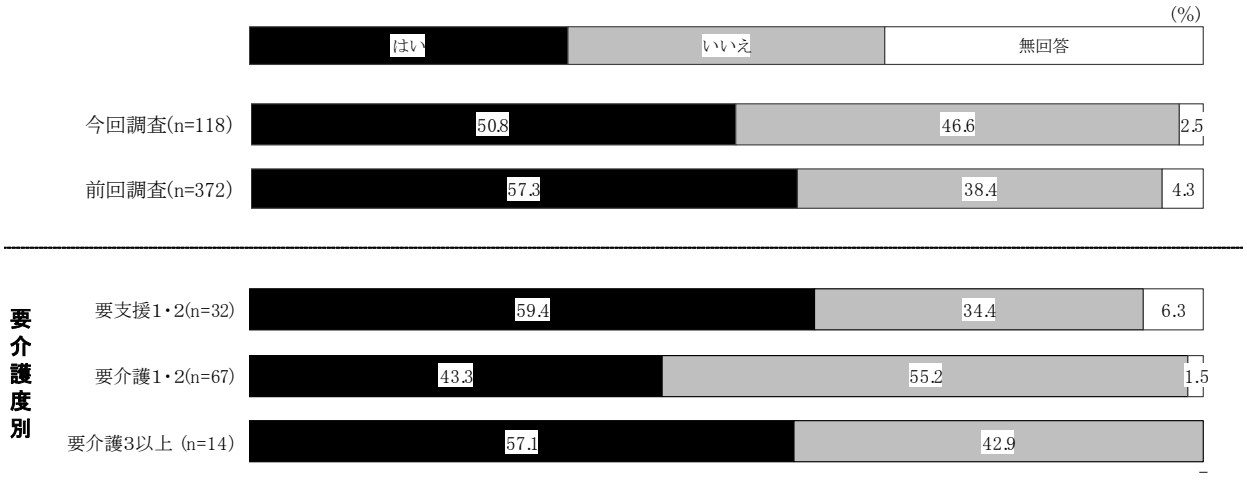
（%）

		n=	起床後	朝食後	昼食後	夕食後	就寝前	無回答
全体		118	50.0	37.3	27.1	29.7	38.1	6.8
要介護度別	要支援１・２	32	62.5	31.3	28.1	34.4	59.4	3.1
	要介護１・２	67	43.3	41.8	20.9	28.4	26.9	9.0
	要介護３以上	14	64.3	28.6	50.0	28.6	50.0	-

（６）外出の希望

問16　ご本人は外出を希望されていますか。（１つを選択）

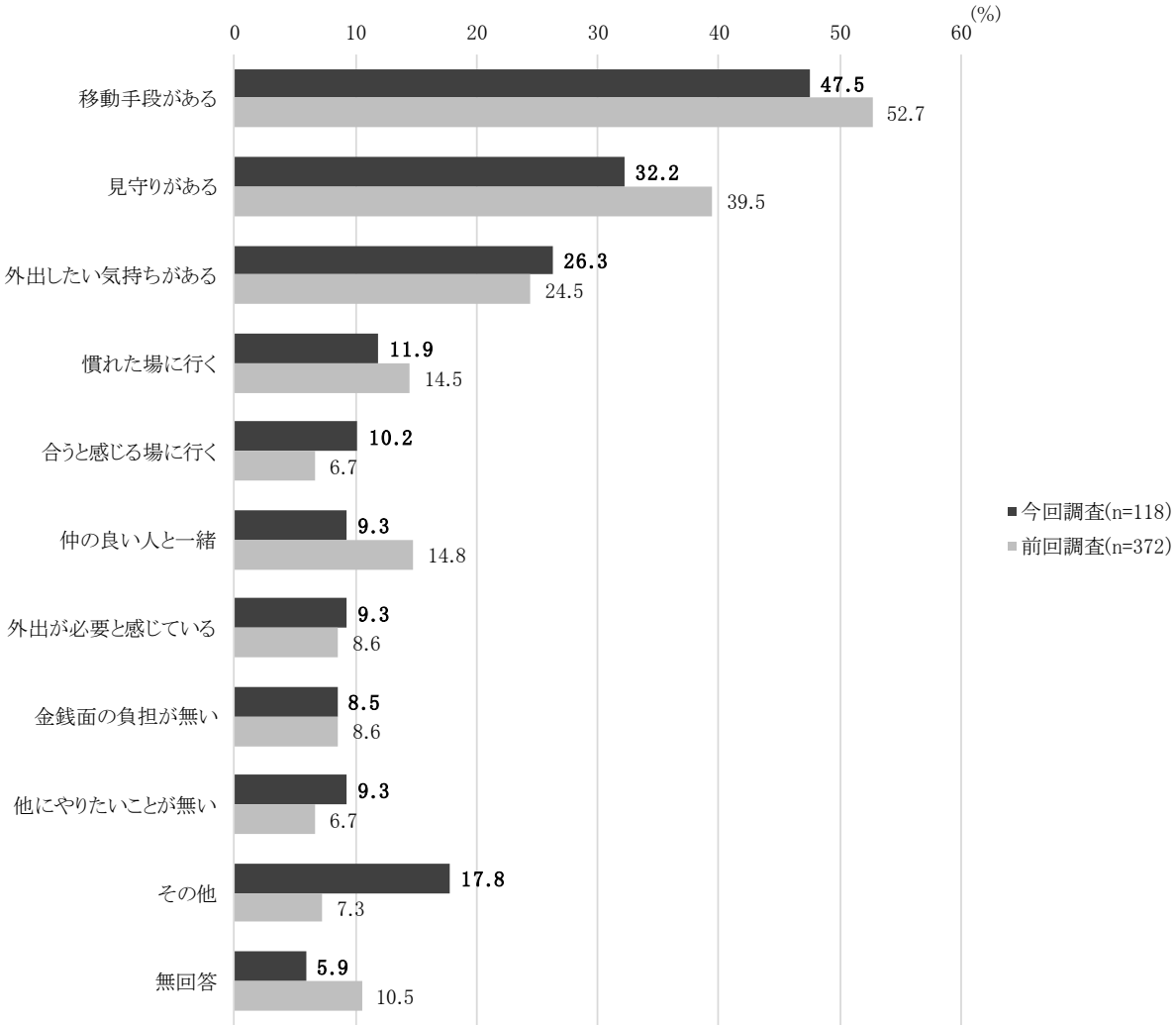
▶外出の希望は、「はい」が 50.8%、「いいえ」が 46.6%となっている。
▶前回調査と比べると、「はい」の割合が前回から 6.5 ポイント低下し、「いいえ」が 8.2 ポイント上昇している。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「はい」が、『要介護１・２』は「いいえ」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。



（７）外出の条件

問17　次のうち、どの条件であればご本人が外出することができますか。

▶外出の条件は、「移動手段がある」が 47.5%と最も高く、次いで、「見守りがある」が 32.2%、「外出したい気持ちがある」が 26.3%となっている。
▶前回調査と比べると、「移動手段がある」の割合が前回から 5.2 ポイント、「見守りがある」が 7.3 ポイント、「仲の良い人と一緒」が 5.5 ポイント低下している。



▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「慣れた場に行く」「合うと感じる場に行く」などが、『要介護１・２』は「移動手段がある」「見守りがある」などが、『要介護３以上』は「外出したい気持ちがある」「外出が必要と感じている」「他にやりたいことが無い」などの割合が他の要介護度よりも高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「外出したい気持ちがある」「慣れた場に行く」「合うと感じる場に行く」などが、『夫婦のみ世帯』は「移動手段がある」の割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶性別でみると、『男性』は女性よりもいずれの項目も低くなっている。一方、『女性』は男性よりも「見守りがある」「外出したい気持ちがある」などの割合が高くなっている。

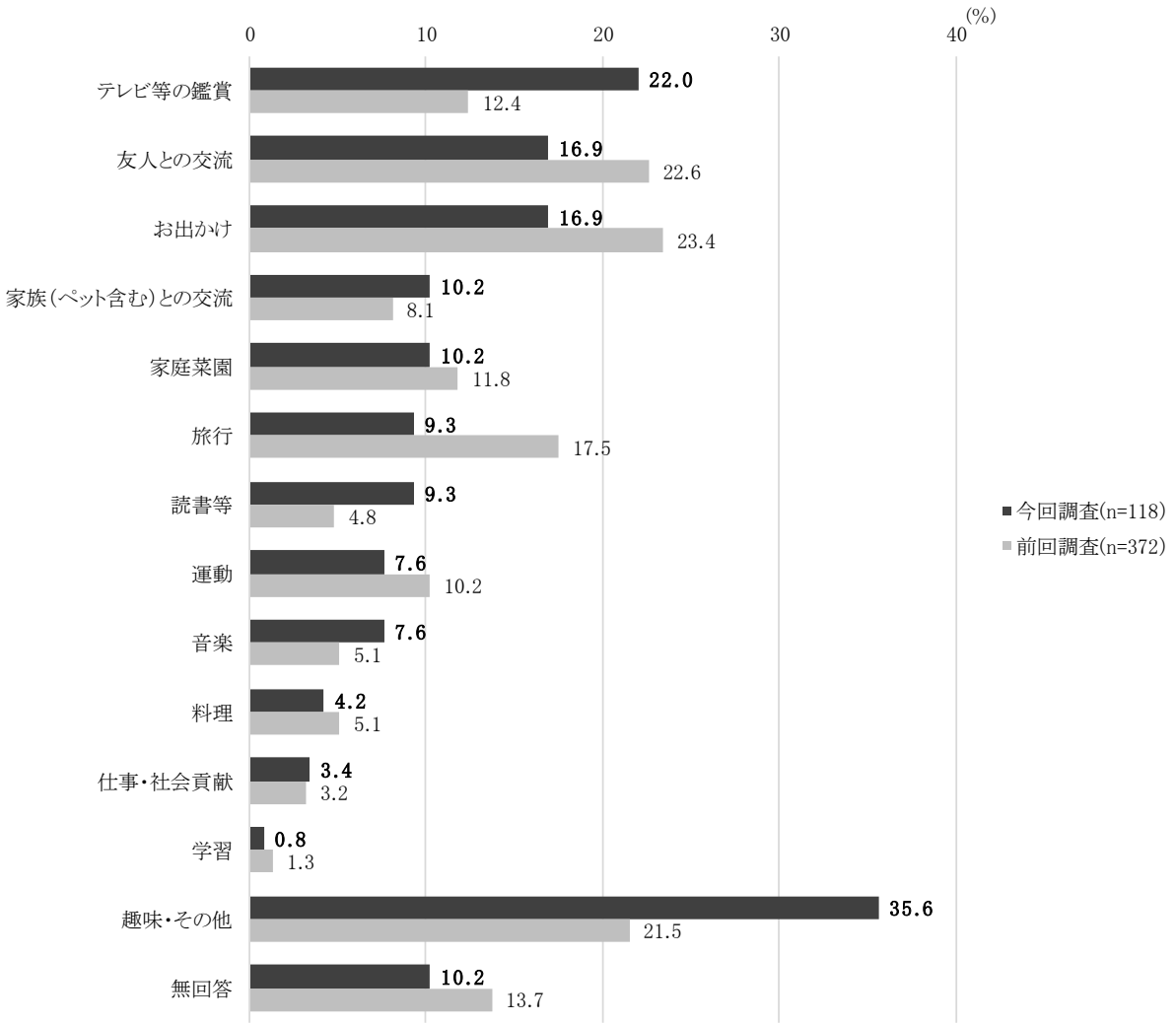
（%）

		n=	移動手段がある	見守りがある	外出したい気持ちがある	慣れた場に行く	合うと感じる場に行く	仲の良い人と一緒	外出が必要と感じている	金銭面の負担が無い	他にやりたいことが無い	その他	無回答
全体		118	47.5	32.2	26.3	11.9	10.2	9.3	9.3	8.5	9.3	17.8	5.9
要介護度別	要支援１・２	32	46.9	18.8	21.9	12.5	12.5	6.3	6.3	3.1	9.4	25.0	9.4
	要介護１・２	67	50.7	40.3	26.9	11.9	10.4	11.9	9.0	10.4	7.5	13.4	3.0
	要介護３以上	14	35.7	21.4	35.7	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	21.4	14.3	7.1
世帯別	単身世帯	20	40.0	35.0	50.0	25.0	25.0	5.0	25.0	10.0	-	20.0	15.0
	夫婦のみ世帯	23	52.2	26.1	17.4	13.0	13.0	-	4.3	4.3	4.3	30.4	4.3
	その他	73	49.3	34.2	23.3	8.2	5.5	13.7	6.8	9.6	11.0	13.7	4.1
性別	男性	35	42.9	17.1	14.3	11.4	5.7	5.7	11.4	5.7	5.7	28.6	2.9
	女性	79	49.4	38.0	31.6	11.4	12.7	11.4	7.6	8.9	11.4	12.7	6.3

（８）本人のやりたいこと

問18　ご本人のやりたいことは何ですか。（３つまで選択可）

▶本人のやりたいことは、「テレビ等の鑑賞」が 22.0%と最も高く、次いで、「友人との交流」「お出かけ」が 16.9%、「家族（ペット含む）との交流」が 10.2%となっている。
▶前回調査と比べると、「テレビ等の鑑賞」の割合が前回から 9.6 ポイント、「趣味・その他」が 14.1 ポイント上昇し、「友人との交流」が 5.7 ポイント、「お出かけ」が 6.5 ポイント、「旅行」が 8.2 ポイント低下している。



▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「テレビ等の鑑賞」「家族（ペット含む）との交流」「趣味・その他」などが、『要介護１・２』は「友人との交流」「家庭菜園」「読書等」が、『要介護３以上』は「お出かけ」「旅行」「音楽」などの割合が他の要介護度よりも高くなっている。

▶世帯別でみると、『単身世帯』は「テレビ等の鑑賞」「友人との交流」「お出かけ」「家族（ペット含む）との交流」などが、『夫婦のみ世帯』は「家庭菜園」「趣味・その他」の割合が他の世帯よりも高くなっている。

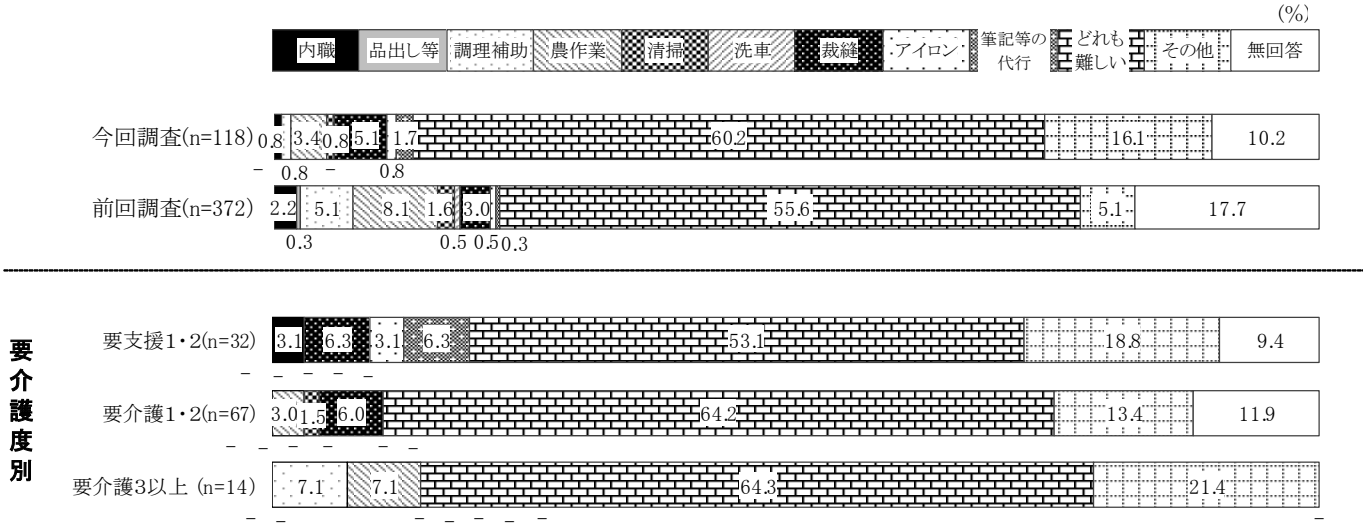
（%）

		n=	テレビ等の鑑賞	友人との交流	お出かけ	家族（ペット含む）との交流	家庭菜園	旅行	読書等	運動	音楽	料理	仕事・社会貢献	学習	趣味・その他	無回答
全体		118	22.0	16.9	16.9	10.2	10.2	9.3	9.3	7.6	7.6	4.2	3.4	0.8	35.6	10.2
要介護度別	要支援１・２	32	21.9	15.6	15.6	15.6	-	12.5	9.4	12.5	6.3	3.1	3.1	-	43.8	3.1
	要介護１・２	67	20.9	19.4	13.4	7.5	13.4	6.0	10.4	7.5	3.0	3.0	3.0	1.5	32.8	13.4
	要介護３以上	14	21.4	14.3	28.6	7.1	7.1	21.4	7.1	-	28.6	7.1	7.1	-	28.6	14.3
世帯別	単身世帯	20	30.0	30.0	35.0	40.0	15.0	15.0	20.0	5.0	25.0	5.0	10.0	-	15.0	5.0
	夫婦のみ世帯	23	26.1	8.7	13.0	4.3	21.7	4.3	4.3	-	-	4.3	4.3	-	47.8	13.0
	その他	73	19.2	16.4	13.7	4.1	5.5	8.2	6.8	11.0	5.5	4.1	1.4	1.4	37.0	11.0

（９）十分な見守り等があればご本人が行ってもいいと思う仕事

問19　十分な見守り等があればご本人が行ってもいいと思う仕事は何ですか。（１つを選択）

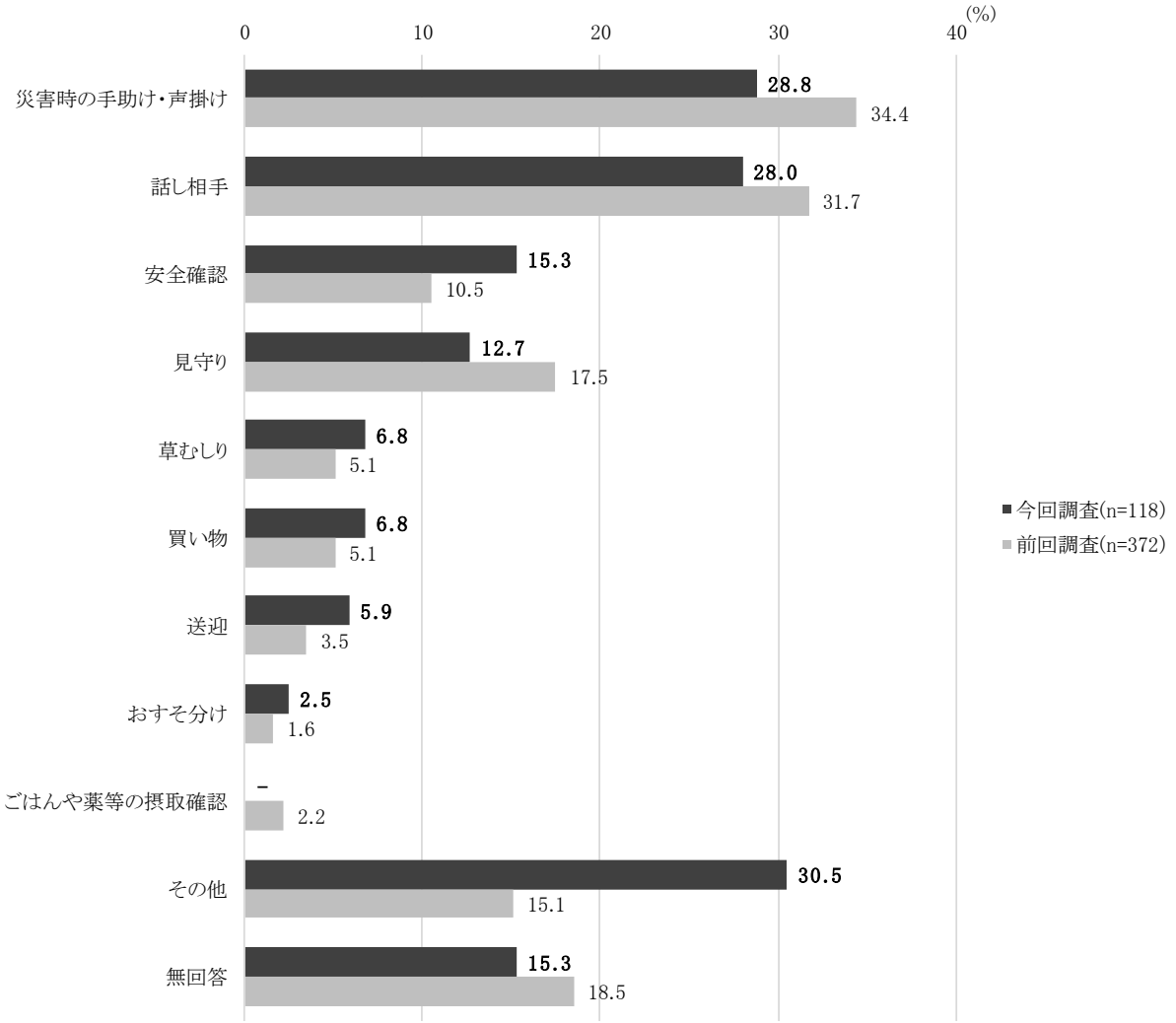
▶十分な見守り等があればご本人が行ってもいいと思う仕事は、「どれも難しい」が 60.2%と最も高く、次いで、「裁縫」が 5.1%、「農作業」が 3.4%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれて「どれも難しい」の割合が高くなっている。



（１０）隣近所の方に頼みたい生活の手伝い

問20　隣近所の方に生活のお手伝いを頼めるとしたら何を希望しますか。（複数選択可）

▶隣近所の方に頼みたい生活の手伝いは、「災害時の手助け・声掛け」が 28.8%と最も高く、次いで、「話し相手」が 28.0%、「安全確認」が 15.3%となっている。
▶前回調査と比べると、「災害時の手助け・声掛け」の割合が前回から 5.6 ポイント低下している。



▶要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれて「災害時の手助け・声掛け」「話し相手」の割合が高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「話し相手」「安全確認」などが、『夫婦のみ世帯』は「買い物」の割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶施設入所検討別でみると、『すでに入所・入居申し込みをしている』は件数は少ないものの「話し相手」「安全確認」などの割合が高くなっている。
▶圏域別でみると、『第四中学校圏域』は「安全確認」が、『第七中学校圏域』は「話し相手」の割合が他の圏域よりも高くなっている。

（%）

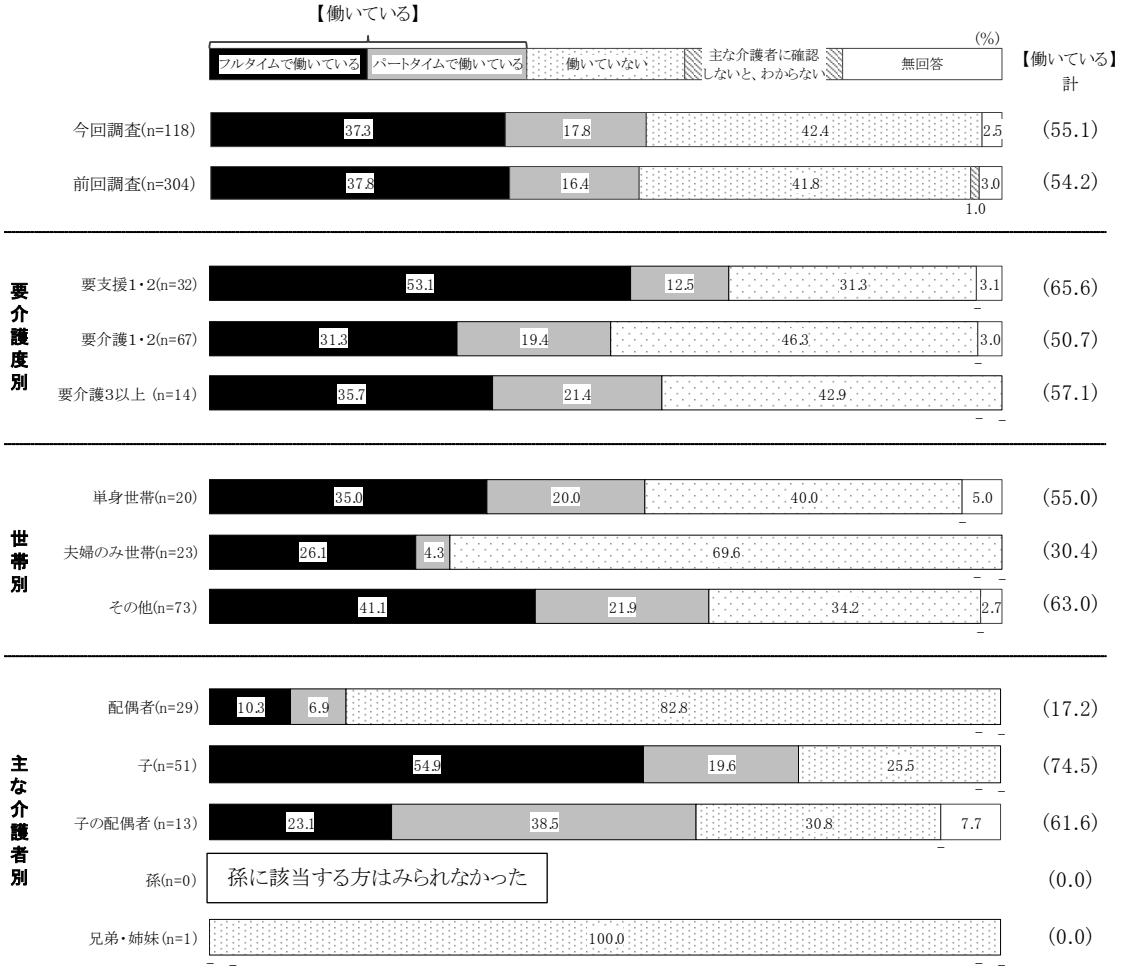
		n=	災害時の手助け・声掛け	話し相手	安全確認	見守り	草むしり	買い物	送迎	おすそ分け	ごはんや薬等の摂取確認	その他	無回答
全体		118	28.8	28.0	15.3	12.7	6.8	6.8	5.9	2.5	-	30.5	15.3
要介護度別	要支援１・２	32	21.9	18.8	15.6	6.3	6.3	3.1	3.1	3.1	-	40.6	21.9
	要介護１・２	67	31.3	31.3	17.9	16.4	7.5	9.0	7.5	1.5	-	25.4	10.4
	要介護３以上	14	35.7	35.7	7.1	7.1	-	7.1	-	-	-	35.7	14.3
世帯別	単身世帯	20	30.0	40.0	30.0	15.0	10.0	5.0	10.0	10.0	-	20.0	20.0
	夫婦のみ世帯	23	21.7	17.4	13.0	13.0	4.3	8.7	8.7	-	-	52.2	8.7
	その他	73	31.5	27.4	12.3	12.3	6.8	6.8	4.1	1.4	-	26.0	16.4
施設入所検討別	入所・入居は検討していない	95	28.4	24.2	13.7	12.6	4.2	5.3	5.3	2.1	-	33.7	14.7
	入所・入居を検討している	15	33.3	40.0	20.0	6.7	26.7	13.3	13.3	6.7	-	20.0	20.0
	すでに入所・入居申し込みをしている	6	33.3	66.7	33.3	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7	-
圏域別	第一中学校圏域	21	33.3	14.3	4.8	4.8	-	-	-	-	-	33.3	23.8
	第二中学校圏域	20	30.0	25.0	25.0	10.0	10.0	15.0	10.0	-	-	25.0	15.0
	第三中学校圏域	23	30.4	21.7	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	-	-	34.8	17.4
	第四中学校圏域	15	33.3	40.0	40.0	20.0	6.7	6.7	-	-	-	26.7	13.3
	（旧）第五中学校圏域	15	20.0	33.3	13.3	6.7	-	-	-	-	-	40.0	6.7
	第六中学校圏域	5	20.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	60.0	-
	第七中学校圏域	10	30.0	50.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0	-	20.0	10.0
	（旧）南原中学校圏域	5	20.0	40.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-

５　主な介護者の勤務状況

（１）主な介護者の現在の勤務形態

問１　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（１つを選択）

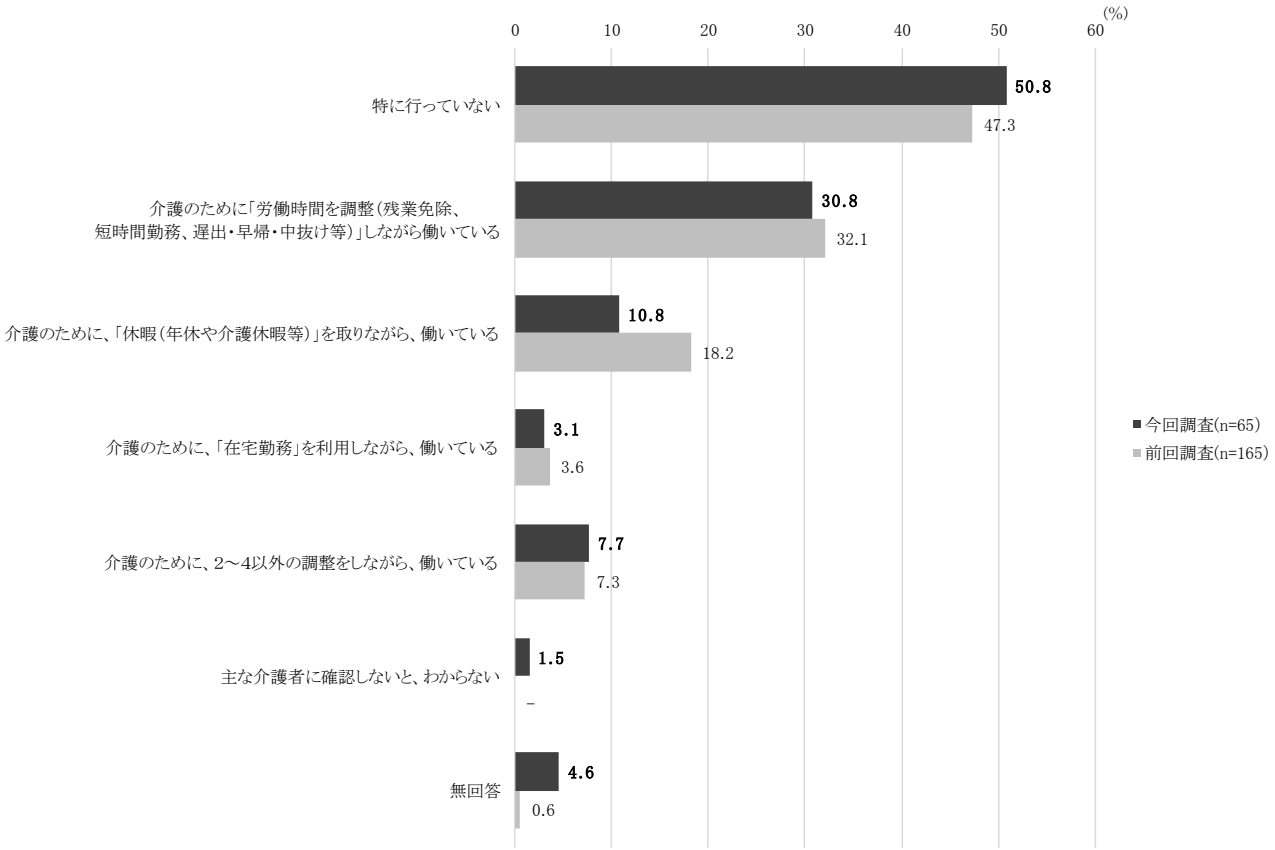
▶主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」が 42.4%と最も高く、次いで、「フルタイムで働いている」が 37.3%、「パートタイムで働いている」が 17.8%となっている。また、【働いている】（フルタイムで働いている+パートタイムで働いている）は、55.1%となっている。
▶前回調査と比べると、特筆すべき差はみられなかった。
▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「フルタイムで働いている」が、『要介護１・２』は「働いていない」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。また、要介護度が重くなるにつれて「パートタイムで働いている」の割合が高くなっている。
▶世帯別でみると、『夫婦のみ世帯』は「働いていない」が、『その他』は「フルタイムで働いている」の割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶主な介護者別でみると、『配偶者』は「働いていない」が、『子』は「フルタイムで働いている」の割合が高く、また、「子」は【働いている】が他の主な介護者よりも高くなっている。



（２）働き方の調整ついて

【問１で「１.」「２.」と回答した方にお伺いします。】
問２　問１で「１.」「２.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数選択可）

▶働き方の調整ついては、「特に行っていない」が 50.8%と最も高く、次いで、「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」が 30.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 10.8%となっている。
▶前回調査と比べると、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が前回から 7.4 ポイント低下している。



▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「特に行っていない」が、『要介護１・２』は「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」が、『要介護３以上』は件数は少ないものの「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。

▶世帯別でみると、『夫婦のみ世帯』は件数は少ないものの「特に行っていない」の割合が他の世帯よりも高くなっている。

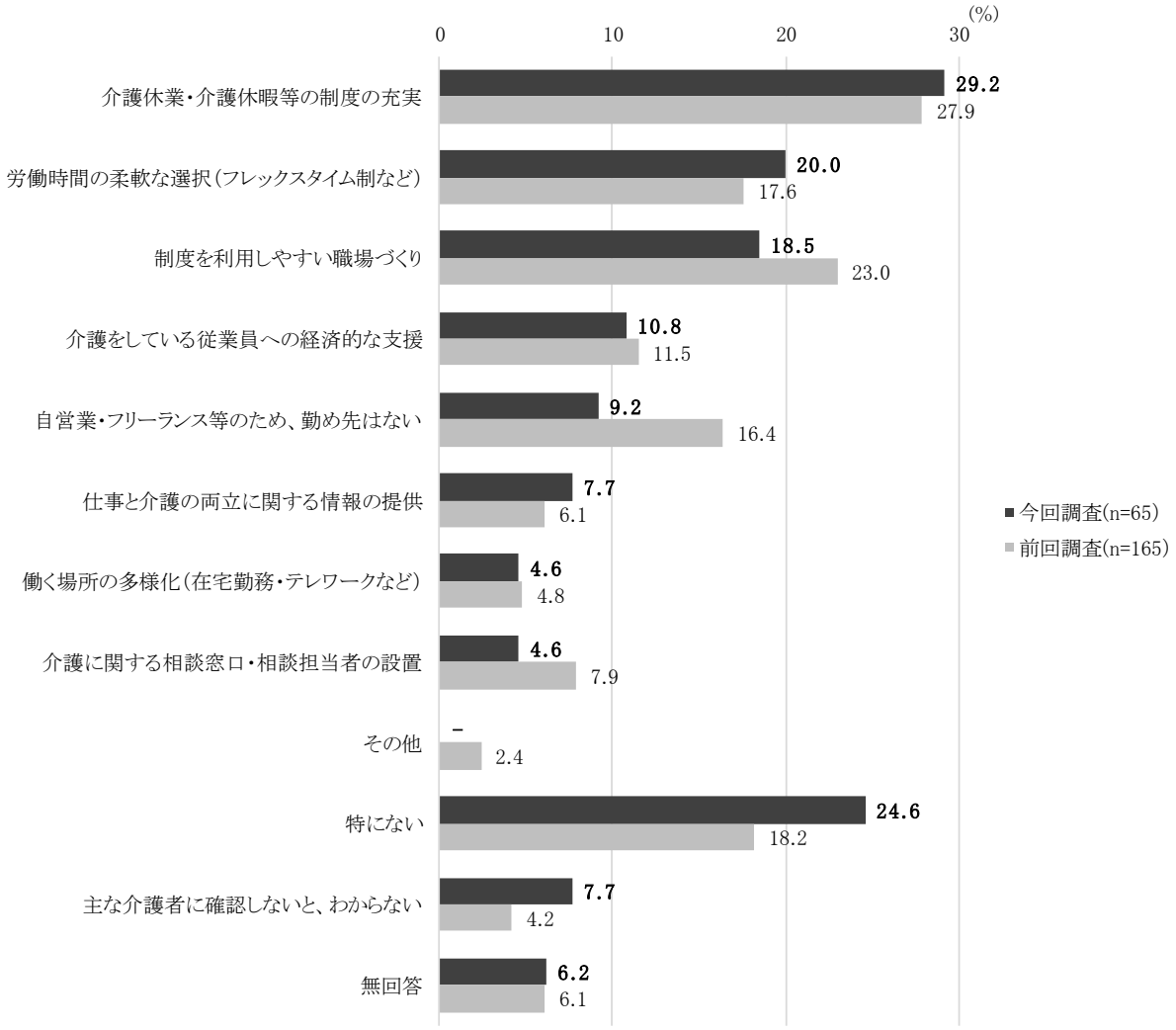
（%）

		n=	特に行っていない	介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		65	50.8	30.8	10.8	3.1	7.7	1.5	4.6
要介護度別	要支援１・２	21	71.4	23.8	9.5	-	-	-	-
	要介護１・２	34	41.2	35.3	8.8	2.9	14.7	2.9	5.9
	要介護３以上	8	50.0	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5
世帯別	単身世帯	11	45.5	36.4	18.2	9.1	-	-	9.1
	夫婦のみ世帯	7	85.7	-	-	-	-	-	14.3
	その他	46	45.7	34.8	10.9	2.2	10.9	2.2	2.2

（３）仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

【問１で「１.」「２.」と回答した方にお伺いします。】
問３　主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（３つまで選択可）

▶仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 29.2%と最も高く、次いで、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 20.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」が 18.5%となっている。
▶前回調査と比べると、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」の割合が前回から 7.2 ポイント低下している。



▶要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれて「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が低く、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合は高くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が、『夫婦のみ世帯』は「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「制度を利用しやすい職場づくり」「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」などの割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶介護者の就労状況別でみると、『フルタイムで働いている』は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」の割合がパートタイムで働いているよりも高くなっている。

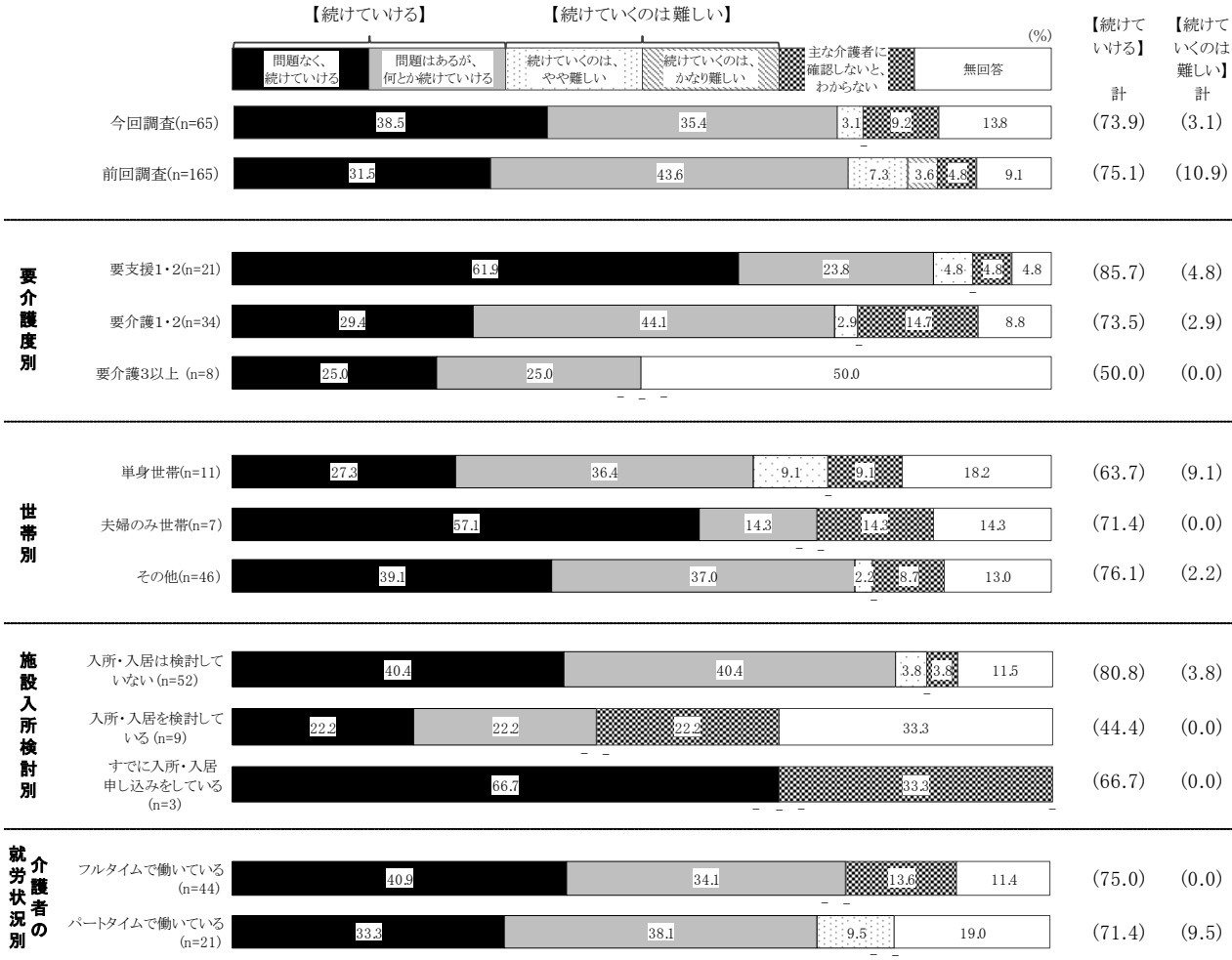
（%）

		n=	介護休業・介護休暇等の制度の充実	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		65	29.2	20.0	18.5	10.8	9.2	7.7	4.6	4.6	-	24.6	7.7	6.2
要介護度別	要支援１・２	21	33.3	14.3	28.6	4.8	9.5	9.5	4.8	-	-	33.3	4.8	-
	要介護１・２	34	29.4	20.6	17.6	11.8	11.8	8.8	2.9	5.9	-	17.6	11.8	5.9
	要介護３以上	8	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	12.5	-	25.0	-	25.0
世帯別	単身世帯	11	36.4	9.1	9.1	9.1	-	18.2	9.1	-	-	18.2	9.1	9.1
	夫婦のみ世帯	7	14.3	28.6	28.6	-	28.6	-	-	-	-	14.3	14.3	-
	その他	46	28.3	19.6	19.6	13.0	8.7	6.5	4.3	6.5	-	28.3	6.5	6.5
介護者の就労状況別	フルタイムで働いている	44	34.1	18.2	22.7	9.1	6.8	6.8	2.3	4.5	-	25.0	11.4	2.3
	パートタイムで働いている	21	19.0	23.8	9.5	14.3	14.3	9.5	9.5	4.8	-	23.8	-	14.3

（４）今後も働きながら介護を続けていけるか

【問１で「１.」「２.」と回答した方にお伺いします。】
問４　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つを選択）

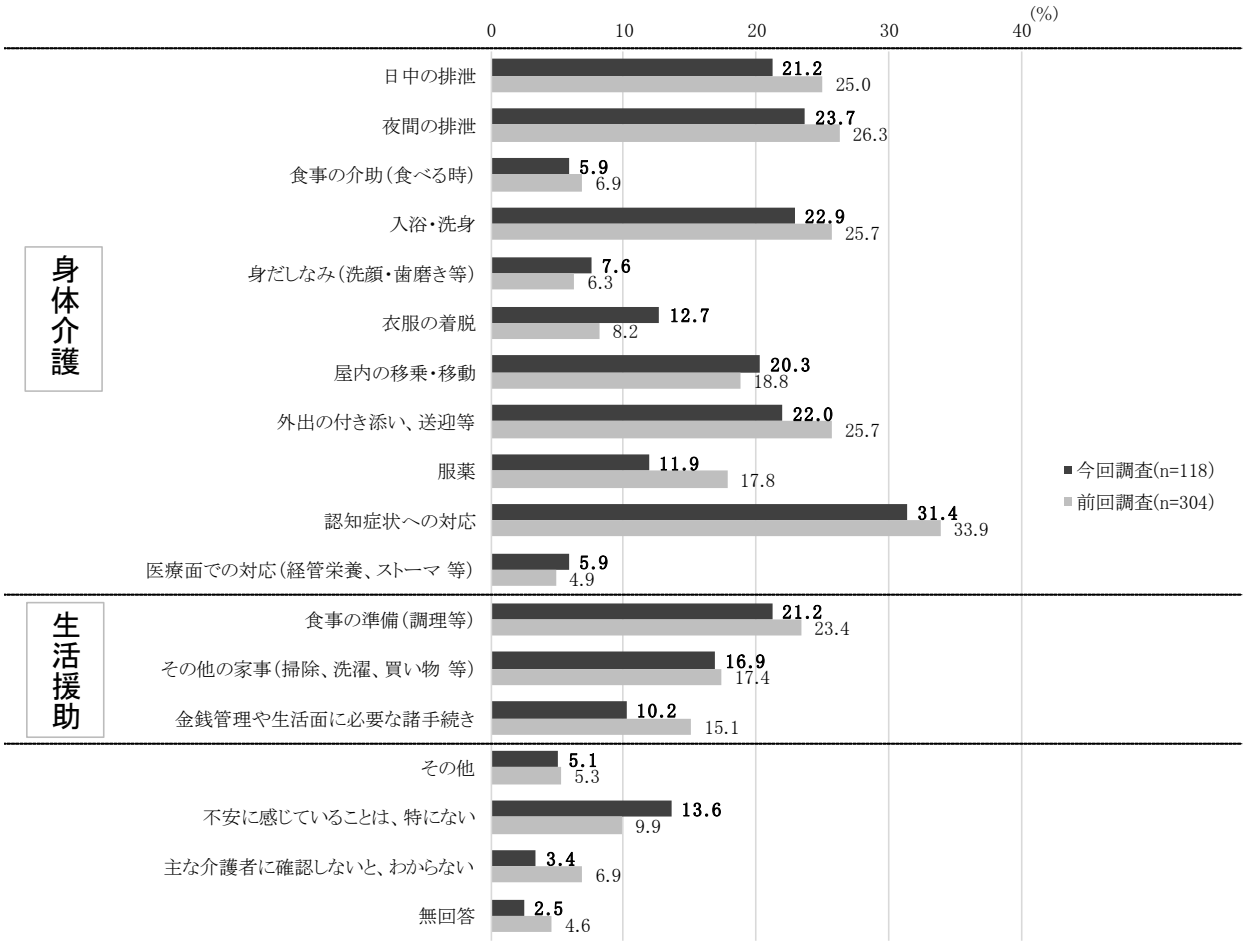
▶今後も働きながら介護を続けていけるかは、「問題なく、続けていける」が 38.5%と最も高く、次いで、「問題はあるが、何とか続けていける」が 35.4%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 9.2%となっている。また、【続けていける】（問題なく、続けていける+問題はあるが、何とか続けていける）は、73.9%、【続けていくのは難しい】（続けていくのは、やや難しい+続けていくのは、かなり難しい）は、3.1%となっている。
▶前回調査と比べると、【続けていくのは難しい】の割合が前回から 7.8 ポイント低下している。
▶要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれて「問題なく、続けていける」の割合が低くなっている。
▶世帯別でみると、『単身世帯』は「問題はあるが、何とか続けていける」が、『夫婦のみ世帯』は「問題なく、続けていける」の割合が他の世帯よりも高くなっている。
▶施設入所検討別でみると、『入所・入居は検討していない』は【続けていける】の割合が高くなっている。
▶介護者の就労状況別でみると、『フルタイムで働いている』『パートタイムで働いている』ともに【続けていける】が約７割と高くなっている。



（５）主な介護者の方が不安に感じる介護等

問５　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（３つまで選択可）

▶主な介護者の方が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が 31.4%と最も高く、次いで、「夜間の排泄」が 23.7%、「入浴・洗身」が 22.9%となっている。
▶前回調査と比べると、低下しているものが多く、中でも「服薬」が前回から 5.9 ポイント低下している。



▶要介護度別でみると、『要支援１・２』は「屋内の移乗・移動」が、『要介護１・２』は「日中の排泄」「夜間の排泄」などが、『要介護３以上』は「食事の介助（食べる時）」「衣服の着脱」などの割合が他の要介護度よりも高くなっている。

▶世帯別でみると、『単身世帯』は「入浴・洗身」「認知症状への対応」などの割合が、『夫婦のみ世帯』は「夜間の排泄」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」などの割合が他の世帯よりも高くなっている。

▶施設入所検討別でみると、『入所・入居を検討している』は、「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」など、入所・入居は検討していないよりも割合の高い項目が多くなっている。

▶性別でみると、『男性』は女性よりも「入浴・洗身」「屋内の移乗・移動」などが、『女性』は男性よりも「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」などの割合が高くなっている。

【身体介護】

(%)

		n=	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
全体		118	21.2	23.7	5.9	22.9	7.6	12.7	20.3	22.0	11.9	31.4	5.9
要介護度別	要支援１・２	32	-	3.1	3.1	12.5	-	6.3	21.9	21.9	6.3	12.5	9.4
	要介護１・２	67	31.3	35.8	3.0	25.4	13.4	11.9	20.9	23.9	14.9	40.3	4.5
	要介護３以上	14	28.6	14.3	14.3	21.4	-	28.6	14.3	14.3	7.1	35.7	7.1
世帯別	単身世帯	20	5.0	20.0	25.0	40.0	10.0	15.0	25.0	15.0	20.0	40.0	5.0
	夫婦のみ世帯	23	17.4	30.4	-	30.4	13.0	17.4	21.7	30.4	8.7	26.1	4.3
	その他	73	27.4	23.3	2.7	16.4	5.5	9.6	17.8	20.5	11.0	30.1	6.8
施設入所検討別	入所・入居は検討していない	95	15.8	21.1	3.2	18.9	8.4	11.6	17.9	23.2	12.6	30.5	4.2
	入所・入居を検討している	15	53.3	46.7	13.3	46.7	6.7	13.3	26.7	20.0	-	33.3	6.7
	すでに入所・入居申し込みをしている	6	33.3	16.7	33.3	16.7	-	33.3	33.3	16.7	33.3	50.0	33.3
性別	男性	35	25.7	28.6	2.9	31.4	11.4	14.3	25.7	28.6	11.4	22.9	8.6
	女性	79	20.3	21.5	5.1	16.5	6.3	11.4	17.7	19.0	11.4	35.4	5.1

【生活援助】

(%)

		n=	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		118	21.2	16.9	10.2	5.1	13.6	3.4	2.5
要介護度別	要支援１・２	32	28.1	15.6	6.3	9.4	28.1	3.1	6.3
	要介護１・２	67	16.4	17.9	13.4	4.5	4.5	4.5	1.5
	要介護３以上	14	28.6	14.3	-	-	14.3	-	-
世帯別	単身世帯	20	35.0	25.0	20.0	5.0	10.0	5.0	10.0
	夫婦のみ世帯	23	8.7	13.0	13.0	-	8.7	4.3	-
	その他	73	19.2	15.1	6.8	6.8	16.4	2.7	1.4
施設入所検討別	入所・入居は検討していない	95	20.0	15.8	10.5	5.3	13.7	2.1	3.2
	入所・入居を検討している	15	33.3	26.7	6.7	6.7	6.7	6.7	-
	すでに入所・入居申し込みをしている	6	-	-	16.7	-	16.7	16.7	-
性別	男性	35	8.6	5.7	11.4	2.9	5.7	5.7	-
	女性	79	26.6	21.5	8.9	6.3	16.5	2.5	3.8

資料編

米沢市　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、本市では、令和９年４月からの３年間を計画期間とする「米沢市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の基礎資料とするため、市内の、65歳以上の市民の皆様から、無作為に抽出した1,100人に対してアンケート調査を行うこととといたしました。

この調査は、高齢者の皆様が、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりを実現するため、皆様の生活の状況や健康状態、生活支援の要望をおうかがいするものです。

調査の回答は、当該調査票での回答のほか、パソコンやスマートフォン、タブレット端末などを使って、インターネットでも回答できます。（裏面参照）

つきましては、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご記入いただいた調査票は、切り離さず３つに折って同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、令和８年２月６日（金）までにご返送ください。

米沢市

裏面をご覧になってからお答えください。

お問い合わせ先　米沢市 健康福祉部 高齢福祉課 事業管理担当
電　話：０２３８－２２－５１１１（内線3901・3902）
ＦＡＸ：０２３８－２１－１６００

【ご記入に関してのお願い】

１．ご回答は令和８年１月１日現在の状況でお答えください。
２．この調査は、あて名の方がお答えください。ご本人に代わりご家族などが代筆いただいてもかまいません。その際も、質問の「あなた」とは、「封筒のあて名の方」のことですのでご注意ください。
３．ご回答は、あて名の方の状況や日頃お感じになられていることなどについて、あてはまる番号に○をお願いいたします。また（　）内へご記入をお願いする設問もございます。
４．インターネットでの回答も可能です。スマートフォン等で右の２次元コードを読み込むか、パソコン等で次のアドレスにアクセスし、説明にそって回答してください。インターネットで回答された方は、本調査票での回答は不要です。
URL:https://apply.e-tumo.jp/city-yonezawa-yamagata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18184
５．あらかじめ対象者を選んでいます。大変申し訳ありませんが、その後転出などされた方に届いた場合は調査票を破棄してください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

調査票の記入者やあて名のご本人の情報について

（１）この調査票を記入されるのはどなたですか。（○は１つ）

1．あて名のご本人
2．ご家族（あて名のご本人からみた続柄＿＿＿＿＿＿）
3．その他

（２）あなた（あて名のご本人）の性別はどちらですか。（○は１つ）

1．男性　　2．女性

（３）あなた（あて名のご本人）の年齢（満年齢）は次のどれにあてはまりますか。（○は１つ）

1．65～69歳　　2．70～74歳　　3．75～79歳
4．80～84歳　　5．85～89歳　　6．90～94歳
7．95～99歳　　8．100歳以上

（４）あなた（あて名のご本人）の要介護度は次のどれにあてはまりますか。（○は１つ）

1．要支援１
2．要支援２
3．事業対象者（チェックリスト実施による）
4．いずれの認定も受けていない

問１　あなたのご家族や生活状況等について

（１）家族構成を教えてください。（○は１つ）

1．ひとり暮らし　　2．夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3．夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）　　4．息子・娘との２世代世帯
5．その他（施設入所等）

（２）日中（昼間）のご家族の状況はどうなっていますか。（○は１つ）

1．自分以外は誰もいない　　2．週に１～２日は家族といる
3．週に３～４日は家族といる　　4．週に５日以上は家族といる

（３）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は１つ）

1．介護・介助は必要ない
2．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3．現在、何らかの介護を受けている
（要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

（４）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は１つ）

1．大変苦しい　　2．やや苦しい　　3．ふつう
4．ややゆとりがある　　5．大変ゆとりがある

（５）あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は１つ）

1．持家（一戸建て）　　2．持家（集合住宅）　　3．公営賃貸住宅
4．民間賃貸住宅（一戸建て）　　5．民間賃貸住宅（集合住宅）
6．借家　　7．その他

問2　体力について

（1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○は1つ）

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は1つ）

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（3）15分位続けて歩いていますか。（○は1つ）

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。（○は1つ）

1．何度もある　2．1度ある　3．ない

（5）転倒に対する不安は大きいですか。（○は1つ）

1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

（6）週に1回以上は外出していますか。（○は1つ）

1．ほとんど外出しない　2．週1回　3．週2～4回　4．週5回以上

（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ）

1．とても減っている　2．減っている
3．あまり減っていない　4．減っていない

（8）外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

1．徒歩　2．自転車　3．バイク　4．自動車（自分で運転）
5．自動車（人に乗せてもらう）　6．電車　7．路線バス
8．病院や施設のバス　9．車いす　10．電動車いす（カート）
11．歩行器・シルバーカー　12．タクシー　13．その他（　　）

（9）運動する習慣をつけるためにあると良いと思うものは何ですか。（○はいくつでも）

1．友人、仲間　2．自宅でできるメニュー　3．クラブ活動
4．参加自由のグループ　5．スポーツ大会　6．多世代の参加
7．指導者　8．体力測定　9．参加ポイント・景品
10．移動手段　11．トレーニング施設　12．散歩コース・公園
13．その他（　　）

問3　食べることについて

（1）あなたの身長と体重をおうかがいします。（数字を記入 ※整数、小数第1位は四捨五入）

身長　　cm　　体重　　kg

（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○は1つ）

1．はい　2．いいえ

（3）お茶や汁物等でむせることがありますか。（○は1つ）

1．はい　2．いいえ

（4）口の渇きが気になりますか。（○は1つ）

1．はい　2．いいえ

（5）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（○は1つ）（成人の歯の総本数は、親知らずも含めて32本です。）

1．自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2．自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3．自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4．自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

（6）6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。（○は1つ）

1．はい　2．いいえ

（7）どなたかと食事をともにする機会がありますか。（○は1つ）

1．毎日ある　2．週に何度かある　3．月に何度かある
4．年に何度かある　5．ほとんどない

（8）歯磨きはいつ行っていますか。（○はいくつでも）

1．起床後　2．朝食後　3．昼食後　4．夕食後　5．就寝前

問４　毎日の生活について

（１）物忘れが多いと感じますか。（○は１つ）

1．はい　　2．いいえ

（２）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（○は１つ）

1．はい　　2．いいえ

（３）今日が何月何日かわからない時がありますか。（○は１つ）

1．はい　　2．いいえ

（４）バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）（○は１つ）

1．できるし、している　　2．できるけどしていない　　3．できない

（５）自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は１つ）

1．できるし、している　　2．できるけどしていない　　3．できない

（６）自分で食事の用意をしていますか。（○は１つ）

1．できるし、している　　2．できるけどしていない　　3．できない

（７）自分で請求書の支払いをしていますか。（○は１つ）

1．できるし、している　　2．できるけどしていない　　3．できない

（８）自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は１つ）

1．できるし、している　　2．できるけどしていない　　3．できない

（９）友人の家を訪ねていますか。（○は１つ）

1．はい　　2．いいえ

（10）家族や友人の相談にのっていますか。（○は１つ）

1．はい　　2．いいえ

（11）趣味はありますか。（○は１つ）

1．趣味あり（具体的に　　）
2．いいえ

（12）耳の聞こえについて、あてはまる項目はありますか。（○はいくつでも）

1．会話をしているときに聞き返すことがよくある
2．後ろから呼びかけられると気づかないことがある
3．聞き間違いが多い
4．話し声が大きいと言われる
5．見えないところからの車の接近に気づかない
6．電子レンジの「チン」という音やドアのチャイムの音が聞こえにくい
7．耳鳴りがある
8．特にない

（13）あなたは、現在、補聴器を使用していますか。（○は１つ）

1．使用している　　2．使用していない

【(13)で「2．使用していない」を選んだ方のみ】
（14）補聴器を使用しないのはなぜですか。（○はいくつでも）

1．購入費用が高い　　2．使用方法・手入れが難しそう
3．入手方法がわからない　　4．故障したときが心配
5．交換など将来的な費用負担が心配　　6．置き忘れや破損が心配
7．新しい機器に抵抗感がある　　8．人の目が気になる
9．聞こえにくくても生活に支障がない　　10．装着が煩わしい
11．その他（　　）
12．使用する必要がない

（15）あなたは、普段の生活でどのような支援が必要と感じますか。（○はいくつでも）

1．定期的な安否確認の声かけ　2．何でも話せる相手、相談相手
3．通える交流の場　4．受診の付き添い
5．往診・健康管理　6．室内・外の掃除
7．ゴミ出し　8．洗濯
9．買物　10．炊事・調理
11．食材の宅配　12．弁当の宅配
13．介護予防のための教室　14．金銭管理
15．屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）　16．外出時の移送支援
17．その他（　　）　18．特にない

（16）冬の除雪は誰がしますか。（○はいくつでも）

1．自分または家族　2．親戚に頼んでいる
3．知り合いや近所の人に頼んでいる　4．事業者へ依頼している
5．その他（　　）

（17）ご自分の携帯電話またはスマートフォンを持っていますか。（○は１つ）

1．持っている　2．持っていない

（18）情報を得るために使用しているものは何ですか。（○はいくつでも）

1．新聞　2．テレビ
3．ラジオ　4．インターネット
5．広報よねざわ　6．本、雑誌
7．その他（　　）



問５　地域での活動等について

（１）以下のような会・グループ等にどのくらい参加していますか。（①～⑧それぞれ○は１つ）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 通いの場（健康づくり、介護予防等の会・グループ）	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ（サロン）	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

（２）あなたは、米沢市が実施または推進する事業を知っていますか。（①～④それぞれ○は１つ）

	取り組んでいる	知っているが取り組んでいない	知らない
① よねざわはっぴい体操（米沢市独自の全身が鍛えられる体操）	1	2	3
② オレンジ喫茶（認知症カフェ）（地域の人々が交流する場）	1	2	3
③ 認知症サポーター養成講座（認知症の本人や家族を見守る応援者を養成する講座）	1	2	3
④ おしょうしなノート（米沢市版エンディングノート）	1	2	3

（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は１つ）

1．是非参加したい　2．参加してもよい　3．参加したくない　4．既に参加している

（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は１つ）

1．是非参加したい　2．参加してもよい　3．参加したくない　4．既に参加している

（5）どのような仕事や地域活動なら行いたいと思いますか。（○はいくつでも）

1．農作業　2．調理　3．保育　4．事務
5．看護助手　6．警備　7．交通整理　8．品出し等
9．技術指導　10．介護助手　11．その他（　　）
12．特にない　13．わからない



問６　たすけあいについて

（1）あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも）

1．配偶者　2．同居の子ども　3．別居の子ども
4．兄弟姉妹・親戚・親・孫　5．近隣　6．友人
7．その他（　　）　8．そのような人はいない

（2）反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも）

1．配偶者　2．同居の子ども　3．別居の子ども
4．兄弟姉妹・親戚・親・孫　5．近隣　6．友人
7．その他（　　）　8．そのような人はいない

（3）あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも）

1．配偶者　2．同居の子ども　3．別居の子ども
4．兄弟姉妹・親戚・親・孫　5．近隣　6．友人
7．その他（　　）　8．そのような人はいない

（4）反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも）

1．配偶者　2．同居の子ども　3．別居の子ども
4．兄弟姉妹・親戚・親・孫　5．近隣　6．友人
7．その他（　　）　8．そのような人はいない

（5）あなたは、隣近所の人にどのような手助けをしてあげられますか。（○はいくつでも）

1．話し相手　2．見守り　3．草むしり
4．おすそ分け　5．雪かき　6．送迎
7．買物　8．安全確認　9．災害時の手助け・声掛け
10．ごはんや薬等の摂取確認　11．その他（　　）
12．特にない　13．わからない

（6）災害が発生した時、近所にあなたを助けてくれる人がいますか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ

問７　健康について

（１）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は１つ）

1．とてもよい　2．まあよい　3．あまりよくない　4．よくない

（２）あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を10点として、数字を○で囲んでください。（○は１つ）

とても不幸					普通					とても幸せ
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ

（４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ

（５）お酒は飲みますか。（○は１つ）

1．ほぼ毎日飲む　2．時々飲む　3．ほとんど飲まない　4．もともと飲まない

（６）タバコは吸っていますか。（○は１つ）

1．ほぼ毎日吸っている　2．時々吸っている
3．吸っていたがやめた　4．もともと吸っていない

（７）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

1．ない　2．高血圧　3．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
4．心臓病　5．糖尿病　6．高脂血症（脂質異常）
7．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）　8．胃腸・肝臓・胆のうの病気
9．腎臓・前立腺の病気　10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11．外傷（転倒・骨折等）　12．がん（悪性新生物）
13．血液・免疫の病気　14．うつ病
15．認知症（アルツハイマー病等）　16．パーキンソン病
17．目の病気　18．耳の病気
19．その他（具体的に　　）

問８　認知症および成年後見制度等について

（１）認知症の症状がある または家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ

（２）あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。（最もあてはまるもの１つに○）

1．認知症になっても、出来ないことを自分で工夫して、今までどおり生活できる
2．認知症になっても、医療や介護のサービスを受けながら、今までどおり生活していける
3．認知症になると、身の回りのことができなくなるので、介護施設に入所が必要になる
4．認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今の場所での生活が難しくなる
5．認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう
6．その他（　　）
7．わからない

（３）もし、あなたが認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。（最もあてはまるもの１つに○）

1．認知症になっても、出来ないことを自分で工夫して、今までどおり生活したい
2．認知症になっても、医療や介護のサービスを受けながら、今までどおり生活していきたい
3．認知症になると、身の回りのことができなくなるので、介護施設に入所したい
4．認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今の場所での生活が難しくなる
5．認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
6．その他（　　）
7．わからない

（４）もし、あなたご自身が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思いますか。（○はいくつでも）

1．家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
2．買い物や料理、車の運転などこれまでできていたことができなくなってしまうのではないか
3．病院で治療しても、症状は改善しないのではないか
4．経済的に苦しくなるのではないか
5．必要なサービスを利用することができず、今の住まいで生活できなくなるのではないか
6．外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
7．不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害にあったりするのではないか
8．家族や家族以外の人に迷惑をかけてしまうのではないか
9．その他（　　）
10．特にない
11．わからない

（５）あなたは、認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）

1．はい　　**2．**いいえ

（６）成年後見制度※について米沢市役所や地域包括支援センターでもご相談いただけることをご存知ですか。（○は１つ）

※成年後見制度は、判断能力に不安がある場合に、ご本人または家庭裁判所が選んだ人が、ご本人の権利に関わる手続き等を代わりに行う制度です。

1．はい　　**2．**いいえ

（７）あなたは将来の備えとして、どのようなことに取り組まれていますか。（○はいくつでも）

1．健康づくり　　**2．**近隣や親族との交流
3．親族へ自分の意志を伝えておく　　**4．**終活セミナーへの参加
5．エンディングノートや遺言の作成　　**6．**地域活動への参加
7．特にない　　**8．**その他（　　）

（８）あなたは、ご自身やご家族などの人生の最終段階における医療・ケアに関して、家族などや医療・ケアチームとどの程度話し合ったことがありますか。（○は１つ）

1．まったく話し合ったことがない
2．現在のところ話し合う予定はないが、いずれ話し合いたい
3．一応話し合ったことがある
4．詳しく話し合ったことがある

最後に、介護保険事業や高齢者の保健福祉に関するご意見やご要望等について、自由にお書きください。

ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

□　記入もれがないか、今一度お確かめください。

□　調査票を３つ折りにして、同封した返信用封筒にいれ、切手を貼らずに**２月６日（金）までに**ご返送ください。

在宅介護実態調査　調査票

被保険者番号〔　　〕

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】　（複数選択可）

1．　調査対象者本人　　2．主な介護者となっている家族・親族
3．　主な介護者以外の家族・親族　　4．調査対象者のケアマネジャー
5．　その他

A票　認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1　世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

1．単身世帯　　2．夫婦のみ世帯　　3．その他

問2　ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1．ない　→　問8（2頁）へ（問4～7省略）
2．家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3．週に1～2日ある
4．週に3～4日ある
5．ほぼ毎日ある
→　問3～問13へ

問3　主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

1．配偶者　　2．子　　3．子の配偶者
4．孫　　5．兄弟・姉妹　　6．その他

問4　主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

1．男性　　2．女性

問5　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

1．20歳未満　　2．20代　　3．30代
4．40代　　5．50代　　6．60代
7．70代　　8．80歳以上　　9．わからない

問6　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

（複数選択可）

〔身体介護〕

1．日中の排泄　　2．夜間の排泄
3．食事の介助（食べる時）　　4．入浴・洗身
5．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　　6．衣服の着脱
7．屋内の移乗・移動　　8．外出の付き添い、送迎等
9．服薬　　10．認知症状への対応
11．医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）

〔生活援助〕

12．食事の準備（調理等）
13．その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14．金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15．その他　　16．わからない

問7　ご家族やご親族（家族等）で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。
（現在働いているかどうかや現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

1．主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2．主な介護者以外の家族等が仕事を辞めた（転職除く）
3．主な介護者が転職した
4．主な介護者以外の家族等が転職した
5．介護のために仕事を辞めた家族等はいない
6．わからない

● ここから再び、全員に調査してください。

問８　現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

1．配食　　2．調理　　3．掃除・洗濯　　4．ゴミ出し
5．買い物（宅配は含まない）　　6．外出同行（通院、買い物など）
7．移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）　　8．見守り、声かけ
9．サロンなどの定期的な通いの場
10．その他　　11．利用していない

問９　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

（複数選択可）

1．配食　　2．調理
3．買い物（宅配は含まない）　　4．ゴミ出し
5．外出同行（通院、買い物など）　　6．掃除・洗濯
7．移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）　　8．見守り、声かけ
9．サロンなどの定期的な通いの場　　10．その他
11．特になし

問 10　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（１つを選択）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1．入所・入居は検討していない
2．入所・入居を検討している
3．すでに入所・入居申し込みをしている

問 11　ご本人（認定調査対象者）が現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

1．脳血管疾患（脳卒中）　　2．心疾患（心臓病）
3．悪性新生物（がん）　　4．呼吸器疾患
5．腎疾患（透析）
6．筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7．膠原病（関節リウマチ含む）　　8．変形性関節疾患
9．認知症　　10．パーキンソン病
11．難病（パーキンソン病を除く）　　12．糖尿病
13．眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14．その他　　15．なし　　16．わからない

問 12　ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。（１つを選択）

1．利用している
2．利用していない

問 13　現在介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）を利用していますか。（１つを選択）

1．利用している
2．利用していない

● 問 13 で「２．」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

問 14　介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

1．現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2．本人にサービス利用の希望がない
3．家族が介護をするため必要ない
4．以前、利用していたサービスに不満があった
5．利用料を支払うのが難しい
6．利用したいサービスが利用できない、身近にない
7．住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8．サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9．その他

問15　ご本人は口腔ケア（ハミガキ、入れ歯洗浄、マッサージなど）を
いつ行っていますか。（複数選択可）
1．起床後　2．朝食後　3．昼食後　4．夕食後　5．就寝前

問16　ご本人は外出を希望されていますか。（1つを選択）
1．はい　　2．いいえ

問17　次のうち、どの条件であればご本人が外出することができますか。
（複数選択可）
1．見守りがある　　2．金銭面の負担が無い
3．移動手段がある　　4．仲の良い人と一緒
5．合うと感じる場に行く　　6．　慣れた場に行く
7．外出したい気持ちがある　　8．外出が必要と感じている
9．他にやりたいことが無い　10．その他（　　）

問18　ご本人のやりたいことは何ですか。（3つまで選択可）
1．旅行　　2．運動　　3．家族（ペット含む）との交流
4．友人との交流　5．家庭菜園　6．料理
7．お出かけ　　8．学習　　9．読書等
10．音楽　　11．テレビ等の鑑賞
12．仕事・社会貢献
13．趣味・その他（　　）

問19　十分な見守り等があればご本人が行ってもいいと思う仕事は何ですか。
（1つを選択）
1．内職　　2．品出し等　3．調理補助　4．農作業
5．清掃　　6．洗車　　7．裁縫　　8．アイロン
9．筆記等の代行　　10．どれも難しい
11．その他（　　）

問20　隣近所の方に生活のお手伝いを頼めるとしたら何を希望しますか。
（複数選択可）
1．話し相手　2．見守り　3．草むしり　4．おすそ分け
5．送迎　　6．買い物　7．災害時の手助け・声掛け　8．安全確認
9．ごはんや薬等の摂取確認　10．その他（　　）

● 問2で「2．」～「5．」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いしてください（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です）。

≪この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします

米沢市金池5丁目2番25号
米沢市　健康福祉部高齢福祉課 事業管理担当
電話：0238－22－5111（内線3901・3902）

米沢市在宅介護実態調査　　被保険者番号〔　　〕

B票　主な介護者様もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

問1　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

1．フルタイムで働いている
2．パートタイムで働いている　→ 問2～問5へ
3．働いていない
4．主な介護者に確認しないと、わからない　→ 問5（裏面）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2　問1で「1．」「2．」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数選択可）

1．特に行っていない
2．介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている
3．介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4．介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5．介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6．主な介護者に確認しないと、わからない

問3　問1で「1．」「2．」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

1．自営業・フリーランス等のため、勤め先はない　2．介護休業・介護休暇等の制度の充実
3．制度を利用しやすい職場づくり　4．労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5．働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）　6．仕事と介護の両立に関する情報の提供
7．介護に関する相談窓口・相談担当者の設置　8．介護をしている従業員への経済的な支援
9．その他　10．特にない
11．主な介護者に確認しないと、わからない

問4　問1で「1．」「2．」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

1．問題なく、続けていける　2．問題はあるが、何とか続けていける
3．続けていくのは、やや難しい　4．続けていくのは、かなり難しい
5．主な介護者に確認しないと、わからない

※ 裏面へ続きます。

※

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

〔身体介護〕
1．日中の排泄　2．夜間の排泄
3．食事の介助（食べる時）　4．入浴・洗身
5．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　6．衣服の着脱
7．屋内の移乗・移動　8．外出の付き添い、送迎等
9．服薬　10．認知症状への対応
11．医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）
〔生活援助〕
12．食事の準備（調理等）　13．その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14．金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕
15．その他　16．不安に感じていることは、特にない
17．主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

≪この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。≫

米沢市金池５丁目２番２５号
米沢市　健康福祉部 高齢福祉課 事業管理担当
電話：０２３８－２２－５１１１（内線３９０１・３９０２）

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和８年７月

米沢市　健康福祉部　高齢福祉課

〒 992-8501　山形県米沢市金池 5-2-25

TEL　0238-22-5111（内線 3901）　FAX　0238-21-1600